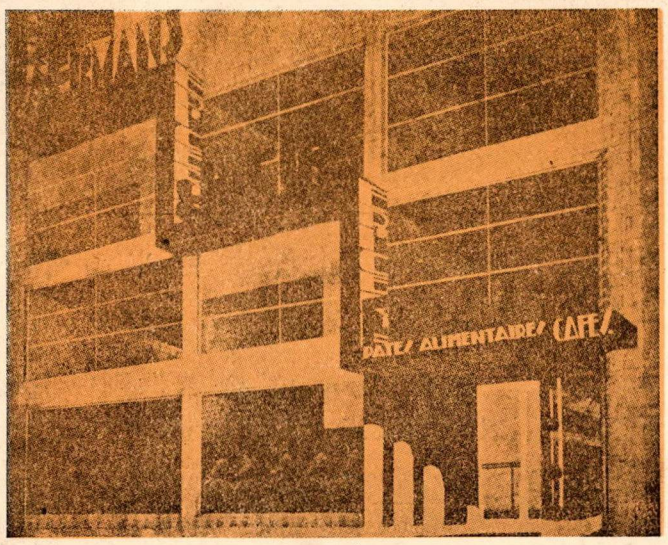
建築と社會

レストラン・カフエー號

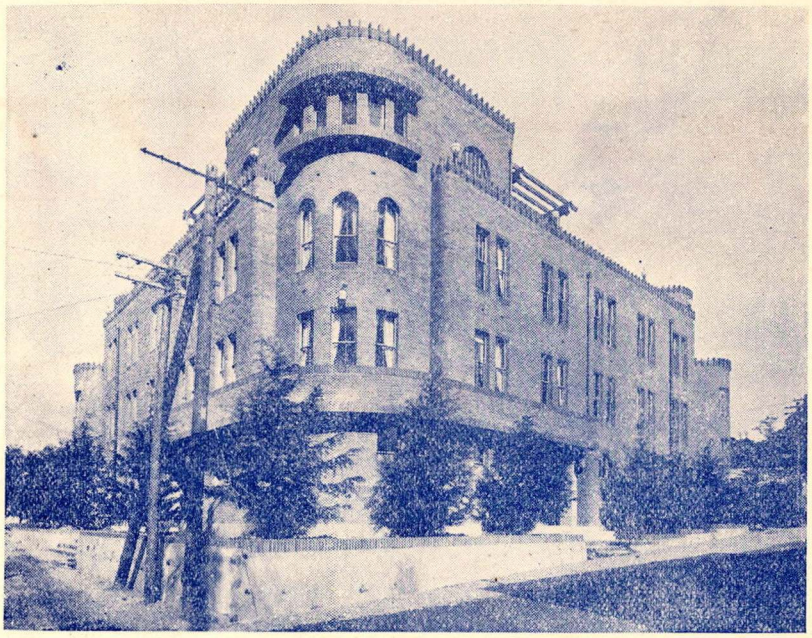


昭和四年三月一日

第十二輯
第三號

日本建築協會

寫眞は下記製品御使用の光榮に浴したる奈良電鐵本社



三機工業!! 販賣

東京建鐵!! 製造

御　使　用

▶田島式G型上下ゲサツシ◀

▶田島式G型スチールドアー◀

東京建鐵株式會社

東京鋼板工業株式會社

總代理店

三機工業株式會社

本　店　東京市麹町區內幸町一ノ三(大阪ビル內)

電話銀座(57)5330—5335(6)2831—2833(3)

支　店　大阪市東區備後町二ノ二一(野村ビル內)

電話本町1166・1525

取扱店　各地三井物産株式會社支店機械部

商標 OHNO SHUTTER PATENTED 登錄

特許第七九三五號（延長許可）外十數件併用

大野式防火捲上ヶ戸

〔特許大野式シヤッター〕

主要製品

大野式**シヤツター**
大野式自働防火鎧戸
大野式工場用軸承
大野式轉子入軸筐
大野式轉子入戸車
大野式廻轉軸抵抗測定機
各種防火扉
應用特許機械類
特許不二式**サツシ**受托販賣

合資會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地（電話高輪 三三二二 七七五五番）

（電話土佐堀二七二五）大阪市此花區上福島中二・大阪出張員詰所取付

建築と社會　第拾貳輯　第三號　目次

『レストランとカツフエー特輯號』

◆巻頭　大大阪新態・舊態・梅田阪急終點驛附近……七
時勢は遷る……七
◆歐洲と日本のカツフエーの機能と設備……上野伊三郎……八…一三
◆簡素、清潔、機能的……京都帝國大學技師工學士　大倉三郎……一二…一四
◆レストランとカフエー漫語……京都高等工藝學校教授工學士　本野精吾……一四…一六
◆レストランのキユツヘー……神戸高等工業學校講師　古塚正治……一七…二一
◆レストランの厨房……東京電燈大阪出張所長　松村次郎……二一…二四
◆カフエー照明雜感……石川安太……二四…二六
◆カフエーとレストランの設計及設備上の注意點……宮嗣克二……二六…二七
◆CHIOUITO讃頌……二八…三一
◆近代的グリルと酒場『シヤンゼリゼー・アーケード』……三一…三三
◆リヨンのレストラン『プリエー・エ・ミリエー』……三四…三四
◆獨逸の現代型ダンスホール……三四…三七
◆紐育の『ピアゼツタ』レストラン……大阪市技師　伊藤正文……三七…三九
◆カフエー時代……大阪市技師　伊藤正文……四一…四六
◆日本のカツフエーと外國のカツフエー……工學士　中尾保……四六…四九

米歐の型代現も最も其他一エフツカの

挿畫

圖		頁
一	東洋亭（京都）電燈照明	八
二	和蘭ロツテルダムのカフエー	八
三	南獨逸ケーニツヒスカフエールリの酒場（大阪）其の一	九
四	同　其の二	一二
五	同　其の三	一三
六	同　其の四	一三
七	カフエー・キリン（東京）	一四
八	カフエー・クロネコ（東京）	一四
九	レストラン・松月（東京）	一五
一〇	カフエー・キツネ（東京）	一五
一一	カフエー・パウリスタ（東京）	一六
一二	米國某レストランのパントリー	一六
一三	米國某レストランのLower lift	一七
一四	米國某レストランの臺所設備	一九
一五	米國某カフエー・ルームの配置圖	二〇
一六	京都薬水館　其の一	二一
一七	同　其の二	二三
一八	夢の酒場（大阪）	二四
一九	萬平庵（同）	二四
二〇	赤玉食堂スケツチ　其の一	二五
二一	同　其の二	二五
二二	カフエー・美人座（大阪）	二五
二三	赤玉食堂スケツチ　其の三	二五
二四	美人座のスタンドスケツチ	二六
二五	伯林フロリダ酒場	二六
二六	巴里レストラン・トキイト	二七
二七	巴里シヤンゼリゼー・アーグ！ド	二八
二八	リヨンレストラン・プリエー・エ・ミリエー	二九
二九	獨逸ハンブルグのダンスホール	三六
三〇	紐育ピアゼツタレストラン	三九
三一	レストラン・ド・ラ・フーカレ	四〇
三二	道頓堀エジプト（大阪）	四一
三三	富士屋バー（大阪）	四二
三四	戎橋ニオン食堂其の一（大阪）	四三
三五	同　其の二	四四
三六	カフエーパリジヤン（大阪）	四五
三七		



◇昭和時代の記念物カフエーを建築家は何んと見る？……本間乙彦……五〇
◇カフエーの改善に就て……岡部顯則……五〇…五三
◇歐洲のカツフエー……德政金吾……五二…五四
◇唯物史觀とカフエー……高林幸太郎……五四…五八
◇カフエー狂進曲……足立圓次郎……五八…六〇
◇ありし其の頃のパノン……鶴呆二……六〇…六一
◇看板から見たカフエー……1・2・3……六一…六三
◇レストラン、カツフエー座談會……六三…七六

附錄

◇國際建築集……
◇京阪神建築集……
寶塚舊溫泉　大阪・をぐら屋商店
◇會報……
◇本誌廣告目次……
◇編輯後記……新刊紹介……

繪口

◆京都ホテルグリル……一
◆大阪・朝日軒……一
◆京都・東洋亭（其の一）……二
◆同（其の二）……三
◆大阪・野田屋食堂（其の一）…四
◆同（其の二）……五
◆京都・レストランおけぼの…六

三八　モンマルトルの露天カフエー　四七
三九　モンパルナスのカフエークーポン　四七
四〇　カフエー・ダルクール　四七
四一　戎橋パリジヤン（大阪）　五〇
四二　千成食堂（大阪）　五一
四三　紅白食堂（大阪）　五一
四四　カフエーすゞめ（大阪）　五一
四五　南濠ハイデルベリツヒの酒屋　五二
四六　巴里の鴨料理屋　五二
四七　ミユンヘン王室醸造所のバー　五二
四八　獨逸の某バー　五二
四九　巴里のなめくじ料理屋　五二
五〇　カフエーやつこ（大阪）　五五
五一　ダンスの酒場　其の一（大阪）　五六
五二　同　其の二　五七
五三　カフエーミカサ（大阪）　五八
五四　灘萬ジヤズバンド（大阪）　五九
五五　松島ユニオン食堂（大阪）　五九
五六　明治四十四年頃のパノン（大阪）　六〇
五七　山の喫茶店　習作　六四
五八　同一建物に現れた酒場の變遷　六五
五九　野田屋食堂（大阪）　六六
六〇　夢の酒場（大阪）　六六
六一　弁橋ユニオン食堂（大阪）其の一　六七
六二　同　其の二　六七
六三　カフエー村井（大阪）　七一
六四　カフエーひさご（大阪）　七二
六五　カフエーアマアチュアー（大阪）　七二
六六　黒猫バー（大阪）　七一
六七　戎橋美人座（大阪）　七二
六八　赤玉食堂（大阪）其の一　七三
六九　同　其の二　七三
七〇　同　其の三　七三
七一　南海食堂（大阪）其の一　七三
七二　同　其の二　七三
七三　梅田ピヤホール　七四
七四　城の酒場（大阪）其の一　七四
七五　同　其の二　七四
七六　鳩の巣バー（大阪）　七五
七七　高橋食堂（大阪）　七六

小野田白色ポルトランドセメント

小野田ポルトランドセメント

創　立　明治十四年
資本金　金参千万円
年産額　八十八万瓲(五百二十万樽)
本社工場　山口県厚狭郡小野田町

支社工場
大連市外周水子
朝鮮平壌府外勝湖里
朝鮮咸鏡南道線川内里
名古屋市南区熱田東町



一手販賣
三井物産株式會社





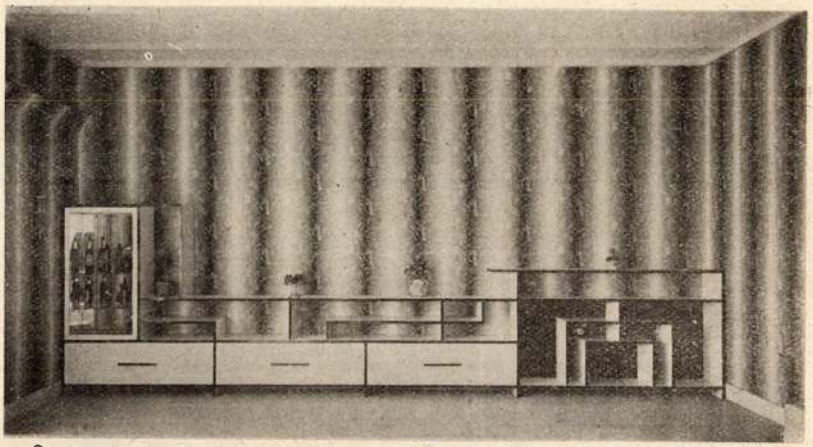


上・京都ホテルグリル
合資會社清水組設計

下・大阪・朝日軒
小笠原銅氏設計



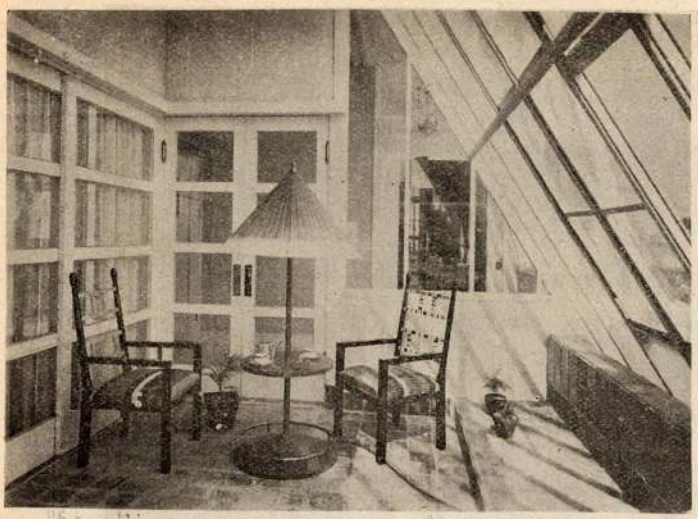
1



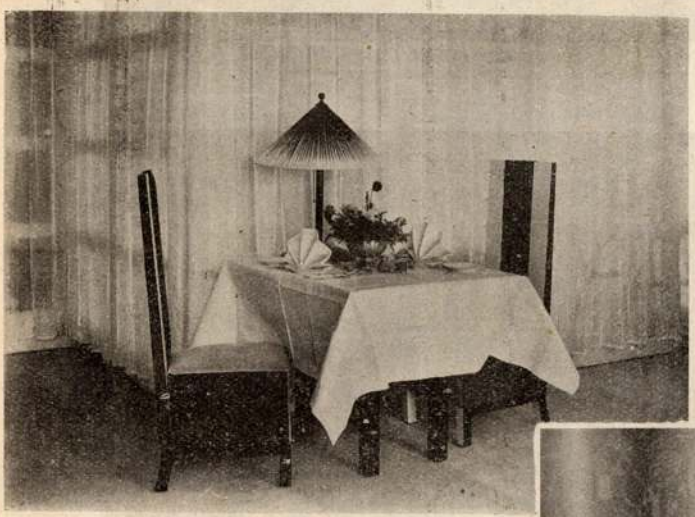
2

京都・東洋亭
上野伊三郎氏設計監督

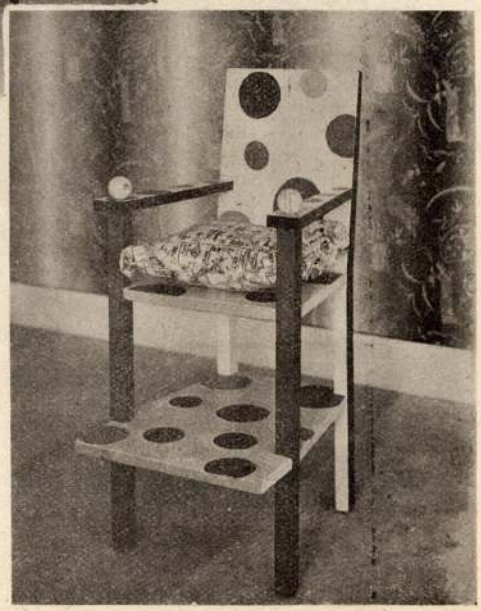
1 食堂
2 飾棚



1



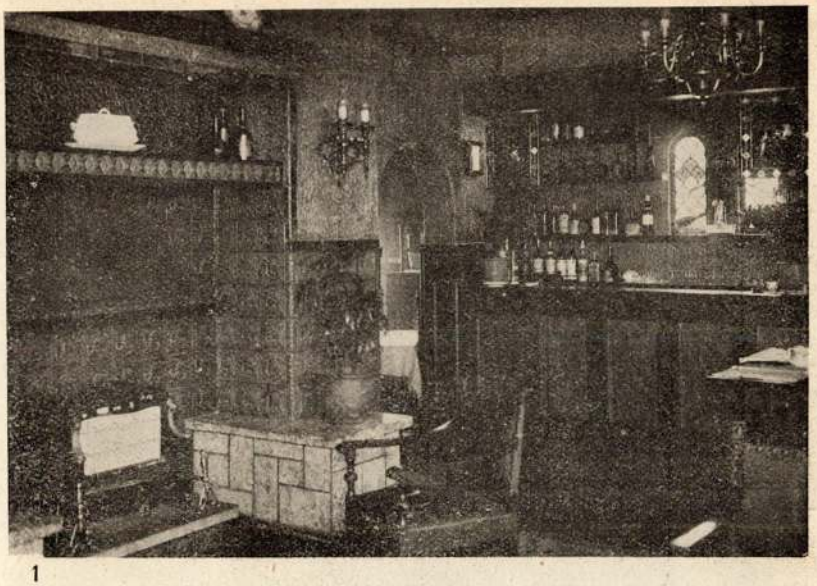
2



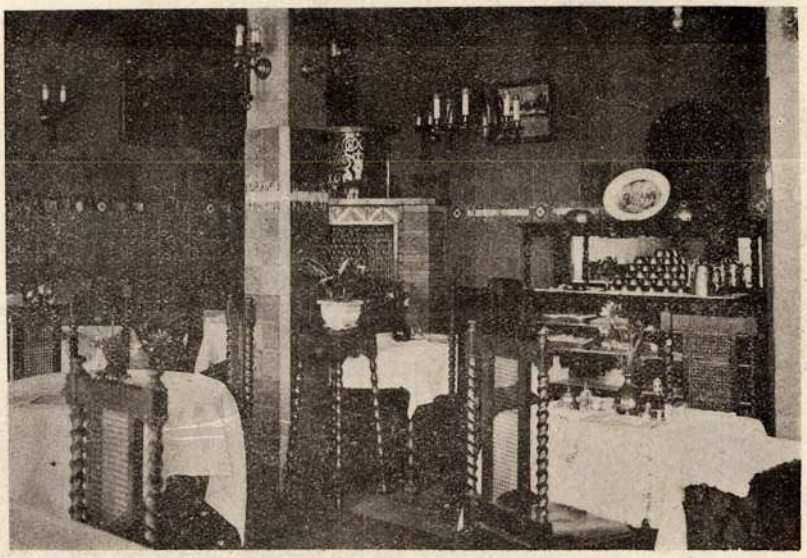
3

京都・東洋亭
上野伊三郎氏設計監督

1 休憩室
2 食 卓
3 小供椅子



1



2

大阪・野田屋食堂
小川安一郎氏設計

1　二階酒場兼待合室の一隅
2　二階一般食堂の一隅

1



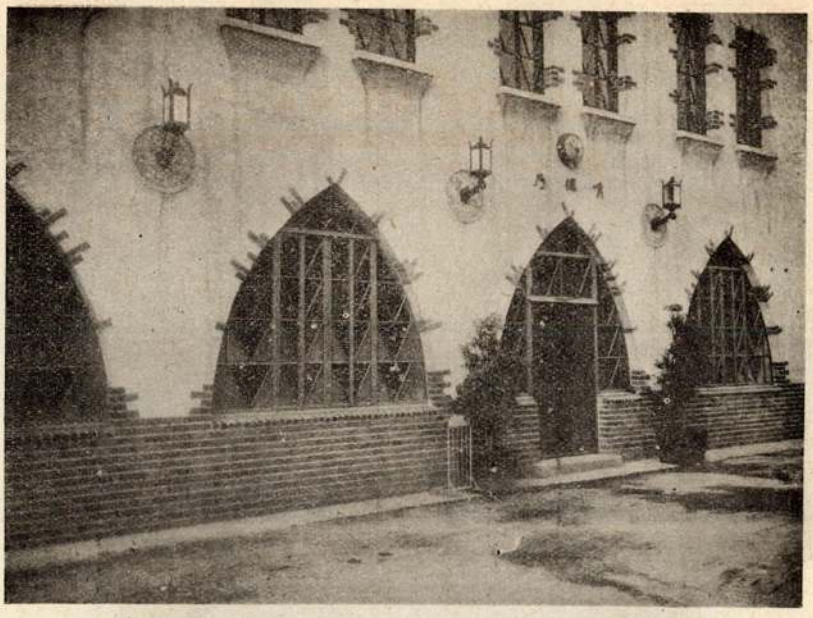
2



大阪・野田屋食堂
小川安一郎氏設計

1 三階大食堂の待合室
2 三階大食堂一隅

1



2



京都・レストラン・あけぼの
松村次郎氏設計

1 外觀
2 三階食堂

夏ノ蚊蟲ノ

ロールスクリーン

近來模造品多數あり本品御指定ありたし

Rolscreens

The Ideal Screen For Casements

特許第74197號



（型錄贈呈）

島貿易株式會社建材部

日本總代理店

本店　大阪市東區高麗橋四丁目
電話本局自五〇四〇—至五〇四七番

支店　東京市日本橋區平松町
電話日本橋　二二四番　三一六九番
三一六八番

晝は蠅、夜は蚊と

夏は閑靜な郊外の住宅に在つても中々に快よき休息は出來かねます。これ我が優美輕便な**ロールスクリーン**の御使用を切に御薦めする所以であります。

從來病院や郊外住宅や又は料理場などで、窓の設備中最も苦心して來たものは實に**スクリーン**の問題であります。即ち傳染病の豫防とか、夏期蠅や蚊や、其他色々の虫類が飛込んで來るのを防いだり、又工場地帶で煤煙防止の必要な場所などには、是非共此の**スクリーン**の用意をして置かねばなりません。

然るに此迄のものは、何れも取扱上の不便や、不體裁の點や或は又、不經濟などの點で、其必要を生ずる都度、頭痛の種となつて居たものであります。

此の久しい間の、難問解決の使命を果たすものこそ、實に我が**ロールスクリーン**の出現及び提供であります

◆耐震耐火—品質優良—優美高尚—價格至廉◆

金屬天井



金屬天井御採用の三菱銀行東京本店

營業種目

◆建築材料部
- ▲金屬天井
- ▲リブプレツクス（リブラス）
- ▲コーナービード
- ▲内外メタルラス
- ▲タイガーボード（耐火石膏板紙）
- ▲船來ウオールボード各種
- ▲ルーフキング（便利瓦）
- ▲アスファルトフェルト
- ▲其他建築材料一般

◆木材部
- ▲米材各種
- ▲チーク材
- ▲ラワン材
- ▲床板各種

◆穀類部
- ▲内外小麥粉
- ▲内外麩
- ▲内外米

◆工業部
- ▲製粉工場
- ▲製米工場
- ▲金屬鈑工場

型錄進呈

◆田村商會創始
◆參拾五年經驗
◆施工全部請負
◆特殊圖案製作

田村商會工場

本店
神戸市榮町六丁目
電話元町（五〇一、五〇二、五〇三、五〇四、五〇五）

支店
大阪市西區靱上通り一丁目
電話土佐堀（六八八〇、八八一〇）
東京市日本橋區元四日市町
電話大手（三七〇五、六三六〇、四六七一、二五二六）
横濱市港町一丁目
電話長者町 二五四〇
北米晩香坡市ダンレビー街
電話 八八一

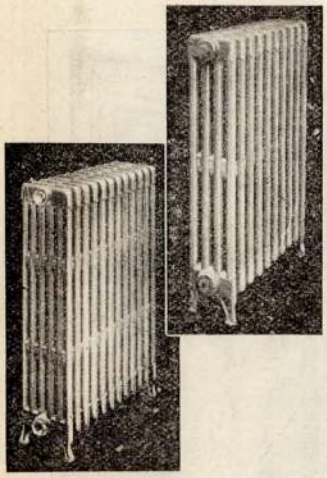
工場
神戸市兵庫新川
電話兵庫（九一、二四〇三、二四四、六四〇）

AMERICAN RADIATOR COMPANY
NATIONAL RADIATOR COMPANY

アメリカン ラヂエーター會社製

ナシヨナル ラヂエーター會社製

煖房用汽罐放熱器及附屬品一式



Ideal Classic Radiator



Ideal Red Jacket Boiler



Ideal Airid
Air Valve



No. 999 Arco
Packless Valve

日 本 代 理 店

大倉商事株式會社

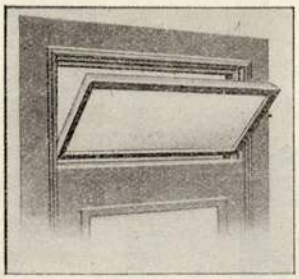
東京銀座　大阪東區釣鐘町

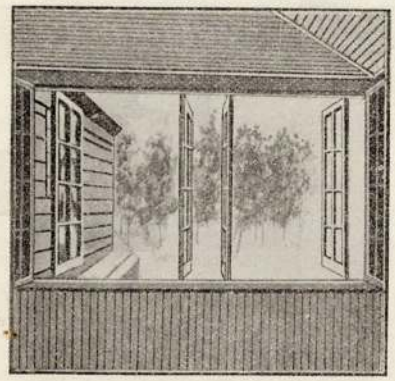
ホイットコー……素的に好い金物です

CASEMENT WHITCO HARDWARE

外開窓・回轉窓・欄間用としては
是以上の金物は他にありません。

下圖はホイットコーにて釣れる
ウインドウ及ランマの數例です





◇春夏秋冬……四季を通じて開閉、通風、換氣、採光、保溫耐久、拭掃除にも頗る便利!!



米國ビンセツトホイットニーカンパニー日本總輸入元

近江セールズ株式會社

大阪出張所　大阪市西區土佐堀一丁目大同ビル七階一號室
電話土佐堀五三八四番

大理石

貯藏石材製板豊富
諸機械設備完全
尚伊太利産石材モ多數在庫ニ付キ御下命ヲ乞
期限確實施工入念

大理石工業株式會社

大阪市港區市岡町（市岡元町停留場南）
電話西七六七番　西八〇三番

大理石工業株式會社東京出張所

東京市本郷區駒込富士前町八〇
電話小石川七三七八番

創業　明治二十六年
製造最大能力　二千五百萬斤

營業品目

印銅、眞鍮、輕銀、輕合金アルモデユール板類、
輕銀各種器物、ストツプバルブ並ニ特許分銅屋根板

壁張
分銅屋根板
應用

特許

分銅屋根板

分銅屋根板は經濟的であります

現今一等瓦參拾圓モスルニ比スレバ約六割ノ貳拾圓內外デ立派ナモノガ葺上リマス尙坪當リ葺上拾四圓位ヨリ出來マス

分銅屋根板は體裁優美であります

普通銅板ニ特殊加工ヲ施シテアリマスカラ體裁ハ極メテ優美デアリマス

分銅屋根板は應用範圍が廣い

本葺瓦棟葺棧葺平葺四半張綾目張等ハ勿論壁張腰張等ニモ至極適當ナモノデアリマス

（型錄進呈）



日本伸銅株式會社

大阪市北區天神橋筋四丁目

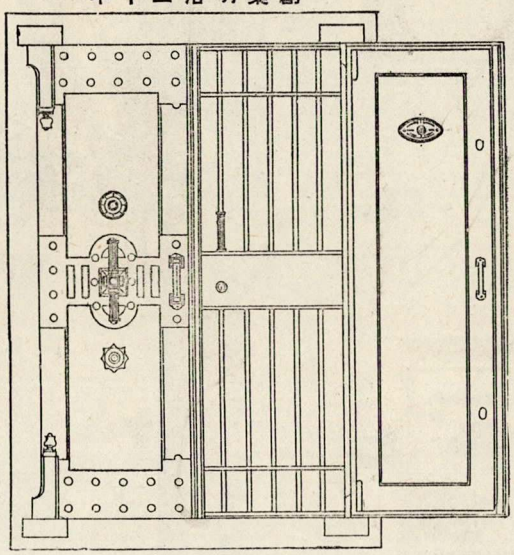
堀川 (35) 自三三一 至四〇六 番

（夜間及休日專用）

創業明治二十年

新案特許 **火焰遮斷裝置防火扉**は

國立大阪工業試驗所に於ける耐熱試驗の結果
最高温度攝氏壹千貳百八拾度
連續加熱七時間十五分の新記録を示せり



金庫室防火扉

金庫室は完全なる扉と
内部什器（書棚及書函）の
鋼鐵化に因り始めて絶對的
災害防止の効果を實現す

御用命を蒙り納入せる尊名

營業科目

金庫室入口防火扉
マンホール幷ニ窓扉
倉庫出入口防火扉
鋼鐵製書函並ニ書棚
美術建築用金物一式

日本銀行名古屋支店
三井銀行
三十四銀行
山口銀行
野村銀行
加島銀行
名古屋銀行
明治銀行
大垣共立銀行
濃飛農工銀行
蘇原銀行
濱松銀行
中埜銀行（愛知縣人）
野銀行
灘商業銀行
武庫銀行
西海商業銀行

久美濱銀行
大垣貯蓄銀行
大阪貯蓄銀行
内國貯金銀行
吉備貯蓄銀行
野村證券株式會社
野村合名會社
奈良信託株式會社
東邦瓦斯株式會社
三井信託株式會社
三井物産株式會社
大日本人造肥料株式會社
豊國火災保險會社
東洋海上火災保險株式會社
三菱電氣神戸製作所
松阪屋呉服店
岡谷合資東京金物部

岡谷本邸（名古屋）
萩町信用組合
株式會社鹽野義商店
武田長兵衛商店（株式會社）
八馬邸（芦屋）
竹内邸（芦屋）
安藤商店（名古屋）
池田商店（名古屋）
岩津邸（名古屋）
瀬邸（京都）
平三邸（呉市）
西郷邸（京都）
宅邸
西宮市廳舍
多聞合資會社
中村邸（魚崎）

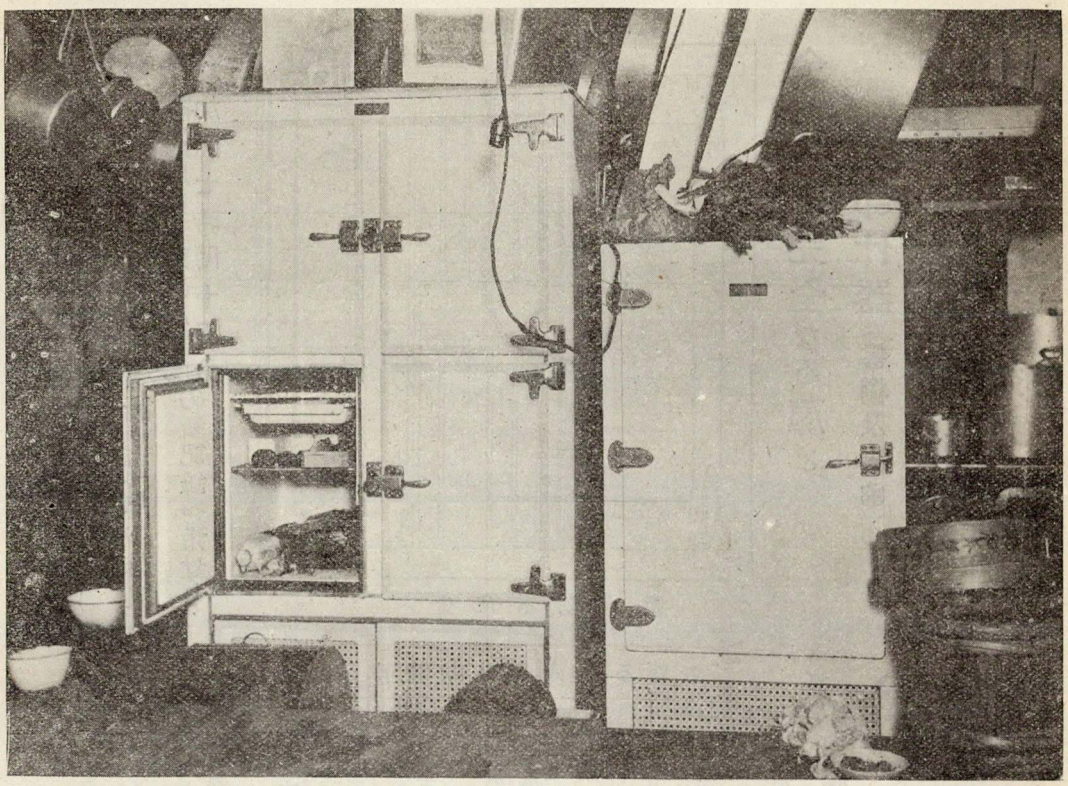
大阪市港區九條南通一丁目一三〇番地

大塚鐵工所金庫部

所主 瀧村松之助

電話西五〇一七番

工場 | 九條南通一丁目 | 三軒家上之町 | 北境川町



京都大丸食堂調理部御採用ノ大小十一臺ノケルビネーター冷藏機使用一部之景

現代ノ食堂
臺所ノ必需品

ケルビネーター

自動電氣冷藏庫

何故!!!

冷藏サレル食料品ガ何時モ生々シタ味デ保存サレマスカラ御客様ヘ新鮮ナモノヲ供スル事ガ出來マス經費ハ氷ノ冷藏庫ノ約1/4デ足リマス

美味デ!!! 經濟ニ!!! 御客様ヘ

氷ハ全クイリマセン電氣サヘアレバ何處デモ使用サレマス

一度スウキツチヲ入レサエスレバ何時迄モ溫度ガ上ツタ時ハ電氣ガ働キ溫度ガ下ツタ時ハ電氣ガ休ミ自動的ニ運轉サレマスカラ何等ノ手數モナク從ツテ何人ニモ使用サレマス

京都市東山松原

上野製作所冷藏機部

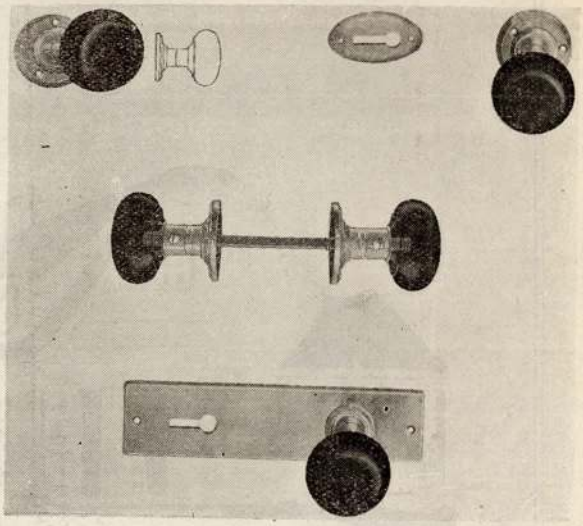
電話祇園(6)一一八八
九八

振替口座大阪二九九七〇番

近代科學が生める理想的ハンドル!!



▼本品發賣直ちに京大武田博士邸竹內栖鳳畫伯邸其の他各方面より多大注文に接せり▲



本品は近代科學の新製品**アルデヒード**の化學的合成物により作られたもので從來**ハンドル**の幾多使用上の缺陷を全然補ひ實用上實に理想的優秀品として專門大家の御推奨を蒙りつゝある品であります。

(1) 強靱にして優美であります

本品の硬度は象牙水牛角に類して優美なる光澤あり表面滑澤硝子陶器と同じく曇りを生ずることなく色は材料からで褪色破碎の慮は絶對ありません所謂硬質漆器の稱があります

(2) 耐酸耐鹽であります

本品は強酸性(硫酸濃酸)等に浸るゝとも其の面に何等の變化を見ませんから如何なる消毒劑にも侵されません

(3) 熱の不良導體であります

熱に對して攝氏100度以下に於て其の型に歪も變化もありません又熱の不良導體でありますから酷寒地方の**ハンドル**として至極適當せる品であります

(4) 電氣には完全な絶緣物であります

本品は電氣には極くよい絶緣物で硝子陶器と匹敵します

(5) 色の變つたものがあります

本品には特殊色素の混入で優美な感じのよい色に採色した品がありますから御使用の場所によりて御撰澤が御便利であります

(6) 永久に手入が入りません

本品は金屬製**ハンドル**の如く**サビ**や汚染の爲に絶えず手入する必要がありませんから住宅向用品として至極適當であります

(7) 特撰NSK嵌込錠

材料を吟味し鍵違ひ無數**マスターキー**使用

頗る感じの好い色の撰擇が出來るNSKハンドル
永久に手入の要らぬ強くて麗しい近代科學の新製品

京都市洛西花園宮ノ上町

製造販賣元 **日昭商會**

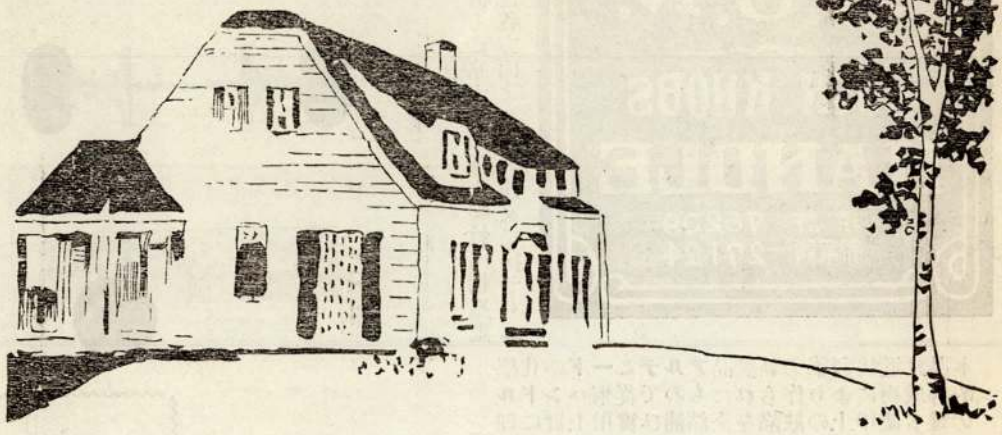
電話西陣(4)四四五二番
振替大阪八四五六三番

東京販賣所 湯淺七左衛門商店 日本橋區通油町
大阪販賣所 湯淺七左衛門商店 堺筋長堀橋北詰
名古屋販賣所 岡谷惣助商店 中區鍛冶町

營業課目

NSK印嵌込錠
硬質漆器製品
硬質漆器製建築器具
電氣絶緣材料及器具

カタログ贈呈



コンクリート建造物の防水と美装

◉槌印コンクリートペイントの推奨

事務所、住宅等總べてのコンクリート建造物の內外壁は本塗料の塗裝により完全に防水と美裝の效果を揚げ得る事が出來ます。

新らしい設計にて是非御採用を願ひます。

見本說明書
塗見本帳　贈呈

製造元　日本ペイント製造株式會社

發賣元　大元商會

大阪市西區薩摩堀東町
電話新町長二一六五
二二一六

小野田セメント専用
セメントタイル
セメントモザ井ツクタイル
コンクリートタイル
ストンブロック
模造ゼンタームム
塀用ホーローブロック
其他各種人造石製造

大阪市港區大正通一丁目六三

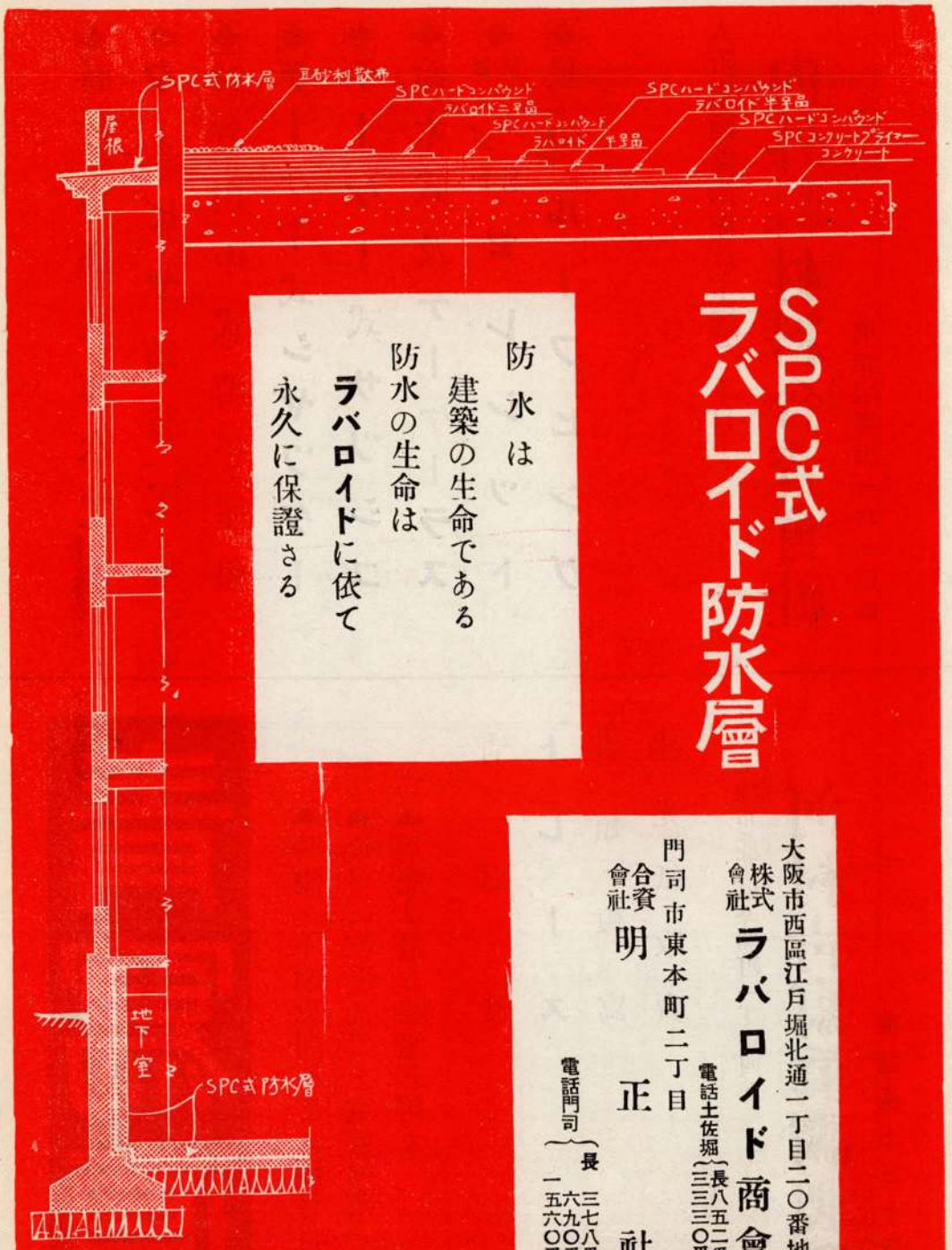
創業明治三十六年　合名會社　田中タイリング商會

分工場　大阪市東成區鳴野町五一一　電話櫻川二〇四七番
東京工場　東京市深川區東平井町一ノ一　電話本所四六六二番

淺野波形板


母屋が木質でも鐵骨でも
野地板がなくも勾配が緩
くも取付られる
天下無敵の屋根材
淺野スレート株式會社
東京 大阪 門司 名古屋 札幌
電話 一八六〇 一八六一 一八六二
電話 北五五〇 八二 八三
電話 二九三一 二三八
電話 一〇九七
電話 長五九八
弱靱の石綿セメント製ゆ
ゑ下見・内壁・天井・間
仕切壁等に用ひて
比類なき最敵品

淺野壁板



SPC式 ラバロイド防水層

防水は
建築の生命である
防水の生命は
ラバロイドに依て
永久に保證さる

大阪市西區江戸堀北通一丁目二〇番地
株式會社 **ラバロイド商會**
電話土佐堀（長八五二番 三三三〇番）

門司市東本町二丁目
合資會社 **明正社**
電話門司（長三七八番 六九〇〇番 一五六〇番）

◆特許山添式防水工事
◆ターピヤ鋪裝工事
◆特許田中式硝子屋根
◆デーケー式シヤツター
◆デーケー式サツシユ
◆鈴木式及デーケーラス
◆セメント防水料セレシット
◆星印ルーフヒング

大阪市西區南堀江下通二丁目
内外土木建築材料合資會社
電話(櫻川一六一〇番

青寫眞

▲晴雨を不論夜間にても燒付得る
▲燒付に乾燥凡てを電氣應用
▲集配は最も敏速を期す

青寫眞
トレース
書類複寫
感光紙販賣

大阪市此花區今開町二丁目四九
河村青寫眞調製所
電話長土三七四二(ナヨブ)

日本ペイント

創業明治十四年

萬歲號の商標
並に
罐の塗色
登錄に就て

萬歲號の商標は、**萬歲**、**萬々歲**
君萬歲、**萬代**等夫れ々々
登錄せられ、又**表裏全體**
の圖形も**全面登**
錄を受け特に其
塗色（群青色）は
着色限定の登錄
濟となりました

模倣、類似等で法規に觸れる人がありましてはお氣の毒ですから特に
謹告致します







東洋最大之工場

大阪　東京

純國産

ニュース印（日本ドアーチエツク製品）

扉閉鎖器（ドアーチエツク）各種

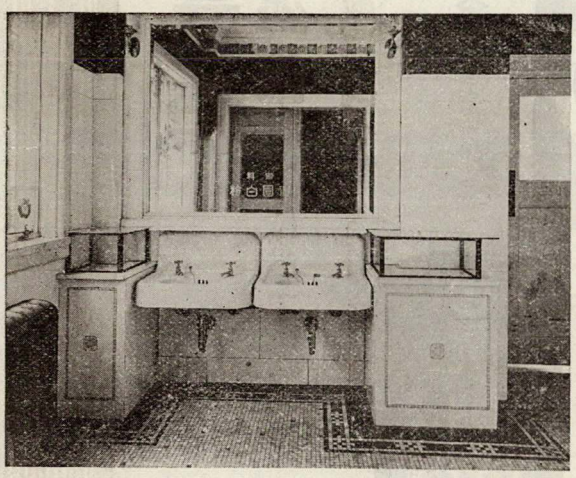
重なる納入先

農林省	大阪朝日新聞社
八幡製鐵所	大阪毎日新聞社
大阪鐵道局	大阪遞信局
呉海軍工廠	寶塚ホテル
株式會社大丸	大林組
丸龍市役所	清水組
大阪商船會社	大倉組
大阪鐵工所	大阪高等工業學校
明治海運	其他省略

發賣元

合資會社 **高陽商店**

大阪市西區立賣堀南通四丁目
電話新町四三九六番
振替大阪二一二五二番



便所…化粧室…湯殿

ビトロライトは永久に、汚染、腐蝕變質、クラツク等の憂は絶對にないと云ふ理想的の貼瓦材であります。これを便所に使用してはじめて衛生的と云ひ得るものではないでせうか

ビトロライトの大きさ

3尺×6尺

色合…白、黒、アイボリー、ジエイト

大阪市浪速區櫻川町一丁目一〇五四番地

大阪ビトロライト工事合資會社

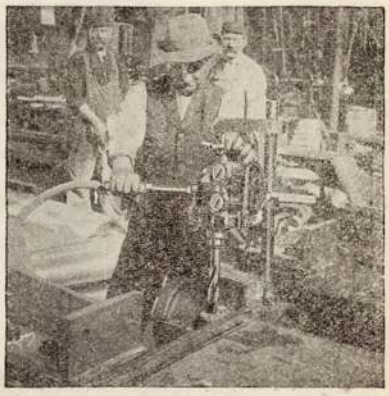
電話櫻川二二一四番

出張所　東京市日本橋區江戸橋二丁目二番地　電話日本橋(24)〇九六九番

Cleveland Pneumatic Tools



至極經濟的で最大能率を有するクレコ、ツール



振動なく最大の力とスピードを以つて作業をなし特に空氣使用量の僅少なる事はクレコ●エアーツールの誇りとする點であります。堅牢なる構造を有し經濟的にして優秀なる能率を發揮するクレコ●エアーツールは貴下の作業能力を倍加致します。各種リベッター・チッピングハンマー●エアードリル及グラインダー●ランマー等各種詳細御照會を乞ふ。

The Cleveland Pneumatic Tool Co.

東洋總代理店

株式會社 アンドリユウス商會

(創立 明治二十七年)

本社 東京市芝區芝公園五號地二ノ五

支社 大阪市西區江戸堀南通三ノ一八

名古屋・小倉・札幌・京城・大連・紐育

鐵丹

チヨコレート色

【用途】

舗床、壁塗用
スレート用
セメント瓦斯タイル用
其他セメント加工品用
建築材料用
各種塗料用

一柄辨・黒
一綠・黄

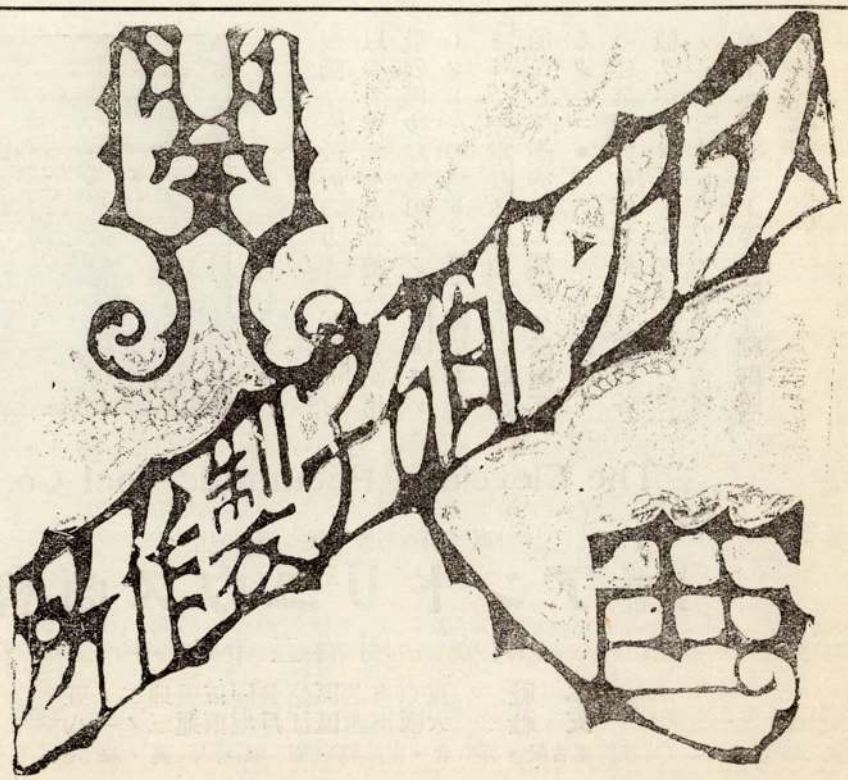
並に

TYK

合資會社 東洋鑛粉所

大阪市西成區津守町六壹壹
（高野線木津川驛際）
電話櫻川四二四六番

東京營業所
東京府下淀橋町角筈六六八
電話四谷七八六番



大阪市港區市岡町五三二
關西ステンドグラス製作所
電話西二二三四番

NIPPON ELEVATOR CO.



營業科目

一般輸送機械
ホイスト
ロープホーレージ
エスカレーター
ケーブルカー
各種コンベヤー
エレベーター各種

設計製作

大阪市東區中道川西町

日本エレベーター製造株式會社

電話東 (94.) 2367.3805 番

取締役社長 工學博士 片岡安

專務取締役 工學博士 堀覺太郎

東京支店

東京驛前丸ノ内ビルディング四階

電話丸ノ内 (23) 3073.3074 番

專賣特許 東松式外二拾八件

冷藏防熱用（製産高／工場設備）**東洋第一位!!**

住宅敷物用、リノリユーム下敷用

炭化コルク



東洋工業株式會社
コルク部

本社及工場　廣島市吉島町
電特長一七九二

大阪出張所　大阪市北區堂島濱通一丁目百十番地
電話北一三八九

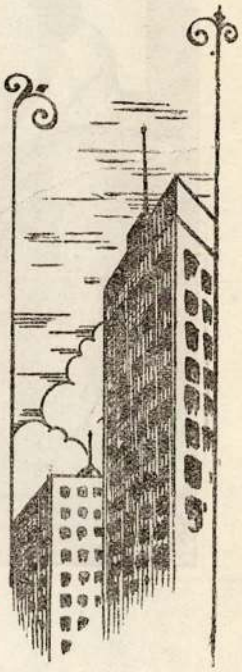
東京出張所　東京市神田區豊島町七番地
電浪花八五三番

地方特約店募集

TRADE MARK 富士印

斯界の代表的色セメント現る!!





富士粟色セメント
富士黄色セメント
富士空色セメント

◉型錄見本御一報次第御送附致します

豊國セメント代理店
專賣特許 富士黄色セメント
專賣特許 エキタイト防水劑
製造發賣元

大阪市東區備後町一丁目四十番地
灰久本店
(新建材部)
電話本町二五三番・振替大阪一〇一三〇番

工場 兵庫縣尼ヶ崎市松島
電話尼崎二五七番

特長

一、色調は明快にして變色の憂なく永久的美觀を保つ

二、強度 耐伸耐壓及硬化時間等は一般セメントに等し

三、防水性なるが故に外裝モルタルに最も適當なり

四、價格大量生産販賣なれば極めて低廉なり

◀ 京都府警察廳舍內施工



アホイ式フローリングブロック
丸上式リソード床張の圖

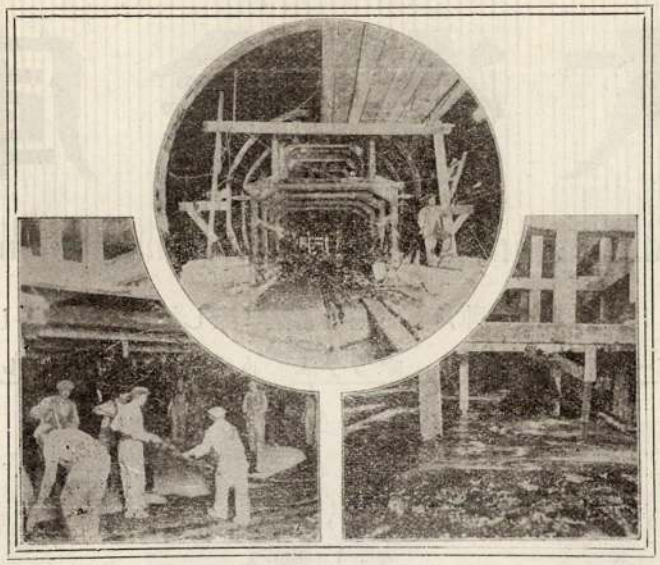
理想的根太無床板

專賣特許第一七一號　新案特許第三三二二號

專賣特許	實剝	特許葵式淨化裝置	衛生工事
練革床	槍床板	水道、衛生工事	
特許ピトリウム床		タイル、衛生陶器	
特許ピトチック內外壁			

葵商會

大阪市港區境川町四丁目四十番地　電西〔長〕四一九六
東京營業所　東京市京橋區木挽町一ノ一三　電話京橋三九五・九三二



紐育ポストン地下鐵道「ミンワックス」防水施工狀況

『防水とは何ぞや』と問ふ人あらば、簡單明瞭に答へませう、それは『水の浸入と浸入によつて起る構造物の破壞を防ぐ設備』を言ふのでありますが

判り切つて居りながら、尚且つ水に困つて居らるゝ向を散見致しますので、そう言ふ方面には是非

責任施工を賣つてゐる

ミンワックスにお任せ下さい。

ミンワックスとは今や　防水の代名詞

代理店

大阪・東京　島貿易株式會社

朝鮮　株式會社伊藤商行

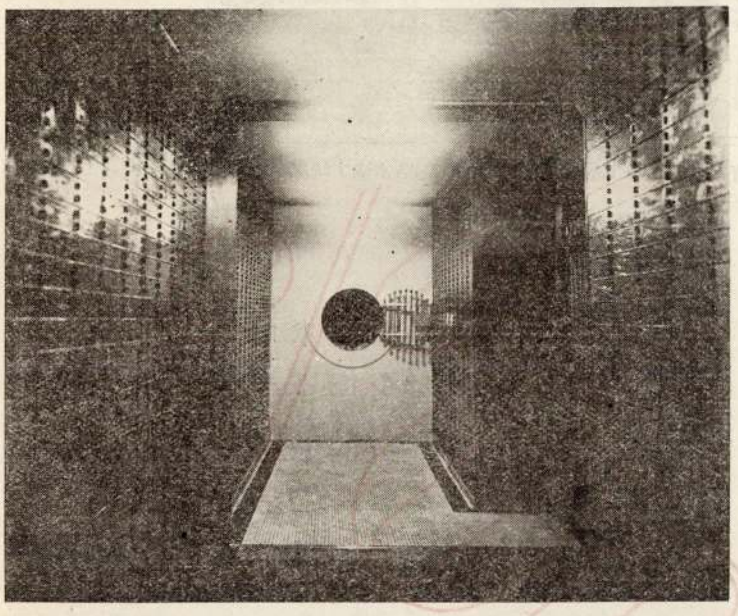
大連　株式會社原田組

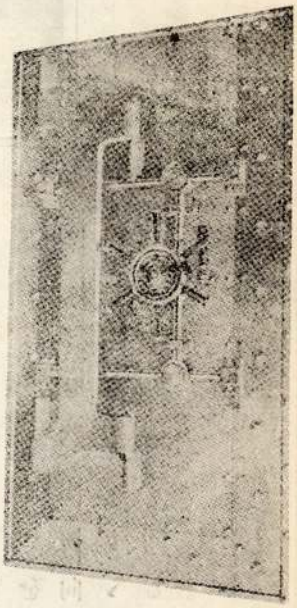
ミンワックス會社
日本特派事務所

大谷金庫

下圖は日本興業銀行神戸支店殿御新築に際し納入の榮に浴したる

大谷製 **セーフ デポヂツト ボツクス** 並に **セーフ ボールド ドワー**





株式會社

大谷金庫店

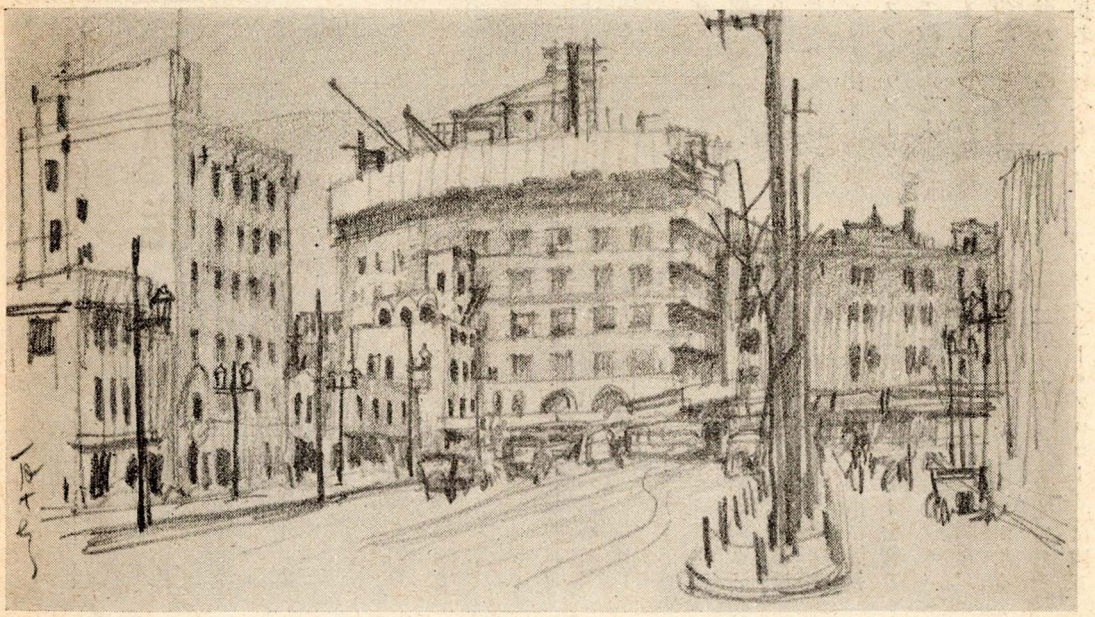
大阪支店 大阪市東區堺筋平野町停留所前

電話本局三九三四番

其ノ他

本支店 東京・京都・神戸

レストランとカフエー號



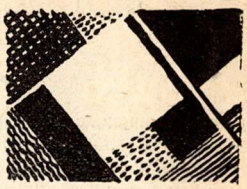
大大阪新態，舊態，梅田阪急終點驛附近

時勢は遷る

『ボンケリー』は時の經過に微妙な心靈の琴線をおののかして自己を內省し世想を音樂的リズムに表現した。空間を占有する建築にも時はたゆみなく流れてゆく。今都市の一部を獨占して近代的生活の一反影としての『カフエー』と『レストラント』之も時の力に依つて生れた時代思想の產物であり表徵でなくて何であろう。

紅燈綠雨は赤い灯青い灯と變遷した。そこには大きな時の力が牽引してゐる。之を單なる現象として看過するには餘りに我々は人生に不忠實ではあるまいか、時勢は遷る……『カフエー』と『レストラント』が產聲を上げてから已に約二十五年の誕生を經た我々は今こゝに『オルガン』から『ジヤズ』になつた享樂の過程を詮索するのではない。それ等を包む建築の推移を糺明して明治大正を經た第三期に於ける此種の文獻を編して些か斯界の爲めに且は來るべき後の世の人の忍び草に、犬馬の勞を執るのみ。

（久）



歐洲と日本のカツフエーの機能と設備

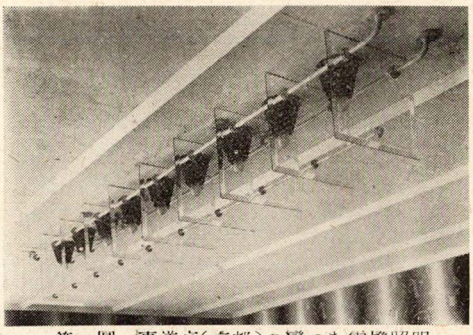
上野伊三郎

現代日本の世相を特色づけるもの、一つに『カツフエー』がある。西洋から入つて來たものであるが日本獨特の形で發展してゐるが先づ順序として歐洲での昔をハンドブツフ、デア・アーキテクツーアに據つて畧記してみると

コーヒーはエシィオピアから出てシリアとアラビアに持ち來されてドシ〳〵と他國へ擴がり上下の差別なく嗜好せらるゝに到つたもので、既に十六世紀初頭には『カィロ』にカツフエーが出來、同世紀中等にはコンスタンチノーブルに出來た。そして敎養ある人士の集會所となつたもので智識の學校と稱せられて居つた。その爲めに回敎寺院は追々淋れてゆくような狀態となつた。長老の敎へも、コーヒー使用の禁止の特許もドン〳〵と殖えてゆくカツフエーの勢ひを妨げることが出來なかつた。間もなくコーヒーは歐洲にも輸入され一六四五年にはベネチアにカツフエーが出來、一六六六年にアムステルダムに出來た。その十年前にはロンドンのサン・ミケールアレーに今のヴアージニアカツフエーハウスの前身たる『パスクワロセー』が創業した。フランスでは一六七〇年に或るアルメニア人がサンジアーメンの年の市に最初にコツプに入れたコーヒーを賣り出した。一六七一年に或るアルメニア人がパリで第一に店を開き、數年後伊太利人のプロコピオなる者が第二のカツフエーを開いた。『カツフエー・プロコーブ』は四五十年前迄パリに存在して居つた。

一六八八年にルフエヴルの創業したカツフエー・デ・ラ・レガンスも最近迄存在した。こゝは有名なフランス人デイベロー、グランベール、ヴオルテイル、ロベスピエール、ナポレオン、ボナバルトもこゝによく來たと云はれてゐる。

一六八三年にウキーンの圍みが解かれた時間諜として殊勳のあつたホーランド人コルシツキーがウキーンにカツフエー・ハウスを設けることを許された。この家はウキーンの最も華美なカツフエーハウスの一つとして知られたカツフエー・ドウ・ロイロープの邊にあつたと云はれてゐる。



第一圖　東洋亭(京都)の變つた電燈照明
上野伊三郎氏設計

都會から都會へと例を追つて擴がつて行つて一七二一年には伯林にも最初のカツフエーハウスが現はれた。

以來カツフエーハウスの流行を來たしたことは驚く可き勢ひで、ウキーンツ子とパリツ子はカツフエーハウスなくては生きてゐられないと云ふことになつて來た。

◇

パリのカツフエー(CAFE)はクラブのように使用されて居て客は友人と話し込んだり、手紙を書いたりして、時の過るを忘れ、時の過るを惜んでこの愉快な空氣を享樂してゐる。然し店によつて自づと二種位に別れ或店は早朝から開いて、コーヒーとパンに半熟の卵といふ朝食を提供して夜は相當の時間に閉鎖してしまふが或店は午後から開いて深夜に及ぶ。

フランス系のカツフエーの特色と云ふ可きは夏冬に係らず家の外迄客席を配置して、客は往來の人を眺め乍らコーヒーを喫することである。冬には硝子で圍ふものもあるが吹き曝しのものもあつていづれも煖房には簡單なストーヴを設

備してゐる。屋内は可なり立派に裝飾してゐるものもあり食事も出來るようになつてゐるのがある。

パリでブラース・ド・ロペラにあるフカエード・ラ・ペーは最も有名で、こゝに座つてゐるといつでも世界のあらゆる人種を見ることが出來ると云はれてゐる。カテル、ラタン方面には藝術家の常連で成り立つてゐるようなカツフエーもあつて、吾々黄色人種が座つてゐると向側に居る藝術家のスケツチブックに知らぬ間に多くの材料を與へてしまふ。フランスのカツフエーで面白いのは、下皿に一フランとか六十サンチームとか値段がついてゐることで四つも五つも飲むと給仕（ガルソン）は上の茶碗は持つて行つてしまふが下皿は順々に重ねて置いて行つてそれによつて勘定する事我が國のウドン屋に似てゐる。又一般にフランスの習慣として他人の面前で接吻したり、男女抱擁することは平氣で、その爲めか座席を高い衝立で仕切るようなことは見受けない。テーブルは大てい白大理石か白いビトロライトの類を甲板としてゐる。椅子は可なり簡單な曲げ木細工製位のところを多く用ゐてゐる様である。

ウキーンのカツフエーハウスも早くより店を開くものも午後から開いて深夜に及ぶものもあることパリのものと似てゐる。こゝで簡單な食事をしようと思ふとフランクフルター・ウルスト（ソーセージの一種）にパン、又は卵を得る位でそれ以上はレストランへ行かねばならない。



第二圖 和蘭ロツテルダムのカフエー
建築家 J. J. P. OUD

ウキーンのカツフエーの自慢はカツフエー・ミツト・シユラノクザーネ（牛乳ミルクを泡立たせたものを掛けたコーヒー）で內外人の共に賞讃する處となつてゐる。カツフエーハウスの多い事パリ以上で一町內に必ず一軒以上はあると云はれる位で、晩春から初秋にかけてパリのように屋外に椅子テーブルをならべ、良い色の笠のあるテーブルスタンドを置いて美しい光景を展開する。

ウキーンでもカツフエーは矢張りクラブ式色彩を持つて居て、いつも建築家や工藝家の集る家、劇關係者の集る家、銀行家の集る家等夫れ〴〵一定してゐる。建築家としてホフマン先生の如きも大のカツフエー黨で一日の仕事の時間が過ぎると男女弟子を連れてカツフエーか酒場に行き興が乘ればいつも携帶のセクションペーパーのブロックにスケツチを試みられたりする。

家によつてはクラブ員の爲めに貸切りのクラブ室を有するものもあり、又撞球臺を備へたものも多く、大きな家では七八臺も備へてゐる。又新聞雜誌のあらゆる種類を揃へ客の閱覽に供し、其他將棋の類迄備へてゐて自由に客に使用せしめる。

◇

商業中心地では朝から夕方迄商談の客に賑つてゐる。伊太利のラベンナに滯在した時そこのカツフエーが商業取引所と同一の役をしてゐるのを見た事があるが、パリでもウキーンでもこの風がある。之は我國で藝者屋、待合等で商取引を行つてゐる人が今にあるのと同樣の心理ではないかと思はれる又冬になれば獨身婦人等が自分の部屋をあたゝめる燃料を節約する爲めにカツフエーハウスの一椅子を占領して半日位編物に餘念ない處等をよく見受ける。

商店は夕方六時頃にはキチンと閉めることに定めが出來てゐるので、それからは自宅なりレストランなりで夕食をすませて大勢の人がカツフエーに押し寄せる。從つて婦人連れの客が增し大ていつも滿員の狀況で一度入つたお客は少くも二時間位は座り込む。

又簡單な友人仲間の會合はカツフエーでやるが之も別室を注文するようなことは稀で大きなサロンの一隅に集まるといふ風である。淋しい夕方等に行きつけのカツフエーに行けば誰か知り會ひの者に逢へるといふ譯である。

◇

ウヰーンは又音樂で世界一を誇る都である丈けにウヰーンツ子の音樂を好むことも盛んなもので、大きなカツフエーでは夕方から十二時頃迄演奏する。それも二人や三人の貧弱なのでなく、少くも五人位から十數人迄、日本へ持つて來れば堂々と名乘りを揚げて何々會館で演奏出來る位の立派なものがある。音樂の入るカツフエーには自由娼婦の出入するものが多い中にはそれを許さないものゝあること勿論である。

斯くして夜は更けてゆくのであるが閉店時間は十二時、午前一時午前三時、四時等あるが之は揭示してあつてその時間が來れば給仕は空いた椅子からどし〳〵と机の上に揚げ始めるので幾ら尻の長い客も居堪らずに皆歸つてしまふ。給仕はすべて男であつて、ごんな貧弱なカツフエーでも假令繼ぎはあたり色はヨーカン色であつても燕尾服を着て堂々たるものであり之が規定通りの一割のチツプとして一錢二錢位しか貰へなくても歸りには『有難う』といつてくれる。

◇

ベルリンのカツフエーハウスは元スキス風のコンディトライ（菓子ホール）から發展していつたもので今日では廣く社交機關の一部となつてゐる。ウヰーンのものが午前から開いて可なり怠墮を享樂する客の多いに比してこゝのは午後のお茶の時間から開かれるものが多い。夕方から深夜へかけて賑はふことゝウヰーンのものと同じく或は以上であり、自由娼婦の活動はそれ以上である。室內裝飾の如きもウヰーン、パリ等よりもズツト派出に、歡樂の空氣も、より濃厚であるようである。

◇

ロンドンでは歐洲大陸風のカツフエーは存在しないらしく、只書物に據れば現在のクラブハウスの前身であつたと云はれてゐる。之に代るものとして現今では菓子ホールがあるが給仕は婦人で英國風の眞面目なつゝましやかなものである。

◇

スペインの大都會のカツフエーもパリのものに似たものであるが暑さが激しい爲めにあまり屋外に席を設けないが夕方からの涼を納れる爲めに多少は見受けられる。

◇

伊太利では屋外の座席は可なり盛んでベネチアをはじめ風景のよい處に多く、又ミラノのパツサアジユにあるものやミラノ大寺（ドウオモ）の附近のもの等も甚だ感じがよい。

以上述べた處で歐洲に於けるカツフエーなるもの〻大體がお解りのことゝ思ふ、之と日本のカツフエーとを比べるとその使用目的や經營方針及設備等に於て可なりの相違が認められる。

◇

現在の日本のカツフエーはダンスホールと共に在來の遊廓の新形態、又はその延長と云ふことが出來る。德川時代から連綿と續いて來た遊廓は今やダンスホールとカツフエーの勃興の勢ひに押されて恐慌を起こして來てゐることは恰も活動寫眞が群小舞臺劇を壓迫しつゝあるのに似てゐると云へる。遊廓の持つ一種の空氣に可なり捨て難いものもあるが、現代人には何となくそぐはないものが多くあつて、カツフエーの初期は青年に育まれてゐたが今や中年男子さへもがカツフエー黨に變るといふ勢ひとなつてゐる。公娼廢止が實行されることゝならば將來はカツフエーは自由娼婦の重要なる營業所の一部となるべく運命づけられてゐる。今日の女給は新らしい形をとつた藝者である。客は美しい女給の居る家を目ざして集まつて來る。少々位飮みものが惡くても美しい女給が揃つてゐれば營業は益々繁榮に赴くと云ふ狀態である。從つて歐洲のそれの如く社交的性質といふ事については甚だ淡い。從つて高い仕切りを造つて相隣る客が顏を見合せることを防ごうと

する傾向が強い。

從つて又女のお客といふものは甚だ稀であり專ら男子が美しい女給を見て樂しむ場所と云ふようなことになつてゐる。

故に室内はあまり明るくてはお客がフザケるのに都合が悪いと云ふので出來る丈け薄暗くするといふことになる。

二三年前迄は椅子がどこでも小さすぎて困つたものであるが、追々カツフエーの目的が營業主自身でもハツキリしてきたものとみえ近頃は灘萬の如く甚だ立派な椅子を置くものが出來て追々この傾向に進むらしいが一般には、猶不愉快な椅子を並べてゐるのが多い。椅子の掛け心地のよいものを置くことは必要であるが、灘萬のもの程大きな椅子を置く必要もあるまいと考へる。又高い仕切りをつけた長椅子はどこでも『モクレ』があまり直角に近すぎて甚だ掛け心地が悪い。之は將來設計の場合に大いに考慮してほしい點である。猶困るのは外套預り所の設備あるものが少いことである。冬でも室内に煖房があらば外套を脫ぎ帽子をとつて、極めて樂に居る可きである。又便所や手洗ひ所の設備の不完全なのが多いのも驚く可きことである。外國では辻便所が見當らない場合にはカツフエーに飛び込むといふ程である。

又冬期に煖房設備の不足なものも多く見られる。之は今日の日本では劇場、活動寫眞館、料理店すべてに共通の點で我國の文化設備の程度の低さを示すものであるが早く改良したいものである。屋外へ席を設けることは不潔な道路を有する日本では土ボコリの爲め當分は實行不可能と思はれ、又現在の如き内容では客もそれを好むまいし、警察も一寸許し兼ねることだらうと思はれる。男の給仕付きのカツフエーでも客が多く來るといふ時代が來て初めて行はれることであらう。

現在の狀態としては室内の裝飾及椅子、テーブルの類が、その安易な空氣を造る上に於て最も重要な役目を勤めるものであるに拘らず一向立派なものが出現しないのは不思議でもあり又遺憾にも思ふことである。

大都市として又最も發達してゐると云はれてゐる大阪の大カツフエーを見ても一つとして感心するようなのがない。或ものは停車場の待合室の如く、或物は古椅子の置場の如く、或物は警察の臣民控へ室の如くである。

日本では今服裝に於ては男子は殆んど洋服化されてゐるがまだ建築に到つては日本風のもの以外に就ては歡賞眼が甚だ低く、出鱈目な家具を配置して平氣で居るのである。歐洲の立派なカツフエーの寫眞は協會で澤山揭載されること、思ふのでこゝに南ドイツの田舍町ニユールンベルグの或カツフエーの内部の寫眞を揭げます。今大阪のカツフエーでこの田舍町のそれに勝るものがあるだらうか。



第三圖　南獨乙ニユールンベルグのケーニツヒスカフエーの内部

◇

要するに日本のカツフエーとしては日本の現狀に適するように造られてゐて差支へのないのは勿論であるが歐洲に於けるような使ひ方もあることを參考としてすべての設備をより完全に、より氣持ちよきデザインによつて眞に國民の安息所、社交場であるようにしたいものである。

日本のレストラン即西洋料理店は一言にして云へば一つも氣にいつたものがない。第一レストランの生命である可き食事の美味な處が一つもない。ウツカリ飛び込まうものなら高い價をとられて甚だまづい食事をしなければならない歐洲に滯在中は大てい七十錢乃至一圓迄でビール又はワイン迄つけて中食や夕食をすませたものである。日本では餘程友人に評判を聞いてからでなくては洋食屋へ入らない。殊に市外へ遠足に行つた時等はウツカリ洋食の定食を注文してスープ丈けイヤ〳〵たべたがあとは一寸試みてはやめて遂に日本食で中食をし直した事があるので

以來恐れをなして、市外では日本食に定めてゐるような始末である。

第二に建築が不快である。近代式と稱するものには薄つぺらな落付きのないものが多く、樣式的なものはイヤにクシャ〳〵して壓迫を感じる、又ドコでもテーブルの高すぎるのには不快を感せしめられる。

次に嫌なのはサービスの態度である。ドコへ行つても洋食屋の給仕さん達はイヤに硬い態度で冷たい表情を浮べてゐる。

次には食器殊にナイフ、フオークの形があまりゴテ〳〵した裝飾のついたもの等を使用して不快である。場末の安レストラン等でニツケルのハゲた眞鍮地の出たフオークや、曲りクネツタアルミニユーム製の汚ないのを出されたりすると食慾がケシ飛んでしまふ。

レストランは食事中丈け着席してすめばサツサと出て行くのであるからカツフエー程に安易な椅子を配置するの必要はないが苦痛を感じない程度の安易さはあつてほしい。

◇

外國のレストランは大抵一階を使用し二階以上はアパートメントになつてゐるのが多く、地下室に設けたものも尠くない。こうすれば建築費も少くてすみ經營も餘程樂であらうと思はれる。然るに日本では五階も六階ものレストランを建てゝ建築費の利子拂ひに追はれて青息吐息のものが少くないらしい。

こういふのに限つていやに氣取つた外觀を造つたりしてゐるが變なものが多い。

嘔吐を催す程悪い外觀をしたものに京都の矢尾政がある。この店は近頃料理はやゝよくなつたようであるが建築表現が悪い爲めメツタに行く氣になれない。近くを通つても私は顏をそむけて見えないようにして歩く俗醜建築である。京都の目貫きの場所の感じをよくする爲めに外裝丈けでも改めてほしいと思ふ。

對象とするところは常にスポーツであり、シネマであり、カフエーである。謠曲と待合、安來節と居酒屋は既にこの階級のものとしてはあまりに魅力がなさすぎる。

何故か？

生活の過度的偏倚。前者は營養の過剩蓄積、後者は過剩消費の結末。時代文化の前進する方向への無目的的反逆。內容もなく意識もない、回顧、追隨、迎合。不健康アナクロニズム。そこには唯非科學的退歩のみが殘る。

シネマにしろカフエーにしろ內容は勿論ない、自的もない、しかしそこには有機的な時代氣稟の釀成著しいものがある。

滑かなアスファルトの上を走るガソリンの響き、モザイクのペー



簡素・清潔・機能的

京都帝國大學技師
工學士 大倉三郎

カフエーに付て語る資格は自分にはないと思ふ。最近のそれを殆んど知らないからである。しかし建築としてのカフエー及レストラントが近代社會の生活機能上一面の深い意味を有することは大に首肯し得るところである。

近代流行(?)に於て絕えずその先頭を切るところのものは現代にをける中間階級を構成するこころの有識中產或は無產階級である。面してこの階級がその消費生活の



第四圖 『ルリ』酒場のカウンターと棚
鈴木久氏設計

ブメント、鋭いガラスの反射、エレベターとクロークルーム、氣の利いた照明と清潔なテーブル精神的にも生理的にも、空氣の快い感觸、疲勞の安息所、思想(?)の取引所、音樂と談話。

この魅力は何から來るか?

速度。明快。清潔。簡易さ。健康さ。そして近代生活の機能的要求の充足。そこに大きな文化的意義がある。

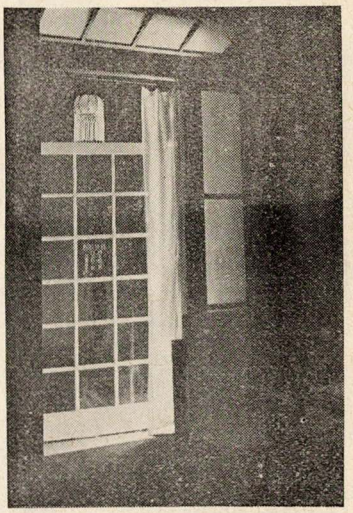
柳行李よりスートケース、和風宿屋よりステーションホテルを選ぶ氣持。

之は既に娯樂や數寄を越えて當然の必要と相通ずる。

必要は力強く動く。そこに近代レストラント及カフエーの存在の意義がある。

かくして近代街頭にレストラント、カフエーは盛んに殖えてゆく議會の裏面に待合政策が弄され、右書き左書きの議論が闘はされてゐる間に時代樞要の機能物は續々と建設されてゆくことに疑ひはない。

大は數階の豪壯なビルディングから小は藥舖の一隅に至るまで、遂には醜惡なる似是非カフエーの變態的出現に至るまで、寧ろカフエーと云へば遺憾乍らすぐ後者を聯想せしめるに至るまでゞある。



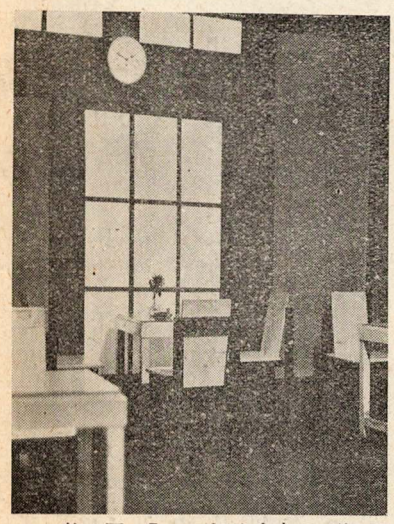
第五圖 『ルリ』酒場客室のカーテンを望む 鈴木久氏設計

此等が經營の資本主義經濟的方面に就てはこゝに割愛して置くとして、少くともカフエー及レストラントが近代社會生活の一面の機能を充足するものとしての意味を考へるに止めてをこう。

カフエー、レストラントはその性質から云つて社會の消費生活を對象としてゐる事は今更云ふまでもない。卽ち慰安、娯樂、食事社交等の機關である。從つてそこに生活過程にをけるある程度のエネルギーの蓄積を前提としてゐる。故にそこには常に美もしくは美的判斷の活動し得る範圍が極めて多いことは事實である。

然るに之が一種の商業的政策と合流してひどく惡用さるるに至つてカフエー、レストラントと云へば少くとも從來のものに就ては直ちに迎合的な素晴しい裝飾、極彩色を聯想するものが尠くない。而もそれ等の多くは極めて冗漫、醜惡に墮し易く、盲目的な回顧的追隨か、若しくは無反省な街氣的好奇に陷るか、何れかのものが多い。

中には極めて清潔を要す可きこの種建物が極彩色や立派な彫刻に取卷かれ乍ら而も、塵芥、空氣の汚濁、鼠群蛔群の襲來におびやかされるに至つては矛盾も甚しいと云ふものである。



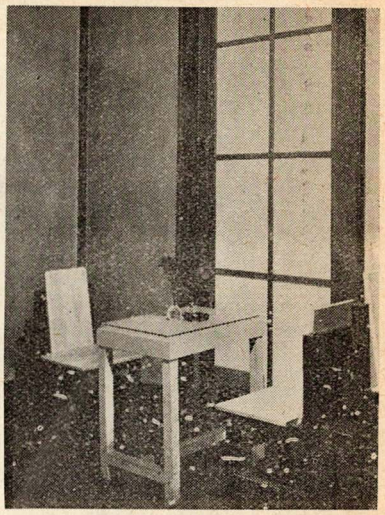
第六圖 『ルリ』酒場客室の一隅 鈴木久氏設計

此等はすべて建築に於ける近代機能の無知、無關心から來る。

抑々極めて廣い意味に於て建築の形態を決定するものは何か?。

材料及構造然り、機能及美的判斷然りであるが、特に此等のものを一貫して時代文化の諸相に對する一つの氣分乃至雰圍氣と云ふものが與つて力あることを無視することは出來ない。

こゝに氣分とは極めて輕い意味の快不快等のそれを云ふのではなく、社會的存在意識に對する一つの無意識の見解、乃至一つの概念を意味する。氣分は時代文化の事象に關聯して之と離る可からざる連系にあり且つ時代的に觀て極めて相對的なものである。そこに內容もなければ理由もない、唯一つの概念の層に過ぎないものに止まる。然も氣分はすべて



第七圖 『ルリ』酒場客室の一隅
鈴木久氏設計

明快、簡素、清潔、能率、機能の科學的處理精神的生理的健康、等々。

そして此等の要求は直ちに從來の美に對する標準を根本的に一變せしめてゐることに疑ひはない。

その存在の意味が極めて社會的機關を約束するものであり且つ時代流行(?)の先頭を切るカフエーレストラントはこの意味に於て正當なる時代氣分の完璧なる充足を要求せられなければならないと思ふ。

簡素な且つ快感を與ふる室内構成、空氣の清淨さ、温濕度の調節能率的な照明、音響の建築的考慮家具と器具の清潔さ(必ずしも立派や高價を要せない)手術室の様な料理場、機械的な調理、サービスの能率と正確。

安慰と健康と公明と自然。

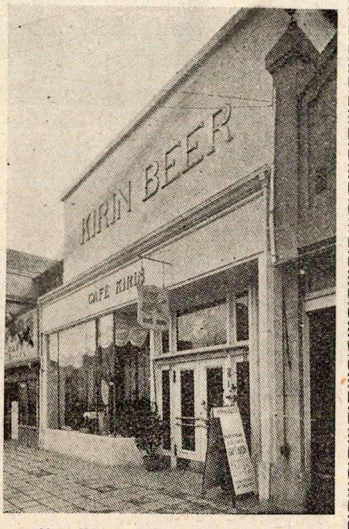
鐵とニツケルとガラスとエナメルの交響樂。

そこでは形に光りに音樂に最も洗練された刺戟の陶醉を求めるもよい、又極めて靜かに鑑賞的な雰圍氣を作るもよい。何れも近代的機能に對する氣分の積極的な表出を必要とする。

かう云つたものが自分の現在考へてゐるカフエー、レストラントの理想である、それが現在あるかないかそれは知らない。

が一つ位出來てもよいと思ふ。

最近見たある西洋シネマの中にガラスとパイプと草花から出來た極めて効果ある近代的構成のカフエーがあつた。それなどこの理想に近い氣持を與へられたものである。單なるシネマのトリツクではなかつたと今でも思つてゐる。



第八圖 カフエー・キリン(東京)

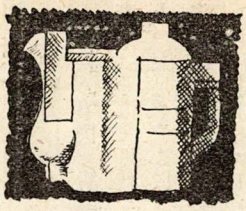
かれない事丈は事實です。

カフエーとは——!?コレは又後に廻すとして、之等に對する容器を造つたり又は中を設備したりする事の役目を吾々が背負つて居るからには、營業内容との關係に就て充分研究を要します。コノ項はまとまつた研究考察を書くのではない。心の走るまゝに思

レストランとカフエー漫語

京都高等工藝學校教授
工學士 本野精吾

レストランとは料理を喰べる店——西洋料理と云ふものを喰べる店を云ふらしい。茲に云ふ西洋とは



の工藝、美術、建築等一般構工的形象物に一種の形態を約束し之を積極的に決定し支配する。

更に具體的に云ふならば近代氣分が建築に向つて要求するものは何か?。

云ふのはイギリスですフランスですかドイツですか。多分全體の平均か何處ともつかない邊を指すのでしやう。或人は云ふ歐米の長所を取つて日本化したものと。けれども普通にレストランと呼ばれる店で喰べさせる物に私が興味を引

ひ出す事を片端から書いて行くのです。

商品は需用に依て生れると云ふ原則に基く時は今のレストラン内容は現代社會相に應はしいものゝ一つかも知れない。或時あるレストランの主人に――料理に於ける一方の權威者です――聞いて見ました。ドウしてコンナに肉と油で固めた樣な者計り喰べさせるのか何處の國にもコンナ料理はない筈だが、ソノ主人頭をかき乍ら曰く何とも致し方が御座いません、コウしなければ御客樣が喰べて下さりませんから。――商品は需用に依て生れる。

◇

私の滯歐中のなつかしい思ひ出を少し書いて見樣。

パリーの郊外セーヌの河畔に人里離れて靜かな木蔭に一軒の小さな田舍風の家がある。コゝは小さな川魚の油揚げ丈を喰べさせる。靜かに流れるセーヌの水を隔てゝ對岸の緣を眺め乍ら友と語り合つた半日を今に忘れられぬ。

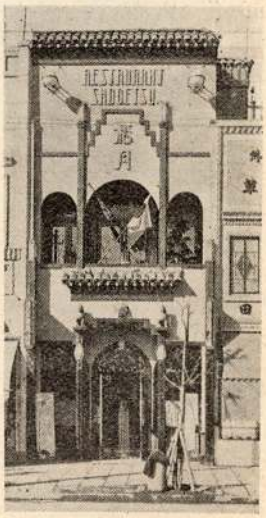
オランダ、デルフトの陶器を見ての歸るさにある片田舍のレストランで晝食をしたゝめた。運河に沿ふた揚の蔭に鐵製の丸テーブルが幾つか据へられて質素な中食に半日の勞を休めた事。スウエーデンの汽車の停車場のレストランでは豐富にして味の好い澤山の種類の料理が机一ぱいに山の樣に積んである。旅客がソレを勝手に取つて喰べてしまつてから旅客自らが帳場に通告する事等は旅の間に殘されたなつかしい思い出です。

スエーデンと云ふ所は全く心持のいゝ處です。色々な點で澤山のいゝ印象を留めて居ますが、就中停車場の食事は內容の豐富な事と組織の優雅な點で私に深い印象を刻みました。淺ましい日本の現狀と比較して何とした大きな相違でしよう。



第九圖 カフエー・クロネコ(東京)

ベルリンの十錢店――簡單な食事が何でも一品十錢で出來て居て自働的にサーブする樣に出來て居る。往來からすぐ這入つた所にある。オペラ見物の前等によく這入つたものです。外國のコウした店が何れも揃つて美はしい事は決して食物を大きな皿に薄く擴げて澤山に見える樣にしたり、途方もない分の厚いコーヒー茶碗を用ひてコーヒーを飲んでしまつてもまだ少しも輕くならない樣な、コウした種類の日本の店で時々見かける樣な事は決してない。分量が少なければ少ないなりに小さなものに入れてある。之れも心持のよかつた一つです。



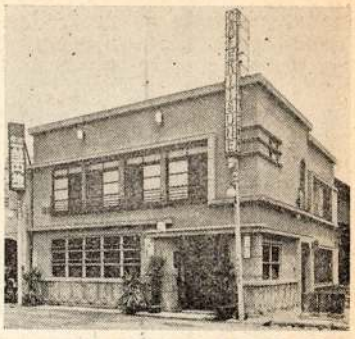
第十圖 レストラン・松月(東京)

オペラの後のレストラン――オペラの後に限つた事ではありませんけれども夜遲くゆつくり食事に行く極めて贅澤な料理屋で吾々留學生連には一寸のぞく事も出來ない種類でしたが落付いた心持で喰べられる充分に豐富なる設備と裝飾とが施らされてあります。

◇

こんな事を書き並へて居ると限りがありません。けれども要するに色々の場合と種類とに相應な商品を相當な形に於て供給すると云ふ事に過ぎない至つて簡單明瞭な事柄であります。ソレが唯ピツタリとコツにはまつて居るのでしやう。日本に於けるレストランの目下の有樣がドウもピツタリした心持になれないでよんどころない時以外には決して這入らないのは多分コツをはづれて居るのでしやう但しレストランの方がはづれて居るのか私自身の方がはづれて居るのかは私には分りません。

次にカフエー――カフエーとは何と云ふ問題に私はピツタリ行き當つてしまいました。一體日本でカフエーと云ふ名の付いた店の樣



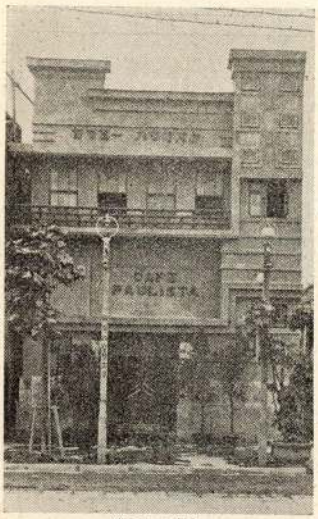
第十一圖 カフエー・キツネ(東京)

な種類の營業を私は外國で見た事が無いのです。あるカフエーの主人の述懐でありますが、日本ではドウしても綺麗な女給を置かないと繁昌しません。外國の様なカフエーがドウして日本では成り立たないのでしやう。と云つて全く情ないと云つた様な顔をして居ました。情なくても仕方がないそれは爭ふ餘地ない事實らしい。矢張り商品は需川に依而生れると云ふ原則の中に這入るのかも知れない。

◇

外國のカフエーと云つても色々種類がありますが私が前に申しましたのはカフエーの元祖と云はれる墺國ヴイーンに生ひ立つた様な靜かな心持で新聞や雜誌を見たり味の好いコーヒーをすゝり乍らゆつくり友と語り含つたりするに應はしいカフエーを意味します。私に取つても旅行中のヴイエンナ、カフエーの半日は全く忘れ難い印象です。落付きのいゝ革張りの座席が明るい日光を受けた窓際に設けられて、何一つ華々しい飾りらしいものも付いて居ないけれども室内は全く豊富な心持が充滿して居ます。

淫蕩なるカフエー——コゝは私娼が自由に出入する處でコノ種のカフエーには私は少しも興味を持たなかつたからよく知らないし其の上コノ記事の中に挾む事が餘り快くないけれどもカフエーの一つの領域として書いて置かうと思ひます。ドイツの様に公娼のない處にあるものとして一面の存在の理由を認められないでもないけれども私は娼婦の存在を頭から否定するものですからコノ種のカフエー



第二十圖
カフエー・パウリスタ(東京)

を正當なる存在として認める事が私にはドウしても出來ない。ドイツでは決して之れを正當なる存在として居るのではなくて社會の暗黑なる一隅の已むを得ざる存在として僅かに命脈を保つて居るに過ぎないのです。ソノ點は日本に於ける様に娼婦の世界が公然と社會の表面にノサバリ出て居るのとは大變な相違です。コウ云ふカフエーに出入する男子は紳士として取扱はれる事の資格を失なうと云ふ位な嚴然たる不文律が行はれて居ます。コノ種のカフエーが已むを得ざる存在として一隅にあるとしてもソレが社會の正當なる存在の表面に出て來ない處に文化の力強さを認めない譯には行きません。

◇

現に大阪あたりを中心にして發展しつゝあるカフエーやレストランをふり向く時需用が商品を生みつゝあるのか商品が需川を生みつゝあるのかを判斷するのに苦みます。若し需川が商品を生みつゝあるならば私は餘りに現代を離れすぎて居る事を感ずる。若し商品が需用を生みつゝあるとするならば商品生產者の心理にドウしても共鳴する事が出來ない。若し現在のマゝで何れにしても兎に角需用と供給とのバランスが保たれて居るとするならば私は大衆の歩く道を離れて別な軌道の上を歩くより外に途がない。何れにしても今生れつゝあるものは一つの過渡期の產物でありましやう。假りに商品が需用を生みつゝあるとしても商品は決して需用に逆行して延びては行かない。大衆の求める所が結局は方向を定めるでしう。けれども吾々建築關係者は唯ソレを傍觀して居てはいけたい。吾々も人類共存の一員として少しでも人類の生存に役立つ事を考へねばなるまい。

× ×

レストランのキユツヘー

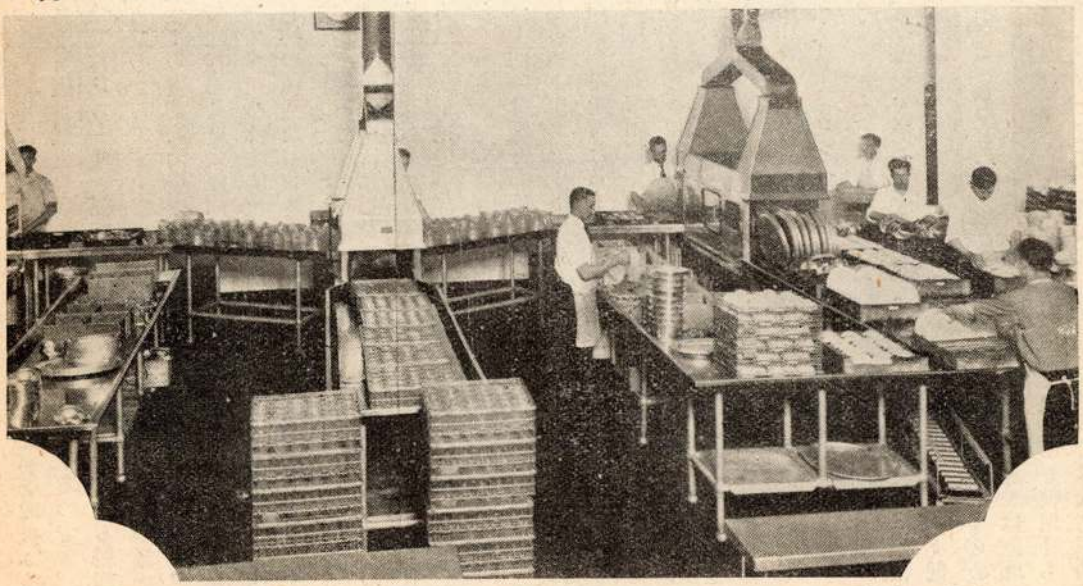
神戸高等工業學校講師
古塚正治

大阪毎日新聞の二月十七八日頃にカフエー雜考と云ふ見出しで長友中尾保君が所感を寄せられてゐたのを見て私は至極同君の說と同じ感をいだいてゐる一人である。

今の日本には純然たるカフエーらしいものが見當らない。それと同じやうに歐米で見るやうな意味のレストランが果して何軒あるだらうか、斯樣に考へて見たとき本誌が選まれたレストランとカフエー號これは甚だ意義のあることゝ考へられる。建築家として專門の立場から世間を誘導すると云ふ意味に於て甚だ好い試みである。私は斯う云ふ意味の所感も多分に持ち合せてゐるが、恐らく他に多くの諸賢が書かれるに違ひないと考へるので極く一般的に解り難いキユツヘー(臺所)の意匠特論と云つた點から書いて見ることゝする。

食堂は少くとも配膳室を附隨して設けられなければならないのです。その廣さは食堂の廣さ(延坪數)に應じ造られる。換言するとお客の人數に相應しい廣さと設備とを要する譯なのです。配膳室から食堂への出入口は心ず片開きの扉として、その一方を出口にあて、他方を入口としたコンミユニケーシヨンとして置きます。よく世間で見る例によると兩開きか片自由の扉として、扉の一部に硝子を嵌め込んでゐるが、あれは好しくない。所謂レストランの込み合ふ時間となると極く短時間に多數のサービスをしなければならないのであるからボーイ連中は多忙な爲めに一々對室の側から人の來る等と云ふ如うなことに注意し得るものでは無いのですから不思粗相を起し易いものである。だからこれはきつと二つの異つた位置に異つた方向に開き得る扉としておくのが理想でなのです。そして其何れの扉を入口とし、出口とするかはプランニングの上で定める事とする。

◇食堂の



第十三圖　米國のあるレストラントの理想的パントリーの設備、皿類やコーヒー茶碗は金屬製の籠に並べられるとコンベヤーで自働的に運ばれて、洗はれると同時に消毒せられて行くのです。

サービス中に配膳室での働き手の噪音が食堂内へ漏れて來る如うでは面白くない、それであるから前記した出入口の扉には防音の裝置をしてグリーンの繻紗を張り、框には革や護膜等を打ち廻してゐるのですが、もつと理想的に言ふと配膳室と食堂との間には、いま一室少な區劃を設けることが出來れば好い。この室は食堂ボーイのヘツドが居る部屋とし、ボーイの出入を詳細に監督すると同時に、銀器類の如うな高價なものを日常此室に裝備してある戸棚に保管せしむることゝする機能を持つてゐるのです。またコーヒや紅茶を沸かすのも此部屋の機能の一つです。

配膳室は唯に料理の配膳のみの裝置では其機能が充分でないのです、料理の配膳の便利である机や棚の必要なことは申す迄でも無いことで、キニツフエー（臺所）から來た料理を冷まさない如うに一時おかれるオーフエンの設備を必要としまます。冷い飲料水をお客にすゝめる爲めのレフリヂレーターを設備しおくこと、なつてゐる、この冷藏庫は普通置き据へのケルビネーター式等の冷藏庫を使用するのが返つて便利にせられねる。時とするとパントリーを配膳室に附屬して設けるのです。食後に出て來る汚れた皿類と金屬類とを處理する必要があるからである。從つて湯と水の栓を有する大きな流しを取設ける、こゝでは殘された汚物の處理に便利なダストポケツトを忘れてはならぬ。また適當な大さを有する料理臺を設け、諸器具類の消毒裝置等を必要とするのです。（第一圖參照）

◇

臺所は必ずしも配膳室と直接の連絡を要しない。少規模なレストランでは勿論直接の連絡が望ましいことであり、また容易く連絡し得られるのであるが、大規模なものとなると然う云ふ譯には行かなくなるのであるから殊更恁う云ふ必要は無くなるのであつて、全體から云つてキユツヘーは一番便利な位置を撰んで一ケ所に完全な設備をなすこと云ふ事が理想である。何ぜならキユツヘーの設備は非常に多額な費用を要するものであるから此れはレストラン（ホテルでも同樣である）經營上の極めて重要な事柄であつて、意匠上注意せられ無かつたが爲めに多額なフアーストコストと經常費とを要することゝなつて其レストラン經營の死活問題となるからです。

キユツヘーの廣さは大規模のレストランでは非常に廣大な面積を要するものです。少くとも幾つもの食堂室を持つ純然たるレストランでは其建物の持つ最も大きな食堂の面積よりも少かつては用を辨じ難い、若し經營上使用人が宿泊等をするとせば地下室の全部をこれに當てる必要があるでせう。

キユツヘー內の設備としては料理臺。流し。ストーブ。オーフエン。諸種の棚類等を主なるものとし、これに關連して用度係。食料品倉庫。ワインエンドリキツヅストアー。ヴエゼテブルストアー。其他のストアー。冷藏庫。パン及菓子室。チーフ・スチユアード・ルーム。パントリー。コンベヤー・オアリフト・ルーム。使用人食堂使用人室。機關室。電氣室等とする。

いま、これ等の總てに就いて大約の詳說をして見ませう。

◇

料理臺　料理臺には肉を取扱ふものと野菜類を取扱ふものとに區別して設備するのです。何れも極く丈夫な脚を有する料理臺で、天板を庖刀の刃を傷め無い如う柱または朴材を使用します、大さは一定してゐないが少くとも巾二尺二三寸長さ五尺位厚さは四五寸の厚いものとしておくのです。これは使用する內に刃形が入るので漸次上面を鉋削りして行くので厚さ二寸位迄で可成りに永く使用に堪へるので最初厚板を以て造れば却つて經濟的になる譯です。高さは使用上の便を計つて二尺二寸位とするものです。野菜用の料理臺は肉を扱ふもの程の丈夫さを要しません。形も少くて濟む譯です。そして取設ける數は其レストランの規模に應じて肉の料理臺を二つなり三つを要し、野菜用のものも少くとも二臺位は設けることゝなるのです。

流しも其數と配置とは考慮せなければなりません。寸法は巾二尺位長六尺位、高さは稍々低い目にして二尺位にしておくのが好い如うです。亞米利加では琺瑯引きの至極贅澤なものが使用せられるのであるが日本では人造石の磨ぎ出

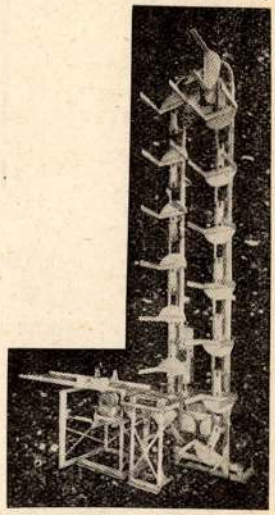
し位が尤も相應しいでせう。內部は用途によると鉛板を使用し、木の簀ノ子貼りともするのです。多くは採光の好い窓際に設けるものです。

ストーブ　これはレストラン特種の大形ものでダウン・ドラフトのものを使用する。位置は常に中央におかれるのです。これは周圍から使用するのに便宜であるからストーブの能率を高めることになる。燃料は多くは石炭を使用するのが輕濟であるが近時は瓦斯。オイル・バーナー。電氣等とするが何れも一得一失であるが何と云つても今のところは石炭が一番經濟である如うです。

ストーブの構造に就いては茲では略するとして、ストーブの上方には必ず臭氣抜きの天蓋を取設けておかねばならぬことを注意するに止める。

オーフエンは配膳室に於けるも同樣のものでよろしい。

配膳室が階を異にし、また同一階上にいくつもに分れてゐるとき或は非常に大きな食堂である場合には何うしてもリフトなりコンベヤーを設備するのが便利である。



第十四圖

米國に於ける近代レストランやホテルに裝置せられつゝある Lowerlift と稱し、上昇と下降とに同時に料理が運搬し得られる。これは釣瓶式であるから動力の經濟が特徴である。

第二圖は其例を示したものであるが、此他に水平に運搬する機能を持つたコンベヤーも亞米利加では可成使用せられてゐるのです。恁う云ふ機械的設備はこれ迄での日本のレストフン程度では些して必要では無かつたのであるが將來はやはり是非必要な機能であると考へます。

諸種の棚類を適當に便利な位置に、衞生的な設備として設なければならぬ事は丁度住宅の臺所と規を一つにしてゐるのであるから今更說明の要もないでせう。

用度掛　これはキュッヘーと云ふものが一つの工場の如うなものであるから、キュッヘーへの出入口は出來得る限り一ケ所としておくのが好い。そして使用人は勿論のことキュッヘーの出入人は必ず此用度係の監視を經て……と云ふことが理想であるので、斯樣にしないと種々ものが紛失し易いことになる。

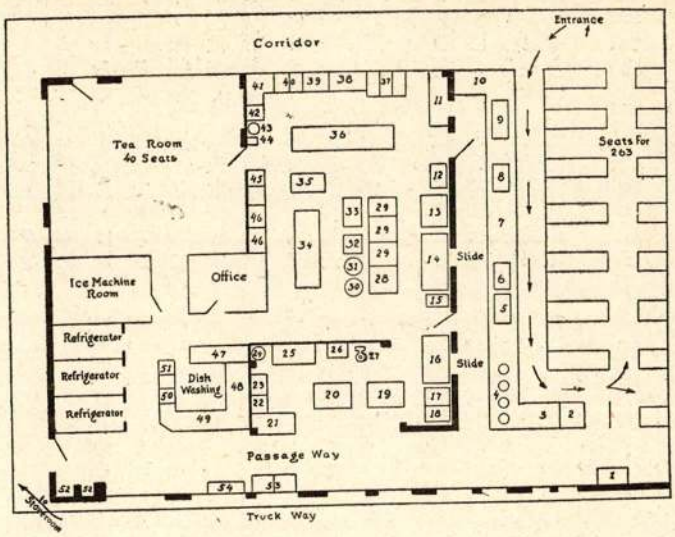
倉庫類　倉庫類の大さと配置はその建物毎に一定してゐない。これの建築家の常識で最も適當と認むる如うに設計すれば好い。たゞその內で二三注意すべき點はヴエゼテブル類は比較的腐敗し易いもので、從つてなかには臭氣を發するものも出來て來るから奥まつた位置を撰ばないことです。光線の射入は宜敷くないが通氣のある涼しい箇所が望ましいのです。リキツド類の貯藏には光線の射入しない冷い箇所が好いのであるから地下室で涼しいと云ふ程度の位置を撰べば好い。

冷藏庫　この室の廣さも常識的に考慮すれば好い。餘りに大きくされば經常費が嵩んで來る。特に都會地のレストランでは每日市內で便利に一日量の食料の配達を受け得るのであるから極く少くても差支へは生じない。がしかし、少くとも一日量を貯藏し得ないでは實際問題の上から役に立たなくなる。次手だから書いておくがホテルのキュッヘーとなると此の貯藏量が異つて來て一層大きなものとしておく必要がある。ホテルとレストランとの相異は此の邊にあるのです。小規模のレストランでは置冷藏庫で每日使用する氷は都度製氷會社から配達をうければ足りようが、相當な規模のレストランでは製氷機を据へつけた冷藏庫



第十五圖　米國のあるレストラントの理想的臺所設備

A Worth-While Kitchen Plan



Key to Plan

1 Water cooler
2 Display case for candy, cookies, etc.
3 Checker and cashier
4 Urns
5 Ice cream
6 Display case
7 Steam table
8 Display case
9 Cold pan
10 Cutlery and trays
11 Table
12 Meat slicer
13 Bain Marie
14 Cook's table
15 Food chopper
16 Table
17 Refrigerator
18 Refrigerator
19 Table
20 Table
21 Ice cream freezer
22 Sink
23 Drain board
24 Stove
25 Bake oven
26 Pan rack
27 Mixer

Key to Plan

28 Broiler
29 Ranges
30 Steam kettle
31 Steam kettle
32 Vegetable steamer
33 Table
34 Table
35 Steam table
36 Table
37 Refrigerators
38 Table
39 Drain board
40 Sinks
41 Drain board
42 Vegetable sink
43 Parer
44 Strainer
45 Grease trap
46 Sinks
47 Clean dish table
48 Dishwasher
49 Soiled dishes
50 Silver and glass sinks
51 Clean glasses
52 Incinerator
53 Fish refrigerator
54 Sink

第十六圖

同一階に食堂、カフエー、ルーム、と臺所及配膳室とを都合よく配置したる亞米利加最新式の一例である

するのが返つて經濟的である。こゝでは必ず二室以上の冷藏室に區劃することが好い。それは貯藏する物品によつて貯藏に適する溫度が違ふからである、(製氷機の特失、冷藏溫度等は畧して置く)そして尙出來得れば一の冷藏室を前室と冷藏室(チヤムバー)とに區劃しておいて、前室を經てチヤムバーに入るのが一層經濟的である。チヤムバーは全く冷藏專用としての効用を持つてゐて、前室はこ出ししたものを大約の料理をして貯藏するところである。つまり前室は必要の都度一日中何回も開閉するが、チヤムバーは一日に二回なり三回しか開閉しない室とするから冷藏能率が極めて好い譯となる。

製氷機を持つと云ふことは貯藏品を絶對に腐敗せしめないから此の意味からも置冷藏庫こは比較にならない好い結果を齎らすものである。

極く特徴を持つたレストランではアイスクリームの製造裝置をすることがある。この目的は大量のアイスクリームを要する場合の他そのレストラン特異の品質なり種類のものを製造する必要があるからで、他から配達をうけるこ云ふ譯に行かないものである。

總て恁う云ふ冷藏裝置をして場合は、冷藏庫はキユツヘーと直接連絡を持たない如う、そしてキユツヘーから一番便利な位置に設けておく必要があるのであるから、理想的に云ふと冷藏庫とキユツヘーの間に一室とるのが好い。その室を厨司長室とすることが便利である。

厨司長は毎日の料理についての獻立を作成し、總ての料理に就ての監督をなし、出來た料理の試食をなすべきであるから一箇の事務室こしての設備となし、周圍は硝子のパーチションで好い譯である或はまた、この位置にパンとケーキの室を設けるのも好い。これは何うしてもキユツヘーからは獨立せしめておかぬといけない。何ぜならキユツヘーの油臭い匂ひが菓子やパンに浸み込んで客に不快な感じを起さしむることゝなるからである。

レストランの機關室は特別の設備と云つては要しないが他の建物と異つてゐる點は非常に多量の湯

を使用する必要があると云ふ點である。それ故にストレーヂ・タンクの量を定むるに注意しておかないと思はぬ失敗に終ることゝなる第三圖は整然とした米國のレストランのキツユヘーの一例である。

◇

以上大約レストランのキツユヘーと云ふ設備に關する說明をしたのであるが、日本では何うもキユツヘーの設備あり裝置に相當の費用を入れるゝ云ふことを惜み勝ちである如うであるが、これは大へんな誤りであつて最も衛生的な必要のある場所で壁なり、床なり、天井なりと自由に放水して洗濯し得られる設備と構造とにしておく必要がある。どうも未だ散髪屋や湯屋の取締の如うにレストランの急所たるキユツヘーの裝置なり構造なりに對する當局の取締法と云ふことが考慮せられてゐないが、是非一つ取締られたいものだと想ふ。(昭和一、二、二七稿)



第十七圖　京都菊水館　松村次郎氏設計

レストラントの厨房

松村次郎

T氏より何か書けとの御話でうつかり引受けたものゝ、このコツク腕もなく時間もなく、即席ライスカレーにも及ばん所は平に御許しを頂きたい。

レストラントの主なる要素の中に厨房がある。能率のよい厨房は御客を嬉ばせ人件費を助け經營者を又嬉ばせる事は多大である。殊にコツクに氣持よく仕事をさせると云ふことは結局は美味い料理を作ると云ふ事になる樣である。

意味なき大きな厨房や無理にごたごた詰め込んだ厨房はよくあるけれどもこまつたものである。相當な店で最少限度二十坪を必要とする。この位あれば十人位のコツクは働ける樣だ。又御客も五十人位は引受けられる。

尙ほ大切であるのは厨房内の設備の配置で、要領を得た厨房の設備は無益の手數を省きひいては諸材料の經濟を來し店其のものの繁榮を來す事になる。

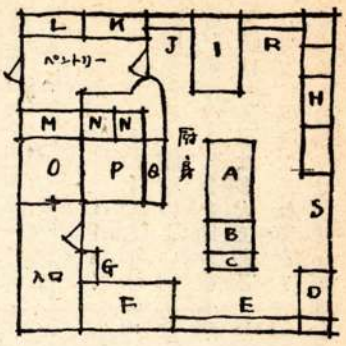
天井の高さは十二尺以上を要する樣で完全なる換氣と殊に料理ストーブ上の臭氣換はそれ以下では上手に出來ない。よく硝子を屋根に用ひた處があるけれど一部なら兎に角全部又は半分位であつても冬は良いとしても夏はとてもたまつたものでない。夏期なら百度以上もある厨房で上から又特別に日光にでもやられたものなら正しく人間の蒸燒が料理より先に出來ることになる。

床や腰は白のタイルならば一番良い。よく床に『スの子』を張つてあるのを見受けるが床下が不潔になり易く油の使用の多い事により足元がよくない。出來得れば二尺角位に縱橫に深い目地を巾五分深さ一寸位にとつて排水に便にする事がよい

尙ほ床には『グリース・タンク』の設備を是非造り油類、クリーム類、バタ等の混じた汚水は排水管に入る迄に一度『グリース・タンク』を通じて油性の物を取つて仕舞ふの必要がある。

冬期時には夏期でもあることでよく排水管に油性の汚物が固まつて困る事が多い。

今厨房、冷藏庫、倉庫を合せて二十五坪に限定して内部の設備を配置して見ると第一圖の如くで之を順次說明して見る事にしよう。



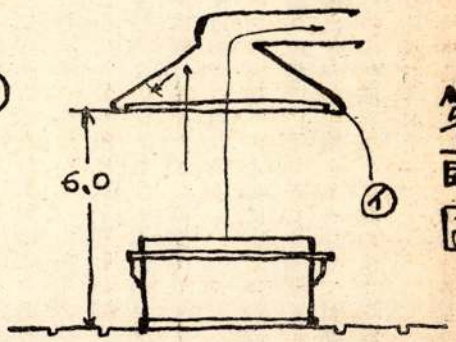
第壹圖

無論食堂の大小、又與へられた厨房の位置に由つて緩急宜敷を得るの必要がある。

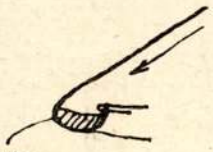
◇

A 料理用ストーブ 之は厨房中でも最も主要な設備で燒たり、蒸したり、煮焚したり、大部分の料理は殆ど之の世話にならぬものはない。高さは二尺八寸位適當で最も手頃の大さは四尺に八尺位、これ位のものなれば七八十人迄の御客を引受けられんこともない。尙之は厨房中で成丈け中心に置て四方から何人でも仕事の出來る樣にしてをくの必要がある。

ストーブの上には油煙と臭氣を除く爲めの設備がいる。第二圖の如く高さは床から六尺位にして覆



第貳圖.



ひの端を內側に圓く曲げて樋狀にしてをくことは忘れてはならぬ。之はストーブで煮焚きした時の油煙が覆いの內側に付き下からの熱で又溶けて下端の方に流れて其の端から點滴するのを樋に依りて防ぐことになるのである。

B 石炭入れ 無論之は小出しの石炭入で石炭庫から日日適當に碎いた石炭を之に貯はへて置く樣にする。

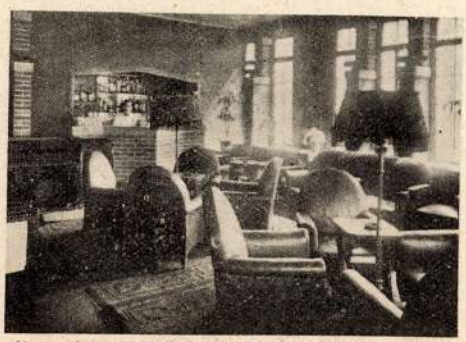
高さはストーブと揃へてをく方が便利で周圍は煉瓦積にしてタイルでも張てをけば之に越たことはない。

C 皿溫め 暖房裝置の有る時は自由に『ステームテーブル』を作られるから之を必要としないけれど、アラカルト(一品料理)用としてはストーブの近くに之があると非常に便利である。薄い鐵板で本箱の樣に作り之も高さをストーブと同樣にし、深さは一尺二寸位で結構である。ストーブの火氣が石炭入を通じて適度の溫度をもたらして皿を相當に溫める事になる。

D グリル 鳥の燒物や肉の網燒き、又ストーブに依つて出來ない樣なものは之の御世話にならなくてはならぬ。四尺の三尺位のものが普通用ひられ、大抵は蓋の出來る樣になつて居る。其の橫に棚を設けて串とか金網等をしよつて置けば良しい。

E 調理臺 この調理台は主に野菜を處理する處で馬鈴薯の皮をむいたり。タマネギを切つたり、人參を輪切にしたり、ナツパをむしつたり、豆を撰つたりする處である。

高さは二尺五寸位。奥行は二尺もあれば良い。上はトタン張として下に棚を設けてザルや其外のものを入れる樣にしてをくと便利である。こゝでは椅子に依つて仕事をすることが多いから高さを低くしてをく方が良い。食事時間になれば配膳台に使用されることも有り、間はコックの一服場所にもなる樣である。



第十八圖　京都菊水館休憩室　松村次郎氏設計

F 調理臺 この調理台は肉を薄く切つたり、潰したり、パン粉を付けたり、玉子を入れたり、ス

トーブに行く前の仕事をやる處で普通にこゝを女人は『仕込』と云て居る。詰りコロッケー、ロールキヤベツの第一道程はここである。高さは二尺六寸位を適當とする。

G 戸棚 この處には小出しの調味料とか、パンの類即ちFの料理台に必要な材料や道具類を入れることにする。

H 流し 大體に油類の洗場其他の洗場の二つに分ける必要があり、各れも其の高さ二尺六寸位深さは七寸以上にする必要がある、尚之の外に深い流しを造り此處では大きな皿や鍋類を洗ふことにする。

之等は人造石やタイルで造るよりも木製にして銅板を張つて置く方が食器類に都合が良い。尚こゝで氣を付けなければならないのは皿の揚げ場所で向つて左に置く必要がある、右手にて拭けば左に揚げ場を造らなければ非常に不便である。日日何百枚と洗ふことを考へると無造作に取り扱うわけには行かない。

I 調理臺 この調理台は最後の仕上に使用し又『サラダ』物や『サンドウイツチ』『アスパラカス』の様なものは此處で整えられる高さは同じく二尺六寸位を、下には棚を設けてをけば結構である。

J 棚 之はIの調理台の横に取つて居き仕上に使ふ調味料、鑵詰の類は之に入れることにする。

パントリーに入つて

K コーヒ沸し臺 說明する迄もなく此處ではコーヒ、紅茶、其他を作る處で、横には小さな洗場を設け、もどつて來たコップ、茶碗等はこゝで處理される。コーヒホットは徑二尺位あるから台の巾は其より以上にしてをく必要がある。

L 戸棚 この戸棚にはコーヒ茶碗、コップ其他呑物に使用する器具を入れて置き、ナイフ、フォーク、ナフキン等はこゝに整理してをく。食堂にサイドボードのある時は其の方で之の一部を兼ねることもある

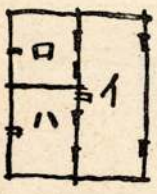
M 配膳臺 こゝでは一度に出せない料理をこゝ迄出して置いて順次に持出す樣にする。下に引出しを付けて銀器の類を仕舞つて置けば便利である。

N リフト 他の階に食堂のあるときは其の階のパントリー迄大きなもので料理を運ぶ場合が多いから内法は二尺五寸以上にして置く、尚廻りに圖の如くカウンターを取付て置くと至極便利である。

O 倉庫 少くとも一坪以上を取り、買入れた諸材料を整理し、主人なり支配人が管理し、一一厨房よりの請求に依つて傳票にて出す方法にしてをくことが必要である。尚倉庫と厨房の關係が亂雜になり易く、これの不取締りが多く店の成績に關係するのである。從つて倉庫の位置の取方は非常に注意するの必要がある。

P 冷藏庫 大きさは矢張り一坪以上を必要とする。圖の如く縱横三つに分けておくと良い。

第三圖



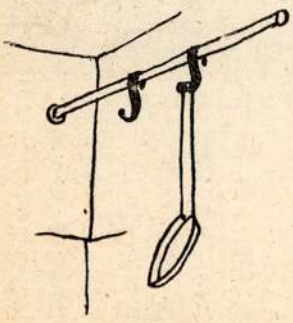
第三圖中イは大きく切つた肉類を入れる處で鐵製の吊鐵を設けることにする、ロこれは鳥類の肉を入れることにして矢張り小さな吊鐵を設け、ハには果實類、玉子等を入れる、小さく分けて置けば手早く扉も開くし、材料の差別も混亂せず。尚其れよりも大きく開くことに依り冷氣を一度に出るのを防ぐことになる。

Q 物入 棚にして置き、ごこの部にも共通に使用の出來る種類の物入れや位置は厨房の中心近くに置くとよい。

R 食器入 之は流しで洗つた皿類其他の物をこゝに處理し置き深さは一尺五寸位が適當である。

S 之の場所には料理用ストーブで使用する鍋の類を掛けてをく。

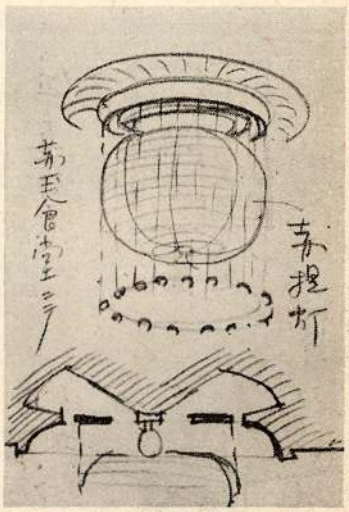
第四圖。



第四圖の如く天井から適當に鐵パイプを横に通し、自由にスライ

ドのする吊鐶を數多く取り付けてをくと器具の大小に應じて自由に整理することが出來る。

以上は厨房に要する設備の大體で大にしても小にしても之を擴大し、縮少することに依つて其の要を得ると思ふのである。



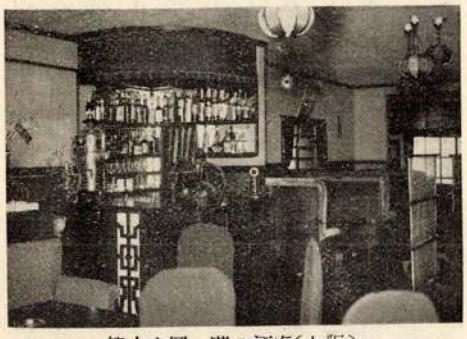
赤玉食堂の電燈照明（スケッチ）

カフエー照明雜感

東京電氣大阪出張所長
石川安太

所謂現在のカフエーは、バー、カフエー、レストラン、ビヤホールの各々から特長を取つて内容の抜殻丈けが一つの形を成したものだといへる。バーの如き芳醇な洋酒の香が漂ひ、カフエーの如く妙齢の給仕女が彷徨し、レストランの如く夢現のリヅムで空氣を振動させ、ビヤホールの如く陶然と羽化せしめるのが現在のカフエーである。

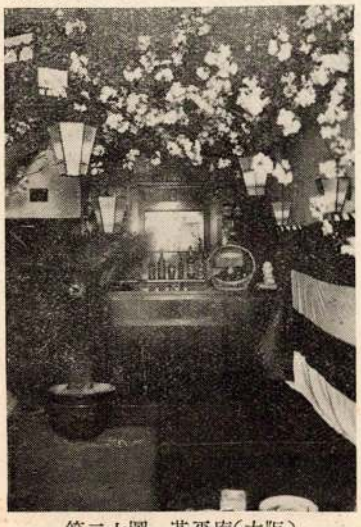
カフエーの内容に就いては、我々中老階級から可成り誤つた批判が下されて居る。カフエーといへば、低級な女と自墮落な書生が安酒を飲みながら淫猥な會話に興奮し合ふ處の樣に決めてしまう傾きがあるが、必ずしも左樣ではない。例外は何時何處の階級にもあるが概してカフエーの女給には教養のある素性の正しいものが多い。此



第十九圖　夢の酒場（大阪）
日本風の丸行燈を用ひた照明

が年頃の書生や獨身の勤人の狙ひ所で、彼等はあらゆる敬意を拂つて彼女等に接近し彼女等と出來る丈け長時間語り合ふ事に努力して居る。從つて彼等の話題は我々の想像して居る樣な下劣なものでなく、音樂、劇、スポーツ、文學更に進んで男女問題に迄も進行するであろうが、それは淑女紳士間の上品な範圍に限られて居る。

寧ろ四十以上の低級な連中でカフエーへ來て都々逸の一つも唄うかといふ恥知らずが反つて遠慮もなく惚

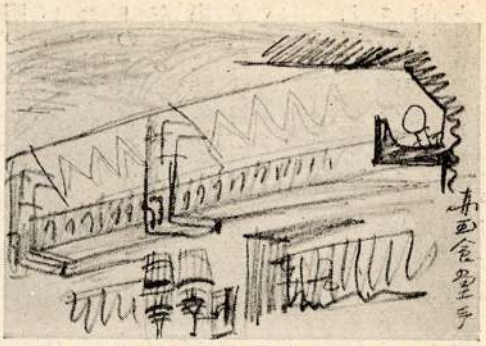


第二十圖　蓬平庵（大阪）
日本風のボンボリの照明

れたるか行儀の悪い事を並べ竝べ顰蹙されるのである。

斯く觀じ來ればカフエーの内容、趨移が自ら明かになり照明問題も大體方針が定まつて來る。

◇



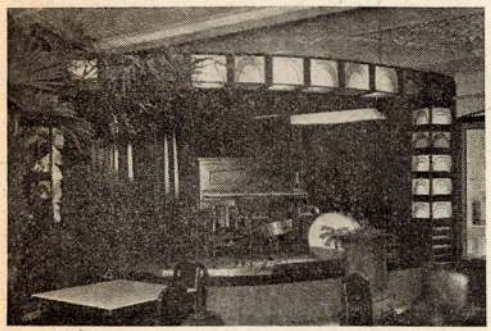
第二十二圖 赤玉食堂の壁間の照明(スケッチ)

反對に黄の勝つたアンバー色なぞは生き〳〵した元氣に滿ちた光を得る上からいふても勝れて居りはしないかと考へて居た。而るに試驗の結果は非常な好評で隣りから隣りへと此晝光色電球が張り店に採用されるに至つた。

我國では昔から『凄い程の美人』といふ事をいふ、これは目鼻だちにもよるが色のクツキリ白い女を表はして居る。これが我國美人の表現法の一つである。而るに歐米殊に米國では主として血色のよいといふ事が條件になつて來る。此に必要な光の色に相異が生じて來た。我國では白色がよく外國では血色ツマリ赤味勝ちの色光を歡迎する。アンバー光を我國の美人に向けると切角のおしろいが生地の皮色に變色する事になる。

カフエー内の凡ての調度は多くは洋風である。そして其處に和裝の日本娘が笑をたゝへて居る。(洋裝娘も居るが)而して場内の照明は所謂青い灯赤い灯であるが結果は赤橙黄色の光で照明されて居る。

彼女等は此色光に調和する爲め肉白粉を使ひ頰紅を塗り目の廻りに紫をぼかし、赤く塗つた大きな口を開いて美しくもない味噌つ歯を見せるなどは正に活動小屋に掲げてあるオペラ女優のペンキ看板其儘のあくどさを感じさせる。



第二十三圖 カツフエー美人座(阪大)
ジヤズ舞臺の照明

如何に目鼻立ちの整ふた洋婦人に一點の隙のない和裝をさしても正だしい不調和を感ずるのであるから、況や模造の洋化粧で和裝した日本娘は確かにより以上の不調和さである。矢張りカフエーの女給でもクツキリ白い純な娘風の方が落ち付きもあり彼女等の天性を其儘發揮させる。それには勢ひ現在の赤味勝つた色彩照明は根本から適はしくないといふ結論になる。

一方カフエから女給を抜きにして、單に氣分丈けに就いて考へるならば現在のカフエーは全く變態である。狹つ苦しい建物の中でのジヤズの騒音は耐え難い壓迫を感ずる。どうしても西洋ものでやらねばならぬならヴアイオリンかセロの靜かな哀調を帶びたメロデーの方が遙かに氣分に合つて居る。何んでもジヤズの決行を欲するならば屋外でやつて貰う方が確かである。室の大さや天井の高さを考へずに大きな音量で場内の空氣を振動させる事は間違つて居ると思う。



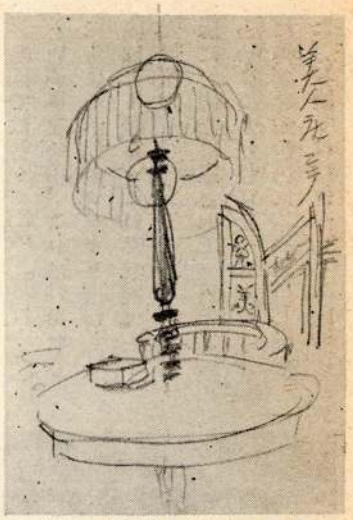
第二十四圖 赤玉食堂の大裝飾電燈(スケッチ)

◇

つまり我國に於けるカフエーは外國の低級なカフエーなどで見る樣な人前も恥ぢずキツスをしたり膝の上にダツコさせて頰ずりをしたりする樣な事がどうも國民性に合致しない。不作法に見える。

矢張り靜かに上品に而してハニカミながら幽かに流るゝセロの旋律に魂を燐かしつゝ異性間に持つ特有の興奮に若い血。胸におさるのを秘めながら、ある親しみを味ふ處にしたいと思ふ。

されば場内の色調は徒らに下劣を野獸性をそゝる樣な赤味の勝つ



スタンドの座人美人(圖五十二)
(スケッチ)

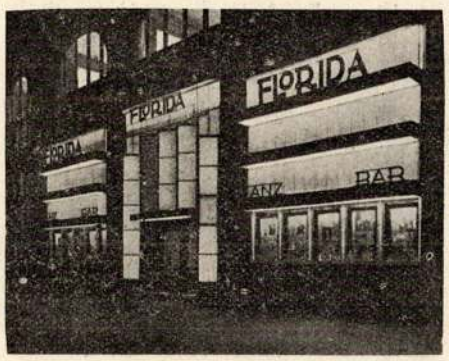
たものでなく、多少冷たい感じはあつても綠とか青の勝つた上品な穩かなものにしたい。從つて照明の色光もこれに伴ふものにしたい。

去る日、佛人のラグビー選手が大阪のあるカフエーに入つて其照明の甚だしく暗いのに喫驚したといふ事が某紙に揭載されたのを見た。日本人を知らず日本のカフエーの其味を知らない佛人としては左もあるべしと思ふ。而し此種の場處に特に低照明を施設する事は決して我國が獨特なものではない。

カフエー照明を暗くする事は決して其處に起るであろう事を想像される幾多の罪惡を掩ひかくす目的ではない。靜かな落付いた氣分となり幾分でも胸の高なりを緩和するには上品な低照明は最も適はしいと自分は考へて居る。

◇

照明器具について見るに、現在は建築設計者の樣式に囚はれ過ぎた無細工のものやカフエー主の低級な趣味から飾られた不體裁なものが雜然と天井を塞いで居る觀がある。これは室の大さ天井の高さを考慮に入れない結果から生ずる失敗であつて狹苦しい場所を更に狹苦しく感じさせる。



第二十六圖 ベルリンの酒場フロリダ
大膽に用ひられた硝子と巧みなる照明

建築設計者の灯具の圖案は兎角過大なものが多く形丈けに囚はれて技術的に劣等になり易い。灯具には場所に適應したそれ自身の定まつた大さがあるのに更にこれに季節的な裝飾を施こすのであるから幅つたい感じのするのも當然であろう。

將來ダンスが公許さるゝに至つたならば其時こそは活氣に充ちた明るい照明が望ましい。回路を二つにしダンスの開始は明るい照明を點灯して合圖にする今迄靜かに語り合つて居つた連中が此活氣に誘導されて立つて活き々々として踊る。其處には些の靜かさもハニカミもない。此の罪惡の隱れ家たる陰をも許さない。堂々と手に手をとつて公明正大な氣分で踊る。其處には晝の樣な照明が欲しいと思ふ。

お斷り 揷畫は本文の表題に因みて編輯子の集中にかゝるものなり。



カフエーとレストランの設計及設備上の注意點

宮飼克二

意匠と間取とは臨機考究するとして、心付きたる點を左に列記すれば

一、入口＝道路と水平の位置に設け、客用出入口はなるべく一ケ所が監理上よし。

一、一階床＝入口附近より低き方が寧ろ氣分よし。

一、配膳カウンター＝余り隅に偏せざる事。

一、出納係＝配膳カウンター附近にて、見通しのよくきく位置

たる事。

一、**配膳室**＝料理場と階を異にする場合は、一品料理に對し注文多き普通既製品をストックする保溫器、並にコーヒー沸器などを備付け、給水給湯の用意あるシンク及び食器棚を設くる必要あり。

一、**料理場**＝料理ストーブを中心に据え、周圍に調理台、流し（上下二ケ所）等を要す。ストーブの烟道は一先づ地中に導き烟突に通ぜしめる。ストーブ上部にて臭氣拔を完全に設備する事。

一、**肉、野菜類貯藏庫**＝料理場に接し冷暗なる室となす事。冷藏設備の要あり。

一、**洋酒、罐詰類貯藏庫**＝料理場に接し、分類したる棚を設くる事。洋酒類の高價品ある爲め責任ある取扱者を附す。

一、**リフト**＝各階に食堂のある時はなるべく別個のものを使用す、但し故障を豫想して何れにも變換使用を可能ならしむる事料理場が下層にある時は、リフト竪坑は臭氣吸上の作用をなすに付き上部に排氣裝置をなす要あり。

一、**傳票シュート**＝各階別個のパイプを用ふる方が安全なり傳票用紙竝にキヤリヤーは各階で色分けとする事。料理場迄に數階を經る時は、途中にて適宜パイプを緩くカーブさす事。（キヤリヤーの加速度を緩和さす爲め）尙パイプの內面はスムースなる事を要す。

一、**從業員室**＝控室の外に休息又は交代に食事をなす場所を要す。以上

（昭、四、二、一六、KM・生稿）

人類の黃金時代
次の五十年

世界の二大金持自動車王ヘンリー・フオード、米國大藏卿アンドルー・メロン兩氏は共に『次の五十年が人類の黃金時代をもたらすものである』との意見を抱いでゐるフオード氏曰く

◇

機械の發達に伴つて人間は勞働の必要がなくなる、喫煙の習慣が次第に薄らいで煙草がなくなる、料理は家庭外で安くおいしいものが出來、食事時間に溫いまゝ家庭に運ばれるやうになつて家庭料理の煩雜がなくなる。

◇

又一般趣味の向上に從つて酒呑みは漸次に減少し、酒の害惡が日々の新聞紙面をたえずにぎはすやうなこともなくなる。

◇

なほ進んでは農業に大改革が起り地均し、種まき、手入れ、刈取りまでやる專門的な大會社が出來、個人農業は、すつかりお株を奪はれてしまふ。

◇

最後に思索が人間の一番困難な事業であるが、これは極く少數の人が眞の思索生活を送つて他はこれを顧なくなる。

◇

全く、機械文化萬能、黃金萬能の米國のその黃金王の正に言ひそうなことである。

ここに、思索生活者が少なくなるといつてゐるが、それでは、他の大多數は？

◇

飽くことなき趣味享樂慾を追ふことになるのか小人閑居不善をなすともいふから心配ではある。

それとも、料理運搬機や、種まき機械等々の番人にでもなるのかしら。

◇

また一方メロン氏は曰く

五十年前に比べて現代の青年はどれだけ多種多樣の機會が與へられまたその報酬も大、且つ速かであるか判らぬ。

◇

もし自分が自分の通つて來た過去の五十年と交換出來るものなら喜んで次の五十年を米國人として生活してみたいと思ふ。

◇

プロの筆頭たる拙者もメロン氏と同意ではあるが、いくら米國一の金持でもこの交換だけは出來まい。

最も現代型の歐米のカツフエー其他

『CHIQUITO』讃頌

『CHIQUITO』

頬つぺたに『女王』樣の口紅の痕をつけて、白い太股がまざ〳〵とステージに描き出す鈍角に、狂喜の拍手を送つてゐらつしやらうと言ふ、ま、あなたが左樣な柔いお方ではございませいで、よしや、たれ込めて春の行方も知らぬと言ふ奥床しいお方でございませうとも、兎に角も此の言葉の後に、善と惡とは知らぬ事、何物かがひそんでゐるやうにはお察しでございませう。言ふ迄もない事、日の本のものではございませぬ事だけは確に申せませう。それ、何やらかうキヤスタネツトとやらのやうな響がするではございませぬか。二度目の杯からは、もう早あたりの物が動き初めて、そこいら中の人間の顔がみんな親しい仲間に見へやうと言ふ、あの、赤い、青い、黄いろい、濃い酒の味ひもございまする。うつかり紫になびく煙とふんわりと柔い口あたりに誘はれて度を過さうものなら、井と天井とが引り繰り返しにならうと言ふ強い葉巻煙草の香りもございませう。さあ、一と口に申しますればエキゾティツクと申すのでございませうか。我が日の本に、異國的、とやら申しまする甚だ異國的な譯語がございまするが、さしづめそれに當りませうか。派手な肩掛けをした若い女が、赤い花を一輪横ざまにくわへて、蓮葉に飛び出しざまに甲高く歌ひ出さうと言ふ、さう言ふ氣分でございます。

あなたがルーヴルで陰氣くさいギヤラリーの古い陳列品を眺めては黴の生えさうな書ばかりをお読みなすつての夕方、いや、俺はそんな事は嫌ひだ、と仰せられまするならば、ムーラン・ルージユの一と時、鮮烈な光の中に泳ぐ裸體の行列に尖鋭な近代情緒とやらをお味ひになります合間に、コリゼー通りへも御み足をお運び下さりませ。堂々たる建物の塗喰塗りの正面が幅の廣いアーチをひろげて、控へてゐやうと言ふのでございます。お見上げなされませ。その上の方の二層にエレキの光が這ひ下りて夜の空にくつきりと描き出す事でございます、

CHIQUITO

と、斯樣に。

まことに是こそ、超近代的（ウルトラ・モダン）なパリーのレストランCHIQUITOでございます。

何の彼のと引つ張り廻つた末がレストーランでは、呑む呑むと言ふ刀は呑まず、まやかし薬を持ち出して怪しげな商賣を初めまする香具師の類にも存ぜられませうが、まあさ、お許しなされませ。

さて此のCHIQUITO。

ギルパートが近代建築妄想錄にでも筆をとりませうならば、麗々と斯樣にも認めませうか。

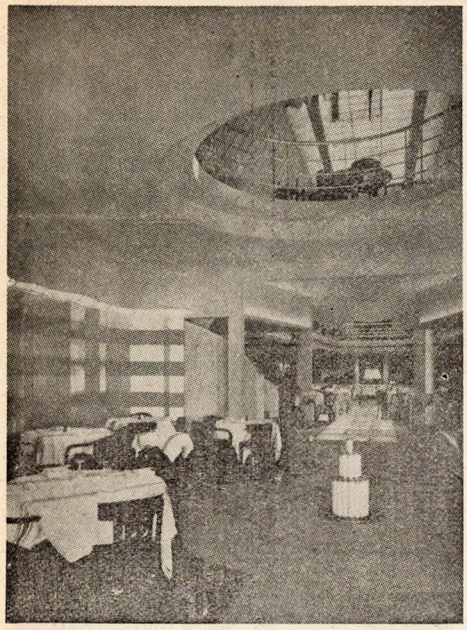
『さて諸君、諸君は一見して此の建物がスパニツシユであると想像されやう。全般的に見るならば、溫順なる諸君よ、諸君の想像は恐らくは正鵠を得るに近いものである。』

して、又恐らくは、溫順なる諸君よ、諸君の想像は誤れりと言ふべきであると申さねばなりませぬ。

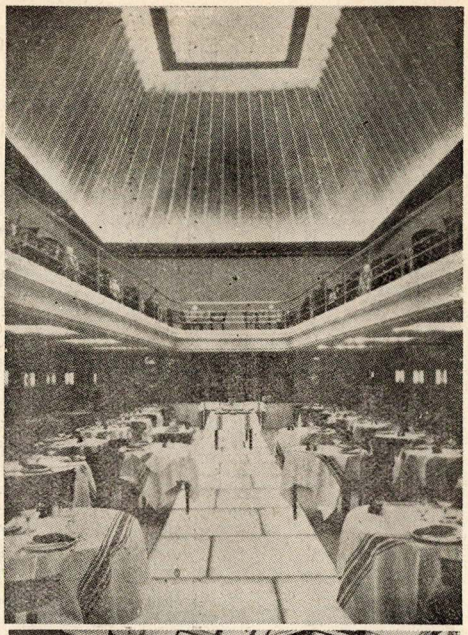
CHIQUITOはスパニツシユではございませぬ。唯スパニツシユに近いと言ふだけでございます。では？

左樣、バスクでございます。カルメンの國の東北方、佛蘭西ならば西南方、あのピレネーの山々近く住むバスク族の風でございます。

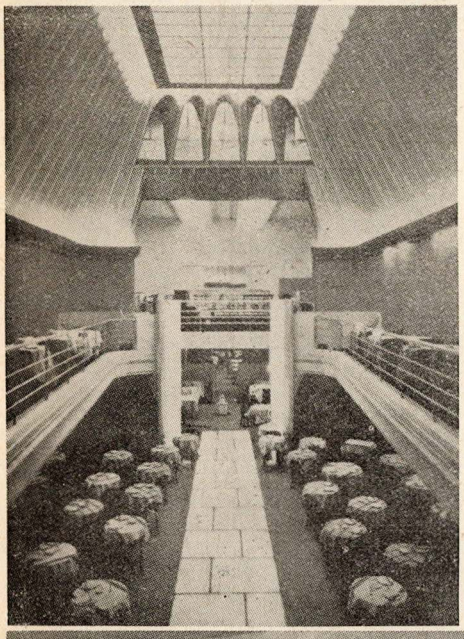
1



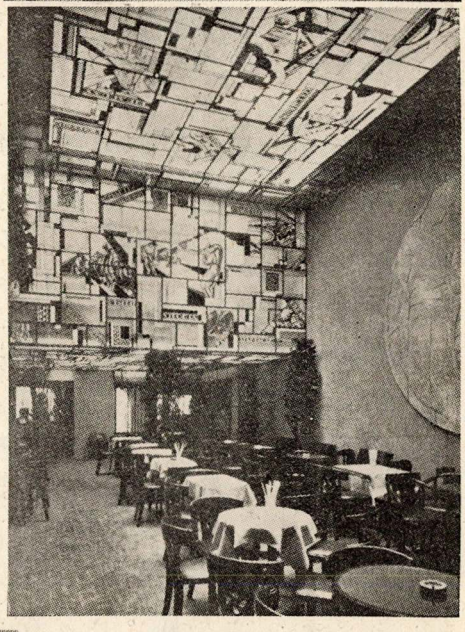
2



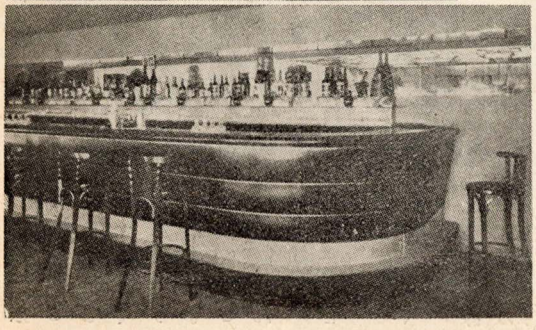
3



5



4



第二十七圖

佛國・レストラント・キキイト(巴里)

1 小食堂
2 大食堂
3 入口面細詳
4 バー
5 チー・サロン

バスクにはバスクの建築がございます。四半分はフレンチ、四半分はイタリアン、四半分はスパニッシュして、殘りの四半分はスイス。ぢやと申してもバスク風には相違ございませぬ。張り出した蝶羽（ブアーデ）、廣い屋根、特徴のある玄關（ポー）。時には佛蘭西風の奇體な木材の露出。矢張りバスクの建築でございます。

建築ばかりではございませぬ。バスクには海岸がございます。なだらかな傾斜が海に流れ入る海岸でございます。ダンス・ホールは派と系統の如何は問はず、ありとあらゆる畫家達に神來の妙想を得させやうと言ふ美くしい景色の海岸でございます。

CHIQUITOの門に立つてごらんなされませ。その建物の特徴はわざ〳〵エレキの光の助けを借らずとも、それがバスクのレストランである事をあり〳〵と知らせるでございませう。して又、朝な夕なピスケー灣の水に洗はれる海岸の香をあたり一面に高く漂はせて居りませう。

左樣でございます。CHIQUITOの正面は、エレガントで、パリジアンで、しかも鄕土の香を失つては居らぬのでございます。したが、一と足中へ入つてごらんなされませ。いや又これは〳〵、と仰せられるでございませう。海岸を出て、我々は船に乘るが故でございます。海上の感じ、船中の感じ、それがCHIQUITOの內部の氣分でございます。ダンス・ホールは汽船そのまゝ、バーも御同樣、して、どのやうに足許の覺束ない航海者達が押し寄せて參りませうとも大丈夫なのでございます。とは申しますものゝ、意匠を船に借る事など今更何が珍らしい、と仰せられまするのも御尤でございます。併し乍ら、自動車の外にペンテイレーターを取りつけ內をライフ・ボートに仕立てゝ、これでモーター、ボートの氣分が味へるなどとおさまつてゐたと言ふ一と頃の生半可なお粗末なリアリズムは此處には毛頭見當りませぬ。建築者のシヤール・シクリスはそれ程きざな男ではございませぬ。何をお召し上りなされますか、兎に角もあなたが御食事をなされるでございませうその周りの家財道具の總ては、或る特別の地方を思はせるのでございます。して、此の家具の構造案排が偶然の暗合から海を想はせるのでございます。容觀的にではございません。主觀的にでございます。卓子掛、獻立表、音樂、それが又勢を添へまする。種々（くさ〴〵）の果實の汁を合はせたバスク・カクテールは、あの香を、あのバスクの香を、一層强めるでございませう。つゞめて申しますれば此處には『特異性』があるのでございます。

これこそ、お八つ時から夜明けまで、何時行つても氣持ちの良い、氣の利いた、バリーで一番新しい寄り合ひ場所なのでございます。いえ、氣が利いてゐる許りではございません。內容も立派でございます。お茶に行くべし、お酒に行くべし、而して晩餐に行くべし、なのでございます。何時行つても面白い所でございます。その面白さが續く所でもございます。新らしい裝にしやうとて今迄の裝飾がすつかりひつぺがされたら、それとも、眼新しい寄合場所ばかりを漁つてゐらつしやる氣の變り易いお客樣の事でございます、部屋の中に氷山があるんだつて、いや、部屋中が高山の松林になつてるのさ、と云ふやうな事で『料亭瑞西（レストラン・シユイース）』へ集らうと云ふ事にでもなれば、それは別でございまするが。

若しあなたが建築家でございませうならば、一時間をお割きなされてCHIQUITOの客となりなされませ面白い思ひ附きがたつぷりと盛り込まれ、獨自の創造力のある頭から作り出されたあらゆるディテイルから、數多くの利益をお受けなさるでございませう。氣が利いてゐて、しかも下品に墮してゐない所など、確に一見の價値はございます。もと〳〵、やれ嚴肅さの、やれ恒久性のと、左樣なものを目指して作られたものでない事は勿論でございまするが、ぢやと申して、それが少しも見られぬのでもございません。總ての手法は實に大膽でございます。永遠の存在を主張する値打ちは十分にございます。しかも、祭日氣分と申しまするか、緣日氣分と申しまするか、それとも開放された休日氣分と申しまするか、兎に角も左樣な氣分にふさはしく、又、悲しい哉そんな氣分の持合せがないと仰せられまするならば、それを培ふやうに、輕く、美しく、愉快に、陽氣に、華かに、輝やかしく、晴々としてゐるのでございます。

では御案內致しませう。さ、かういらせられませ。

これが玄關（エステイビユール）でございます。物靜かではございませぬか。それに、此の水槽を御覽なされませ。色樣々の魚類（うろくづ）がのんびりと遊んで居りまする。水族館、まあ左樣にもお感じでございませう。したが、その靜けさと悠長さが、結局消費の爲に作られたものなのだ、などと言ふ事もお考へなされませぬ程に、心をなごめ和らげる裝飾的價値を持つのでございます。

次の間はバー（寫眞第四）でございます。壁沿ひにシートとテーブルがずーつと續く廣い部屋でございます。長いバー・カウンターの感じは何と申せばよろしうございませうか。さしづめ、スーマリーン・ドウ・ユックス贅澤な潛水艦の內部、にでも似

て居ると申しませう。上面（トップ）は硝子張りでございまする故に、それ、此の光の工合が實に面白いではございませぬか。前には踏段（ステップ）が一つ付いて、在り來りの手摺りなど影も見られませぬ。古くさい御常連（アビチュエ）など追つ拂つたがよろしうございまするからな。新しく出來たレストーランに古い常連などありやう筈がない、と。成る程それも理屈でございまするな。カウンターはそれ此の通り鮮紅色のラッカー仕上げ、備品は皆銀と硝子ばかり、背後はあのやうに鏡張りでございます。誠にスマートの極ではございませぬか。居酒屋めいた所の一つもないのも嬉しい事でございます。

此の向ふはアベリティーフ・ルーム（寫眞第五）。中一面の硝子張りと言ふのが面白いではございませぬか。平面に波形に色着きとり〳〵の硝子を巧みに金屬と組み合はせて天井と壁とを作つて居るのでございます。その硝子の背後から柔いだ照明の行はれるあたり何とも申しやうがございませぬ。他には裝飾と申しましても、一方の廣い壁にギロード・リヴイエール（バーレリーフ）の作りましたペロタ遊戲者の半肉彫がある許りでございます。輕い飲食の爲めアベリティーフ・ルームにはふさはしく簡素でしかも晴れやかではございませぬか。此の意匠にも亦バスクが思はれる事でございます。

これを出ますれば、小食堂とでも申しまするか、レストーラント・スペースでございます（寫眞第一）。それ、此處でございます。金と銀との横線（バンド）に塗り分けたあの幾何學的な壁を御覽下さりませ。前の部屋のそれとは何と美くしい調和を見せてゐる事でございませう。中央にございまするのは噴水（フオンテーヌ）——佛蘭西人がお得意の疊り硝子と銀線とで出來た墳水でございます。何でございまするか。孔？　あ、あの天井の孔でございまするか。二階の床を抜いて居りまするあの丸い大きい孔でございませう。あれは、あの二階がバンドの席になつてゐるからでございます。ジャズバントとか申しまするな、ドラムがひつきりなしに便秘した狸の腹鼓を打つて、ミュートを突つ込まれたトラムペツトが風邪にかかつた豚の鼻聲を出して、何秒かに一回宛はシンバルがガヂヤーンと爆發して、バス・サクソフオーンがその合ひ間にヴユー・ウーと、鳴り込まうと言ふ、あの亞米利加生れのバンドが此處でも幅を利かせて、その、實に『きんだいてき』な音樂があの孔から階下へ流れ入らうと言ふ寸法でございます。

續くメイン・ホール（寫眞第二）はギヤラリーに取り圍まれた二階造り（コーニス）でございます。屋根の起端部の蛇腹の背後と天窓の周圍とからの間接照明で、誠に晴れ〳〵と輝かしいではございませぬか。天井と壁とはピンクと銀、船中を思はす手摺りは銀でございます。バルコニーの下端（ソフイット）は大きな鏡板を通じて照明されて居ります。階下の中央を走るのは硝子の絨壇——下方から光を受けて居りまする硝子製の舞踏用床、して、その入口に立つのは太い二本の銀の柱でございます。（寫眞第三）

御感想は如何でございまする。私が代つて申させて戴きませうか。

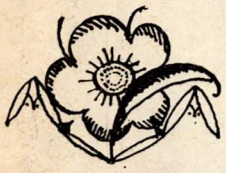
全體を通じて眼につくのは、色と形との様々に變るものを巧に布置擦排して毫も調和を破らせない手際である。總體に亘つて落ちついた雅致があり快い感觸がある。物質と光線との効果を扱ふ技巧的優秀さが見られる。一切合財が親しみやすく輸快でそして現代的である。洗練と巧妙とを以て取り扱はれた『特別の（アドホック）』裝飾の典型とでも言はうか。

と先づ斯様ではございますまいか。烜燵へ足を突つ込んで番茶でも啜つて煎餅を噛るのが俺は一番好きなんだと仰せられる引込思案のお方なら仕方もございませぬが、新しいものに、特に、新しい裝飾藝術に、少しでも興味をお持ちなされます方々は是非とも一度はお出かけなされませ。それ、そのセーラー・パンツとやらのお若い方、それに、あちらのバツブド・ヘーアとかのお孃樣、あなた方など眞先きに今から直ぐでもおいでなさりませ。御氣に召す事必定でございます。御思案などさら〳〵御無用でございます。え、あつ、是は失禮な事を申し上げました。あなたがたはジヤポンにお住ひなのでございましたな。それではどうも……ぢやと申して、あれあのやうにエレキの光があの建物の上から這ひ下りて黒い夜空にあか〳〵とあなた方をお待ちしてゐるのでございまするがなあ、

CHIQUITO

と、斯樣に認めましてな。

（ビル、ニヨークより）

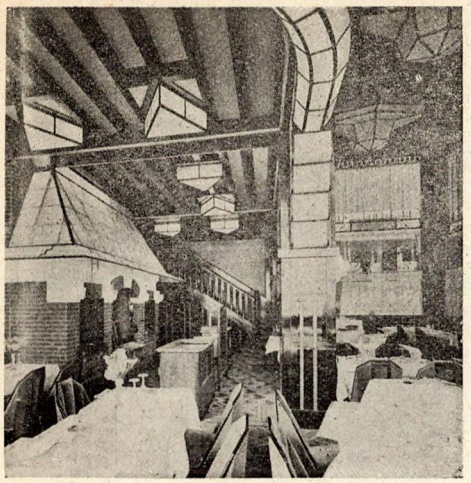


近代的グリルと酒場

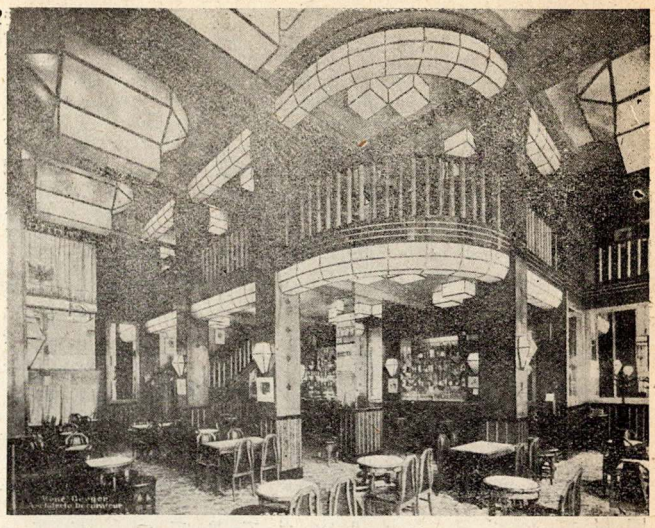
シヤンゼリゼー・アーケード

巴里シヤンゼリゼー・アーケードにルネ・ベルゼー氏が其の天才と裝飾的

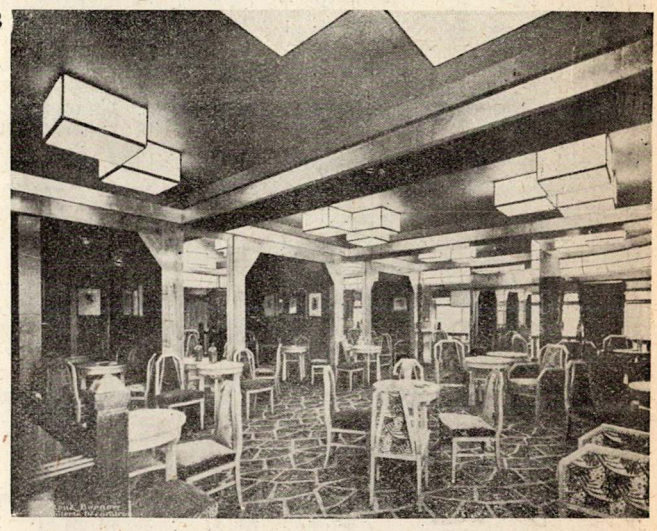
1



2



3



4



第二十八圖

シヤンゼリゼ・アーケード

建築裝飾家ルネ・ベルビー氏

1 ウエリントン・グリル・ルーム
焼肉屋のストーヴを示す

2 酒場ナポレオン

3 同上・二階

4 酒場ナポレオン

科學をば傾注して、グリルルーム、「ウエリントン」酒場「ナポレオン」及びレストラン「ル・フロリヤン」を造つた。彼はパリヂヤンの優雅さに歴史的と時代錯誤的幻想を結びつけて一新建築樣式の創造に成功した。此のウォーターループーの兩英雄名をもつ酒場とグリルルームはアーケードの通路の造る處、ポンテユー街に通ずる處でお互ひに向合つてをる。如斯ウエリントンをパリーの最中にをいて當年の敵と接近せしめて皮肉に感ぜしめず、而も反つて友愛を感ぜしめる事は常に微笑み掛ける輕快味をもつ巴里で初めて許される藝當である。此のグリルの室の高さは七米餘もあつて單調な感じさへ與へるために、ガルリーが繞らされ、其の支柱と梁に至極徹底した照明設備が施こされてゐる。

かゝるグリル・ルームで照明設備は非常に重大な使命をもつものであるがこの「ウエリントン」では新奇な形態と繪畫を施こされた現代型のランプが此の使命を果たしてゐる。ガルリを繞り柱の一部を覆ふた照明裝置は如何にも柔らかい乳光色の光りを浸み出ださせ、光輝は數多く用ひられたランプのために寧ろ充分すぎる程である。而し高い天井のランプは、其硝子に藝術的な素描がある爲に、緩和されて居り、三角形のランプはそれよりも一層蒼白い光を放つて居る。そしてこれ等の照明裝置の熱氣はストーブの煙突に導れてゐる。室内の色調は一樣でないが、殆んど淡紅色で燒肉ストーブの白と赤との煉瓦の互に解け合つて、空間に廣く擴つてゐる。この燒肉屋のストーブは、宛も英國の十九世紀初期を偲ばせる程、チヤーミングなもので、事實グリル、ルームの古い傳統を追ふたものであります。

そしてこの室の印象は、羽目板の黒光りのするマホガニー色、檻欄樹の綠、珊瑚の赤等の色調が巧に展開されてゐることである。

グリル、ルームの外部の光りを緩和する爲に多數の大鏡が、使用されて希臘風の素描のあるバンドで高さが限られて全體と均齊を保つて居る。又ストーブの左側、階段の前方には巧にカンフラージュした事務所の入口があり料理場は地下室に設けられて居るのである。

◇

酒場「ナポレオン」も其形體はグリル、ルームと同樣で、支柱で支へられたガルリーが、設計に取入れられてゐる。只異なる所は一つに裝飾家の感興に依るもので、全く同樣の設備をしながら變化を表した所に裝飾家の功績を認めねばならぬ。

これ等二つの建築物は一見した所はよく似てゐるのであるが、照明裝置等の細部に於て全く相異なつてゐるのである。

簡結に云へば、酒場「ナポレオン」は現代化された「エンパイヤ」スタイルである。而かも之等二建築の相互間には、等しく現代趣味に對する讓歩があるので、矛盾を感ぜず均衡も失れずやさしみを感ぜしむるのである。グリル、ルーム「ウエリントン」は純然と英國風であり、又酒場「ナポレオン」が、正確に佛國の「エンパイヤ」スタイルであつたとしたら、必ずや其處に矛盾があり、均衡が失はれたであらう。

◇

レストラン「フローリアン」の寫眞は遺憾乍ら括愛したが、巾二米半、長さ約十メートルの鏡の如き、廊下を經て入つて行くのである。此廊下に一直線に設けられた褐色調の長椅子は、パラ色の小形ランプの光線に一層やわらかみを出して居る。その右側には最新の設備を施された、外套室と洗面所がある。客室は綠と褐色の床敷、褐色の敷物、食卓も普通二人、多くて四人のサービスに供せらるもののみで、實に善盡し美盡したものである。料理とサービスの行届ける點は、更に驚嘆に價するものである。

全體から受ける印象は普通のレストラントのそれではなく、趣味の人、社交界の人の爲に造れた客間の如き感がある。又或室には出來得る限り陽氣に快活ならしめる爲に巾四メートル、非常に氣持のよい小舞臺が設けられて居る。舞臺の大さは演ぜられるコメディの微細な點まで實現せしめる爲には重要な點である。あらゆる慰安設備を施した四つの客室が、整然と造られて藝術家を迎へるのである。

如斯くその創作に徹底した藝術觀があつたればこそ、この現代的なアーケードが完成されたのである。このアーケードの首唱者は同時に建築物の首唱者であつたが、而かも一般一般人の嗜好を見誤るならば、總てが失敗に終る困難な設計を完全に遂行したのは建築家にして裝飾家であるベルゼー氏その人である。

現代思潮と一般の輿論と折衷させた建築で、パリーに一つの氣持の好い魅感的な裝飾物を寄與したことは、ベルゼー氏の大膽な態度に依るものであると言はれて居る。

（ラ・コンストルクション、モデルン誌より）



リヨンのレストラン

ブリエー・エ・ミリエー

リヨンは、料理については既に定評のある土地であるが、數多あるレストラン中最も有名な「ブリエー・エ・ミリエー」レストランはこの市の盛場で、然かも傳統的中心にあるベルクールの大廣場にある。このミリエーで貴族や富豪が、結婚宴や、交際社界の饗宴、招待會を催したのは、ずつと以前からである。而し建築がだん〳〵に建て增されて非常に古い建築物の中にまで擴がり、書院舍に使つた中庭が、忽ち客間と變じて、煤けた穹窿式の堂宇が一變して、事務室になるといつた風で、いくら增築を行つても增す一方の顧客を滿足せしむることが、不可能となつたのであります。そこでサービスの整頓及び現代化、煖房、換氣裝置の改善等を痛切に感じて建築界の權威「ミセル・ルー・スピッツ」氏の手腕發揮を待つたのである。そして眞摯なき研究の結果、顧客を納得さすことが出來、そして總體をなすことが出來た。

スピッツ氏は近時設計される斬新な裝飾は、建築と密接な關係を持つものであるから、既に基礎工事に着手する時に裝飾の設計が定まるものであると信じてゐる人であつたから、このレストランの改造に付ては、思ひ切つた變更がその壁、柱、天井等の構造部の上にも加へられた。そして已を得ず、殘された硝子張りの天井さへ現代佛國に於ける、有名な裝飾家である「ミセル」氏は其處にも明るいモチフで變形せしめたのである。

此處に揭載した寫眞は、このレストランの新らしい客間が如何なる調子に考案されたものかを示されたものである。

室内壁に用ひられた大理石は、天井まで達して確かに特殊なものであるが而も重苦しさを感ぜしめてはゐない。彼の裝飾は常に贅澤で經費の點等を考慮しないものであつた。この建築に於ても彼の好が暗褐色の地に深紅色と明るい黄色の條理のある、ポア・ジユールダンの大理石、細い貝殻の象眼で圍まれ金色の斑點を表した紅色の「シエラツク」塗黄金色の細溝條理で飾れた巨大の鏡、金具に彼の贅澤が現れてゐる。

大廣間及隣接する客間は、大きな衝立で區切られて居る。この衝立は又「シエラツク」塗で、壁の厚さに折疊むことが出來る。即ち閉ざした時は立派な裝飾された壁體である新機軸を表したものである。この種の衝立兼間仕切壁は大廣間と其の奥の舞臺の仕切にも用ひられる。それは楓板に唐木細工を施した彫刻家ジアンニオの手になる素描「愛の島」をシエラツクで塗つたものである。

持送りを持つた蛇腹は、嶄巖なる趣を見せ照明裝置は一段と照り映えてゐる。

この華美な工事の經費は、百五十萬フランを要したがまだ充分ではなかつた。

大都市の古きこと及び名聲高きことに於て第一位を占めたレストランが其傳統に執着して居乍らも顧客の現代藝術に對する、感激を否むことの出來ぬ最近の傾向を物語つてゐるものである。

訪問者が曾てはローマ第一賞を得たスピツツ氏に彼の現代の建築と藝術に對する意見を問ふたのに對して、彼は答へて曰く、

「現代の藝術なるものは、結局純眞なる建築術の復興（ルネサンス）に過ぎぬ云々」

今日の建築を生んだあらゆる時代の建築、又吾々をして今日あらしめた科學を全然知らない飾り屋のモチフの推積のもとにあつた大なる過去の藝術に歸るのみである。この復興に對して挑戰するのは一部の公衆ではなくつて、建築家並に專門家達である。この新しい思想が、一度古い慣例を破れば、彼等の無智が活動し始めるのである。

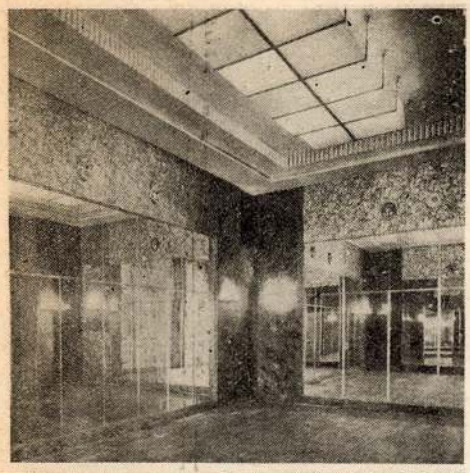


獨逸の現代型（モーダン・タイプ）ダンスホール

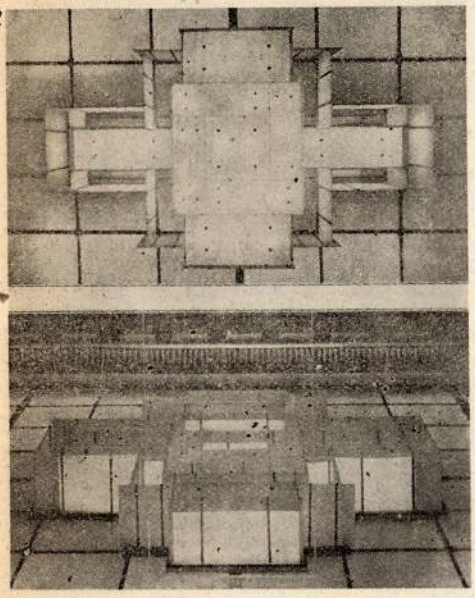
優秀な建築といふものが常に遵守すべき根本義の一は、我々がその特殊なる建築物を作るは如何なる目的の爲めであるかを、其の内外兩面から反省熟慮して、其の設計圖を作製すべきである。

建築の設計が、各々其の個性表現を達成するのは即ち此の主義の適用に他ならない。此處に於いてか、ダンスホールは此の點を熟慮して、其の建築樣式に芝居がゝりの或は又氣紛れな或る暗示をもたらさなければならぬ。

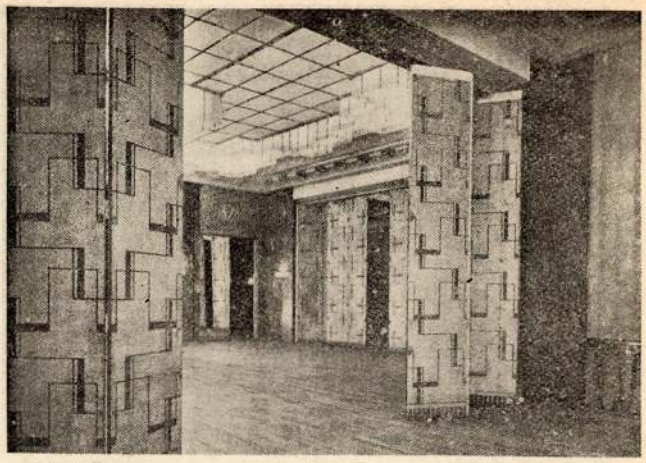
1



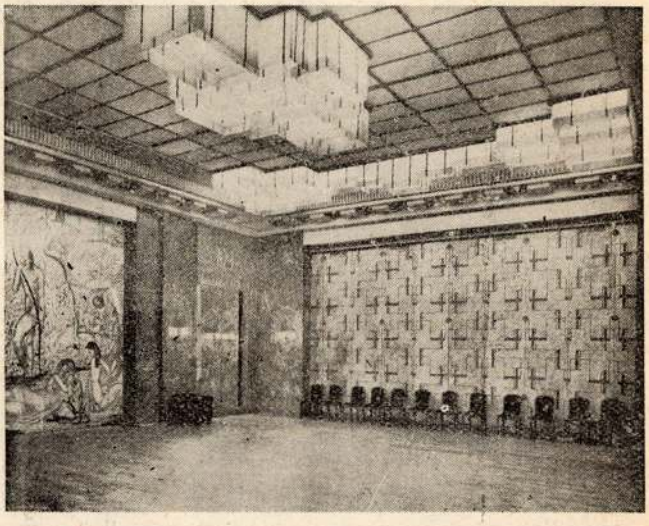
2



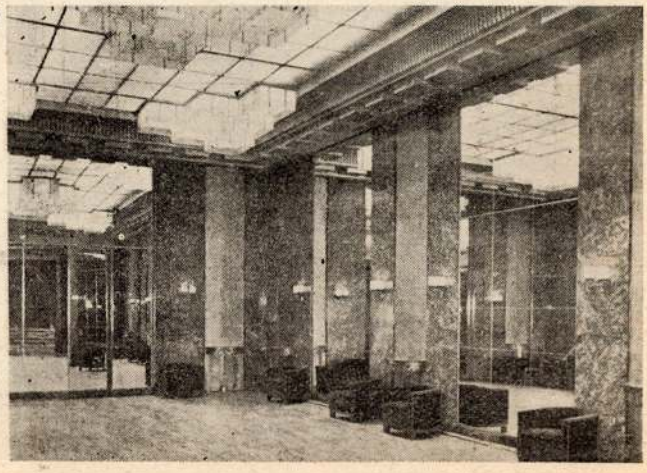
3



4



5

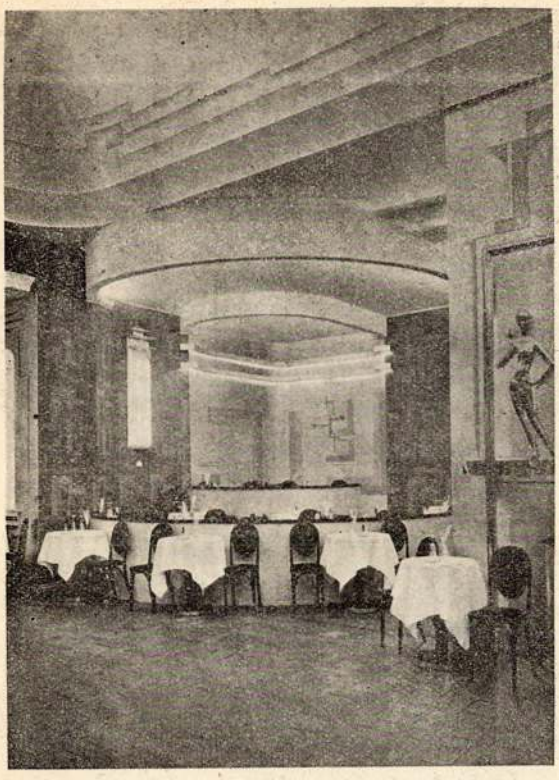


第二十九圖

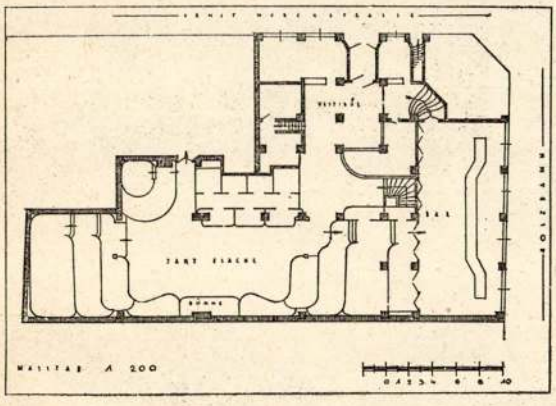
佛國リヨン・プリエー・エ・ミリエー
レストラン

建築家　ミセル・ルー・スヒツツ氏

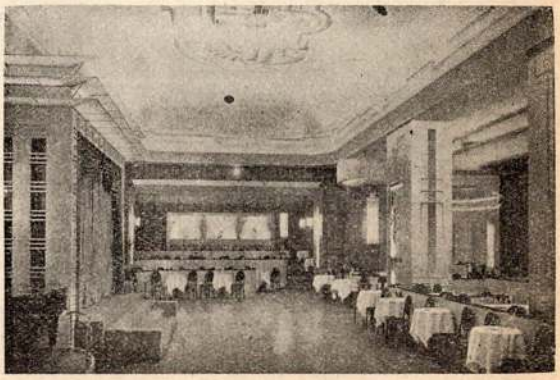
1　客間
2　3　客間(屏風式間仕切を示す)
4　同上・舞臺と閉ざされたる屏風式間仕切
5　大廣間の一部











第三十圖

獨逸ハンブルグ市のダンスホール
" フレデルマウス "
建築家 CARL WINAND

建築様式に於ける現代の傾向は、此等の性質を表現することに特に訓練されて居ることである。獨逸ハンブルグにあるモーダン、ダンスホールであるフレデルマウスは建築家カルル・ウイナント氏の考案にかゝるもので、現代型を其の形に、其線に無限の表現を試みて尙其の上、吾々建築家が當面せる所の問題に立派な解決を與へて居る。

比較的平凡なる形式をとりながら、其の部屋毎の異つた目的を確實に把握し居るが故に、其の效果は頗る活氣づけられて居る。

其の裝飾形式の如きも、褐色に、紫赤色に、銀色に、種々の色彩を以つて表出されて居る。壁間に懸れる裝飾用の氈絨、其他あらゆる特殊の裝飾物によりて、建築様式の一般と卓越せる風貌が、其處に確實に、力强く表現されて居るのである。

人工電飾が直接、間接の照明により與へられて居る、各器具の設計も完全に其の建築様式に合致しておる故に全體としつくり調和がとれて居る。

（アメリカン・アーキテクト誌より）

紐育、「ピアゼツタ」レストラン

公衆食堂の設計に關する秘訣なるものは、顧客をして、出來る限り氣樂に所謂「アト、ホーム」にさせることです。

此の點は、ホテル、又は倶樂部の食堂の如き、其の顧客が多少洗練された連中の多き所にては殊に喧しく言はれて居る。然し又、一般公衆相手の公衆食堂は此點大いに其の趣を異にして居る。風變りな物を作ると言ふ、獨創的方面は、他の如何なる建築物の様式よりも、此種のレストランのデザインの中に多く探究せられて居る様である。

然らばそれは何が故なるかと云ふに其の説明は至極簡單である。曰く、第一、それは一の營業方法なりと。

現今、殊に、レストランの間に猛烈なる競爭の行はれつゝある大都市にありては、極上の料理をサービスする上に、猶、客をして成るたけ多額の金を費消させんが爲め、客の心を捉へる如き、各種の設備をなすの必要を生じて來た。

それは、即ち我々、アメリカ人は、食事なるものに對して、多少機械的なる見解を有せるが故である。卽ち、我々は、生きんが爲めに食ふのである、又我々の食ふべき時だから食べる、而して我々の前に出されるから食べるのだと云ふ風を見解を有して居るのである、外國人達は我々の此の聲明書（ステートメント）を非難するや否や？

然し、さて我々が今、何處かで食事したいと慾する場合を假想す、我々は必ずや我々の心を捉へ目を奪ふが如き場所を擇ぶであらう。之れは頗る自然のことである。兎に角、我々はそうして其の食事をなす其の過程其のものに幾分かの快樂を見出すことが出來るのである。

此れは些か、彼の藝術家達が自分の建築をなすに必要なる建築材料を撰擇する際に於いて、彼の慾する所の物に出會つた時、少しでも多く裝飾的な方を撰ぶ心理狀態と相似して居る。

眩惑的な、刺激的なレストランの設計せんとせば、レストランでは、一席でほんに僅かの時間しか過さないものであると云ふことを先づ考慮すべきである。抑々其の公設なると個人經營なること問はず如何に氣持よきレストランと雖も、何等かの事情の下に、未だ曾つてそれが居心地より居間となつた例を見ぬ。かゝる意味に於いて、我々がレストランで過ごすのはほんに僅かの時間である。

レストランが一般公衆に愛顧されんが爲めには、先づ第一、特異性を有すること、所謂風變りなることを要す。これは急進的なるかも知れぬ、實際、風變りならんとすれば、勢ひ斯くなるは已むを得ぬ、

此の急進的傾向の表徵として一個のデザインとなつた。此のデザインは一見して、見るものをして其の心中に、如何なる部分を斬新に風變りならしめんかと決心せしむる興味を湧き立たせるが如きものである。

此の興味は、其處で食事するほんの僅の間には殆んど滿足される可き機會がないだらう。此處に於いて、更に其れに代る可き慾求が現はれた。

それは即ち、營業なるものを意味而して、又此の營業なるものにも今一つの方面がある。

而して又、此處に、裝飾法が、魅惑的にして客の魂を奪へば奪ふだけ、客の、料理の缺點を看過する機會が多くなるだらうと云ふことが想像せられる其れ故、レストラン經營者に云はしむれば、風變りな設計は嚴正な意味で、一個の營業方法である。

一風變つた食堂の設計が非常な速度で一般的になつて來て居るが故に、早かれ遲かれ、但し現在の割で進めば、今に風變りな食堂設計が、現在我々の普通なりと考へて居る所のものを凌駕するであらう。

然し或るものが、魅惑的にして、面白いと考へるものを、他のものはそれを俗惡にして馬鹿らしいと考へる（それは有難い事だが）其れ故何時かは、全部に充分な顧客が出來る時が來るかも知れぬ。例へば古いチュードルのあの粗末な澁い性質の中にも又、一種の輕快味を見出す人さへある程だから。

一九二四年六月四日發刊の本誌に、チュードル風に設計したる紐育市、イ、ペツグ、ウヲフイングトン、珈琲店の新支店の寫眞が揭載されて居た筈である。それは粗い石肯造りの壁と、漆喰細工の天井と、　材で作つた至極殺風景のものである。紐育の人々は今、痙攣的の發狂に惱まされて居る——と云ふのはラシヤン、レストランに夢中になつて居るのである。

奇怪なる劇場的な效果が、其の假面の下に、眞のロシヤ人はそうであるかないか知らないが（個人的には決してさうでないと思ふが）香ばしい餌食を忍ばせて、其處に這入らなかつたら決して食事をしない人々を澤山引込んで居る。

アリス・フート・マクダウガル夫人は紐育市西、四十七番街に彼女の珈琲店の支店を開く際に、新しい考案になした。其の考案は、建築家ベーカー、アンド、クロムウエルの手によつて最も完全なる方法によりて實行されたのである。全體は、伊太利の村落の「ピアゼツタ」を現はしたものである。

粗い漆喰の前廊、赤い瓦の屋根、鐵の欄干、切妻のある目庇作りの戸口のある邊り、眞に小さい村家の玄關其儘である。そして、其處には、細部に亘つてお互に艷を競ふて居る。

如何にもよく型どつた床部には、粗削りの儘で特異な粋な風に形づくつた桶を持つた「蔓棚」がしつらへてあり、其の上には蔓や、花が澤山飾つて居る。

明るい色の堅縞のある日覆の垂れた通路は容易に給仕臺に轉用することを得。そして青い又空色の屋根は一層戸外らしい幻想を惹き起さしむ。

ローマンチックな雰圍氣、そして、此處で最も、魅力のあるは、ぎつしり商品のは入つて居る賣手の手押車のあることである、一方一個の古樽と綴布を當てた一個の荷造箱が一枚の板張を支へて居て其の上に他の種々の賣品が擴げられて居る。輝かしい伊太利の服裝と被物を着けた女給は此の景色を更に色付けて居る、そして伊太利交響樂は人をして居ながら、全く海の彼方なる伊太利に遊ばしめ、眞ぐ足下に、第七大通があることを殆んど忘れしめるのである。寧ろ新奇にして風變りな樣子は其の接待室にして、其處には大きな爐が眞中に仕切つてあり、其の周圍には、便利にして獨特なる調度品が所せきまでに置かれてある。一方、露臺に通じたる階段室、其處のアーチ型の通路を透して、人々は、食事しながら、下の心を惹きつける町の光景を見ることが出來るのである。更にこれが、普通の役所や高いビルデイングの地階の上に、設けられて居ることが了解されたら其の效果は一層興味あるものとならう。

一般には、不格好な數個のショー、ウインドウから成つて居る、高い見透街路の如きも此處では改造されて古い寺院の壁となつて居る。

照明裝置の點は戸外であると云ふ考の表現せんが爲め深甚なる考慮が拂はれ居て、晝間は太陽光線を現はす爲め日光の注光がなされ、夜間は、反對の側より注光をなして、月光の效用を與へて居る。

「效果」は常に劇場的なるは言を俟たぬ、

戸外にない事を知り過ぎる程知つて居る人々に、戸外に在るあると云ふ幻想を創造させようと試みた結果、直ちに斯の如き「セット」を形成せしめたのである。

然し我々は、此の舞臺裝置の勝れた點を賞讃するに反對はしないキネマのスクリーン上に映寫されたる「セット」でも賞讃しないのではない。

此の意味に於いて、ビルデイングの內部の裝飾樣式として、此の「セット」を設計した場合、此處に見る如き、其の建築的性質の誠に興味津々たるものにして、吾等をして大いにインスピレーンを湧立たしむるならば、我々は其の設計者に對して同樣に賞讃の念を抱くべきであらう。

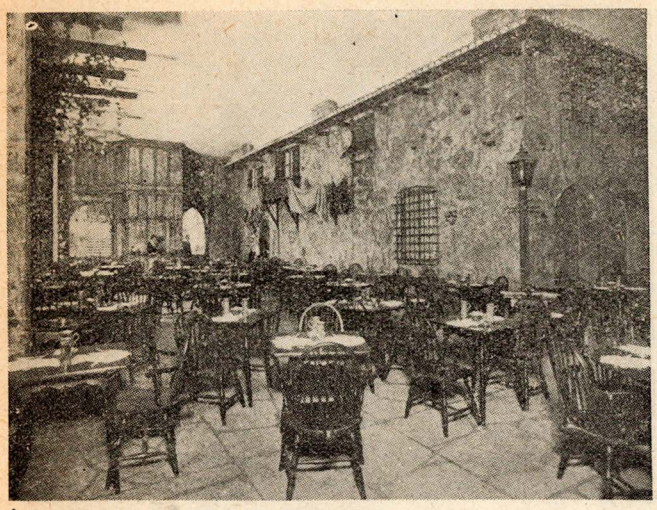
其の全體に亘る細部の着實なること其故、建築上の問題として、其の設計は、舞臺裝置に於いて往々等閑に附せられたりし興味を此のビルデイングの內部に附與したのである。

映畫の舞臺並びに普通の舞臺に見られる最もアトラクテイブな「セット」の多くは、不確實なる細部を使用してゐるが爲め明らかに其の寫實主義の缺乏の爲め、鑑定の興味を缺げて居る。

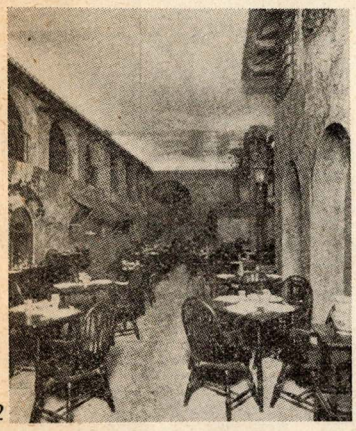
此の「セット」、「セット」と言つて差支へないと思ふが、此の「セット」の建築者達は其の樣な鑑定眼はなかつたかも知らぬ。

其の效果は、屢々看過されて居る細部に一層深甚なる考慮を拂ふを要する場合、舞臺裝置の將來の成功に對して誠に意味深長なるものである。

◇　◇



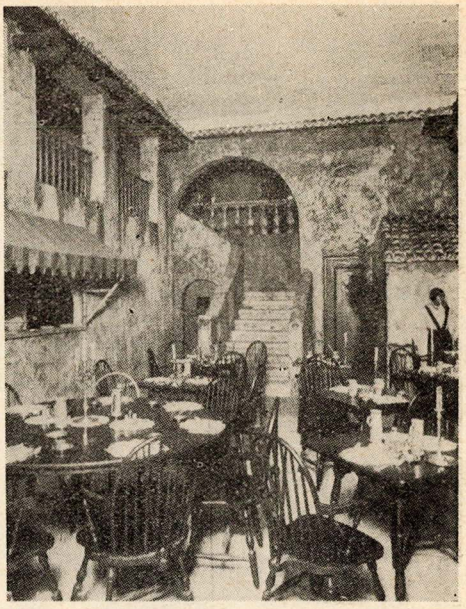
1



2



3



4



5

第三十一圖

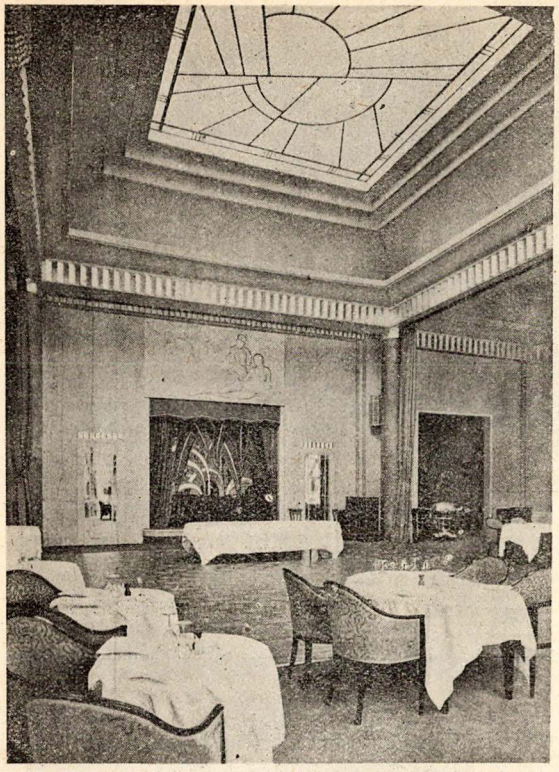
紐育レストラン“ピアゼツタ”

建築家　ベーカー及クロムウエル氏

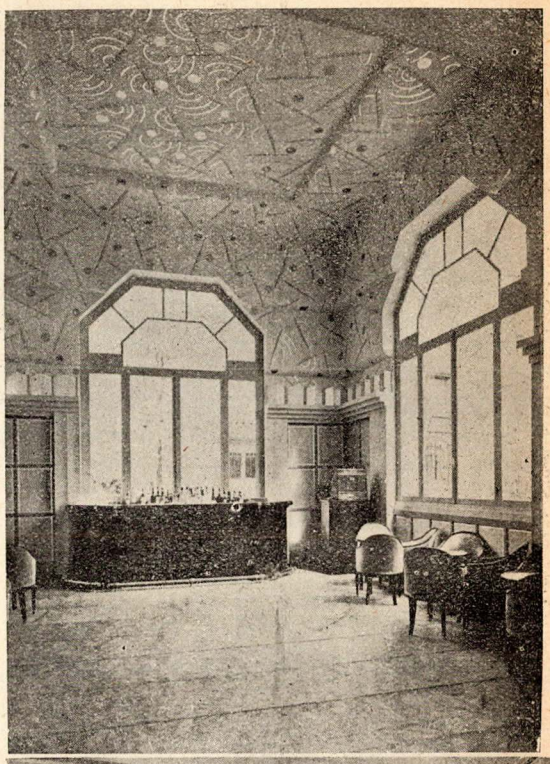
入口に向ひ

1　古寺院の壁を壊したる一部
2　階段室遠望
3　バルコンとカウンターを示す全景
4　バルコンに通ずる階段室
5　ピアゼツタに入つた最初の光景

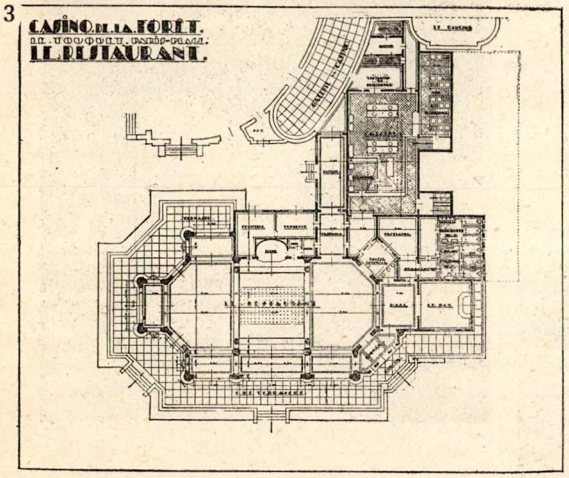
1



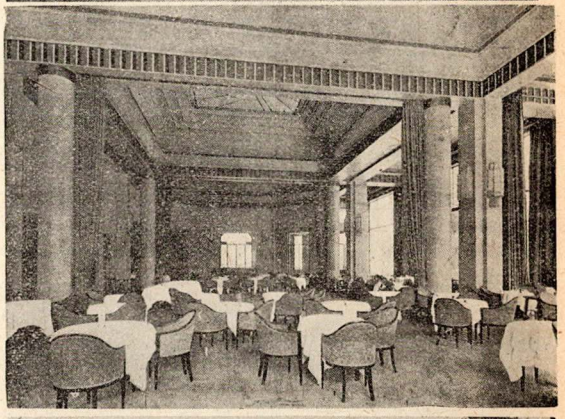
2



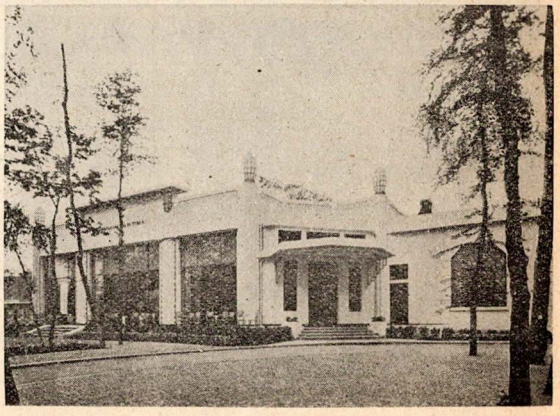
3



4



5



第三十二圖

レストラン・ド・ラ・フオレ
トウケ　パリプラージユに於ける

1　中央部並にジヤズの爲めの舞臺
2　酒場　　3　平面圖
4　主要正面、酒場の玄關　5　酒場

建築家　エル・ジユールド氏設計

建築家から見たレストランとカヅフエー觀

伊中本岡德高足鶴

藤尾間部政林立

幸圓呆

正乙顯金次太

文保彦則吾郎郎二



カフエー時代

大阪市技師
伊藤正文

一

シネマ、レヴユー、バア、ダンス、スポーツ、カフエー、と時代の文化の火花が目まぐるしくも又華々しい。

これ等のモダン現象と、建築の表現についての、關係を見るとそれだけでも、可成に面白い。けれども尙それ等の建築的表現をあるが儘に見ると同時に、その動向に就いて考へて見る事も、又更に面白いことであり、吾々の日常の現代生活に何等かの暗示を、投げかけるだけの價値があるであらう。

私は、此小さい評論を『カフエー時代』とした。まことに現代の文化はカフエーに代表されると云つてよい位、所謂モダンの社會相の尖端は、カフエーに於て見られると云つて過言ではない。

従つて、カフエーの建築的表現は、所謂モダン建築の姿形の意義を代表すると、考へてもよいわけである。

所で、大阪では——否、日本ではと云つてよいであらうが——カフエー、バー、食堂と、名稱は異つても矢張り一種特異なカフエーであることに變りはない。一種特異なといふのは、酒場であつて、客の數よりも多い程の所謂サービスレデイー達が給仕する事と、ジヤズやステージダンスの設備をそなへてゐること等である。すべてがそうでなくとも、所謂カフエーの中でも先端に立つ代表的のものは大體そうであるから、先づ一般にカフエーと云へば、此等の性質を備へたものを總べて稱へることになるわけである。



第三十三圖　道頓堀エジプト(大阪)

春まだ淺い一夜、私は大阪のあるカフエーに入つて見た。藤色の淡い電灯の下は、人いきれと煙草の煙がもう〳〵としてゐて、外からいきなり飛込んだものゝ眼はシパ〳〵する。見掛けによらない掛

心地の悪い硬い椅子にかけて、紫の煙を通して仰ぎ見るヒ、造り花の櫻花滿開ヒあつて、柱の根元から櫻の枝を所狹い程結びつけてある。年配の客が、折から奏で始めたジヤズに合せて足踏をする、果ては樂手の前へのり出して行つてコンダクターのタクトを振る手眞似をする、他の客は足踏しつゝ拍手をする。テーブルに運ばれるものは高級關東煮ヒ云ふ薄味のオデンや、ピーナツツ、それにホツトウヰスキー、日本酒、ビール等である。ステーヂの帳が開くヒ、半裸體の太肉のダンサーが靴音高くカタ〳〵ヒコケツトな姿體をして見せる。

おそらく薄暗い電灯でなかつたならば、コツプの酒の表面には埃が一面に浮いてゐるのが見えるかの樣な氣がする。斯くしてカフエーのジヤズが流行歌を宣傳する。それも一ケ月が生命であらう。『アラビアの歌』『靑空』『波浮の港』『君戀し』ヒ、感傷的なメロデーがカフエーから街頭へヒ流れ出てゆく。

此薄暗い電灯からしてグロテスクではあるが、ステージダンスやジヤズに合せる客の足踏は現代大衆のほんとうの心持の樣な氣がした。カフエー時代は足踏時代である。『亡びゆく階級よ、笛吹かば踊れ。』と誰かゞ云つたその心でもあらう。

カフエーのこうした有樣は僅かに一年このかたのことであるが、滿たされない小市民的感情は、あ



第三十四圖　富士屋バー(大阪)

はただしくも、すべてに變化を强いてゆく。そうしてその極まる處を知らない有樣なのだ。

じつとして居られない、一時的の刺激的享樂の時代である。靑い灯、赤い灯のレコードが家庭から聞えるかヒ思ふヒ、ルイズブルツクス張りの斷髮が、銀座を往來する時代である。

バルガーではあるが、それがモダン社會相だ。カフエーヒ、シネマヒ、スポーツは、時代相を代表する。つまりは現代人の生活は、感覺的急行列車の生活である。車中の人である以上は、いやが應でも、飛下りるよりは乘つてゐるより仕方がないし、行つく先を、敏くも察して落付いてゐる他ないではないか。資本主義文明が、精神的には之以上の進展が出來ない爲に、却て止むを得ず、グロテスクな感覺方面への方面轉換をやつて突進してゐるのだ。

私は現代相のスパーク的のすべてを否定しようヒはしないし、そうし度くもない、何故ならば、それが當然であり、必然であるものを拒むことは、結局無暴であるか、或は感傷家ヒなり終るだけのことだからだ。

2

此等のカフエーの建築的表現は目新しく、鋭く、きらびやかで、出來得るだけ感覺的であることにすべての世相と同じ意味の內容をさせることが出來る。

鋭さは感覺的鋭さであつて、力の强さではない。

感覺の鋭敏さが表面を覆ふ、それが所謂、建築的モダンの一般的特徵ではあるまいか。そして、此表現は程度によつて新鮮な心よさを認めることが出來る。私は所謂モダン建築の中に、決して捨てゝはならないものを見る、それは明るさと、新鮮さである。

一般的にモダンの社會相を見ても嬉ばしいのは只、明るさヒ、新鮮さである。がしかし、所謂モダン建築、特にカフエーの建築の多くは、殘念ながらその新鮮味ヒ明快さに乏しいきらいがあるのは如何したものであらうか。それ等の多くは、樣式撰擇主義的——村山知義氏の言葉を借りるヒ——であり、ヂヤズの狂燥曲だ。自信のない亂舞だ。ステージのスパニツシユダンスだ。意識の低級な建築的技巧のヂヤズである。

大衆の享樂は遊廓からカフエーに移りつゝあるとして、そのカフエーは大衆に迎合した低意識の表現に終始してゐるのが現狀である。

表現主義的技巧や、構成主義的技法の遊戯的操作に於てのみ、新しき建築があるならば、それは單に所謂モダン建築であつて、一時的感覺的のものに過ぎないわけである。明るさと新鮮さがあつても、力のない建築に眞の價値を認めることは出來ないであらう。

けれども、新鮮さ、明るさのない、強いてグロテスクで陰慘な表現を喜ぶ所謂アンティックフィニッシュ風の趣味に到つては、全くアナクロイズムであり、變態であり、健全な神經では見るからに不快を感ぜしめられる。

大阪のカフエーや、レストランの多くに、此種のものが特に散見することは、古味と或は澁味と、陰慘さの感違ひでもあらうが、矢張、資本主義社會のデカタン的傾向によつて、知らず〳〵に誘致された病的現象である。さ同時に、建築家自身の認識不足的態度にもまた原因がある筈である。

それは餘りにもアメリカニズムに陷つてゐる。創作的熱情さ、強い精神力に惠まれないアメリカ金持の、遊戯的趣味が日本への影響の結果である。そのアメリカモダンの趣味は同時に、日本に於ける、ホリウツド女優ファンの趣味に相投ずるのだ。

日本のカフエーを建築的に見た現代相は一見一つの色どりにも見えようが、表現派、構成派、の所謂モダンと、アメリカ式低趣味、低徊趣味の病的現象さの二つの傾向を觀取出來よう。

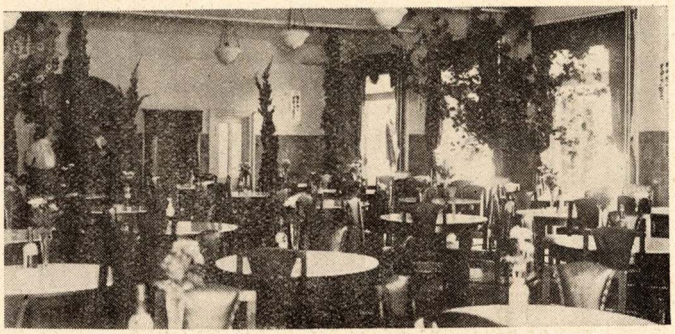
いづれにせよ、今カフエーの建築や、裝飾に現れてゐるものは、すべて感覺的技巧的であるもの他何物でもない。又そうであることをもつて、その目的さしてゐるからである。けれごも、それがカフエーや、レストランのみであるならば、或は更にデパートメントストアや、シネマハウスばかりであるならば未だしも、所謂モダン建築、新建築さして概念的に見られる一般に亙つて、同じことが繰返されてゐるのではあるまいか。

それが時代だから、さ云つてしまへばそれまでゝあるが、そうゆう時代の中にも次の時代への意識のめざめがあつてこそ、その現狀を默視出來る筈ではないのか。

『建築の姿形なんか兎に角一般の人が喜び、美しいきれいだこ云つてくれゝば、それでいゝわけではないか。』等と云ふ言葉か建築家の言葉の中にまざつて聞かれる現代である。建築界も所謂カフエー時代であり、足踏時代である。

建築に於ても足踏時代だ。意志の働かない感覺の建築時代である。

カフエーの建築が、その內容を最も如實に示してゐる。——それは當然過ぎる當然であらう。



第三十五圖　池田谷久吉氏設計　戎橋ユニオン食堂（大阪）

3

試みに、堂島ビルディングの花屋へ入つて見給へ、多分にもれない薄暗い電灯の下で所謂古味に凝つた、かけにくい椅子さテーブルによつて、調度に不似合な服裝のカフエーガールと喋々する情景に接することが出來よう。

成程彼女等を、此室から取去つた殘りを想像するさ、空漠たる廢墟の感があるであらう。

又趣味的に集めた、スパニッシュミッションシヨン、オールドイングリッシュ、の斷片の中に、表現模樣の長袖がひらめく所は花屋ばかりではない。そうした空氣を趣味として感ずることが出來るのが、すでに變態であり、廢頽的である。

しかし、此空氣が、小市民的廢頽趣味に迎合してゐるものとすれば、商買上當分は致し方もないかも知れない。

又一方、モダンなものは實例も少くない。最近の作では、京都の駒鳥や、高知市のソブラノ小路に出來たさ云ふ、スローガン等がある。

之等に就ては寫眞での知識しか

ないので、立入つて茲で語ることは、むつかしいけれども、刺激的な新味のある手法は確かに、モダン建築である。

けれども駒鳥には、表現派風の取扱が散見してゐるし、スローガンには構成派流の筆法がチラツイてゐる。いづれも新しい感覺から綺用に取扱はれた効果が見えてゐる。けれども、スローガンの如きは更に一歩、山口芳春君の設計意識が明かにされて欲しいものであつたと思ふ。

大阪では灘萬の五階、パリジャン、花屋、美人座、ユニオン、赤玉、等々が所謂カフエーとしての尖端に立つものなのであらうが、建築的表現の取扱から見ると、さまでモダンでないのは殘念である。中には建築的手法を超えて、セットの様な手法になつてゐるものすらあり、統一は全くなし、あらゆる建築手法の亂舞が見られるのみである。

美人座の如きはお伽劇のセットであり、パリジャンは停車場の待合室の感があると、誰かゞ云つたのは眞實のことだと思ふ。

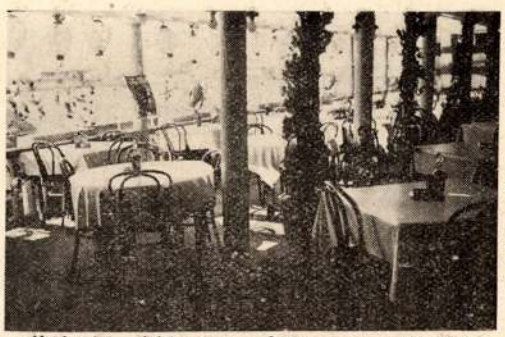
最近私の最も親しい友人の作になつた食堂が、二つ出來た。一つは小川安一郎君設計の野田屋食堂の增築と、もう一つは、上野伊三郎君設計の京都三條のレストラン東洋亭の增築である。

共にレストランであつて、バーや所謂カフエーではないが、斯くも異つた二つが同時に出來得ることが、最もよく日本の現代相の一面を語つてゐることが、兩君には失禮ながら、こゝに對比させて見度くなつたわけである。

野田屋の方は隣へ增築しただけ外觀迄も充分にとゝのへることが出來たのに反して、東洋亭の方は屋上への增築であつただけ、外觀に乏しく、僅かに、ガラスの斜面の屋根を透して、赤い薔薇色の內部が見える程度である。野田屋は某佛蘭西將校が訪ねた時、賞讃してゐた相であるし、東洋亭はゾルフ大使が御大典の頃、晩餐に來て、非常に喜んでくれた、と云ふエピソードを、夫々兩君から聞いてゐる。

しかし、今、私は双方を一々比較して、批評するべき準備と紙數とがないので、たゞ、此手法の餘りもかけ離れた二つの食堂が、京阪電車の兩方のターミナル近くに出來たことが、如何にも面白いと云ふことを紹介するに止めよう。

けれども、野田屋等の手法に似てゐながらも、凝つては愚案にあたはぬ八百政の様な建築が、四條大橋のたもとに聳え立つたことを



第卅八圖 (大阪)ホールヤピヤ堂食ダンユニオン橋寃
池田氏吉久谷田設計

場所柄だけでも甚だ遺憾に思ふと云ふことを附け加へたい。アメリカ臭味の高い八百政のことは一般に知られてゐるし、稍舊聞に屬するし、此建築を問題として取扱ふのが大人氣ない様な氣もするのでそれはそれだけとして、扨、上野君の東洋亭について、類のない新鮮さと明快さとを、少しく味はしてもらうことにしよう。

4

世間一般には新建築と云へば、同じ手法のものであるかの様に考へ、又、しかく語られ勝ちである。

なるほど、手法から見て、新しいから皆新建築だと云へば、それ迄に違ひない。がしかし、舊い建築、即ち、歷史的樣式の建築は、手法は異つても、內容的には、建築家の意識、又はそれを建てる社會の意識は結局同じ様なものに歸着するものである。

所が所謂新建築の手法は、如何に相似てゐても、意識的に相反する、或は意識の高下に於て、全く內容的に異るもののあると云ふことは、兎角に、判別されずに放置され勝ちである。何故とならば、最近科學の發達による材料、構造に據つた所の新しい形態は、殆ど相似たものがあるからである。しかもそれが極めて簡單であり、形態のみを強いて相似せしめることも容易であるからだ。そこに、建築批判や、鑑賞の危險があるのだ。

何故に此簡明な形態に向つて、

すべて近づきつゝあるか、こゝに云ふこゝに就ての反省が少しでも爲されるならば、建築の國際的進展の過程が、容易に理解される筈である。

新しき建築は、建築の機能と、そのもの自らの理論的根底からスタートして、時代意識を反映しつゝ、組織さる可き性質のものでありそれが眞のモダン建築としての生命をもつものである。

それ等の内容について反省を與へず、只、いたづらに外形、細部の手法等を逐ひ求めて見ても、それは單なる所謂、モダン建築であり、技巧的、遊戯的建築であるに過ぎない。

多くの商店、娯樂場、等の新建築は施主の甘いロマンチックな趣味的要求に迎合せんが爲に、易々として、妥協的な、モダン建築を作つて、世の視聽を集め樣としてゐるものがあるではないか。銀座行進曲を口すさむ斷髪娘が、ルイズブルックスの毛斷を眞似るのと變りはないのだ。つまりはカラエー時代、足踏時代の、モダン建築ではないか。

所が、私は上野君の力量を、失禮ながら、東洋亭に於て初めて知り、畏敬の念を深くしたのだ。上野君の作風は勿論、モダンであり、清新な手法を創案することに於て常に先驅である。

けれども、上野君の建築家として、又人間としての意識に就いて、よく知つてゐる私には、東洋亭の



第卅七圖　カフエーパリジヤン(大阪)

赤や青や黄の鋭い色彩の家具が、赤いペツヘ氏のデザインによる壁紙で取まかれてゐるあの室内を見て、刺激よりもむしろ力を感ぜしめられたことは最も嬉しいことであつた。細部には或は難もあらうがしかし、全體としての空氣は輕やかで、清新な心持があり、すべての形態や色彩が、飽和點に於て、働いてゐる感がある。緊張し切つた力の中に安らかに抱かれる心持だ。現代日本の社會に適合しつゝも、のびやかに來るべき時代への意識が作品に溢れてゐる

私が、この室で食事してゐる時に、隣合せた一組の客は物稀らしい氣に室内を見廻して、互に素人らしい、批評をしてゐた。

『これだけ生な色ばかりで、ちつとも野卑な感じがしないな。』『こんなものは矢張設計の仕よう一つなのだね。』

『僕は寧ろ、この位が今の人達に丁度合つてゐる樣に思ふね。』『奇抜の樣で、よく見ると大して變つても居ないのだな』等、こゝ云ふ會話をきかされた私は友人の事ながら、うれしい氣がした。素人でも現代人としては同じ感覺に生き、同じ物の見方であることを、今更の樣に感じたわけであつた。東洋亭は眞紅と、黄と、藍と、白と黒との色彩、透明な大きい硝子の面が、それを作りあげてゐる。

私は所謂モダン建築と、眞のモダン建築をば、斷然區別しない氣持がする。所謂モダン建築ならばアンチックフイニツシュのロマンチツクな意匠と、價値に於て、何等撰ぶ所がない筈だからである。生な新技巧よりは寧ろ、樣式的手法の方が目にさはらずによいかも知れない。

そして又カフエーがモダンの先端である以上は、又は、カフエー建築がモダン建築の先驅である以上は、所謂モダンであることが、それでよいものだろうか。

現在のカフエーの空氣は多分にカフエー建築が作り出してゐるのだ。その空氣に就てもう一つの問題は、カフエーガールである。

ガールの問題には雜誌が違ふからふれないこととして、建築が餘りに感覺的であり、むしろグロテスクであり、建築的意志が皆無である事が、カフエー時代のカフエーをして、足踏趣味に陷らしめてゐるこゝは云へないだろうか。

建築が大衆の趣味傾向に迎合してゆく。從て、いつも姿形的、技巧的にだけ、あるまゝまりを見せるに過ぎない。大衆の感覺の頑具である。所謂モダン建築や趣味建築が、漠然と建築の概念を、社會的に占領してゐる間は、カフエー



日本のカツフエーと外國のカツフエー

工學士 中尾保

日本のカツフエー

『サーテモギンザーワー・ブーラタンナミキー』と東京で唄ひ出すと『青い灯赤い灯道頓堀の』こすぐ大阪がこれに應ずる。流行歌のスピードは電流の次に位するものである何しろ巴里のミュージックホやレストランのみならず、すべての建築は足踏であり、デヤズである以上に出られ相にもない。モダン商買のカフエーやレストランでも、趣味や技巧の建築を離れて、カフエーそのもの、レストランそのものの、機能から、又建築そのものの設備、材料構造等の理論により、新鮮明快な姿形色調がこゝのへらるべく、形にのみ凝つた、かけにくい椅子は、その高さを低くし、巾や奥行の寸法をもう一度こゝのへ、背の傾斜をもう一度加減して見るもよし、クツションのキレ地、模様、材料と色調、等から充分新鮮なものに置換えられることが先づ必要であらう。

あるカフエーガールは、煙草の煙と埃で、眼がすつかり悪くなつて困るので、毎晩、點眼藥を用ひてゐる、と云ふことを聞いたことがある。稀にカフエーに入つてさえ、眼に鈍い痛を感ずる位だから、その話も當然の事だらうと思つた。しかしそれは、電燈の鈍い光や紫色の光線が、更にその原因であらう。

誰があの薄暗さを思付いたのか知らないが、大阪のカフエーの特色である程、殆んど皆が薄暗い藤色である。

此カフエーカラーは一種エロチックな好奇心を一時そゝる點で、流行してゐるのだらうが、現代人の感覺にはそぐはぬ惡趣味である。フロアスタンドやテーブルスタンドを兼用照明するにしても、天井廻りは間接照明をでも利用して、もつとずつと明るくすべきだと思はれる。同時に周圍の壁と、天井の材料と色彩は同じ理由によつて、作らるべく、電燈器具、カウンター、棚類、食器類まで夫々凝り過ぎない、あつさりと役に立つ樣なものであつてほしい。建築の全形態は勿論、清新であつて、充分に眞のモダン建築であつてほしいものである。

建築的に見た私のカフエー觀は以上の樣なものであるが、私は、何所かにもつともつと、清新な明るい、又そして華かな建築と、女性達とが、安易に吾々を待つてゐてくれる樣なカフエーが出來そうなものだと秘かに期待してゐる。そしてもつと大組織のカフエーがシネマハウスや、ダンスホールを一つの機能に納めた樣なものが出來る時が來るのではあるまいか。

ール、ムーランルージユでミスタンゲツトの咽喉から發した『モンパリー』は半年經たずして日本の流行歌になつてしまふのには驚いた。日本ではこれ等の流行歌は何れもカツフエーにその源を發して居る。カツフエーで何か唄ひ出すと旬日ならずして世間の流行歌と化すのである、而もそれ等の大半は嘔吐を催す樣な唄ばかり。

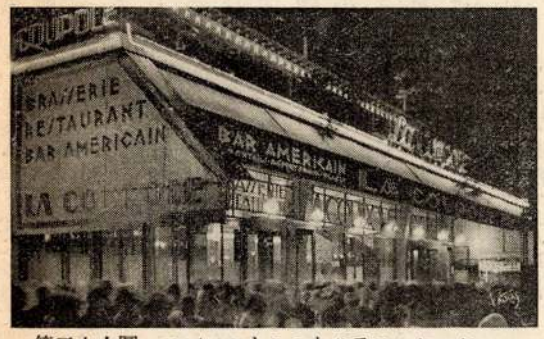
カツフエーには妙な女が澤山居てあの毒々い裝飾を施された薄暗い電燈の下で黄色い聲で何か唄ひ出すとカルチユアーのないお客達がこれにコーラスして喜んで居る少し量を過すとすぐに頭へくるウイスキー、香りのぬけたコーヒー、風邪をひいたスポンジケーク……こんなものに滿足しながらサイドエレベイションの貧弱な鼻の持主と戲むれて居るお客達を見ると淺間しい感じがする。これが現代日本の享樂境を代表するものかと思ふと心細くなる。

カツフエーを改良するには各方面からかゝらねばならぬが建築も



第三十八圖　モンマルトルの露天カツフエー

確にその責任の一つを負ふべきは勿論であるあの低級な惡趣味そのものと云つた樣な裝飾法は一日も早く撤廢せなければならぬ。民衆に美の何たるものなるかを敎へるべく第一線に立つものは建築家である。それ故設計を專門とする建築家は常に自ら趣味の洗練につとめ而も美にたいして眞實でなければならぬ。形は思想の表現である何等定見なくして單に色や形をイミテートしたり或はイミテートしたことを隱さんとして悶がく結果は遂にあの樣なところに到達するのである。又あの暗い照明法は何の意味かわからぬ、勿論種々理由もあつてのことであらうが何にしても暗いのがよいと云ふ理由はない筈である。世界廣しと雖も暗いカツフエーは日本だけである。日本で本當のカツフエー氣分を味ふことが先づ今日では出來ないが何れ近い將來には大カツフエーが軒を並べる日が來るであらう。要するに日本の今日カツフエーと稱するものはあれはカツフエーでなく純然たる而も惡趣味なダンスホール氣分である。



第三十九圖　モンパルナスのカツフエークーポン

印度のカツフエー

私は始めて本當のカツフエーを見たのは香港であつた。大廣間に何百人と云ふお客が靜かにコーヒーや紅茶を飲みながら香りのよい煙草を吹かしながら氣もちのよさうな椅子に凭り休憩して居る有樣を見てなるほどカツフエーと云ふものがこんなところかとうなづかされた。それ以來私はカツフエーと云ふものに親みを持つ樣になつた。ラングーンやカルカッタには專門のカツフエーがなかつたがホテルには何れも大カツフエーを兼營して居る。ボムベイには一層立派なものが澤山ある。之等のカツフエーは日中は大廣間だけであるが夕景頃になると何百とおぼしき椅子が道端に持ち出され夕涼みを兼ねたお客がそれ等の椅子を悉く占領してしまふその光景はまるでアホー鳥が群をなして居る樣で實に偉觀を呈して居る。ボーイは皆印度人マレー人等のクロンボでハダシでサービスして居るのもちよつと變つて面白い。印度では五時から六時の間がティタイムになつて居る、旅行者の最も喜ぶのがこのティタイムである。印度は茶の本場だけあつて流石にあの味だけは忘れられない。而もティタイムの茶碗は平常の時の三倍位の大きさでそれになみ〳〵と茶を注ぐのである。一體英語のティー、佛蘭西語のテー、獨逸語のテー、露西亞語のチヤイ、支那語のツアー或はチヤー、日本語のチヤと云ひ何れもヒンドウ語のチヤーから出て居るものらしい。兎に角印度は茶の本場である。カツフエーと云ふよりは寧ろティーホールとでも云ふべきである。ピルマのピグーへ行つた時一つの森林全體がカツ



第四十圖　カフエー・ダルクール(隅下左)

フエーでそこのお客は悉く土人であつた。それこそ何千と云ふ黒い顔、白、青の着物、赤い帶、それ等の色が綠の木蔭に集つた光景はまるで大モザイツクであつた、これ等もたしかにカツフエーの一つにちがひない。『家なきカツフエー』と云ふべきものであらう。

エジプト、モロツコのカツフエー

純エジプトのカツフエーが變つて居る。モロツコへは私は行かなかつたが巴里に居た頃最近出來たモスケ(モスク)の中にあるモロツコ式カツフエーへ時々訪問した、エジプトのと殆ど同じである。

これ等のカツフエーは純東洋式とでも云ふべきものであらう。建築や裝飾のすべてがサラセン式で客は皆圓坐の上に胡坐して圓い机を囲む式もあれば長い敷物の上へゴロリと寢ころび乍らコーヒーを飲む樣にも出來て居る。それ等の敷物や机の模樣は悉くアラベスクで滿たされて居る。が少しも嫌みがない。コーヒーは例のエジプトやモロツコ獨特のあのドロ〳〵したやつで之等の調合は客の前でするのである。それを柄の長い杓の先に入れにま〳〵火の上にかけて煮沸するそれを小さな湯呑に入れて運んでくる。コーヒーには必ず水を入れたコツプが附いて居る。それはコーヒーがあまりに强すぎるので水を飯むのである、コーヒーは半分飲むので底に溜つたドロ〳〵は捨るのである。ホールの一隅には古典樂器を手にした四五名の樂手が居てピードン〳〵を奏でるのを聞きながらわけのわからぬ菓子を喰つてコーヒーを飲む氣分は又格別である。

香ひで誘惑するイタリーカツフエー

ローマを始めナポリ、ベネイチヤ(ベニス)、フイレンチエ(フローレンス)、ミラーノー、何れの都市もコーヒーの香の漂はぬところはない。私は今でもあの誘惑的な香が鼻の先に殘つて居る。

イタリーは大カツフエーよりは寧ろ小カツフエーの澤山あるところで大抵はバー式に出來て居る。立つたま〳〵コーヒーを一パイ引かけて金を拂つてそのま〳〵出て行くと云つた樣な式に出來て居る。それ故上品なカツフエーは極少數である。がその小さいカツフエーは又イタリー情緒の一つである。ベニスでサンマルコの廣場へ出てくる角のカツフエー(名は忘れたが)へは毎日三度は必ず立寄つたものである。半丁も手前から香ひがしてくるのだから何んな意志の强い人でもこれには誘惑されてしまふ

巴里のキヤツフエー

フランスは何と云つてもカツフエーの本場である。カツフエーと云ふ世界語は即フランス語であるのを見てもわかる。

扨て巴里(パリジヤン)人は『カツフエー』とは決して云はぬ、『キヤツフエー』である、『カートル』とは云はずして『キヤートル』と發音する。それは江戸ツ兒が『ヒ』を『シ』とわざ〳〵發音するのと同じ氣持ちである。コーヒーを注文するにも『コーヒーをくれ』等とは云はぬ、牛乳の入れたものなら『クレーム』、入れないものは『ノアール』即ち色だけ云ふのがシツク(意氣)なくされて居る。ビールでもその通りで。大カツプならドウミー(半分)と云ふ『ドンネ・オン・ドウミー』(半分をくれ)と云ふのである。ドウミーの半分をボツクと云ふ。日本でも『ナマ一ツ』と注文するのと同じである。カツフエーで飲むものはコーヒー、紅茶、ビール、いろ〳〵な味をつけたレモナードやアイスクリーム、それにアバンティフ(食前の酒)アプレティフ(食後の酒)牛乳などで食ふ物はサンドウイツチ、ジヤンボン(ハム、サンドウイツチ)、チース、シユークル(ソーセージとハム、野菜の煮込み)パン等の極く輕いものとそれにお菓子類である。

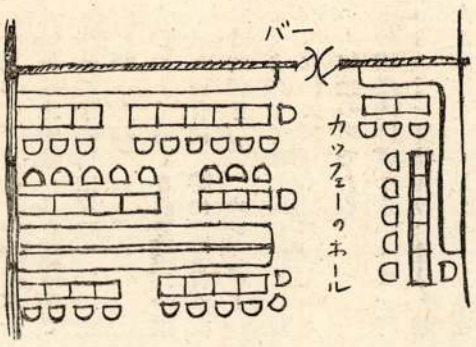
パリヂヤンは殆ど食堂ではコーヒーや紅茶は飲まぬことに決めて居る。それで食前食後は何のカツフエーも滿員になる。カツフエー氣分は全くの吳越同舟でいろ〳〵な人が一つのホールでおとなしく休憩するのである。一パイのコーヒーで何時間居座つてもギヤルソン(ボーイ)は決して嫌な顔せない又それが普通なのである。

大學の先生が數學の本を見て何事か考へて居るかと思へばその隣に『アベックモア?ウィ〳〵』の例の巴里女が陣取つてよい鴨が來ぬかとあたりをキヨロ〳〵見廻して居る競馬の新聞を見て『しまつた』

ミ落膽して居る者もあれば『今日はロンシヤン(競馬場の名)で三千フランもうかつたのだ。さあこれからダンスホールへ行かう』ミ先程から待たして置いた戀人の手を曳い出かける者もある。

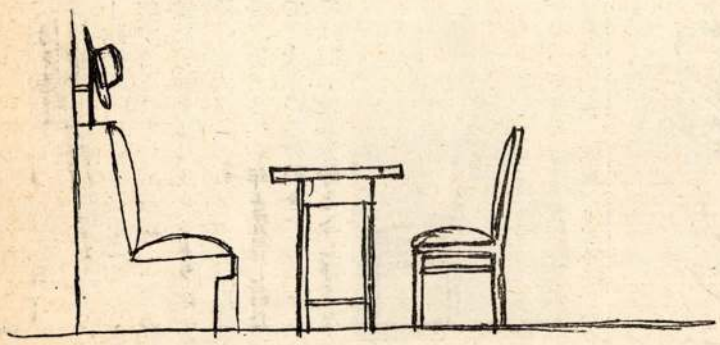
軍人も居れば學生も居る。白人黑人、黃色人が入り混つて居る。髮の毛も黑、黃、茶色ミ色々あるそんなかでムヅカシイ顏をしてスケツチデザインをして居る建築家もあればこの光景を畫題にして鉛筆を動かして居る畫家も居る向ふの隅で人間同樣に一脚の椅子を占有して主人の後家さんと同じ皿の物を食つて居る犬も居る。二人の關係は何うなつし居るのか知らないが先程から嫌ミ云ふ程抱き合つたりキツスしたりして居る男女もある。そんなところをじつミながめるミ失禮になるのである。他人は皆見て見ぬ振りをするのである。それを一々氣にして居ては巴里の町は歩けない。否巴里許りではない歐米諸國何處へ行つても同じことである。

それでちつミも風儀が亂れて居ないのだから不思議である、その方面の話はこゝでは止めておくが兎に角この樣に多くの人を一つのホールに收容するのであるから椅子テーブルの配置や構造に叮なりの苦心が拂はれて居る。一人來る客もあれば二人來るのもある。又四人五人ミかたまつてくるのもある。



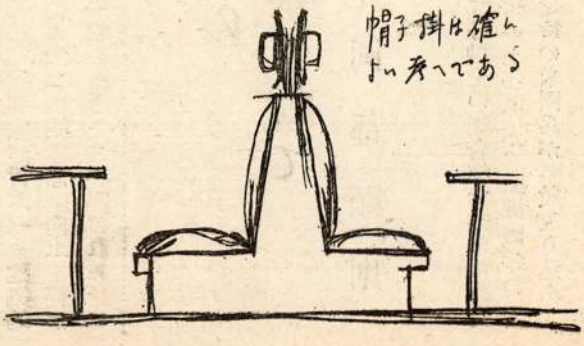
その度毎にそれ等の人數に合ふ樣に椅子テーブルをしつらへるのである。

それには一方を固定式の長椅子としてその前に1.5^m×2^m或は2^m×2^m位のテーブルを置いてその向側に個々の椅子を並べる式に出來て居る。日本の樣に大きなテーブルを割據せしめるのでは其能率がわるい。



建築や裝飾は新しい行き方のものもあれば古いスタイルのもあるが何れにしても奇をてらつた樣なミころが一つもないので落付きがある。

電燈もギラ〳〵してゐないが晝の樣に明るい。殊にマロニエの花の咲く五月頃になると椅子がテラースの上に持ち出される大カツフエーが軒を並べテラースの賑つて居る光景は到底日本では見られぬところである。



ロンドンやベルリンのカツフエーも巴里ミ大同小異であるがこれ等の話は又他日に讓ることにする。

何にしても日本にこの樣なカツフエーがどし〳〵出來てくる日の一日も早からんことを祈るものである。

昭和時代の記念物 カフエーを 建築家は何んと見るか?

本間乙彦

レストラントやカフエー建築も大正昭和時代文化の記念物の一つである。

もしそれが建築的に見て精練されない低級俗惡なもの、樣式から見て斷片的なもの、又道義的に見て排如すべき傾向のものであると說く人があるにしても、それが現代人の社會生活に密接な關係をもち、都市に於て公然と存在し立派に營業化されてゐる以上、建築史の上から見れば、その建築的價値が高ければ高いながらに、低くければ低いながらに今の時代の記念物として見逃がせないのである。

殊に現代の建築相を見るに新人新運動、新傾の連續的出現で渾沌として何れに落ち付くか一寸見當が附け難い狀態である。

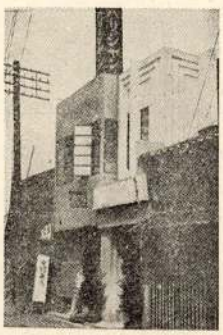
過去の何れの時代を見ても今のやうに樣式の混亂した時代は見出せないだろう。之は今の時代が新樣式完成途上の惱み多き過渡期であり樣式選擇の自由な時代であることを語るものである。

この目ざゞるしき建築樣式の推移を最も露骨に、時には廣告看板の如き誇張を以て、カレンダーの日めくりの如く續ぎから續ぎに現はれては消えて往くのが現在のカフエー建築の姿である。

その建築的性質からいへば一時的のもので一種特別の、構造を離れた裝飾技巧とも見られ、建築家の手をわずらはすことが少ない爲に優れた建築の本來の性質とは多少の相違點を見るのであるが、今に於て記錄を留めておかねば永遠に煙滅してゐる運命を以て居るのである。

この意味に於て、今回企畫された、レストラント及カフエー號は大なる意義をもつものと思ふ。

勿論建築的價値の豊かなカフエー建築の出現は建築家の等しく希望するところであるが、一部の特殊な地盤を持つたレストラントを除けば大多數のカフエーが自身の營業方針さへ一年と固執し得ないで、大衆の心の動きを巧にとらへては前の營業方針をおしげもなく改變し、外觀に、內部裝飾に、サービスに目先きを變へねばならないあわたゞしい狀態にあるので、建築家が魂まで打ち込むで努力する機會は殆どないのである。



第四十一圖 戎橋パリジヤン(大阪)

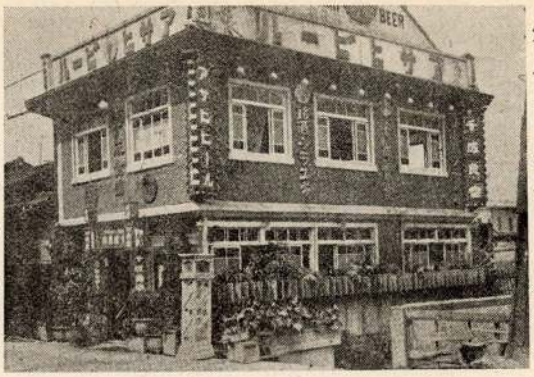
復興東京のバラック建築が、若き建築家、藝術家の群に自由なる試みを大膽に實現する機會を與へて、現代の建築相に一種の清新味を加へたことを思へば、建築家の若返り法として、又若き建築家の稽古臺として建築家のカフエー建築進出を望むものである。これは一面、最も大衆的であるカフエーを通じて建築家が行ふべき建築的敎化大衆の建築思想の向上を促がす一端であるとさへ思はれる。

カフエーの 改善に就て

岡部顯則

一、カフエーの變更

カフエーは佛蘭西が本場で、最初は各紳士の集合場で非常に高尙な物であつたが、歐洲戰爭の當時金持の米國兵が多數入り込んで

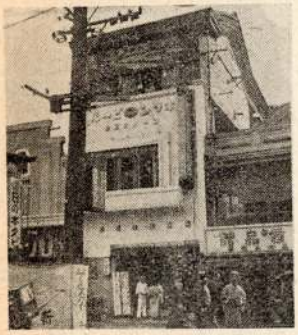


第四十二圖　淀屋橋千成食堂(大阪)

酒と料理を要求する。自然營業者も給仕女を雇傭する様に次第に變遷して殆んどレストラントと同様になつた。それでレストラントの營業者が怒り出して大問題を惹起し遂には議會に迄提出したといふことである。今やカフエーは全國的に大流行となつて、カフエーとレストラントとの區別が殆ど付かない様な狀態となつてゐるが、女給の居る處がカフエーで高尙な男ボーイのみ居る處をレストラントと見てゐる様である。

二、營業者の政策

カフエーには別に取締規則が無くて舊來よりの料理店飮食物取締規則に依つて營業を許可され、之に對し單に家屋構造・食器類の良否衛生に關する事項のみを取締つて居る。官憲は特種弊害の內容に立至りては充分の取締をなすことが困難であるから營業者は其弱點を奇貨とし表面に於て女給に對し種々內規を設けて壓迫をする。一例を擧ぐれば每日食費として一圓を納入せしめ、又早退遲刻欠勤をなす場合には夫々罰金を徵收する。然も無月給でチツプ制度であるから女給は一日に少くとも五圓以上の收入を得なければ、生活に窮する。止むを得ず客に對して出來得る限りの巧言令色を以てしジヤズ的享樂氣分に耽溺せしめて收入を謀らねばならぬようになるのである。又料理なども口實を設けて客の需めなきものを强要して、自分も客に馳走になるといふ様になるのは即營業政策が如何に惡逆であるかを證明してゐる。一番馬鹿を見るのは客であつて、此處に一ケ月九百圓の賣上あるカフエーありとせば其內の四百圓はチツプで、五百圓は酒と料理代である。然るに此實費は約二分の一即二百五十圓であるから、客は二百五十圓の酒と料理代に九百圓を仕拂はせられてゐることになる譯である。



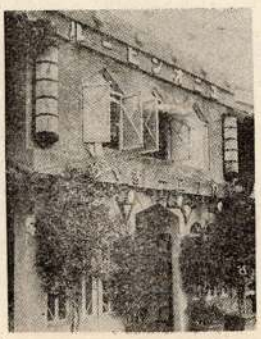
四十三圖　松島紅白食堂(大阪)

三、青年壯年者と少女の墮落

營業政策とはいへ客を誘惑するに手段を選ばないから青春の學生であつて一步足を入れば、彼等魔性の巧言に迷はされ忽ちにして精神頽廢し墮落の末、學業を拋棄して不良の群に投じ遂には父兄をも省みざるに至るは當然である。尙青壯年者であつて之に惑溺され爲に家產を失ひ性病に感染して遂に廢人となつて一身一家を打捨てた例は枚擧に遑ない位である。又純眞無垢の地方の少女であつて都會に憧がれ出て來たのはいゝとして其大半は惡紹介人の甘言に陷入せられ女給の群に入り一ケ月を經ずして無恥の墮落少女となり莫蓮者となつて、將來家庭の婦たるの資格を失ふに至るは實に寒心に堪へざる次第である。

四、未成年者の飮酒喫煙

從來未成年者には禁酒法に依つて飮酒喫煙を禁せられてゐるに拘らず近時盛んに飮酒喫煙をやる。之はカフエー許りではないデパートの休憩室などで中學生が平氣で喫煙をやつてゐるのをよく見受けるが實に慨嘆に堪へない。要するに法律で定められてある以上は之を勵行せしめ違反者はビシビシ罰し絶滅を謀るよう取締つて貰ひ度のである。



第四十四圖　船場カフエーすゞめ(大阪)

五、カフエー取締規則

現在大阪に於ける名物はカフエ

ーミ均タクであるさへ唱導されて大流行となつてゐるが、此儘にして置けば同業者簇出激増し由々敷社會問題を惹起するは必然である。故に當局は此際取締規則を發布して位置に制限を加へ千日前、道頓堀、新世界其他遊廓地帯の如き場所以外には許さゞる事とし、内部設備に改善を加へ、各室に區畫を設けず卑猥なるジヤズ氣分を排し青赤の電燈裝飾を排し、室内を相當明るく照明し女給の人員に制限を加へテーブル三脚に對し女給一人ミし、其服裝に制限を加へて黒地の洋裝又は筒袖を着用せしめて白色のエプロンを用ひ、女給となるには警察の許可を要し鑑札を下附し全國的に稅を課せしめ以て從來の濫設を防ぎ、前途有望の青年少女の美風を養成し善良なる風俗を保持せしめ、國民保健を尚一層堅實ならしめたいものである

歐洲のカッフエー

德政金吾

カッフエー『レギナ』伯林の日本人會が牛肉のスキ燒で晩飯をすませ、ゆつくり玉の三四ゲームをなし、頃合を計つて居合せの三人ミ相談一決して外へ出る。枯木の樣な街路樹の梢をかすめ瓦斯燈の光をチラつかせて雪はアスファルトの路面へミ白き敷物を造る。其敷物へ無慙の黒線を引きつゝ自動車は遙か彼方に消へる、遠くの方で橇を引く馬の鈴の音が夢の樣に聞へる、前の高架線を總てを攪亂して電車が通る。ノウレンドルフブラツを斜に突切つて二ツ目の町角を左へ曲り二軒目の戸口に立つ。四つばかり連らなるアーチ形の窓を通して華かな電燈の光りは、ゆるやかな音樂のメロデーを交へて雪の夜の街路を照す。

立てし襟を返し、肩の雪を拂ひ相顧みてドアを押してホールへミ這入る、次のドアを開けて誰かが出て來る、音樂の音が俄に高くなる中の樣子がチラと見へる。左へ階段を上る、上り切つた所のランデングより更にドアを開けて廊下へミ入る其處には又黒ビロードのカーテンで仕切られたる戸口がある。カーテンを細目に開けて中の樣子を見る左側の小高き所の窓下に一つテーブルが明いて居る。三人は客を立てぬ樣靜に中に這入る男給仕のカイゼル髭が來る其テーブルへ案内して貰ふ、席に付く先づ葡萄酒を注文する、ソット室内の樣子を見る廣さは約百坪ばかり中央は吹抜ミなり其周圍に高欄を廻し要所に法辰格の天井を支ふる圓柱が列べて居る。階下よりの音樂は階上の人々へと其吹抜を通つて享樂の囁を送る。

右より左より後より前よりテーブルは人に次き人はテーブルに續



第四十五圖　南獨ハイデルベリツヒ市の郊外十五哩程の村落の居酒屋、牛殺何某の店なり。村の田吾作、椋十なぞ夕方から集りブドー酒のドブ六にてソーセージをつゝく所。



第四十六圖　巴里の鴨料理屋の鴨を客の前にて料理する所。上の鉛筆の番號は其時喰つた鴨の番號なり。中々甘い料理屋なれど値段も中々高い

きて圓柱を撓り圓柱に隱れて室内を滿す。

米國の帽子眉深に被りし三人連の婦人は人を憚るに似て折々の凄き眼指しは人を物色するに極る、細かくウエブせる金髪のはふくよかなる眞白の肩にかゝりて後ろより見る人を徒に焦たしむ。

ボマードに楠目らしきオールバツタの横顔はどうやらバレンチノに似たり、ピンと跳上るカイゼル髭はグット下る眼尻にて差引かれ



第四十七圖　ビールの本場ミュンヘン王室醸造所のバーなり。自慢の牛の骨付のビフテキにてグット引かけたる味は、とてもそんじよそこらのバーの比に非ずと云ふ。



第四十八圖　テーブルの上に一升もはいる大コップに御目を止められたい。そして女も小兒も。如何にビール王國の盛んなること!!

超燭光の藥鑵頭はブラオンのボツブに對す、立ちこむる紫煙、洋酒コーヒの香さては脂粉脈下の香り陶然として惡魔の夢境に導く。此間を縫ふて我が劇場のお茶子に似たる煙草賣チコレート賣は其本來の商買と共にソツト戀の付け文を渡す。何時の間にか我等のテーブルに來る跳戰狀の主は先程の黒帽の三人と分明る。

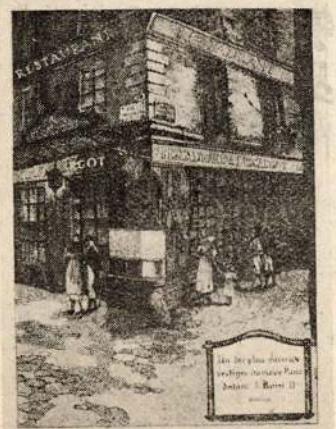
俄に倍從するテーブルの上は葡萄酒、カクテル、ボートワインの杯チョコレートのケースを以て滿さる。

ジヤズは益々高調し人々の出入は倍々頗煩を加ふ。左れど泥醉もなく高歌も聞かれず、人は人我は我、相に浸す事なし、中には一杯の盃を眺めて寂然として獨り周圍の境を樂む者あり。

カツフエ、ウイン。レギナより數丁南方に在り、ドアを排して入れば階下はケーキカツフエにして階上は普通のカツフエなり。外套をコートルームに預けて階を上る中段にして洗面室あり、入つて川を便じ顔を洗ひ髪を梳り塵を拂ふ此處の老ボーイは親切に世話をす。カツフエの室は長方形にて廣さは百五十坪位が中央の吹抜きは前者に同じく裝飾品具は前者より高級なり。給仕は前の男なるに對し是は女なり白のエープロンに白の鉢巻き後にてキリリと結びたるは甲斐〳〵しく見へて優し。此中には盛裝せるお客のレデーより遙に優れたる夜光の玉もありて我プロフエサーやドクターの肩入れ黨もありて。飲過しのコーヒに寢られぬ夜を思ひ明すもありと聞く。

天の羽衣さへなき、天女の舞をふんだんに眺めて身も魂もぼんやりとカジノドパリの女關から冷い薄暗ひ街路へと吐き出さる、時計を見ると十二時五分前だ。直ぐ右へ、ぬれた敷石の上を獨り行く。向側の暗ひ軒下から一人の女が此方へ横切つて來る。自分の右側へ平行して歩く、何やら佛語で喞し掛る連つて歩く。

女「ヴーユースピータイングリシ



第四十九圖　有名な巴里のなめくじ料理屋。赤蛙のフライ。なめくじの壺燒五ツ。鴨の蒸燒にビフテキ、ブドウ酒の小瓶一本にて一人前百三十法は如何に爲替の安いパリーでも少々驚かざるを得ない。米國の金持百性をうまうま丸め込んだ巴里女の曰く『お前と是からは此樣言ふ所へちよいちよい來なくてはいけないよ』米男『エース、エース』

ユ』
男『イエス』
女『カムウイズシー』
男『ハウマツチ』
女『ワンハンドレッド』
男『オーベクデイヤ』
女『ヒフテイフラン』
男『？』
友『オイ甘くやつてるな』と後から日本語が邃ひすがる。振返つた女は驚いて足早に横町へ消へて仕舞ふ。男『？』

間もなく明ひ通へ出る、見上る様にムーランルージの火車がゆるゆる廻つて居る。硝子越に中の見へる小さなカツフエへ這入る。間口二間半位奥行五間位二階へは表に近く右側の壁に添ふて折廻つて階段がある。左側にバーが細長く出來て居り突當りは小さい料理場の様である。五ツばかりのテーブルが右側寄りに列んで居る、先づ熱い葡萄酒を一杯ひつかける、勿論之はコツプ一つで餘り上等のものではない。

先程からバーに倚りかゝつてテンダーと咄し居た女が我々の方を振返つてジツと見て居たが、やがてツカ〳〵とあるいて來て吾々の一人の膝へ腰をかける、吾々の通譯と咄しながらトロンとした眼で一同をネメ廻す、お代りの熱ブドウ酒が來るとそれを一口をいきなり横取してグツト呑んで仕舞ふ。此光景を向の隅の勞働者風の二人がヘラ〳〵笑つて居る。今迄見へなかつた丁場の計算器の蔭からラファエルのカンバスから抜け出た様な素的な金髪の美人がビックリした表情で覗いて居る、吾々の視線が一制に其方に向ふ、其ぼんやりした顔の一ツを、膝の女はあごを持つてグイと自分の方へ廻れ右をさせる。皆んながドツト笑ふ。吾々はあわて、表へ退却する。ナナの街路は寒い。

羅馬のアポロはカツフエとレストラント、ダンシングホールとを兼備して居る、外觀は何等の奇もない事務所風の建物である、戸口を這入り中段のコートルームで外套を預け又下りてドアを開けて室内へと這入る表側と其反對側は例の通り二尺位床が高くなつて居る丁度日本の芝居の高土間の様に、其下が通路で其前が又客席のテーブルがある中央が踊場である部屋の巾は六間位長さは十間位、入口側に舞臺がある其反對側はテークストラと料理場とがある。天井は殆ど二階迄の高さで廻廊が其高土間の上を三方に繞る。

舞臺では三人の若き舞姫がエジプトダンス踊つて居る、丁度朝日會館の舞臺脇の人形の手振で。其次は何か輕口な様な咄しを中年の男がする。次には髪の美しい丈の高い女が頭を振つてダンスをする此女へ色電氣が反射される、ほのほの如き頭髪、紫の女、夢の如きシーンが表現される、やがて其踊りは舞臺から中央のダンス場へと下りて來る。其れが濟むとお客が中央へ出てダンスを始める、無論先程のステジダンサーも其中に交る。

吾々は食事をしながら其れを眺めて居る。羅馬の夜は更る。



唯物史觀とカフエー

大阪府立今宮職工學校教諭
高林幸太郎

立體。立體。立體！
平面。平面。又平面
光！振動！
家。窓。窓の眼！。白粉の香。
電車。自動車。モーターバス！
音。音。騒音！
赤旗。黒旗！ブル！プロ！
光！熱！振動！
勞働組合。ストライキ！
走ル！走ル！音。騒音。爆音！

アラユルモノは走り且つ廻る
此れが都會である。此れが都會の交響樂だ！

◇

大陽が西の空から其の日最後の光を地上に投げて各會社には退社時刻を報ずるベルが鳴り出す。

此處。かしこに於て晝の仕事を終へた多數の人々が慰安所を差して歸る頃あすこにも紅い燈がつき

出して來る。向ふにも紫の軒燈が點される。又裏町にも赤いカーテンが飜つて安レコードが響く。

横町にはウドン屋が造作替して俄造りのカフエー何々と爲り至る所に白粉とエプロンがチラホラとする。

ケバ〳〵しいシヤンデリヤの光線の下でピアノの響に顫へながら青い酒。赤い酒に浮草の様な根のない輕はずみな戀を握らされたチップの重みに正比例して

『あら！H さん。あすも是非いらつしやいね。待つているわよ……え？

わかつているわよ……左樣なら』と

さへずるところの浮氣好きな華美好みの戀の駒鳥の顔は時間的に色々な笑が出て來る。

一圓の媚笑。五十錢の微笑。偶には三十錢の嘲笑。五錢の憫笑。

『あたしや浮草。風吹くまゝよ……』と

歌つて暮す彼女等のカフエーは現代文化の縮圖である。

過ぎし日の吉原茶屋式文化が時の流れと共に漸次變遷して現代のカフエー文化に遷り來つたものである事は我々の見逃がせない事實である。卽ちカフエーは近代の大衆の文化生活に缺くべからざる一つの機關として考へらるゝ。讀者は今しばらく私と共に吉原文化よりカフエー文化への變遷の跡をたどつて戴きたい。

過ぎし日の『吉原茶屋』の運命

遊廓文化たる吉原文化を生みたる其の基底の力は金のために力を得たる町人階級の其である。然して此を要素的に考ふるならば

一、××の充實

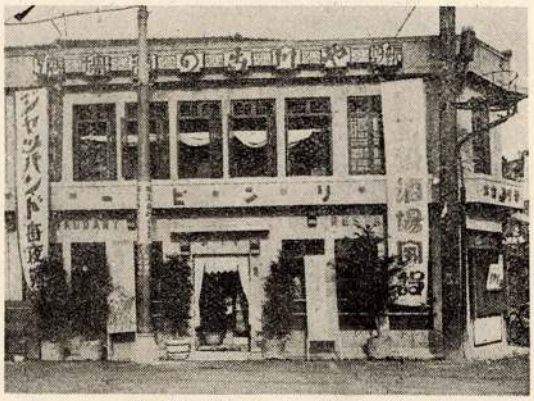
二、慰安のための藝術界

此の二つである。前者は其れを滿たさんがために女郎として後者は又藝者として現はれたのである。

此の不滅性の二要素は依然として明治時代に流れ入つて來たのだ而も明治時代に入りて世相に展開せられて來たのは資本主義の發展に伴ひブルジョアジーの勢力の加はつて來た事である。

金のために力を得たるブルジョアジーの世界觀を基底として此に現はれて來たものは前述の不滅性の二要素の內第二次的要素としての德川期の藝者世界が次第に第一次要素を兼ねる事になつて來た事である。

客觀的に此れを視るなれば此の瞬間こそ吉原茶屋式文化崩壞の出發點を示すのである。此の藝者世界が女郎世界を含蓄する量が時の流れと共に益々優勢となりついに



第五十圖　カフエーやつこ(大阪)

藝者時代の明治時代が展開して來たのである。斯くの如くにして藝者がブルジョアジーの支配下に歸したる事は吉原文化の崩壞を示すと同時に彼等世界の崩壞をも來す事を意味するのである。如何となれば彼等藝者がブルジョアジーの支配下に歸したる事は一部特權階級化したる事に結果するからである。卽ち彼等の藝術のために女郎と別世界に住んでいたる吉原藝者は女郎の世界を兼有してブルジョアジーに依存した此の事は全々一般民衆からかけ離れ去つた事になつたのでなくて何であろう。

時の流れは更に藝者至上の明治時代を過ぎて大正時代に入らしめた。大正時代に入りて吉原の存在は主として第一次的要素卽ち××的方面の存在となり藝者世界に侵入し得ざる勞働者を對象として其の存在を繼續するに過ぎない事になつた。斯くして吉原を保持する主なるものは資本主義の產物たる勞働者であつた。

カフエーの誕生

然らば吉原は勞働者がために其れ獨特の花を開いたか？

吾人は其處に民衆文化と兩立を爲す事を得ない實相を相方に視る

一、遊廓方面

吉原町人より以後。金に育まれていたる事は現代に於ける支持者卽ち勞働者に其の滿足を見出し得ない事。

二、大衆方面

前に述べたる二要素の併合によりて一度其れに慣らされて明治時代を經過して來たる人々は第一次要素のみ殘存している吉原に自己の滿足を見出し得ない事。

以上の二方面の實相によりて見る時は遊廓文化は到底未來のものではあり得ない。今や社會の大衆は第一次要素と第二次要素を兼ねたる廉且つ安價にして求めらるゝ世界を要求するのである。古きを求むるか？新しきを求むるか？古きもの、亡び行くのは當然の事である。此の新しきを求むる大衆の要求の爲に生れて來たものこそカフェーである。

我國現代の世相に直面する時吾人は資本主義當然の歸結として次の如き實相を視る。

人間は生きなければならぬ。此の必然性に基きて生んがためには當然に食を得る職業に就かなければならぬ。

此の原則が女の世界に及び此に婦人の求職となる。此の歸結と夜の飲食會合に若き女性を使用する事數百年來の歷史的慣習とが結合し此にカフェーの女給を生んだのである。

然し此の三千年來の慣習に付ては社會が全く無反省でほとんど其責任と罪過に付ては精神的麻痺の狀態にある事は心ある人は知るであろう。

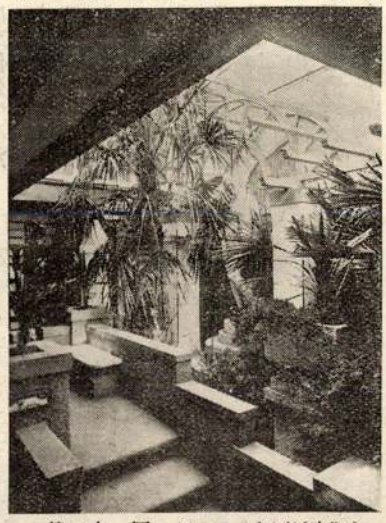
又他方には資本主義當然の歸結として結婚難を起さしめた。

此の二要素は現代カフェーの發展に大なる速度を與ふる燃料となる。而して此等の總合的要求をカフェーに於て滿そうとするが如き實相を展開して來た。

斯くの如くにして吾人は今や町人が生んだる吉原文化、藝者を生める明治文化より女給を生める現代のカフェー文化への推移の客觀的現存を認むるのである。而して此のカフェーは今後に於て如何なる進展の道をたどらすべきか？今しばらく私をして其の流れ行く道程を述べさしめよ。

現代カフェーの斷面圖

近代カフェー界にも資本主義制度の當然の過程として資本的經營難が襲來して來たのである。其の結果カフェーに於ては料理の非常に御粗末となり店内の設備の不備ジヤズ、ステージダンスにも相當なる藝術家を備ふる事出來ず又サービスをする女給にしてもいささかの教養もなき者で其の上に一圓二圓と云ふチツプを要求するが如き狀態となりカフェー本來の目的たる三要素の安價、慰安の二要素が失はれんとしつゝあるの光景を呈すると一時に又他方には現代都會生活の複雜になるにつれて世人はカフェーを構成する前述の三要素即ち一、安價なる事。二、慰安の世界を含む事。三、×××要求の滿足を。分業的に存在せしめんとするが如き傾向の生じて來たのを見受ける事が出來る。



第五十一圖　ダンスの酒場(大阪)
中庭の築庭に新らしい味を見せた

慰安を目的として喫茶を主とせる如きもの、出來は現代の數多きカフェーより失ほれんとしつゝある安價、慰安、の方面の分業的存在を物語るものを考へらるゝ。私は此の原因はカフェーが或る進展への過渡期に直面するがために起るものなりと考へるのである。

近頃吾人はカフェー行詰りの聲を耳にするが此れは世人のカフェーに對する要求と、カフェー營業者の營業方針とが一致せざる事による事に起因するのである。

都會生活に因りての疲れを醫するために或るカフェーに茶でも飲もうと思つて飛び込むとせよ、其こには脂粉の香りがある、白粉の顏から嬌笑が湧いて安レコードが鳴り出す、砂糖水のやうなコーヒが出る。又酒でも飲んで浮れようと思つて一カフェーに飛び込めば上品すぎたりしてオヤオヤと思はせられた人々は非常に多からう。此等は遊ぶ店と單に飲食する店とを區分せんとする傾向が即ち前述

の三要素の分業的存在を營業者も又客も相方共に希んでいる事の證據であり又一方カフエー其のもの、過渡期を物語るものである。

◇

現今我國の各著管内には宿屋飲食店組合規定があつて僅かに衛生取締規則を勵行するに止まり何等意義ある積極的なる行動を見止むる事は出來ない。換言すれば相互間に營業方針なり利害關係なりを全然異にしている日本料理業者即ちメシ屋、ウドン屋、スシ屋、ゼンザイ屋、等を含む此等の營業者と西洋料理業者を同一の組合の下に包括せしめて統一的になさんとするかの如き現時代としては一種不可思議なる方規のみが存在するを見る。

我が國程古來の陋習に慣るゝ事甚だしく弱者に對する社會的立法の缺如しているところは少ないと思ふ。此の一例をカフエーにも見らるゝのである。現代のはげしき流れをなす資本主義制度のために何らかの方法で衣食の道を求めんがために女給となりたる女性の總てに何等の法制上の保護を與へず其の危險があるまゝに放任して顧ないのが即ち其れである。

近頃工場勞働に從事する女性には法制上の保護は相當に行屆く樣になつたがカフエーの女給は其の性的危險の存在を前提として若しくは其の危險の存在するがために始めて衣食の途が得られるやうな狀態に置いてあるものには更に前者に先だちて保護を與ふべきではなからうか。

よりて吾人はかゝるカフエーの現狀に直面して其に對する法律上及び道德上に於ける種々の社會的缺陷をかへりみ、此れが改善匡正によりて其の陷りやすい過誤を消滅させ社會の風紀を維持せんがために似非近代政治家を初め第一に鞭打たねばならぬ。

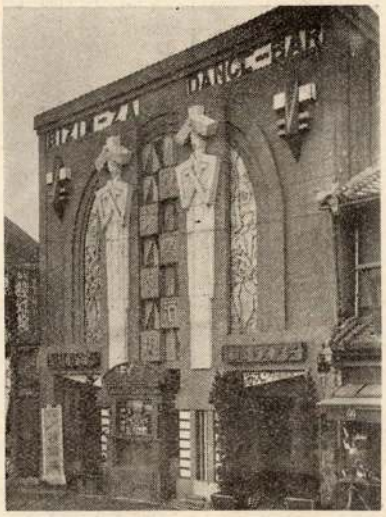
其の方法としてカフエー同業者間において合理的制度の下に組合を國家の保護に於て設立せなければならぬ。此等に關しては詳しく述べる事を止めるが此の方規の上にカフエーを左の如き形として經營すべきである。

一、安價を主たる目的としたるもの。

二、慰安の場所を人々に與ふる事を主たる目的としたるもの

三、遊ぶ事を主としたる××的な空氣を有するもの。

右は、すでに述べたるカフエーの三要素の分業的營業が一、二であり、總合的なるものが三、のものである。此等はカフエー同業者間に於ける合理的制度の內に於て更に細かく分たれたる法規の上に立脚して經營されなければならぬ。



第十五圖 タンスの酒場(大阪)

かゝる土に生成せる
カフエーの花を見る!

以上の三つに分類する事は丁度甲、乙、と區分する京都祇園の茶屋に於けるのとほゞ同一でカフエーの稱號を前記の性質により甲、カフエー乙・又は丙と明瞭に分類し現今のレストランド。カフエーバーと云つていて名稱を新めて『カフエー甲』又は乙と云ふ如くに新たなる固有名詞の名のもとに統一せらるゝ事を望むのである。

第一種 のものは民衆的である事を主體として感じの明るきものなる事を主要條件とする。よりて多少デリカシーが後の二者に比して少なきは止むを得ない事であらう。

即ち天ぷらにしても鰻にしてもオデン茶飯式にして大衆化したる所に飲食の平易化を喜ばせ下品で無くて安價で美味しいものを食させるものを意味する。

第二種 は第一種に比して貴族的なるものを謂ふ。丁度吾々が住む大阪の道頓堀カフエーの斯うしたる氣分より心齋橋通カフエーが何處かに藝術的なる臭ひがするのも室内の少さき關係にもよるが前者より立體的に又ノーブルに感じらるゝのと同じ意味のものを差す

夕暮が青や紅の色を道頓堀の水

面に投げさせると何處からともなくそぞろ歩きの男女が橋の上に立つ時分から愈々都會の夜の幕は下されて道頓堀行進曲と共に大きな都會の夜の交響樂が奏せらるゝのである。此の時分に『フルーツ・パーラー』のソッファに腰かけてバナナの味覺を樂みつゝ思ふとも思はむともなく過ごす半時間こそ現代都會人の持つ幸福である。かゝる場所を人々に提供するのが此の第二種のものである。

然して以上の第一種及び第二種のカフェーは其の性質上家庭生活の延長となすべきものであり又其うなるべきものである。

第三種　は吉原茶屋の變遷したるものとも其の性質上考へらるゝ事が出來るもので前二者と異なる意味を持ち現今の數多き女給中心のカフェーとほゞ同性質のものである。

思ふに現代カフェー繁昌の中心は飲食の簡易化と安價化とにあつてゝ其の底には××の對象と云ふ事を閑却出來ぬ場合が多々ある。今日の遊廓や公娼制度と時代の生活心理とが一致しないので藝者や待合が時代の生活經濟と相容れない人々には××の對象としてカフェーの氣分を求めるのも又明白なる事實である。此の實相によりて第三種のものは生れるのである。

赤や青の強き色彩のモダーン風に濃化粧したるもの、一笑が二圓三圓のチップとなる事などは此の第三種のカフェーによりて構成さるゝ情調であらう、したがつて色々なる艶かしい取沙汰がやがて所もあらうに警視廳の調べ室に迷惑をかけ又サーベル殿の目を光らせる事もあらう。

人心の頽廢を生む事があると云つても此の第三種のカフェーの繁昌は愈々以て擴大され益々其深みを加へて行くだらう。其は女達が悪いのか男達が悪いのか、其れとも此の時代に起因するのか問題は勿論現今の時代の上にあるであらう。其の性質上よりして家庭悲劇等を生ずる事もあるが此に第三種のカフェーの存在を見止るのである。

以上記述したる一見ユートピアに見ゆる未來カフェーの素描こそカフェー進化の唯物辯證法的歸結に他たらぬ。

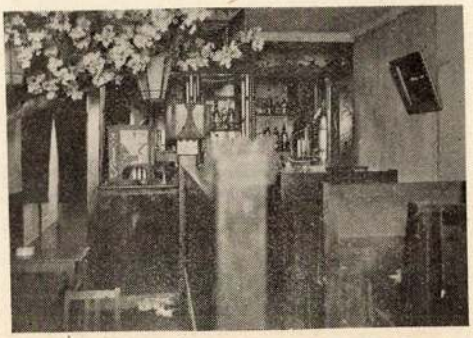
カフェー狂進曲

足立圓次郎

『唄は世につれ、世は唄につれ』と昔の人は云つて居る。成程、時勢の移つり變りにつれて唄も替つて居る。所謂流行歌等は其の時代の副産物として見てよからう。

昭和時代の現今、モボとモガの今日は『カフェー』『バー』をして黄金狂時代とならしめた。だが私が此の稿の筆を走らしてゐる時、走つて居る時間にも、黄金狂時代たる『カフェー』『バー』はたして、太平樂を奏してゐるか、ぞうか、それは私の知つた事ではない。がとにかくにも、昭和時代の初期は『カフェー』『バー』の黄金狂時代と云つてもよからう。

そこで、『青い灯、赤い灯、道頓堀の……』なんでカフェが忘れられようか』と謳歌せしめた。『唄は世につれ』を如實に思はしめくれた時代である。



第三五圖　池田(阪大)サカミーエーフェツカ　吉久谷田氏案

CAFE——カツフエー——カフエー——キヤフエ——何んでもいい。

『西洋料理』と云つた時代の人は猫の鳴聲と間違へるかも知れぬが所謂、モボ子やモガ嬢は、もつと新らしい發音でもつて呼ぶ事であ

らう。

西洋料理當時は、先ず、明陽軒カフエーパリウスタ、アイオイ、旗のバー等、ほんに指を折る程しかなかつた。

無論、青い灯、赤い灯等は夢にも知らなかつた。よく文藝同攻會や短歌會等に、私はパリウスターの樓上に若い連中同志と集つた事があつたが極く靜かなものであつた。



第五十四圖　灘萬ジヤズバンド（大阪）

文士や畵家の集會場の如き觀のあつた旗のバーなんか今で云ふ高級的なもので、又値段の高い事で有名だつた。今から思ふと、社交的で、靜かで、そして愉快な處であつた。

然し現在のカフエーは、ヂヤズ音樂と女給の狂進曲である。これでもか、これでもこぬかと、客の吸引策に。七轉八起、死す共、てな、調子で誘惑術の凡てをつくしてゐる青い灯、赤い灯は走馬燈の如く、又は火華の如く、目まぐるしいまでに輝いてゐる。

女給は、あらゆる美容術をもつて平民のサロメ姫の如く、或はクレオパトラの如く躍動す氣の弱い男なら、カフエーの入口ですでに參つてしまふ。

私はかつて、震災前、舞臺美術並に劇場建築調査に東京へ出張した時の事であるが銀座のとあるカフエーが（名前は失念したが）觀櫻會を開催して居つた。

勇をこらして單身入場すると、場内は一面の櫻花爛熳（本物使用）ぼんぼりの涙ぐみたる灯がゆらぐ中に元祿時代の風俗を模したる御殿女中姿の女給が案内してくれたコーヒーをすゝつて居る時、和洋合奏の音樂は、元祿花見踊、春雨等の日本曲を奏してくれる、私はすつかり嬉しくなつてしまつた。

そして洋服姿で入場した事が口惜しかつた。が勘定をすまして外に出た時こそ、より以上に口惜しかつた、それは余りに値段の高き事に於いてをやである。



第五十五圖　松島ユニオン食堂（大阪）

カフエーの餘興現出を以つて行詰らんとする、現在カフエー經營法の一手段だとすれば、既に震災前に於いて、創生して居る。が、ほんとうに起り出したのは現在であらう。

近頃の賣出したる、ステーヂダンスである。

赤い灯、青い灯では、ものたらぬ。

ヂヤズ音樂では、淋し過ぎる。

こんどは、薄い衣裳で、足の上下運動を見せ、桃色や紫色の光で足の太さを、ゴマカシ、ヂヤズ音樂で、裸體の知れぬものに仕上けようと。迷案を出した。

すなはち、カフエーステーヂダンスの初期である。

名付けて、レビユウーと、實にすましたものである。

不設備な舞臺構造、サーカスの餘興より劣等なるダンスでもつてブロウドウエーへの夜を現出せしめ樣とは實にもつての外である。

ミフンガイする者こそ、彼等から云はしめれば、悲しき者であり哀れな時代の落伍者であるかも知れぬ。

もしそれ、カフエー、バーの建築を見る時眞面目に考へれば考へる程、解決しがたい點がある。アインシュタインも、弘法大師も、メンデルゾーンも、ベエートウヴエンも、オラが大將も、あつたものでない。

だが私は一言にして解決せる定義を發見した事を誇りとし、讀者諸氏に報告する名譽を有する。

現在のカフエー、バーの建築は默滅せる廣告燈の如きものである

と。――

つまり、文化的と高級的と新興美術と、最新樣式と、色彩と、感じと、氣分とが、混合して、出來上つたものが現在のカフエーの建築樣式である。

結局、どうにもならぬ。前は一生懸命で中は、目先がつかなくなつて、最後は、やりつぱなしと云ふ處である。

どこのつゝりは、眞面目に考へる方が間違ひの元かもしれぬ。廣告燈の如く一時、注目させればよい、『明日は明日だよ、今日は今日』調子でやればよい。猫の目程變つて行きさへすればよい。

或る大カフエーの經營者は私に云つた。

『カフエー』の建築等は一時的のものでよい、新らしい設計?……こんでもない事ですよ、何んだつていいんです。改築すると客が押し寄せる二ケ月か三ケ月すると、客の目になれてくる。こすぐに目がなれて、嫌氣が出る迄に、改築する、まあ、いへば女給の衣裳の樣なものですよ。だから衣裳の着替の都合のよい樣に、やつておく事が良い設計でせうと。

刺激と神經衰弱、××××××チンセイザイを一度に決行するだけの勇氣があればいいわけである。



ありし其の頃のパノン

鶴呆二

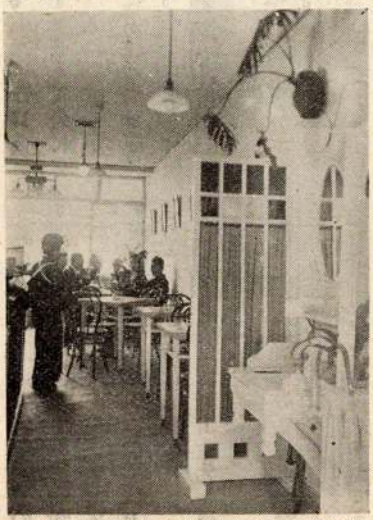
一九一一年、大阪名所圖會、五座の櫓が並んで軒並の芝居茶屋から役者の紋を背中に貼つたお茶子が座蒲團を抱へたり朱塗の臺のものを持つて木戸へと急ぎ、對岸宗右衛門町の青樓からさんざめきの三絃が流れて廻り燈籠の樣な灯が河へ映る、昔ながらの道頓堀。そこにも當年の高標者流の渇を醫するに足るものは僅かに西洋料理の一陽亭、明陽軒位と少許のビヤホール、カフエーでは唯パウリスタが浪花座の東隣りに黑いコーヒを飲ましてゐたばかりだつた。

吾々西洋讀修業者は佛蘭西から歸つた先輩達に、巴里のトワイライトの紫の光の中にマロニエの樹下で、カフエー・リラ、カフエー・ド・ラ・ロトレドなどのテラスで、往き來のマトモワセでも眺めながらコーヒを啜り、フインの盞を傾ける情趣を聞かされて私かに憧がれの感情をもつてゐたものだつた。

その時淺黃暖簾に定紋を染めて角行燈が並んだ芝居茶屋の眞中、中座の前に、白堊の妙な家が夢の樣に出現した。

カフエーの黎明、大阪最初の酒場、キヤバレー・ヅ・パノン(旗の酒場)である。

これは友人のA氏が佛蘭西から歸つて身內の人に勸めて出さしたもので、私もその帷幄に參して屋號から裝飾から總ての相談にのつたのだつた。白堊の三角形の瀟洒なファーサード、入口には濃綠に黑の椽をとつたベルベツトの重いリドーに燦爛たるスティンドグラスが映つて鴻の鳥の氣取つたランタン、バネルにはトランプが並び、冬はビンク夏はヴエー・ド・コバルトの立縞のウオールペーパーにピヤズレーのサロメの版畵が細い金椽に黑ミ白との對照を造つてゐる。ブラン・ディヴオアルの卓子にはビンク色の足、黑い椅子、色にも形にもセセツシヨン風の花が咲いて、ローマンチツクな燈火がビユフエの多彩な酒瓶にかゞやく、そこには青い灯赤い灯の爛れた世紀末な



第五十六圖　當時のパノン(阪大)

廢頽した空氣と、煙を引いて唇を彩つた女はいなかつた。銀灰色の冬の黄昏に寒い沖から鷗が上つて來て水の上に白い翼を翻し、堀に面した欄からパンの小片を投げると水に下りて來た。

芝居に灯が入つて行人の下駄の音が冴える時分は未だ珍らしかつたユンケルのセセツション風なストーブの圍りに凝つて出した熱いコーヒを飲み乍ら長い夜話に更かした。前の芝居から中幕の古い歌舞伎の世界をぬけ出して、幕あきの木がなるまでこの明るい空氣の中へ女などをつれて飲みにくる人達もあつた。

對岸の柳が水に近く垂れ茂つた夏には、流れを隔てゝ欄による舞妓の夏姿や、黒い水の上のボートの灯の流れを眺めてはソファーによつてポンチを飲みカクテルのオリーブの實を噛み乍ら見ぬ巴里のカフエーを呼吸したものだつた。

當時の畫家、文士、音樂家、俳優若い實業家などの新人が欵然としてこゝに集つた。東京の知名の藝術家は宿を定める前に先づこゝに落着いた程だつた。それ程清新な、しつくりした、我々の樂園でもあり、ユートピアでもあつた。

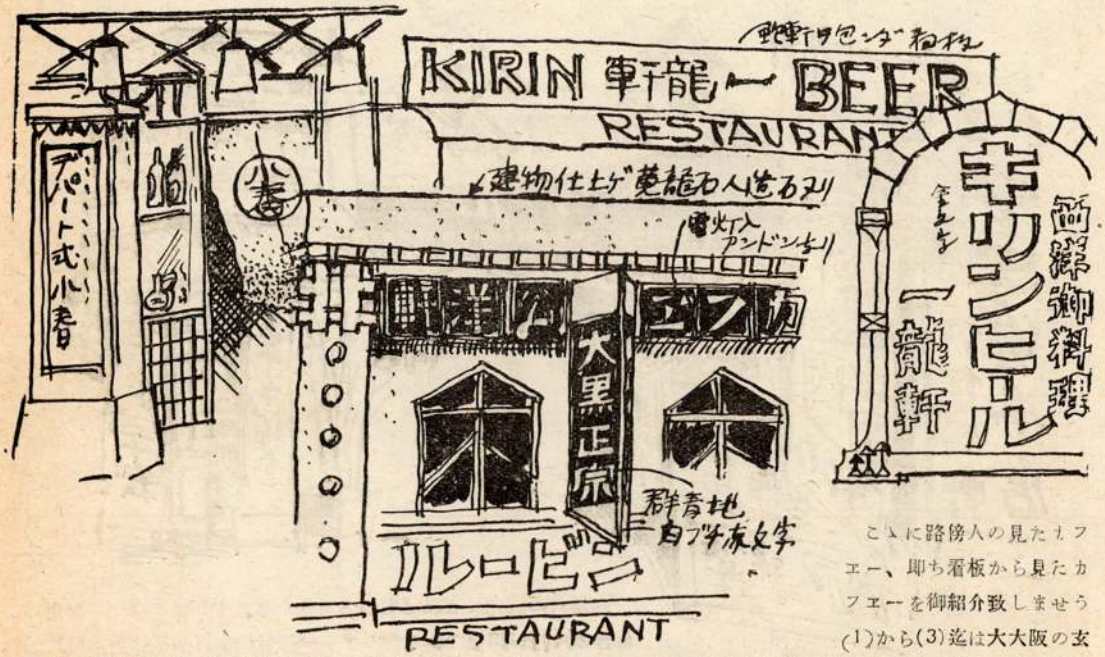
それから少時してライオン、サンライス、クレナイ、新世界の邊にもニコニコなどの酒場が出來たが先づ旗の酒場の情趣は、他の追從を許さなかつた。

かくして二年！ファーサードの白壁汚れたそしてあまりに散漫として見えるので何とかしたいといふ相談があつたので今更セセツション風なモダーンでもないので、一つ道頓堀中に一等瀟洒いさびた家にしてやれと思ひハーフテレバーにして英國のコテージ風に爲でもからまして、板張のパネルに今流行るローマンボツクス？あんな風な椅子、卓子に、古風なスタンドでも灯したらと思つてゐた。所が主人か全盛の潮にのつて大きな計劃を初め戎橋南詰へ會社組織の大建築をやることになつて、我々の夢は遂に實現出來なかつた。

今でも懐しいのはあの時分のストーブの傍であり、川沿のソアーである。

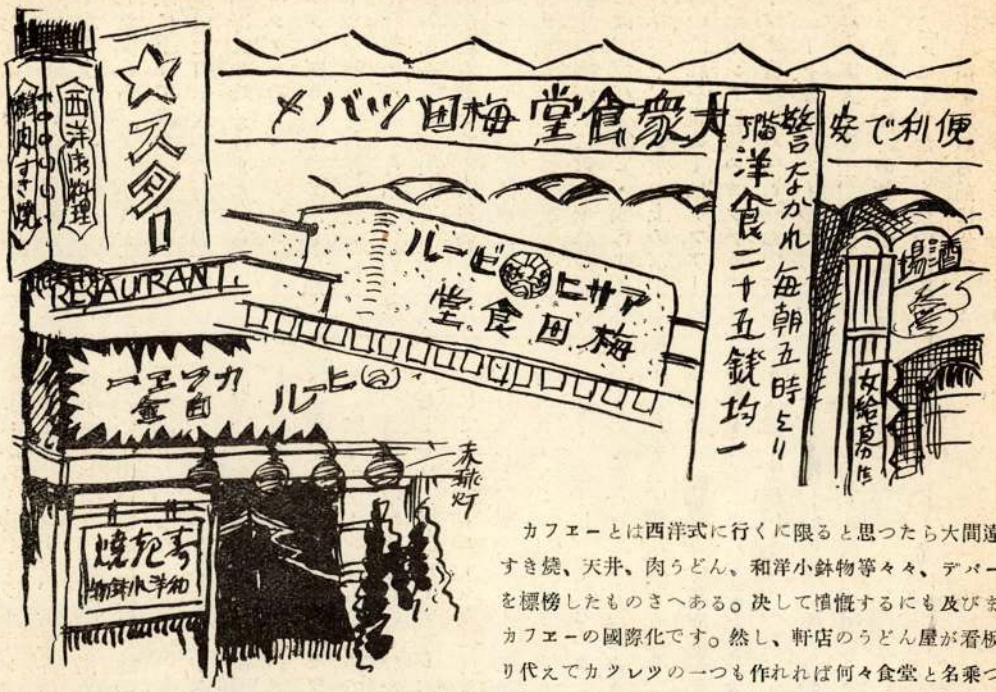
× × ×

看板から見たカフエー (1)



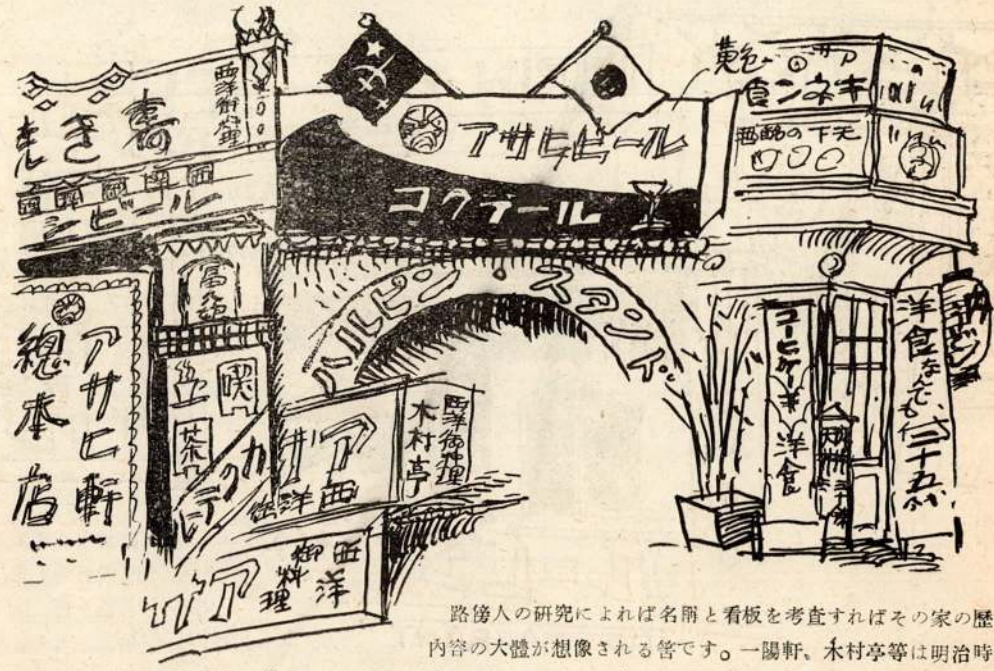
こゝに路傍人の見たカフエー、即ち看板から見たカフエーを御紹介致しませう(1)から(3)迄は大大阪の玄關口梅田驛頭から櫻橋交叉點迄に並ぶカフエーの種々相である。田舍者でなく我々都會人を以て自任する路傍人すら、カフエーが何を我々に提供して呉れるのであるか見當が付かない。

看板から見たカフエー (2)



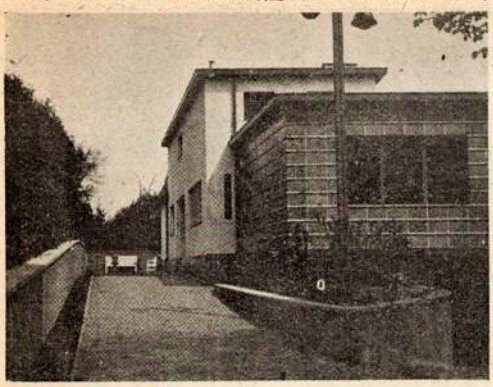
カフエーとは西洋式に行くに限ると思つたら大間違ひ、すき燒、天井、肉うどん、和洋小鉢物等々々、デパート式を標榜したものさへある。決して憤慨するにも及びませんカフエーの國際化です。然し、軒店のうどん屋が看板を塗り代えてカツレツの一つも作れれば何々食堂と名乗つて差支へないのですから内容如何は保證の限りにあらずです。

看板から見たカフエー (3)

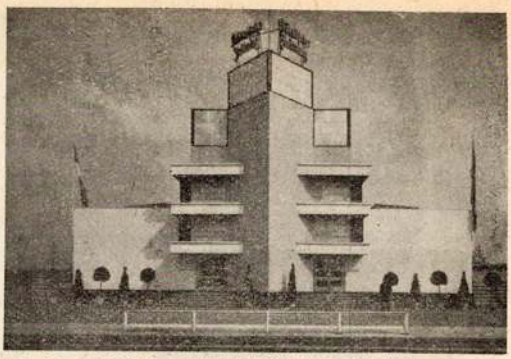


路傍人の研究によれば名前と看板を考査すればその家の歴史と内容の大體が想像される筈です。一陽軒、木村亭等は明治時代創始の西洋料理屋、すき燒、天井とカクテールと看板を列べたものは牛屋、うどん屋等々の進化したもの、大正昭和時代の産物、一寸小意氣な名と造りのものに國際的上かん屋が多い。これも昭和型の一つである。

3 獨逸ゼーシンドルフの別莊(I. GELLHORN)設計

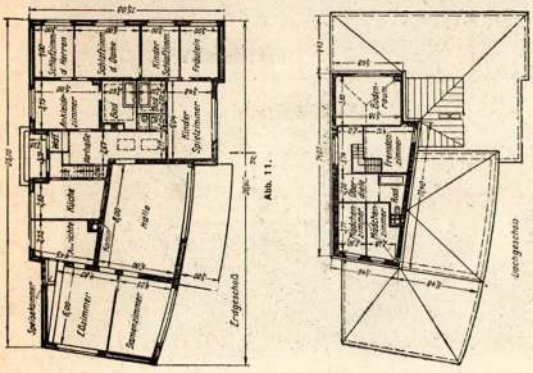


1

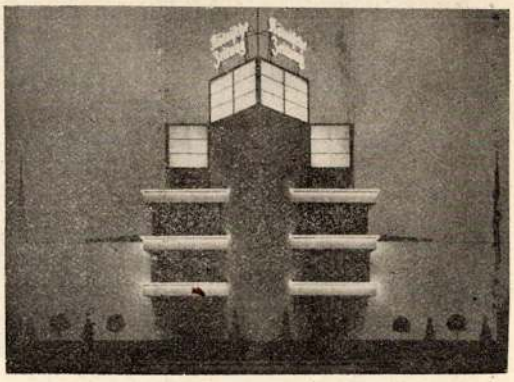


1. 2 獨逸ケルン市國際新聞博覽會陳列館

4 一二階平面圖



2



切　取　線



登録商標

資本金　五百万円
年産　百五十万樽

ヨーキヨーセメント
ヨーキヨー高級セメント
（特許七八四五）

二日で普通セメント四週の強度

耐壓力（一日 三〇〇 / 二日 四〇〇 / 二七日 六〇〇 / 二八日 七〇〇）瓩平方糎

高輪伊皿子路面工事は冬期三日で八噸ローラーに堪えて完全なりき

「早期高強度」時代の要求
　　此枠迅速工事期間の短縮は
　　弊社高級セメントに
　　依りて得らる
終局強度も大にして
使用法は普通セメントに同じ

本品は已に陸軍省、鐵道省、東京、大阪兩市等に御使用の榮を得たり

大阪窯業セメント株式會社

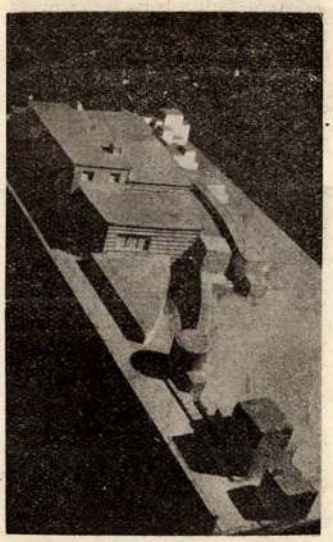
大阪市北區堂島濱通二丁目　電話北一一〇至一一三番

工場　大阪市港區南恩加島町　電話櫻川 一一七七 / 二六〇九 / 二八四三

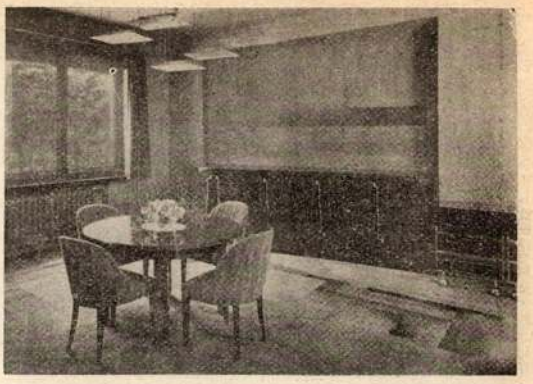
東京出張所　東京市神田區表猿樂町
京都出張所　京都市二條驛前
名古屋出張所　名古屋市中區老松町七丁目

獨逸ゼーレンドルフの別莊 (2)
1. 模型 2. 食堂 3. 廣間

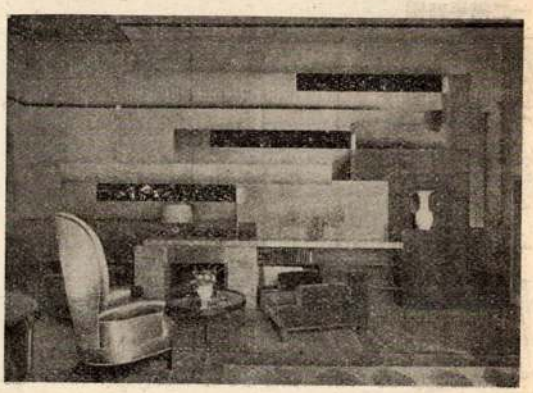
1



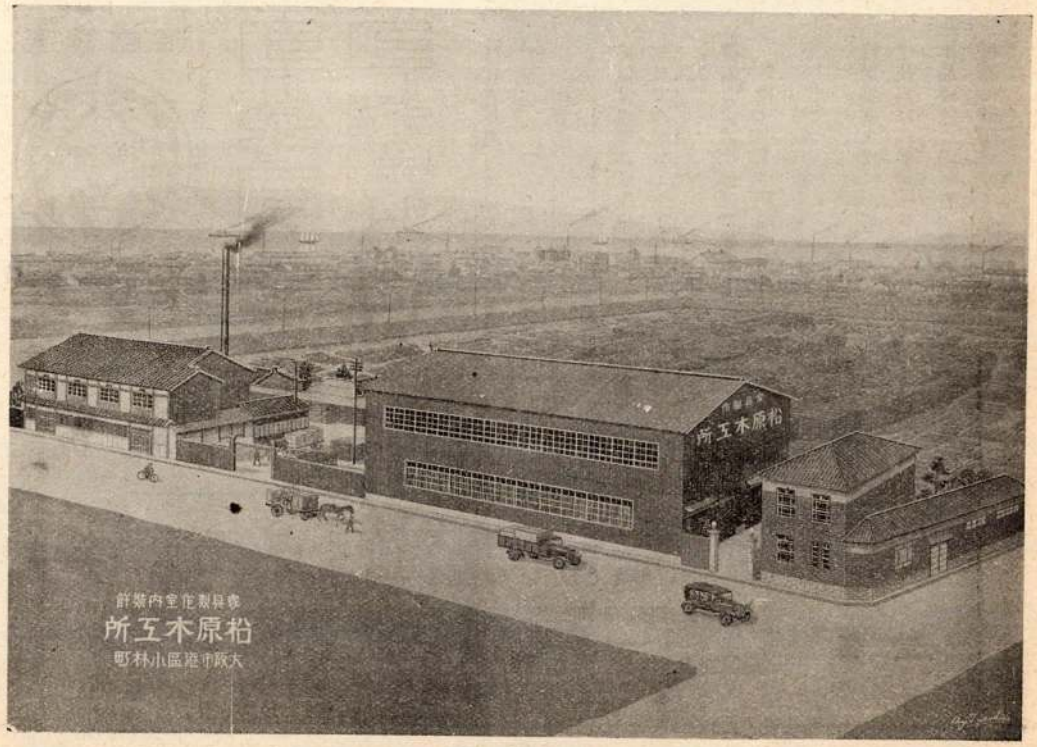
2



3



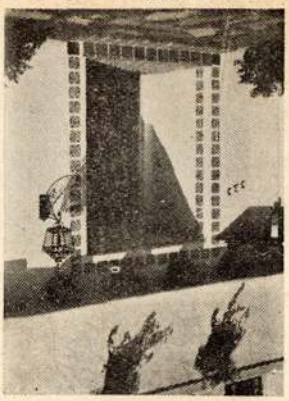
切　取　線

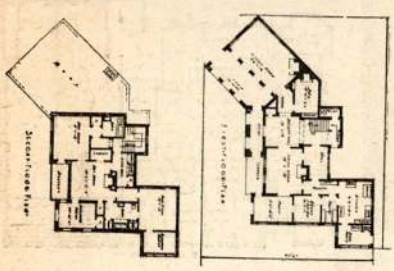


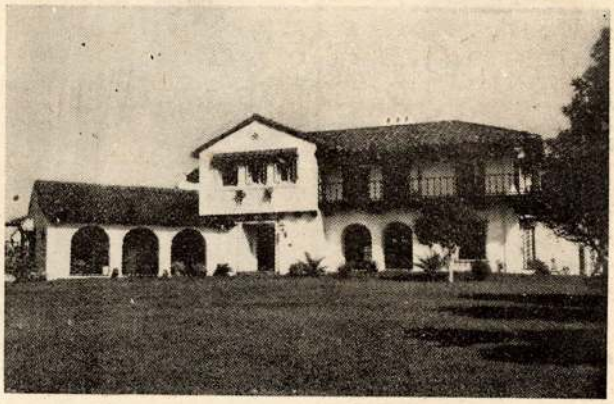
米國テキサス州サン・アントニオにある住宅　ATLEE B. & ROBERT M. AYRES 設計









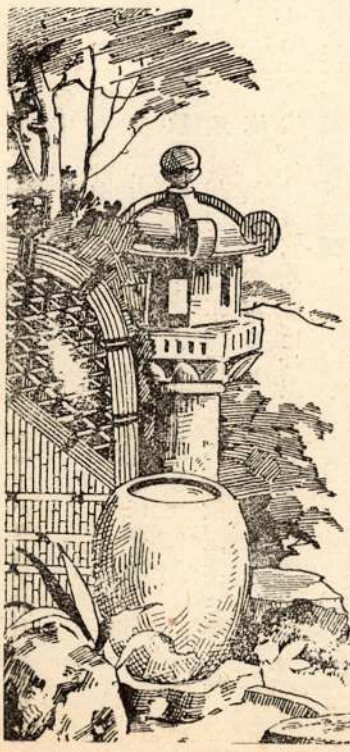


切　取　線

庭園 設計と施工

造庭學上の新智識を實地に應用して經驗を積む事十餘年
獨特の技術と從業職人の訓練と優秀な設計と完備せる施工

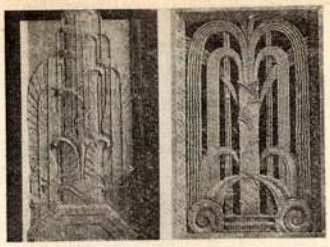
和洋庭園築造請負專門
創業大正五年我國唯一　設計と施工案內進呈



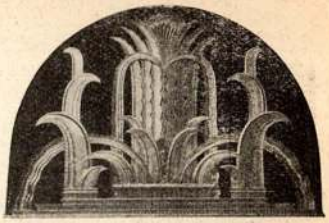
橋本庭園工務所

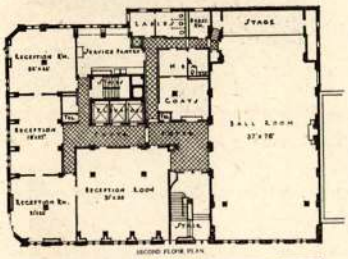
大阪市住吉區田邊町鶴ケ丘
電話特長天王寺(七)一三三四番

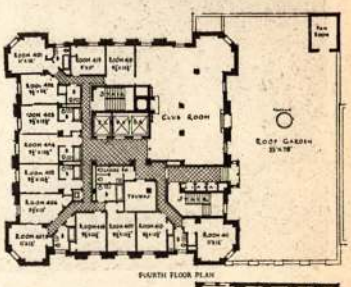
米國紐育パンヘレニツク・タワー、J.M. HOWELLS設計、上左右裝飾部、下左一二階平面圖、下右三四階平面圖

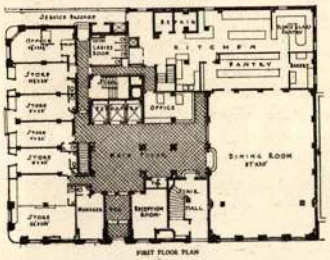


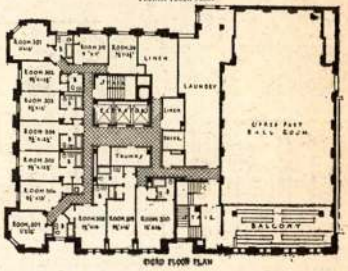












米國紐育パンヘレニツク・タワー

切取線

サンマーハウス設計圖案懸賞募集規程

一、社團法人日本建築協會に於てサンマーハウスの設計圖案を募集す

二、應募設計要件

1. 位置　海邊、山上、丘上、林間其他任意とす
2. 敷地　百坪以內
3. 建坪及仕要室　二十坪以內とし、室數、室大さ等任意
4. 構造　木造平家建たること
5. 建築費　可成經濟的に施工出來ること

三、應募圖面及書類

1. 平面圖　百分ノ一
2. 立面圖　二面以上百分ノ一
3. 透視圖　添付は任意たること
4. 簡單なる仕樣書又は說明書

四、圖面は原圖紙へ墨仕上げとし　陰影着色等任意たること

五、各圖面並に書類には暗號を附し別に暗號及住所氏名を記したる紙片を封筒に入れ添附すること

六、賞　金

一　等　一名　金參拾圓　　二　等　二名　各貳拾圓宛

三　等　三名　各拾圓宛　　選外佳作　數人　粗景呈上

七、締切期日　昭和四年四月十日

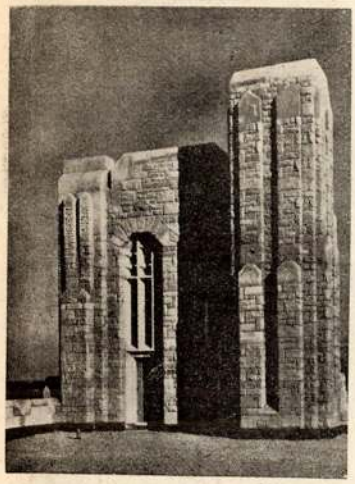
八、審査及當選發表　本誌五月號にて發表

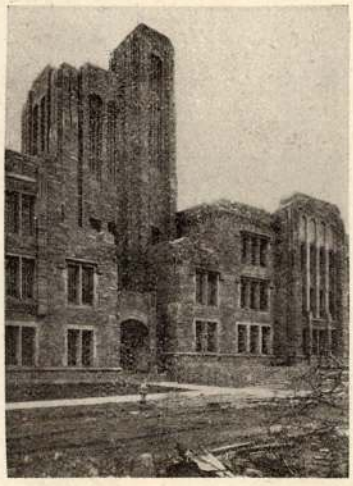
九。應募圖案は還附せざること

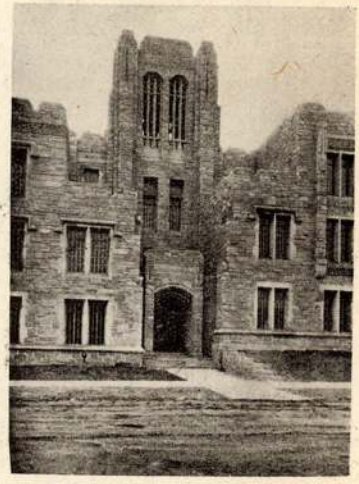
十、應募圖面發送宛名

大阪市西區土佐堀通一丁目大同生命ビル

日本建築協會「編輯部宛」







米國バトラー大學アーサージヨルダン館
設計　THOMAS HIBBEN
1一部詳細. 2.西部塔屋　3.東塔塔屋
上下裝飾模樣

切　取　線

設計圖案審査員

サンマーハウス設計圖案は左の諸氏が親しく審査に當らるることになりました。

工學博士　武田五一氏
工學博士　藤井厚二氏
工學士　葛野壯一郎氏
本會編輯常務

「建築と社會」四月號に就て

會員諸君のうち鄉土に對する愛着の念は夫々禁せざるものがありませう。

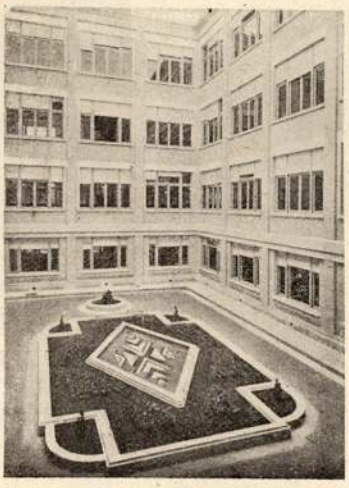
本誌四月號は鄉土建築に關する記事を特輯致します、浪花情調、地方民家、商家、役所建築、浴場宿屋、醫院、武家屋敷、倉屋敷、明治初期の洋館、學校建築、芝居小屋、或は鄉土建築論說等御研究のものはどし〳〵御發表願ひます。また鄉土建築に關する古圖、版書、寫眞、地圖等の參考資料の御提供があれば尙幸です。

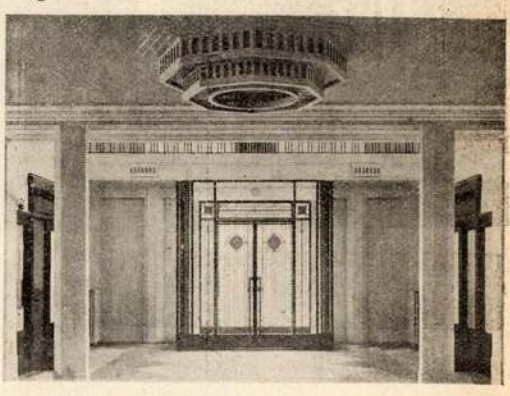
原稿締切は本月十八日です。

「建築と社會」編輯部









1 ナンシイに於けるオーフルノー・エ・フオンドリードポンタムツソン協會の商業會議所入口の雨除け庇
2 同　正面玄關
3 同　職員入口のホール
4 同　大內庭

『セメフアルト』製品に就て

「セメント」製品又は釉藥を施さゝる燒成「ブロック」類は其硬化に當り必ず分子間に微細なる空隙を生じ水分は毛細管引力の作用に依り其空隙に浸入す故に（常に濕氣を帶び）一旦零度以下の寒氣に觸るゝ場合あらんか其水分は氷結して容積を增大し其結果破壞剝落又は風化して損傷す是「セメント」製品又は燒成「ブロック」類の一大缺點なりとす

「アスフアルト」製品は溫度に依り強弱の變化甚しく冬季には相當の力を有すれども一旦強壓を受け又は夏期の暖熱に遭遇せんか著く强靱性を失ひて崩壞し易し

「セメフアルト」製品は或特殊の方法に依りて硬化せる「セメント製品」又は燒成「ブロック」中の分子間空氣の存ずる微細の空隙に「アスフアルト」溶液中の可溶分を充塡せしめたるものなれば絕對に水分を吸收せず從て寒氣に依りて生ずる破壞、剝落、風化も亦絕對に起らず加ふるに既に「セメント」硬化力又は燒成工程の爲め充分の硬度を保たしめたる製品に粘性彈力ある「アスフアルト」を注加することにより溫度又は壓力に依る强靱性の變化無く寧ろ一層の耐久力を增大す即ち「セメント」製品又は燒成「ブロック」の缺點を「アスフアルト」に依りて補ひ『アスフアルト混合製品』の缺點を「セメント」又は燒成工程によりて補ひたるものなれば「セメフアルト」製品は實に鬼に鐵棒式の完全優越したる製品なり

今左に比較對照表を揭げて其優劣を示す

比較對照表

區別 名稱	セメント製品	アスフアルト混合製品	セメフアルト製品
吸水量	多量	微量	絕無
磨滅性	少	稍多	最少
耐壓性	强	弱不同	最强
衝擊性	弱	强	最强
彈力性	無	大	大
溫度に依る强靱性の變化	無	甚大	無

營業品目（「セメフアルト」瓦「セメフアルト」ブロック「セメフアルト」スレート「セメフアルト」タイル）
工材社
長尾薰
阪口芳三郎
大阪市西區京町堀一丁目四十番地（電土佐堀五八〇番）



レストラン カツフエー 座談會

池田谷久吉
本間乙彦
徳政金吾
波江悌夫
松本儀八
酒井勇三郎
イロハ順

A　三月號は、レストラント及びカフエー號を出すことに豫定してありますので、此際座談會を催して、各自の御意見なり、御感想なり、また觀察談なり、將來に對する希望なりの一端を、率直にお洩らしになる事を希望致します。建築の量に於ても、質に於ても、現代のカフエー並にレストラントに就ては、相當の收獲と希望がある事でせう。それと同時に今日のやうに特殊な發達展開の有樣は時代の色彩を或意味に於て明瞭に示したものとも見られます。時勢の急激なる變化に伴つて、目まぐるしい經路と變遷がある事でありませう故にかういふ特別の建築に對しては、時に應じて、此種の視察研究談を催して置けば、將來何等かの參考になる事と考へます。どうぞ一つ始めて下さい。……一體このカフエーの始まつたのはいつ頃ですかネ。

明治・大正時代の日本のカツフエー

B　明治四十二三年頃に東京に出來たのが初めで、ライオンだとかブランタンだとか、それからコーラス當りだと思ひます。東京の方に、もう一つ純粹のカフエーで、パウリスタといふのがありましたネ。

A　大阪でもパウリスタが一番早かつたネ。

B　さうですネ、さうしてあれはブラジル政府の補助を受けて、ブラジルのコーヒーを日本に宣傳する積りだつたとか聽きました。

A　あの時分のパウリスタのコーヒーは、隨分美味しかつたやうに思ひますヨ。

C　全くですネ、今日あれ位のコーヒを飲ませる所は、何所にもないやうに思ひます。

E　私はあの時分關西にをつたんですが、吳だとかいふ、あゝいふ軍港、それから下關、福岡、神戸あゝいふ主なる町には、大抵出してをつたネ。

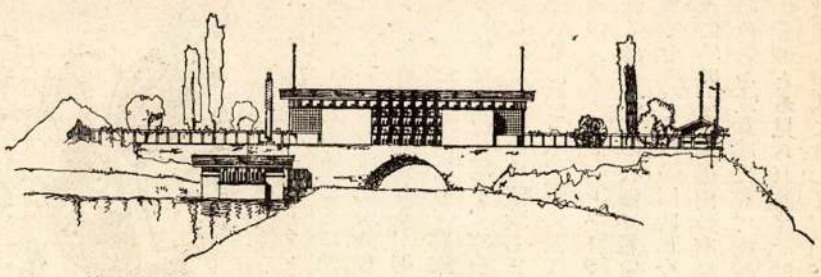
C　南のパウリスタの建つた最初めは、製菓會社が箕面の公園に販賣店を造つたが、それが失敗つたので、道頓堀に當時府會議員の某氏が金を出して始めたのが抑々初めてです。先づ大阪でのカフエーの一等初めはそんなものでせう。で、その時分の建築は、在來の家をたゞ改造したゞけで、白いペンキ塗で、內部は、兩面に鏡を張つて、白い大理石のテーブルを食卓にしてをつた。天井はメタル、シーリングの程度でネ。

A　その時分の寫眞は殘つてゐませぬか。

C　一寸見當が着きませぬヨ、で、二階も下と同じ樣な設備で、尤も在來の日本家を改造しただけですから、天井高も低くて、割方氣持の惡いものでした。冬は部屋の中央にストーブを置いて、不良少年がストーブを取圍んでゴロ附いて

ゐたやうでした。

A　その時分の給仕は女でしたかネ。



第七十七圖　山の喫茶店　　南信氏案

C　エ、、女です。

E　イヤ、確かボーイを使つてをつた所もあつたやうです。

C　給仕とは言はないで、やはり女でもボーイと言つてをりました。

B　それから其の時分に、酒場として異彩を放つてゐたのは、今度口繪に出しました旗の酒場で、名前もごくハイカラにキヤバレヅ。パノンと言つた。このキヤバレッパノンといふ名前に就ては、大分はき違へたといふ事もあるさうですが、兎に角酒場として、極く小さいながらも意氣な、さうして家具、調度なども餘程意匠を凝らしたもので、道頓堀の名物の一つだつたやうに思ひます。さうして其所では今の酒場と違つて、極く上品な女のボーイを使つてゐたので客の性質も餘程片寄つてゐたかも知れませぬが、或特殊の情緒があつたやうに思ひます。

E　營業時間は何うでしたかネ。

B　營業時間は朝は書前……十時過から、つてゐましたかネ。

D　それから、パウリスタの方なんかは、大正元年頃は夜の十一時を限度として追出されたものですヨ。その時分彼所で二三回會をやつた事がありましたが、時間が十一時鳴ると、もうお時間ですからごうぞ出て下さいと云つて追出された事を覺えてゐますが……。

B　ところが其の時分、大阪のカフエーで夜通ししたのも隨分あつたんです。それが爲に警察でも餘程その取締に手を燒いた、と云ふのは、つまり不良少年のノラ猫が夜明しをすると云つたやうなことになつた樣に聞いてゐます、イヤ、聞いてゐるんぢやない、知つてゐるんですが……。其後その徹夜營業は廢められたやうです。

A　パウリスタの二階は、廣間になつてをつて、一寸レストラントのやうな風になつてをつたやうですネ。

D　さうです。

A　すると今日のやうな、一町内に一ケ所づゝカフエーがあるといふやうな、小ぢんまりとしたカフエーの發達したのは、何時頃からでせうか。

D　私は大阪へ明治四十五年の十一月に來ましたが、もう其時にはあちらこちらにカフエーを散見しました。散見したんぢやない、實は行つたのですが。

B　その時分のカフエーと申しますのは、西洋料理屋の一種ぢやありませんでしたか。兎に角まだ純粹のカフエーぢやなかつたでせう。

D　さうです。西洋料理屋と兼ねてゐました。

C　併しその議論に先立つて說明を加へて置かければならないと思ひます。それは今世間で云つてをるカフエーといふのは、全く享樂本位なものでありますが、初めのカフエーと云ふのは、たゞコーヒを飲む、空腹を西洋式の料理で滿足させるといふ程度のものではなかつたかと思はれます。

A　丁度梅田の附近に、その時分の俤を殘してをるやうなのが二三軒あるですネ。

B　さう〳〵、ありますネ、一龍軒だとか何とか云ふのが。

A　すると今日のカフエーは、矢張り大正時代の產物ですネ。

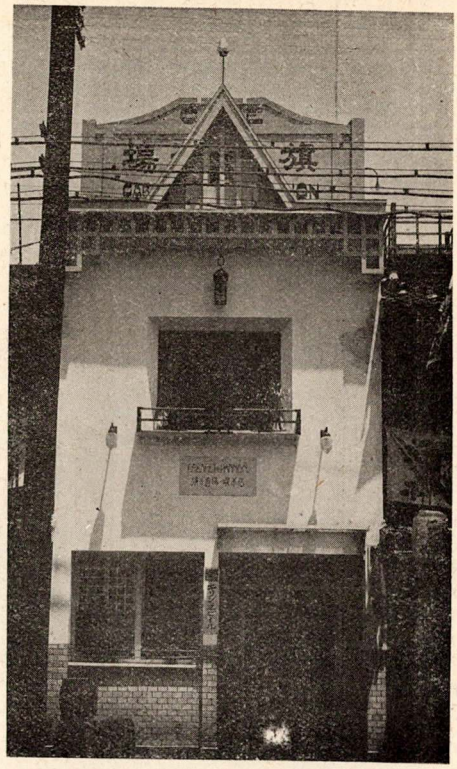
C　勿論さうです。

B　さうして現在あるのは、マア大阪で云へば、明治四十四年に出來た旗の酒場なんかの流れを汲んで、それが現代の人心に迎合するやうになつたやうに思ひます。マア今の野田屋なんかの行り方が、その時分の所謂カフエーだつたや

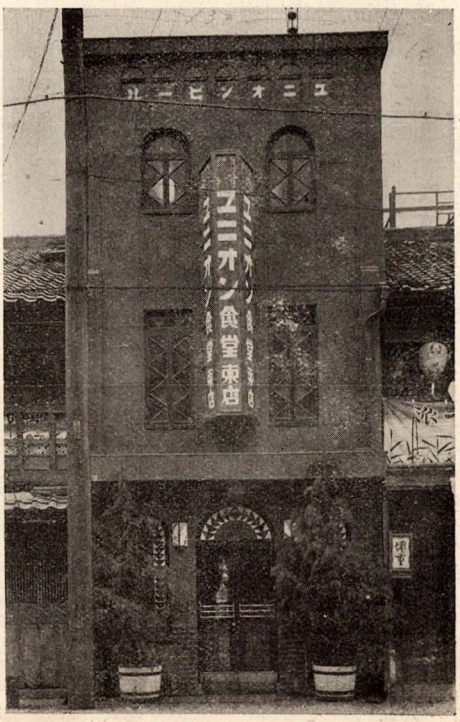
2



1



3



第五十八圖

同一建物に現はれた
酒塲建築變遷の好例

(1) 明治四十四年のキヤバレー、ヅ、パノン旗の酒塲
(2) 大正十二三年頃のそれ
(3) 現在のユニオン食堂

うに思ひます。

C　當時の旗の酒場は、階段を昇がると、棕櫚の植木鉢があつて、窓の側には大きなソファーがあつて、非常にゆつたりとした氣持で食事も出來、座談も出來るやうでした。當時カフエーや酒場に集まる連中は、所謂新人で、新聞記者だとか、文士だとか、畫家、俳優少なくとも藝術に關係のある人達の集まり場所でした。

B　然うです。東京のプランタンだとか、コーラスにしても、其所の常連は殆んど文士だとか畫家で位地を占められてゐた。

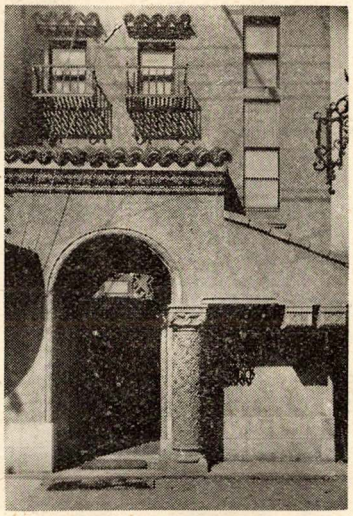
A　すると大阪では矢張り道頓堀から始まつたと見て差支へありませんか。

B　然うです。其次に酒場として出來たのに、カフエー、ライオンといふのがありました。それは酒場の體裁を備へたもの、初めだつたやうに思ひます。

E　すると東京のライオンと何か關係があるのですか。

B　イヤありませぬ。あれは精養軒で經營したと思つてをります。こちらは出雲屋の經營です。

E　カフエーの常連が主に文士なんかで、さうして彼所を舞臺にした小說が可なりあるですナ。それから又彼所のウエートレス、つまり當時のボーイですナ、あれが可



第五十九圖　野田屋食堂（大阪）
小川安一郎氏設計

なり小說の題材に載つてゐたやうに覺えて居ります。

A　その時分に新しい女として、例へば下山京子のやうな、名を賣つた人達が、簡單な料理屋を經營して、新聞界を賑はしたやうな事もあつたですナ。

B　エ、、ありますネ。

F　それから矢張りあの時分でした。あの平塚雷鳥だとか、神近市子等、例の青踏社の連中が銀座をブラ附いたり、淺草方面を視察したりしたのも、その時代のやうに思ひますが、銀座には所謂今日のカフエーらしいものがチラホラ出來つゝあつたやうに思ひますネ。

A　今日の女給がカフエーに勤務するやうになつたのは、何時頃からでせうか。

B　今日の女給と云ひますと、その客のサーヴィス振りを仰しやるのですか。

A　イヤ女給さいふ名の起つたのは大正時代でせう。それまではボーイでした。女給さいふ名の起つたのは何時頃からです。

C　大正三四年頃でせう。何でもあの頃の不景氣の絕頂に、お茶屋に行けない連中が行きかけたのです。

B　女給仕の略語でせう。

E　銀座のライオン、カフエーなどは初めから女でしたヨ。あの時分には何さ言つてをつたですか。

A　ウエートレスさいふ名が先きに出てをつたさ思ひます。それが飜譯されて女給さ出てをる。だから大正の中頃以後だらうさ思ひます。

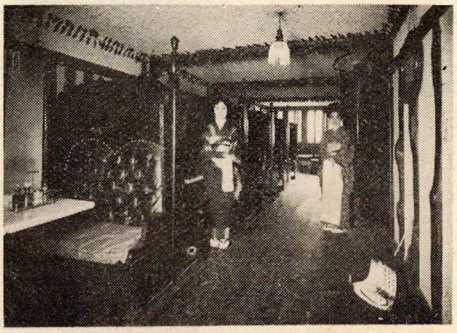
B　さうですネ。東京では、正確に女給さ云つてをつたのは、割合に新人が多くカフエーに行つた故ぢやありませぬでせうか。

E　最も新人でせうネ。

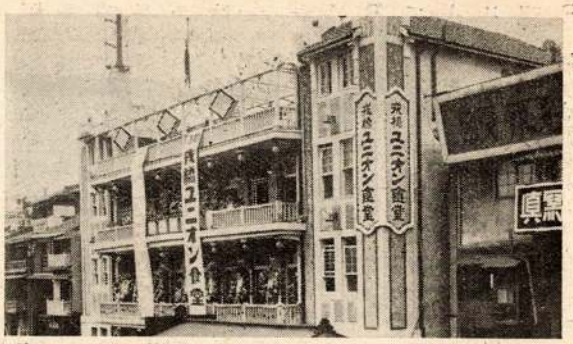
A　それでは大正初年のカフエー建築の概觀についてお話を承はりませう。

初期のカツフエーの建築

C　當時建築界の趨勢は、總てセセツシヨンを以て風靡してをつた時代でありますから、自然カフエーの建築もその時代の趨勢に伴つてセセツシヨンが多かつたやうです。



第六十圖　夢の酒場（大阪）



第六十一圖　戎橋ユニオン食堂(大阪)　池田谷久吉氏設計

B　然うです。アールヌーボからセセッションと云つた時代で、當時は大變清新な氣持が得られたやうに思ひます。

E　アールヌーボは何です。フランスの博覽會から出發してをります。千九百年です。

B　その時分のカフエーは、主に簡單に在來の日本家を改造したもので、勿論今でもさうですが、多くは——内部の裝飾こしてもセセッションの全盛時代ですから、極くあつさりした、大體の間取の方針としては解放的であつたやうに思ひます。四人掛位なテーブルを適當に配置すると云つた程度で、現在のやうなローマンス、チエアーもなければ、部屋の中に部屋を造ると云つたやうな、隱蔽的こ云ひますか、私秘的と云ひますか、さう云つた傾向は全然無かつたやうに思ひます。兎に角その時分のカフエーは大變明るいものだつたやうに覺えてゐます。

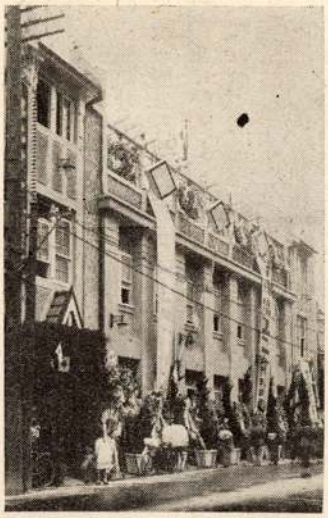
D　間取と同時に私の考へますのは、そのカフエーの位置であります。寧ろこの間取は或拘束を受けるやうな場所であつても、位置の宜い所を擇ぶこいふのが先決問題としてをつたやうに見受けます。

A　隨つて繁華な、雜沓してをる町に限られてをつたやうです。

D　現にあの銀座のライオンなどが最も好い適例です。

A　その時分の寫眞はありませんかネ。

B　イヤ、今度一二枚手に入りました。



第六二圖　戎橋ユニオン食堂(大阪)　池田谷久吉氏設計

A　東京のは震災で燒けてしまひましたでせうか。

D　大阪には方々に殘つてをるでせう。

E　その時代の外觀と此頃の外觀との對照は、何ういふ傾向でございませう。

B　其頃のは割合に清楚なもので今のやうにあくどい青や赤の電氣けば〳〵しい看板といふやうなものは、殆んご見られなかつたやうに思ひます。

C　色彩に於ても主としてしろつぽい明るいものであつたやうに思ひます。

B　白こいふ情緒ですネ。

F　その當時、その時代から、場所の變遷はありませうが、ずつと繼續してをるカフエーは何ういふものでせう。何軒位あるでせうか

B　最も古い時代から今日まで。カフエーと名の附くものでは殆んご無いやうに思ひます。

D　ユニオンは何うでせう？

B　ユニオンは大變後ですヨ。今あるのでは村井、アイオイ位なものでせう。出來方は少し遲くありますが、マア古いものだと思ひますネ。

カツフエーとダンスホール

A　要するに建築と設備と經營とこれに集まるお客さんとの、三拍子に因つて、その時代〳〵の色彩



第六十三圖　カフエー村井(大阪)

がはつきり描かれるものと思ひますが、大正初年は不景氣の絶頂であつて、總ての事が極く簡單であつさりとしてをつたものと思ひます。然るに大正三年の夏、突然として歐洲の一角に戰亂の焰が上がつて、歐亞に跨る世界大戰亂の渦の中に日本も捲込まれるやうな狀態になりまして、白人の日本に避難し來る者が出來、今日のカフエーらしいものがチラホラ一時的に經營されたやうに思はれます、また劇壇の方でも、歐洲の戰亂を避けた歌劇團、音樂家、それから舞踊家の人々が日本をよぎつて、彼等の藝術を僅かに日本に紹介した時代でありまして、これがやがてダンスの勃興を促す動機となつたかのやうに思ひます。關西方面では神戸にインターナショナルのダンス會が始まり、間もなく大阪ホテルで、內外人のダンスを見るやうになつたやうであります。

B　營業的にダンス、ホールとしてやつたのは何所でしたかネ。

A　つまり大正四五年になりますると、營業的ダンス、ホールが出現したやうに思はれます。

E　最初は社交ダンスとしてやつてをつたやうですネ。例へば石川呉服店などに於て營業的でなしに……。

A　それと同時に、ダンスを眞面目な意味に於て供給する人達も現はれたやうです。

B　さうして現はれて、營業化されたものでせう。

E　私は營業化される前に、社交ダンスとして相當家庭に於て行われたと思ひます。つまり社交として外人の間にホテルなどで起つたそれに日本人も參加して踊り、それが驅て日本人間の一つの社交機關として、家庭的に或一部で行つたやうに思ふ。それが更に進歩してですナ。商賣的に現はれて來たやうに思ひます。

A　當時大阪に於ける婦人會が、ダンスを社交機關として紹介し、且つ研究したのもこの時代の事であります、當時ピアノ同好會のK氏夫人の如き、M氏夫人の如きは、大阪の新進夫人として、社交ダンスの牛耳を採つてをつたやうです。

E　併しこの音樂とダンスは離るべからざるものですネ。だから音樂同好會の方がダンスに手を染めるのは當然の歸結ぢやないかと思ひます。

C　ヒヤ〳〵。(笑聲)

A　寶塚の少女歌劇が認められるやうになつたのは、矢張り大正初年かと思ひますが。

E　先程この歐洲から色々カフエー並にレストラントが這入つた、ことのお話があつたのですが、それに就て、カフエーとそれからダンスとに對するヨーロツパ人の考へと、それから我々日本人の考へとが、徐程違つてをるやうに思はれるのです。マア歐米人は殆んどカフエーといふものは一日になくてならないものなのです。大戰當時ドイツが食糧の封鎖に遭つて、コーヒの輸入が杜絶した爲に、非常な苦痛を嘗めたといふ事は、種々な方面に現はれてをるのです。その一例は去年の十月頃ですが、大戰當時の種々の藥物の研究を淸交社で發表された時に、コーヒの代用品を色々な草から採取しようとして、ドイツ人が非常な努力を拂つたといふ標本を見た事がありますが、それを見ましても、コーヒは歐米人の必需品であるやうに思ふのです。それが我々日本人のカフエーに對する希望が非常に相違する所のやうです。我々は一日の中にカフエーがなくとも少なくとも差支へがない、隨つてカフエー其者がですナ。カフエーと云ふよりも寧ろバーといふ風に近くなつてをるやうに思ふ。これが今後日本に於てカフエーの發達如何に非常な關係を持つやうに思はれます。

C　大分前に戻りますが、第一期の旗のバーの室內裝飾は、今のやうな貧弱な室內裝飾ではなくつて當時は藝術家の集まる場所なるが故に、當時の相當な畫家連中が、自分で描いた繪を持つて來て掛けてをつたので、恰もサロンへでも行つたやうな氣持がしてをつたと思ひます。

A　ダンス、ホールが營業的に發達したのは、大正六七年頃だつたと思ひます。

B　さうですネ。カツテージといふ天井の低い、薄暗い酒場とも、カフエーともつかぬ家がありましたネ。

C　確か、ロシヤの女などがゐて、蓄音器の音樂で踊り始めましたネ。

B 然うです。

A 社交ダンスの如きも、ダンス、ボールの適當なのがないので、隨分苦しんだやうですし、家庭に於ける蓄音器利用のダンスもこの時分には盛んのやうでした。

B 何と云つてもダンサーなる一種の職業婦人を置いて、それを營業化したのは大阪ぢやないでせうか。

A さうですネ。一體松竹座にダンサーを置いたのはあれは何年頃でしたかネ。

B あれは大正十一年でせう。

A 一面この時代はビルヂングの盛んに建設される時代でありまして、地下室食堂は日を逐うて盛んに經營されつつあつたのであります。隨つて地下室利用のカフエー地下室利用のダンス。ホールといふやうなものが實現しつゝあつたのです。

B 當時、Aさんなども御存知でせうが、北濱の角の浪速食堂、あれなんかは地下室食堂の始めぢやありませんでせうか。

C それは何時頃でした。

B 大正三四年頃からあるですヨあれは隨分古いです。

C 引續いてダンス、ホールと食堂とが、ビルデングを利用しかけたのは、山根千勢子が帝劇から抜け出て、高麗橋の某ビルヂングの地下室で始めたのが最初だと思はれます。

A 松竹座の方が先きぢやないですか。

C 松竹座の樂劇部を置いたのは可なり後です。寶塚より餘程遲れてをります。原田潤や楳茂都などが、寶塚から出て來て最初、天下茶屋の方でやつてをりましたネ、確か大正十年頃でした。

A 一寸中談ですが、住宅改良運動も此頃から盛んに行はれまして協會で住宅博覽會をやつたのは、十年から計畫して十一年に實行されました。隨つて文化運動、それから文化といふやうな言葉もこの時分に盛んに謳はれました。それと同時にダンス、ホールの取締が嚴になつて、ダルス、ホール閉鎖沒落の影響は、現代的カフエーの勃興に大なる影響があるといふ事をお考へ置きを願ひます。此所で一寸御注意申上げたいのは、この過渡期に、カフエーの建築として可なり意匠の上に於て精練されたるものがあつたやうに思ひます。

建築家の見たカツフエー

C つまり建築家の見たカフエーと、經營者の見たカフエーとが、そこに非常に相違がありまして、流行る、はやらないといふ事は、建築家の考へてをるやうなもので



第六十四圖 カフエーひさご(大阪)
長田岩次郎氏設計

は、全然的外れのものであつたやうな傾向があるのであります。そこで建築家の氣に入つたものを造るといふ事は、はやるといふ事とは全然關係のないことで、建築家の藝術的創作慾を殺して、盲從的に經營主の指導に泣く〳〵ついて行つたといふ方が、經營には成功した結果を生んでをる事が、一つの時代思想と見て然るべきかと思はれるのです。何所がそんな例がありますか。

A 誠に面白い觀察でありまして同時に建築的に極く眞面目な見地から、建物の外觀、設備、ウエーターの服裝、電氣、器具、裝飾、家具、サーヴイスに至るまで、統一ある制度まで、深い研究を盡したものが現はれましたが、時代の趨勢に伴はぬか、忽ち世俗的の傾向に壓倒されたやうであります。一例としてはエスパンオールの如きは前者の例であります。

B 意匠としては筋の通つたもので、そこに出て來る器物の一つにも、オランダとか云つた好みですが、矢張り一般には向かないものだと思ひます。兎に角カフエーなり、酒場なりの意匠が、或樣式に整へられるといふ事は、そのサーヴイスまでそれと調子を合せなければ、一つの纏まつたものにならないもので、そのどちらの一つでも調子を外すと、結局纏まりのないものになるやうに思ひます。

A ダンスとしては明治の二十年頃……二十年頃と申しますれば、

所謂國會が開設される時分、所謂鹿鳴館時分ですが、この時分にダンスが日本の新進の人々、當時のモガ、モボの間に行はれ、政府よりしてこれを奬勵し、歐化主義の全盛期に伴つて、婦人の髷も束髪になり、女學生が殆んど袴となり男子は洋服を新にして、盛んに新文明を歡迎した時代でありまするが、一たび國粹保存主義の勃興のために頓挫を來し、大正末年に於て再び社交ダンスの發達を再現したのでありまするが、不幸にして我國ではホテル、或はダンスホールの適當なる設備の建物を得ることが出來ないで、また一面ダンスなるもの、内容、趣味意味等に於て、一般社會の理解に合致せず、その正しき發達の經路を遂げなかつたのは遺憾でありまするが、ダンス、ホールの閉鎖に伴つて、ダンサーの一部が今日のカフエー發達、變化に大なる影響があつたかのやうに思はれます。



第六十五圖
カフエー、アマチユアー(大阪)

E　一寸忠言ですが、鹿鳴館時代のダンスの精神と、今日のダンスの起つた精神とに相違があるやうに思ひます。鹿鳴館時代には、寧ろこれを奬勵して、漸く流行を來したのですが、今日のダンシングは内部的に發達したやうに思はれます。隨つてその精神に格段な相違があるやうに思はれます。

昭和時代のカツフエー

A　サアこれから愈々カフエー全盛期に這入ります。面白い御意見がありませう。

B　兎に角今の大阪で、或は日本で云ふカフエーと云ふものは、外國のそれとは全然別のものだと思ひます。

C　今の傾向を見て見ると、花柳界の延長と見るのが適當ではないでせうか。

B　マア極端な論者になりますと吉原の延長だとも言ひたがります。

D　サア、併しさう一概にも言へますまい。

E　今Bさんの吉原の延長といふことがありますが、これは西洋でも同樣だと思ひます。

A　ヨーロッパのカフエーでは、高級なるダンサーをアーチストと申します。カフテリヤの舞臺でダンスをやるのは高級のダンサーであります。第二流のダンサーはつまりカフエーで客の應待をしてをるのであります。第三流は問題外です。

C　外國の第三流のダンサーはユダヤ人のやうに聞いてをりますが如何でせう。

A　能く知りませぬ。

建築樣式から見たカツフエー

B　カフエーの樣式に就て申上げたいと思ひますが、大正十年頃につまり世界大戰後、歐洲の建築樣式が未來派だとか、表現派だとか云つた風なものに刺戟されて、それが日本の建築家の頭を可なり刺戟しましたが、建築家として大きな建物にさう言つた意匠を用ゐることは困難な事情が多いので、差當り手輕にそれを表現の出來るカフエーだとか、バーなどの建築が一種のテスト、ピースになつたやうに思はれます。殊にその傾向を助長したと思はれるのは、關東地方の大震災で、その後で急いで建てられた復興建築、つまりバラック建築は、性質から云つても何と云ひますか、用途から云つても、成べく簡單に、成べく印象的な、成べく刺戟の強いものを要求されたので、それに合つたものとしてこの未來派だとか、表現派風の意匠が多く用ゐられたやうに思はれます。現在のカフエーの樣式は、主としてこの未來派だとか、表現派だとか、立體派なんかの亞流を汲んだもので、決してそれが純粹に、建築家の眼から見て宜いものだとも何とも思ひませぬが、さう云つたものが現はれるのも、時代思潮の一つぢやないか知らぬと思ひます。

C　御意見御尤もかと思はれます

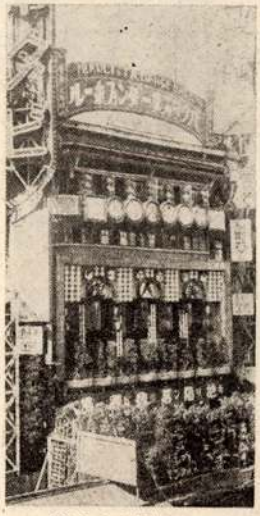
先づ震災の思想上に及ぼした影響として、非常に刹那的になつたといふ事も尤もな事と思はれます。依つて復興第一歩として生れたものは、矢張衣食住の中でも食の問題です。勿論カフエーといふやうなものもその現はれの一つでありまして、そこに刹那主義的から非常にデカタンになつたのも當然でせう。今の頽廢的なカフエーの内容の濫觸は、何うしても震災の生んだ世相の一つでせう。

A 關東の震災は何としても大正時代の一大事變でありまして、帝都の五十年の文化が一朝にして灰燼に歸した、その殘骸の中から、バラック建築の復興に伴つて、刺戟的な、沙漠のオアシスのやうな食と享樂の場所を求め、經營者も競うてこの需要に應じ、荒んだ荒野の中に、新たなる色彩の建築が生れたのは、驅てレストラント、カフエー、喫茶店の勃興を齎らし關西に於けるカフエーには、その影響が頗る多いやうに思はれます殊に東京の震災から避難した人達が、大阪のウエートレスとして、一時の避難所を此種の飲食店に求めたのも止むを得なかつたでありませうし、今日の女給の增加の傾向の原因をなしたやうに思はれます。東京に於ても美術家の一團かバラック建築に特殊の試みをしたのも此時であります。またカフエーの發達に伴つて、服裝それから頭髮等に新しき試みを續々斷行する傾向を生んだのも此時です。



第六十六圖 黒猫バー（大阪）

C 現代の大阪のカフエーの建築樣式は、その因を東京の震災に發してゐますが、一面營經方針の先覺は、何と云つても大阪が根元でありまして、東京の現代のカフエーの方針は、總て大阪にその指導を仰いでをるものと思ひます。例へば銀座の黒猫でも、ライオンでも、總て大阪の模倣ではありますが、何うしても大阪ほど秩序の立つたやり方ではありませぬ。まだ〳〵幼稚なものです。序ながらダンス、ホールの營業的方面から見まして、パウリスタミユニオンが、昨年十二月を以つて、官憲の壓迫に基いて涙を呑んで廢しましたが、その遣り場所としては東京では人形町の日鮮ビルに再來されたのであります。今東京の營業的ダンス、ホールの中心は、何と云つても人形町だと思ひます。大阪はどの方面から考へても、經濟の中心としては他に比肩するものはなからうと思ひます。先程からお話の女給の服裝の變遷を見ましても、物珍らしいものとしては、野球のユニフオームを着せさせたり、乘馬服を着せてゐました。間もなく風俗を亂すものと云つて禁止されました。次いで支那服、洋裝、ロシヤ服、これも永續はしませぬでした。續いて夫等が止むと、次第に華麗に流れて來ました。例へばメリンスから、錦紗に流れ、エプロンが外されて赤前垂になりました。これも一時の現象で、赤前垂も外されて、今では何所かの令嬢か貴婦人の如き觀もあるやうです。それでも嫌らないと思つてか、或カフエーでは總て丸髷に結はせたり 好んで斷髮をさせたり、話は戻りますが、江戸の下町情緒を思はせるやうに黒繻子の襟を掛けさせて、縞のお召を着せたり、名古屋帶に高島田を結はせたり、經營者側から如何にして大衆の心をば引き附けやうかといふ事に腐心してをるやうです。



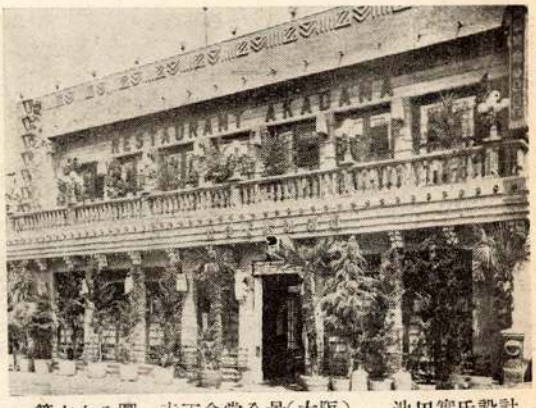
第六十七圖
戒橋美人座（大阪）

A 餘談でありまするが、大正の震災以後、劇壇では劍劇一派が非常な勢ひを以て流行して來ました喜劇でもなく、悲劇でもなく、新派でもなく、また舊派でもなく、特殊の新劇壇が生れまして、一つ

の流行を大衆文藝の勃興と共に推移しましたが、今日では萬劇ござれ、新派ござれ、悲劇ござれ、飜譯劇ござれ、また劍劇の味も忘れられないといふ、種々雜多な劇の發達に伴つて、役者の如きも殆んど混亂だと云ひませうか、各種の流れを負ふた人達が、改めて夫々の劇壇を形造つたかのやうな傾向になりましたが、カフエーの女給の服裝、頭髪の如きも、一時は特殊の流れを夫れ〴〵發揮してをつたのでありますが、今日では德川式ござれ、束髪式ござれ、斷髪式ござれ、また仲居風、令嬢風、各種の形を網羅してをるカフエーが歡迎されるやうになりつゝあります。

B　建築の樣式から云つても、その通りぢやありませんでせうか。

A　建築の樣式から申しますると セセツション期から、樽成派、表現派、或は未來派等の新傾向が勃然として起つたのでありまするけれども、今日では是等の各種の傾向は相錯綜して來まして、一面東洋趣味の研究がヨーロッパに行はれる關係から、一つの建築でも、是等の夫れ〴〵特長を網羅したやうなものが生れ來つゝあります。



第六十八圖　赤玉食堂全景（大阪）　池田實氏設計

D　それに就て私が感じますのは在來カフエー、レストラントの中の一部に含まれてをつたやうな感じをしてをつたバーが、最近に於きまして著しく獨立的の經營を始めるやうな實例を澤山に見受けまする。同時に建築的方面にも、バー獨特の形式、設備を持つたものが最近に餘程著しく殖えたやうに思ひます。

A　目下の所最も代表的バーは何所でせうか。

D　大阪でですか、或は全國的に見てですか。

A　先づ大阪から始めませう。

〔C　それは標準を何所に置かれますか。或は享樂ですか、サーヴイスですか、建築ですか、服裝ですか。

A　先づ特色のあるものを擧げて見ようぢやありませぬか。



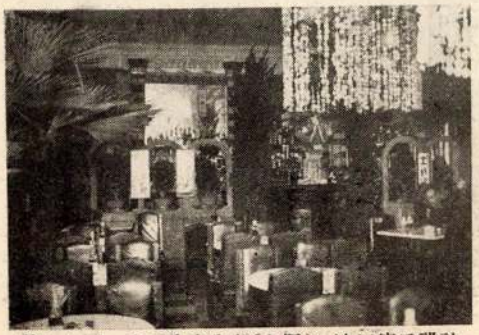
第六十九圖　赤玉食堂内部（大阪）　池田實氏設計

C。總括的に見て享樂位がその主體の樣に思はれますが、その代表的のものとして、地理的に見て、南を中心として、先づ建築的量から見て（客のキャパシティー）赤玉、ユニオン、美人座、北ではパリヂヤン、美人座、それ位でせう。

D　今のお話の中には、純粹のバーといふのと、同時にレストラントを含んだのと、かういふ事になつてをりますが。

レストランとカツフエーの意味

A　レストラントとカフエーの區別と見解を明かにして欲しいと思ひます。レストラントは建築的に見ても雅致のある、サーヴイスに於ても清楚で、純食事を主としたものであつて、量に於ても相當の規模を有し、經營に於ても永久的の施設をしてをるものを指していふものと解釋して差支へないと思ひます、カフエーの方に於ては大



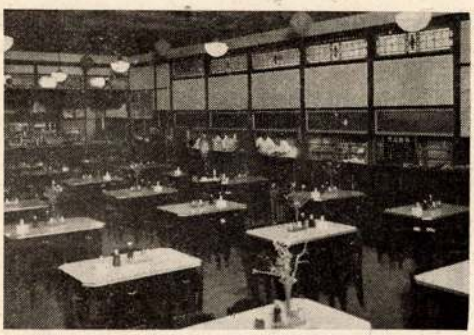
第七十圖　赤玉食堂内部（大阪）　池田實氏設計

體の傾向としては、經營者も一時的の考へを有つてをるかの如く見えるし、食事を伴ひ、酒を伴ひ、且つ享樂氣分を發揮してをる點に於て、特殊の目的を有つてをるやうに思ひます。次に最近歐米諸國に於けるバーを模倣したるものが新しき經營方法に基いて、チラホラ現はれて來てをります。でこれは主として酒類の趣味の顧客を歡迎する方面でありまして、これは今後大いに發達するものと考へられます。



第七十一圖　大阪で唯一のセルフサービス南海食堂（南海鐵道經營）

C　日本のカフェーは歐米に比して聊か内容を異にしてをります。最初のカフェーは純歐米の模倣でありました。今叫ばれてをるカフェーとは、享樂本位、サーヴィスが全部女でありまして、先程申しました花柳界の延長と見るのが至當でせう。さうして嚴密な意味でクラフイシケートするならば、レストラントはその一例として難波驛の南海食堂であり、その恰も分身の如きは阪急食堂であり、大同ビルの地下室の如きものはレストラントと呼ばないでせうか。



第七十二圖　南海食堂（南海鐵道經營）

B　極く特殊な營業方針の、つまり或限定された知識階級だけを相手にするか、或は或範圍の決まつたクラブにも近いやうな人達を相手にするレストラント、或はカフェーでは、その建築上の好みがはつきりと出せる爲に、建築家のやつた仕事も効果があるやうに思ひます。併し一般的に云へば、大衆が夫程建築眼を具へてゐない爲に、建築家の細心の注意も、努力も殆んど認められないで、たゞけばけばしい裝飾や電燈の照明だけが、客の好奇心をそゝることになつてをるやうです。ですから營業家はこの客の心理狀態を捉まへる爲には、七面倒臭い建築的の約束などは殆んど考へに入れない場合が多いやうに思ひます。即ち營業家の見た眼と、建築家の見た眼とは、立場が違ふだけに一致しない場合が多いやうに思ひます。それと申しますのも、建築家がもう少し營業家の身にたつて考へてやれば宜いのだと思ひますが。

C　それでは建築家の持つ藝術的慾求を犧牲にして、愚俗と云へば語弊があるかも知れませぬが、所謂大衆に迎合する爲には、餘儀なく己れの良心を犧牲にして、たゞ刹那的に兎も角も目新しい變つた方面に手を着けるより外には仕方がない事になるのでせう。そこで一寸感じられる事は、經營者は大衆を後ろにして、自ら引摺つて行く立場にあり、建築家は徐ろに違つたまるで反對な方面に、一歩づゝ踏みゞめて行くやうな感じが致します。



第七十三圖　梅田ビヤホール（朝日軒）小笠原一銅氏設計

B　營業者と違つた方面と言はれるのは、何ういふ事を指すのでせうか。

C　それは建築家の創作力の溢れるまゝに、それを表現して行かうといふ方面、つまり我々の頭から湧いて出る美の世界とでも言ふことが出來るでせう。

B　その點に就ては、私は營業者の考へてゐるカフエーの建築と、建築家の見た夫れとが、一致しなければならないのではないかと思ひます。と申しますのは、建築が營業といふ目的を有つたものである以上、營業的に失敗すれば、其建築の生命はないものだらうと思はれます。つまり下級な民衆を相手にする爲のカフエー、或は高級な人達を迎へる爲のレストラントと云つた工合に、夫れ〳〵客の趣味を考へ、程度を考へて、而も建築的に見ても、それが或美しさを持ち、權威を持つと云つたものを造つてやることが、建築家の責任ではないかと思はれます。勿論難かしい事ではありませうが。

C　勿論我々の理想は常にお說の如きを信念としてをりまするが、今大阪府だけでも約料理屋と飲食店と稱せられるものを合致して、昭和三年の統計では一萬一千戸を數へてをります。是等に集まる人達の目的は、總て一口に云へば數の上から見てゞはありますが、先づ刹那的に享樂をもとめやうといふ、言ひ換へれば可なり程度の低い人達の鬱憤の投げ遣場所であり悶えの慰め場所ではあるまいかと思はれます。依つて我々の理想とする建築物の趣味に理解を持つ人達は、恐らくはその千分の一位ではないでせうか。現に大阪でも我々が見てこれはと思ふやうな建物は、矢張り指を屈すれば十や二十はあるでせう。それはその實例として、室内の間取が段々とプライベート化され、照明が官憲の眼が光るまでに薄暗くなつて行くことでも、これを具さに物語つてをるものと考へられます。



第七十四圖
城の酒場(大阪)

營業者の見たカツフエー

B　先程からも度々カフエーの經營者が客の心理狀態を巧みに捉まへて、その營業方針を決めるやうなお話も承はりましたが、一面から云へば、その營業者が人間の弱點と云つたものを巧みに捕へて、客に强ひられるのではなくつて、却つて客を誘惑すると云つた結果にはなつてゐませぬでせうか。現在でこそあの薄暗いカフエーが喜ばれてをるやうですが、何時まであの式のものが續くか一寸疑問ぢやないかと思ひます。

C　これは內證ではありますが、カフエーの經營者の素性から考察する必要があらうかと思はれます



第七十五圖　城の酒場內部(大阪)

これが理解出來れば、建築家が爲すべき途も自ら分るでせう。即ち大半の經營者は一通り眞面目な事業に失敗した揚句、何等かの手取早い方面で、一儲けしようといふ非常に瞬間的經濟方面に於ける理智の頗る發達した頭腦の持主が始めるのが、大抵はこの方面の營業のやうに思はれます。依つて資本などは成だけ掛けないで、而も人目を惹くやうなものを造らうといふのが、その根本のやうです。隨つて建築家が見た場合に、それが全く虛僞であり、馬鹿々々しい程の世の中を瞞着した、寧ろ見たときに唾棄を催すやうなのが、彼等の眼には丁度好い加減の樣です。これは一面建築家のレベルが思想的にも進んでをる實證だとも考へられます。

B　建築家のレベルが進んでをると見るのも適當かも知れませぬけれども、私は寧ろ建築家か餘り社會と離れ過ぎてゐる故ぢやないかと思ひます。つまり超然とし過ぎてゐる爲に大衆の心理狀態とか、好みを摑むことが出來ないだらうと思ふ事さへあります。日本建築でも社寺や、宮殿建築もあれば、數寄屋造りの雅致のあるものもあるのですから、さう固苦しく考へないで、寧ろ大衆に迎合するとか云へば語弊があるかも知れませぬが現代の社會相に合つたやうなもの

を拵へてやることが、建築家の半面の仕事ではないかと思ひます。

C あなたのお説は何時も理屈としては最も正しいやうに同感致しますが、それでは大阪で立派な建築だと思ふもので、營業的効果を十二分に擧げてをるものがあるでせうか。

B イヤ私の言ふのは、それは建築家が見て立派なと云ふまでゞ、決して私の言ふ大衆の好みに合つた、さうして建築にも優れたものでないのだと思ひます。その爲に營業の成績が擧らないのだらうと思ひます。

A さうですな。建築家の任務から云へば、注文者の意向を汲んでやつて、その素人の考へを專門的にうまく纏めてやるのが、町の建築家の任務のやうに思はれます。注文者に強い具體的意思のあつた場合は、それのこなれた幾分を調子好く納めてやり、また漠とした考へであつた場合は、此を具體化するのに相當に知慧を搾つてやらなければならないかと思ひます。澁い好みの注文には澁い意匠を造つてやり、派手な意匠を好む注文には、派手な取扱をしてやるのが至當の事だと思ひます。また建築の形、取扱ひの上に於ても、色んな要求を能く聽いて見ると、その中から可なり面白い形なり、意匠なり、表現が摑まへられることになるのであります。でありますからして、建築家は注文者の意思と要求と、その描いてをるものを捉まへることに馴れる必要があるやうに思ひます。

B さうすると今の建築家が、カフェーの建築に就ては、餘に高等に望んでをる爲に、其カフェーの本質が判らない故なんでせうか。

C それは建築家の思想が可なりエキセントリツクのやうに思はれるでのです。つまり我々は建築が規範藝術であるといふ事を頭の中から放さなければ、屹度世俗にも迎合し、且つ現代の思想を見越して、寧ろ大衆をリードして行く立場にはなり得ると思ふのです。ところが多くの建築家は非常に自由な藝術の分野の如く考へて、或人達ではユートピアのやうな氣持で建築を取扱つてをるのが、抑々現代の世相と掛離れる結果を生む所以だと思ひます。

A その中に迎合するといふ事に就ても、いろ〳〵説がある。迎合といふと如何にも己れを失つたやうに見えるが、畢竟その注文の意思を尊重してやるといふ事でせう。またその意思を捉まへて、更に深く一世を指導するやうな意味のモテイブを吹込むには、うはの空では出來ない事です。



第七十六圖 鳩ノ巢バー(大阪)

C マアお互ひに思つてゐても、勉強が足りないから思ふやうに行かぬのでせう、これから大いにその意味に於て精々努めることですネ。

A たゞ最後に私は、今のカフェーは日本人の現代の考へを率直に出して、所謂日本流のカフェーであるといふ所に面白味があるやうに思ひます。これがアメリカのカフェー、或はパリーのカフェーなど、は、その行き方を異にしてをる、と言ふのが特色であるのではありませぬか。

B 全く同感ですネ。外國のカフェーはかうだとか、外國のレストラントがかうだとかいふお話が大分出ましたが、私はカフェーといふ言葉、レストラントといふ言葉は、ランプやバケツと一緒に見たいのであります。これは矢張り日本化された一つの言葉であつて、この言葉で、日本人がどんな解釋をしようと、それは日本人の勝手だと思ひます。外國のカフェーがかうだから、日本のカフェーがかうでなければならないといふ筈はないと思ひます。

將來のカフェー

A 將來のカフェーは、プランニングの上に於て、もう少し奥深くなるだらうと思ひます。今のは餘りに底が淺くつて、如何にも一時的の感じしかないのであります。

B それは御尤もですが、今のカフェーは先程もお説のあつたやう

に、昔から云ふ水商賣といふ考へで、一時に儲けを取らうといふ事から計畫されるので、貧弱な資本と、引ては不滿足な家屋だとか、敷地を以て計畫されるので、奥行の深くない、みすぼらしいものが出來るんぢやないかと思ひます。今に資本化されたカフエーやレストラントがドシ〳〵現はれて來るだらうと思ひます。現在に於ける小賣店を惱ましてをる百貨店のやうに。

A　資本的のカフエーが出來るまでの間に、兎も角大阪では、現在のカフエーが今少し奥深く、奥床しく、間口は小さくつても内容に趣きや、變化がある、殊に中庭を取入れたやうなものが出來なければならないと思ひます。畢竟今日のカフエーは昔の繩暖簾、居酒屋の程度でありますが、これが少し進歩すると、如何にも落着いた、小庭のあしらひ、氣の利いた中亭小亭を持ち、如何にも安慰な、物靜かな小料理屋が發達するやうに思はれるのですが、今のザワ附いたカフエーの次ぎに來るものは、落着いた、裕とりのある、精錬されたものが生れて來ねばならぬと思ひます。

C　これも一つのサイクルがあると思ひます。大阪でも住吉の丸太格子のやうな氣持のものが續々と生れて來てをるやうです。つまり食本位な、腰掛けてうまいものが食へるといふやうなものが、今の流行の一つのやうだと思ひます。又その意味に於て、一風變つた方面では、薄茶を飲ませたり、うにやこのわたであしらふ向きが漸次



第七十七圖　高橋食堂(大阪)

殖えて行くやうですが、これも行詰まらうとしてをる今のカフエーの新しい傾向の一つと見ることも大した間違ひではなからうと思ひます。

A　現に特色のあるカフエーを二三見受ける、これは千篇一律の嫌ひのある中に、清新な特色を以て顧客を呼ばんが爲めでもあるかも知れませぬが、また經營者の巧みな試みの一つ〳〵であるかも知れませぬ。これと同時に、バタ臭いカフエーや、油切つたレストラントの間にあつさりとした、日本趣味的のカフエーがチラホラ現はれて來たのは、支那料理の後で茶漬飯を食ふやうな感じを與へると同時に、驅て一つの流れを導き來る樣にも考へられます。名前の如きもライオンだの、ユニオンだのの時代から、ゴンドラだの、アポロだの、スター、バツカスといふやうな看板の中へ、やがて綠だの、紅、白金、菊水、駒鳥、孔雀、清元、歌麿などの名が現はれて來たのは、名前ばかりでなく、從來の行き方と異つた道を歩んで見ようとする人々の試みであつて、一つの面白い傾向かと思ひます。

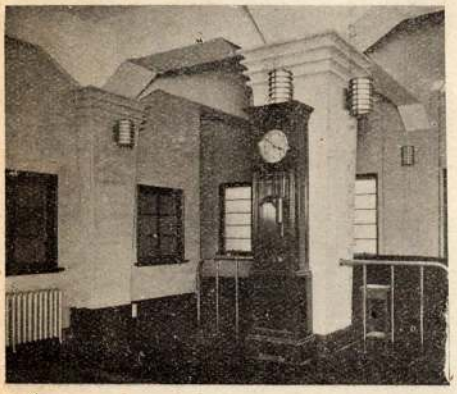
B　今仰しやつたやうな日本趣味が、舶來のカフエーにまで復活しつゝある事は、甚だ結構でありますが、靜かに見ますと、その機會の純粹なのは、多くは素人に取扱はれた場合であつて、建築家がやりますと、再輸入……フランスやドイツ邊りの建築家が、歌麿だの寫樂だのゝ住んでゐた櫻の島に持つた憧憬を現はした、その國人に言はせれば、エキゾティツクなものが、日本の建築家の眼に目新しく感ぜられて、茲に又逆輸入が企てられることが多いやうに思ひます。でも結果としては何と云つても日本人の方が日本の好みにも、生れない先きから深い緣故を持つてゐるんですから、惡い事ではないと思つてゐます。どうぞこの傾向が發達することを私は望む次第であります。

A　畢竟すれば、新しき道を作るが爲には、新しき苦しみと工夫に待たなければならないやうに思ひます。靜かに世相を洞察して、眞劍な態度に物を見、斯くあるべしといふ試みを眞面目に工夫したならば、それは驅て新しき流れを生むことではないでせうか。けれども現代は餘りに忙がしく、餘りに騒がしく、餘りに慌しい世の中でありますからして、さういふ希望が望まれないかも知れませぬが、忙中閑あり、動中靜あり、といふ事もあるのでありまして、却つて斯くの如き時代に清新にして、且つ長い命を持つたものが殘さるべきだと思ひます。

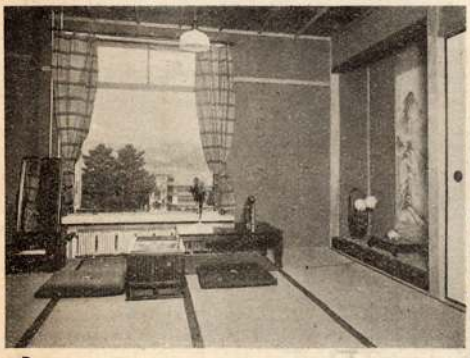
F　今晚は大變結構な御意見を聞かして頂きまして有難うございました、皆さんご苦勞でした。



3



4



5

寶塚舊溫泉 (1)

設計者 古塚正治氏

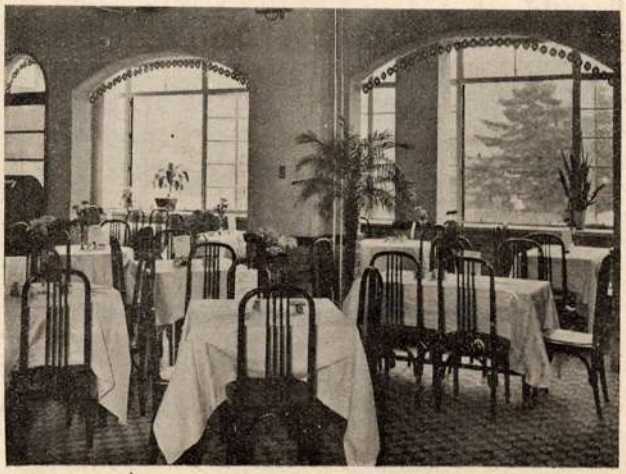
施工者 金田組

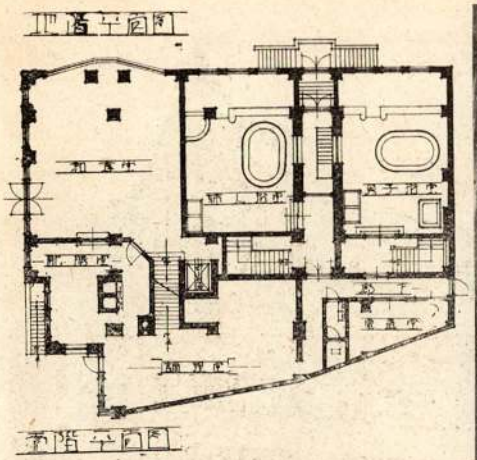


1

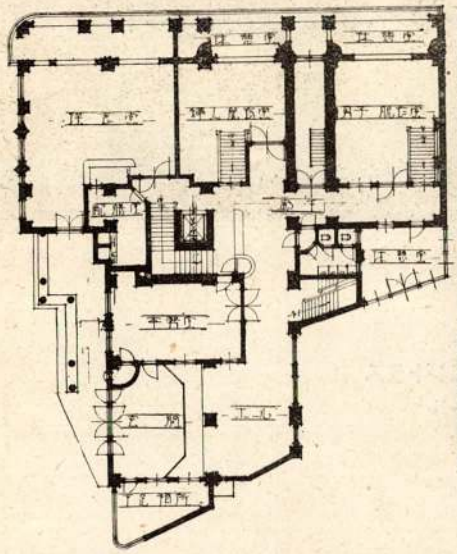
1 外觀
2 洋式食堂
3 メインエントラス
4 玄關ホール
5 和式貸室

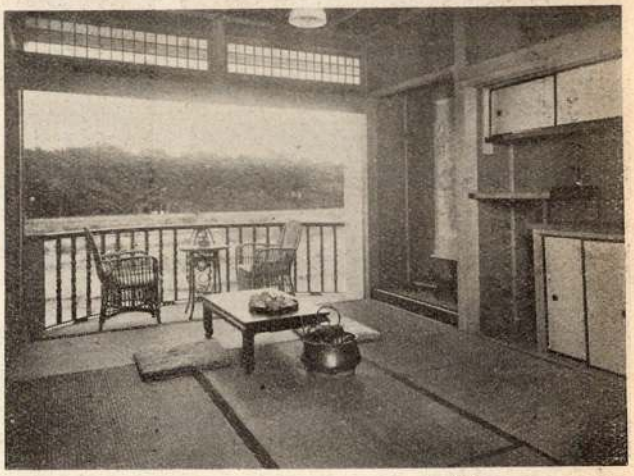
2



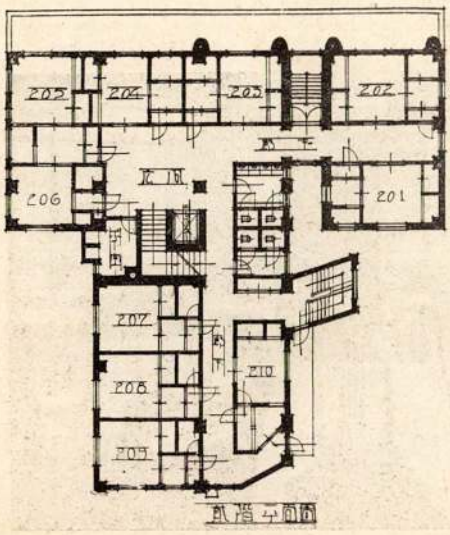


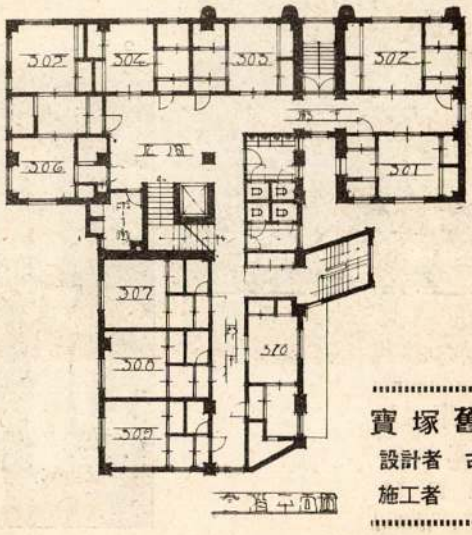






上　洋式貸室
下　特等湯休憩室





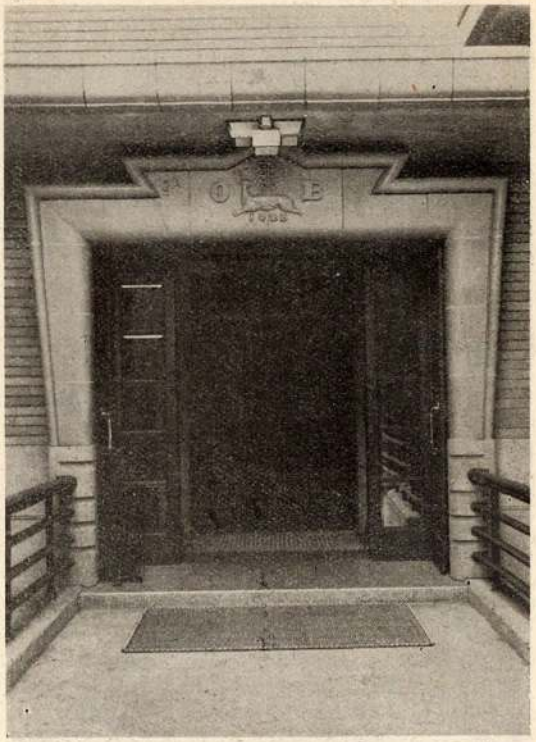
寶塚舊溫泉 (2)

設計者　古塚正治氏
施工者　　金田組

1



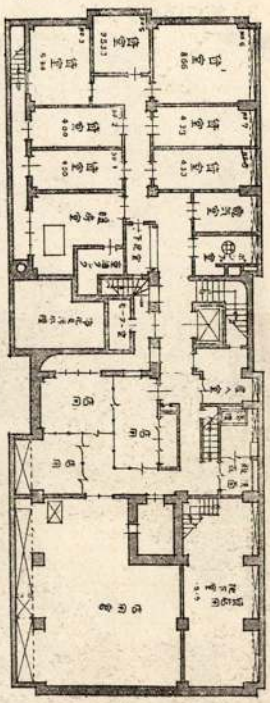
2



3



4



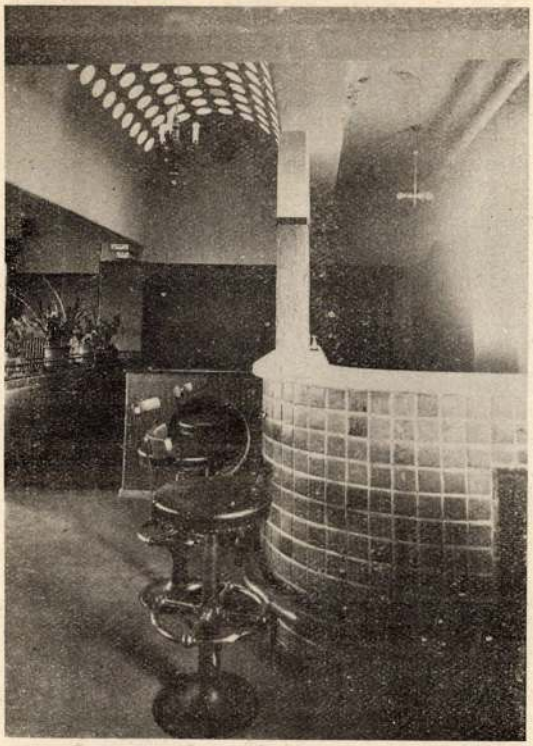
大阪・をぐらや商店(1)

設計者　竹中工務店

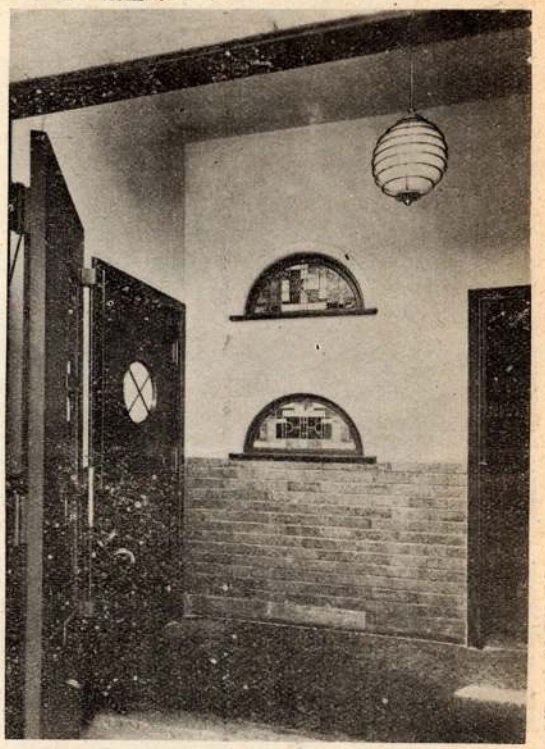
施工者　同　上

1 外　觀
2 第一階玄關
3 第一階店舖
4 地階平面圖

1　第四階倶樂部のバー



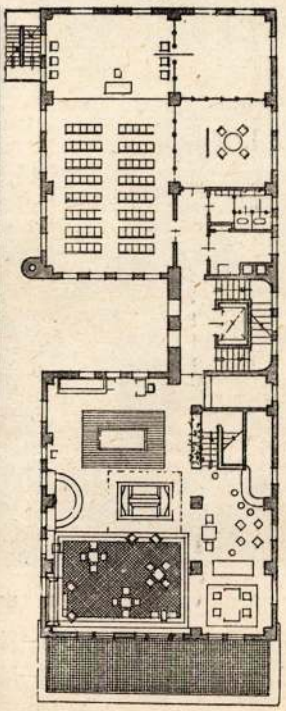
2　第一階玄關ホール



3　第四階ベランダ



4　第四階平面圖



大阪・をぐらや商店
（2）
設計者　竹中工務店
施工者　同　上

寶塚舊溫泉新築工事概要

一、位置　兵庫縣武庫郡良元村寶塚
一、敷地面積　約七百坪
一、建築面積　六百二十坪八合一勺

内譯

地下室　二十九坪二合八勺
地階　一百十五坪三合
一階　一百四十三坪五合六勺
二階　一百〇八坪五合
三階　右同上
四階　右同上
屋上　九十九坪五合三勺
塔屋　八坪五合二勺

一、着手及竣工期日
着手　昭和三年二月十五日
竣工　同年十一月八日

一、建築樣式　近世式
一、建築高さ　川沿の側にてパラペツト上端迄七十一尺二寸
一、構造と設備　本館は鐵筋コンクリート造とし、各階各室の間仕切は木造、兩面よりダブルメツシュ鐵網張り、モルタル下地プラスター塗仕上の準耐火構造である。
外窓は阿部式スチールサツシュ鉄め
内部は木製建具を使用してゐる。
この建物は地下室を倉庫及淨化裝置に當て、地階に和食堂、浴室、臺所電氣室を設け、一階は事務室、メイシエレトランス及廣間、廊下、洋食堂、同配膳室及脫衣室兼休憩室を設け二階三階を和式貸室、四階を洋式貸室とし、屋上は陸屋根として四圍の風光を味ふに便としてゐる。
この建物の特徴は温泉ホテルと云ふ點にある。恁う云ふ例は濮國や獨逸では見たが日本では未だ無い如うに想ふ。一つの建物内で手輕に寢泊りが出來て、温泉に入浴の出來ると云ふ趣向である。加之も、その寢泊りする寢室を洋式と和式とに分けて何れも煖房設備をなし、室毎に電話とベルの設備がある。凡てのサービスがホテルと全く同樣になつてゐるのであるから各室のプラベーシーなり家族的な氣分が充分味ひ得られてしかも簡易であると云ふ點は恐らく新時代の要求に應じて造られてゐる建物で確に日本では類例が他に無い如うである。

一、意匠　以上の如うな要求なり設備を圓滿にシンポライズしようとした處に此の建物設計上の苦心がある、いつも私の持論として發表いたしてゐる如うに建物の滿足なシンポライズと云ふことは必ずしも工費と正比例するものではない、意匠の眞のネラヒ所は他にあるのであつて、私は少くとも恁う云ふ點に相當苦心を殘してこの建物を造り上げたのであつた。參考の爲めに數案を插畫していたゞくことゝして居りますので御高評を賜りたいと考へる。

大阪心齋橋筋をぐらや商店新築工事概要

位置　大阪市南區心齋橋筋二丁目三十三番地
敷地面積　約二百坪
建坪　百五十六坪三五
延坪　六百九十一坪五

地階　一五六坪三五
一階　一三五、六〇
二階　一三二、一九
三階　一三二、一九
四階　一一八、五二
五階　一一、四〇
塔屋　四、八〇

地鎭祭　昭和二年七月四日
上棟式　昭和三年三月二十五日
成工式　昭和參年九月五日
工事期間　約十四ケ月
現場使用延人員　二萬〇六百三十五人
建築樣式　近世式
設計並計算　合資會社竹中工務店
施工　合名會社竹中工務店

設計　早良俊夫
現寸係　岡野寛次
計算　中島智喜
現場主任　高橋種夫
現場係　河本義雄
現場庶務　松本儀三郎

構造概要　鐵筋コンクリート構造地階付き五階建、地階十四尺堀下げ總地階防水層は外防水施工、外部仕上げは正面側面一部をテラカツタ及び長手タイル横目地通し貼りとし主要側面を萬成石人造洗ひ出し仕上げ背面を色モルタルとす。
各窓はスチールサツシュ取付け全部シヤツター設備す。
庇瓦はスパニツシュ型葺上げパラペツト上端及庇は總て銅板張りとす屋上床無地クリンカータイル貼り仕上げ
内部床はYC床上げ巾木同樣、腰長押廻し、天井及壁地はプラスター塗の上水性ペンキ色付ケ仕上げとす。
倉庫出入口扉は鐵板戸其の他各室は木製建具南洋材トンブドウ使用ステキン仕上げ
主要室はチーク材使用ワニス仕上げとす。
第四階クラブ床はコルクYC研出し
主要階段腰タイル貼り金目地。
床テラゾー眞中目地、段鼻はノルトン、アランダムタイル貼りとす。

昇降設備
乘室用昇降機最大積載量
一八〇〇ポンド　毎分　一五〇呎
一基ゲージの大さ、間口六尺奥行四尺
店用リフト(手働)最大積載量
三十貫一基
店荷物用競上げ最大積載量
五十貫　毎分　四〇呎
押ボタン式自動停止一基を設置す。
避雷針設備　本館前面、塔屋に各一基及煙突に一基、計三基の避雷針を設

備、塔屋及第五階軒先防水銅板張及各バラペット上銅板張を連絡し避雷針導線に接ぐ

煖房設備　重油燃焼に依る温水罐（アイデアル、ウオーターチープボイラー）W－二九一〇－〇、アメリカ、ラヂエーター會社製、強制循環式。オイルバーナー、S・T・ジョンソン會社製#3/2

放熱器、英國ナショナルラジエーター會社製クラシック型。

重油注入はウキングポンプに依り補助重油槽を經て重油ポンプに依りバーナーに送る。

温水循環用喞筒はキノクチ式タービンポンプ芝浦製二馬力モーター直結

換氣設備　地下室換氣用各室防火自動レヂスター設備、鐵板製「ダクト」に依り屋上に排氣す、排風機はシロセス型#2/2使用

電氣工事　高壓地下ケーブルにより地階電氣室に引込む高壓十キロトランス六臺を設置低壓にかへ各階分電盤及び働力受電盤に送る灯用約二百五十基、エレベーター、競上ぐ、ファン洋化槽ポンプ、揚水ポンプ、ボイラー用とす。

各配管はセレクト、チューブ、各室スキツチはヴライアント、ガングスキツチを使用す。

電鈴工事　ベルトランス、ブオマー（小型）により低壓處要のケ所に表示器を設け各室電鈴裝置す夜間用として外部より八回線の電鈴裝置をなす。

電話設備　局線五十回線を第二階分線盤に導入す共電式一坐席交換臺一基を第一階交換室に設置各室に配管す

瓦斯工事　二吋半引込みメーターより分離し炊事室及浴槽用各階湯沸し室の瞬間湯沸器に其他第四階クラブ炊事室酒場湯沸しに使用す。

鑿井工事　非常用水のため設備す敧眞突衝式による口徑六吋鐵管挿入深度三百尺揚水量一晝夜、七千二百石。平時は便所洗淨用に自動裝置により使用す。

切替へにより消火栓に連絡す非常時に二吋二段電動機直絡タービン、ポンプ及豫備として、アメリカ、ノボ會社、ベルト、ドリブン發動機を設置す揚水量毎時百個。

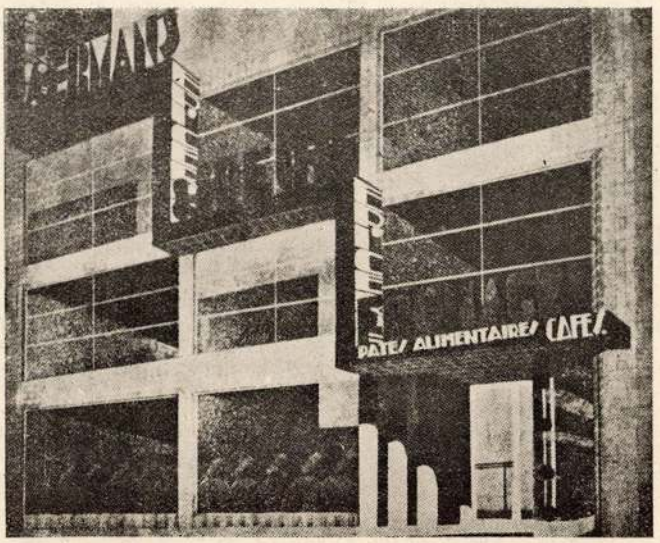
消火設備　屋上各階地階に各二ケ宛の消火栓箱を設く各箱内にあるスキヘチによりて地階ポンプ室に設ける消火ポンプに連絡す。

給水工事　市水道線より受水槽に導くタービン、ポンプにより屋上タンクに送るタンク室には清水タンク、井水タンクの二ケを置きそれ〳〵切替裝置をほどこす。

タンクより各室處要のケ所へ給水す

衛生工事　大便所はスロンバルブ裝置水洗式とし小便所はシスタン洗淨式とし床掃除排水、洗百排水風呂炊事汚水を地階淨化水に導入す各器具は東洋陶器製を使用す。

汚水淨化裝置工事　地階淨化槽（三〇〇人分）により淨化す市下水溝への排水は汚水揚水ポンプ及淨化水揚水ポンプを設置しそれ〳〵豫備ポンプを設備す。



日本建築協會々報

○第三部(資料)各分科總會

△日時　一月二十一日午後五時三十分―七時三十分
△會場　大同生命ビル、ライオン食堂
□第二分科會
△出席者　河合好吉　高松平太郎　福澤谷藏　淺原眞一
△協議事項　一、テラコツタ、日本瓦の大體の仕樣等の提出ありたるも淺野物産關係のものは別に提出せらるゝ筈に付其提出を待つて審議に入ることに決す
□第三分科會
△出席者　田坂吉二郎　三木一二
△協議事項　塗裝標準規定の件
□第五分科會
△出席者　松室重光
△協議事項　硝子の規格に付調査
□第六分科會
△出席者　伴　秀雄　城口龜吉　井上國助代　須賀藤五郎代
△協議事項一、前回調査の名陶カタログに符號を記入せる分を決定す

○常務會

△日時　一月二十一日午後五時三十分―九時
△會場　本協會會議室
△出席者　理事　片岡會長　宗副會長　日高副會長　監事　池田監事　常務　波江主記　德政主記　坪井主計　池田谷編輯　本間編輯　酒井編輯
△議事　一、一月例會及評議員會開催の件……可決
二、昭和四年度委員會委員選定の件並に現委員長、幹事と打合せ會の件……可決
三、委員會規定改正(總委員長設置)の件……保留
四、會費低減に關する件……保留
五、雜誌價格値下の件　可決
六、會費滯納者除名處分取扱規定の件　……修正可決
七、定款改正の件……原案作成
八、鳳闕一部購入の件　……可決
九、『火の用心』展覽會後援の件……可決
一、常設委員會委員氏名(いろは順)
第一部委員會(法制)
池田　實　今林彦太郎　伊藤幸太郎　小川安一郎　加藤　善吉　竹中　景一　高木眞太郎　高田利一郎　村野　藤吾　前內文二郎
第二部委員會(敎化)
小笠原　鋼　岡本新次郎　武田　五一　竹田　延則　山本　春水　增山　新平　藤枝　良一　小西　一眞　芝田　知重　姬野　武
第三部委員會(資料)
大澤　幸平　呼子　正　谷　民藏　中村　義雄　永田三次郎　松室　重光　阪井　米吉　下浦　光衛　森本　藤吉　須川廉太郎
第四部委員會(災害)
池田　宮彦　谷田　實　中島　智喜　落藤　藤吉　黑田　茂　八木幸次郎　增田　清　光安梶之助　鹽路　慾吉　篠原　太郎

○第一部(法制)各分科總會

△日時　一月二十三日午後五時三十分―九時
△會場　大同生命ビル、ライオン食堂
△出席者　委員長　池田實
第一分科
小川安一郎(主査)　川口一二　北垣熊之介
第二分科
高木眞太郎(主査)　井原國三　佐藤松太郎
第三分科
古塚正治
第四分科
田中美一　山脇友三郎　島田良馨
△記事
一、小川第一分科主査より美觀地區並風致地區指定促進に關し建議案作成に付報告
右に付討議の後可決
一、古塚第三分科委員より建築士法案審議中の旨報告、審議を了したる分に付討議
一、山脇第四分科委員より建築工事請負規程改正意見報告討議の後可決
一、右にて本年度當委員會の調査研究は終了とし會長に報告することに決す

○『火の用心』展覽會出品委員會

△日時　一月二十四日午後四時三十分―五時三十分
△會場　本協會會議室
△出席者　德政主記　坪井主計　阪井第三部委員　池田第四部委員
△記事　一、日本火防協會主催火防宣傳『火の用心』展覽會を白木屋に於て二月二日より十三日迄十二日間開催に關し當協會として出品物及陳列方法等に付協議
報告
右に付討議の後可決
一、古塚第三分科委員より建築士法案審議中の旨報告、審議を了したる分に付討議

○委員會に關する打合會

△日時　一月二十四日午後六時―八時三十分
△會場　大同生命ビル、ライオン食堂
△出席者　委員長　池田實　松室重光　光安梶之助

幹事　下浦光衛
理事　宗　兵藏
常務　德政金吾　坪井誠一
松本　儀八　酒井勇三郎

△記事　一、昭和四年度常設委員會委員に付常務會豫選のものに付協議をなす
一、委員會及分科委員に付意見の交換をなす

○評議員會

△日時　一月二十九日午後四時三十分―五時三十分
△會場　住友倶樂部談話室
△出席者　池田實、本間乙彦、德政金吾、大澤幸平、岡部顯則、片岡安、高田利一郎、竹田延期、宗兵藏、波江悌夫、中島智喜、中村義雄、久保田筆雄、八木幸次郎、山脇友三郎、前内文二郎、松本儀八、增山新平、小西一眞、阪井米吉、酒井勇三郎、下浦光衛、樋口辰太郎、日高胖、姫野武、森本藤吉
△議事　一、昭和三年度收支決算の件……可決
二、剩餘金處分の件……可決
尙雜誌定価値下決行に付會長より諒解を求め承認を得たり

○一月例會（新年宴會）

△日時　一月二十九日午後五時三十分―九時
△會場　住友倶樂部大食堂
△出席者　池田宮彦、岩尾保衛、池田實、早算五郎、伴秀雄、德政金吾、小川久市、岡本新次郎、小川繁太郎、大澤幸平、神戸重吉、川村齋藏、鹿取忠次、片岡安、高橋榮治、高安九藏、高田利一郎、竹田延期、高野乂助、宗兵藏、長井杏四郎、中村勇、中村義雄、中島智喜、波江悌夫、永田鼎三、久保田筆雄、山本潔、山中茂一、山田亟平、山添繁藏、山口半兵衛、山脇友三郎、松室重光、松岡織江、前内文二郎、增山新平、松本儀八、藤井令二、福澤谷藏、小西一眞、駒井喜兵衛、鴻池忠三郎、佐藤佐、佐藤節雄、酒井勇三郎、阪井米吉、木村梅次郎、北垣熊之介、木村喜代松、道田泰治郎、光安梶之助、水口庄太郎、芝田知重、椎原兵市、城口龜吉、白川雄一、下浦光衛、樋口辰太郎、姫野武、日高胖、森本藤吉、須賀藤五郎、菅谷元治、本間乙彦、湯淺乙吉、平島米吉、小川安一郎、八木幸次郎、清水芳太郎、金澤質直、篠原太郎、高麗建城、白石登喜男、今林彦太郎、三木來三、佐藤松太郎（次第不同）

△記事　一、定刻一同食堂に入り晩餐を終りたる後片岡會長立つて一場の挨拶あり、次で委員會事業報告となりて池田第一部委員長、酒井第二部委員、松室第三部委員長、光安第四部委員長より順次第一部（法制）第二部（教化）第三部（資料）第四部（災害）各委員會の事業に付詳細報告あり
一、次で本夕の問題たる本年度に於ける事業計畫に就いての討議に入り
先づ片岡會長の都市改造論建築家として社會教化等の論說あり波江主記の協會本年度事業計畫說明あり次で光安、高木、宗、三木、下浦、八木、芝田、中村、篠原、中島諸氏の感想及希望演說あり終りに會長より實行の困難なること會員諸氏の益々努力奮勵を希望して一同拍手裡に閉會す

○常　務　會

△日時　二月八日午後五時三十分―八時
△會場　本協會會議室
△出席者　理事　片岡會長、宗副會長、日高副會長
常務　波江主記、德政主記、岡部主計、吉井主計、坪井主計、本間編輯、松本編輯、酒井編輯
△報告　一、白木屋に於ける『火の用心』展覽會出品に關する經過報告　阪井委員報告
一、一月分會計報告　岡部主計報告
一、原稿料變更の件報告　本間編輯報告
一、職員に關する件報告　德政主記報告
一、雜誌表紙圖案當選報告　本間編輯報告
一、各部委員會昭和三年度事業報告
△議事　一、二月例會に關する件
一、定款改正に關する件
一、人事に關する件
一、滋賀縣大津市展覽會出品に關する件

○各部委員會總會

△日時　二月八日午後五時三十分―八時
△會場　大同生命ビル、ライオン食堂
□第一部（法制）委員會
△出席者　池田實、小川安一郎、竹中景一、高田利一郎、前内文二郎
△記事　一、委員長及幹事並分科左の通決定

第一部（法制）委員會
委員長　池田　實
幹　事　今林彦太郎
同　小川安一郎

第一分科（都市計畫に關する事項）
小川安一郎　加藤善吉
林　豪藏　岡本茂樹
川口一二　北垣熊之介
椎原兵市

第二分科（建築法規に關する事項）
高木眞太郎　竹中景一
前内文二郎　井原國三
浦英之助　熊澤榮太郎
佐藤松太郎　三浦茂

第三分科（建築士法案に關する事項）
今林彦太郎　村野藤吾
小川陽吉　和田貞治郎
鷲尾九郎　村上徹一
古塚正治

第四分科（工事の施行規定及契約に關する事項）
伊藤幸太郎　高田利一郎
田中美一　久保田筆雄
山脇友三郎　牧野利秋
島田艮馨

□第二部（教化）委員會
△出席者　小笠原鋤、岡本新次郎、山本春水、增山新平、藤枝良一、小西一良、芝田知重
△記事　一、委員長及幹事左の通決定
委員長　武田五一
幹事　小笠原鋤　增山新平
一、本夕は委員長缺席に付近々の内開會の上分科設置、事業細目等具體案を決定することゝす

□第三部（資料）委員會
△出席者　松室重光、呼子正、谷民藏、中村義雄、永田三次郎、阪井米吉、下浦光衛、森本藤吉
△記事　一、委員長及幹事並分科左の通決定
委員長　松室重光
幹事　森本藤吉　同　須川廉太郎

第一分科　主査　大澤幸平　谷口德政　長屋修吉　熊谷熊次郎　森島弘通
第二分科　主査　中村義雄　河合好吉　高松平太郎　福澤谷藏　淺原眞一　三宅重二郎　白石登喜男
第三分科　主査　須川廉太郎　吉川時三郎　永田三次郎　山田初次　三宅茂雄
第四分科　主査　下浦光衛　岩佐信也　岡織吉　大島重義　辰巳吉之助　田阪吉二郎　三木一二
第五分科　主査　森本藤吉　糸永文吉

第六分科　主査　阪井米吉　井上國助　伴秀雄　城口鑰吉　須賀藤五郎
第七分科　主査　谷民藏　荻原貞　長野文一　中川松治郎
第八分科　主査　呼子正　安川梅太郎

□第四部（災害）委員會
△出席者　光安梶之助、池田宮彦、谷田實、黒田茂、增田清、鹽路悌吉、篠原太郎
△記事　一、委員長及幹事左の通決定
委員長　光安梶之助
幹事　池田宮彦
一、分科設置に付協議し二分科を設くるに付委員增員をなすことに決定し左の諸氏に依頼すること
渡邊圭吾　大野直平　山本久吉　林豪藏　古川豐　靑柳貞世　川口一二　吉田喜平　向島文一　藤村愛資

轉勤轉居

會員
林豪藏君　住吉區天王寺町六一八〇　昭和館内
肥後一夫君　西區南堀江下通一ノ一四
阪本宗吉氏方
園部文雄君　此花區下福島三丁目大阪市中央卸賣市場工事事務所（土佐堀八一五一）
井出松藏君　德島市富田浦町濱側大林組出張所
土居原龜之助君　南區長堀橋筋二丁目三
川上要君　大阪府北河内郡牧野村字阪大林組牧野出張所内
土井軍治君　神戸市古川町四丁目二〇
馬野七登君　府下三島郡吹田濱田町二七五七

會員（地方在住）
阪本義信君　勤務先、大連滿鐵地方部建築課　住宅、大連眞金町十二、二ノ八

普通贊助員
酒井清一君　西區南堀江二番町五八
小林市太郎君　大阪府三島郡島本村水無瀨宮復舊工務所
上田喜三郎君　東京府下入新井町不入斗四七〇
宮本傳次郎君　京都市上京區紫野大德寺町四十八番地
林健雄君　臺灣花蓮港街蓮雀通
前田憲彦君　東區大手通一丁目二六松村組
永田鼎三君　大阪府豐能郡豐中永樂通但シ豐中中學校前

細川　正君　千葉縣千葉郡誉田町昭和レーヨン工場大林組出張所

影山　丈夫君　港區石田布也町三丁目一三九

江平　勳君　甲府市楠町山梨縣第一建築工營所内

寺澤　林吉君　名古屋市西區西松ケ枝町一番地（電車丸田町下車南へ二丁）

寄贈雑誌

電氣評論　毎號　其社
都人　毎號　其社
學士會月報　毎號　學士會
建築世界　毎號　其社
朝鮮と建築　毎號　朝鮮建築會
セメント界彙報　毎號　日本ポートランドセメント同業會
住宅　毎號　住宅改良會
建築雜誌　毎號　建築學會
工政　毎號　會員
經濟資料　毎號　東亞經濟調査局
土木建築　毎號　其社
建築新潮　毎號　洪洋社
大阪工業倶樂部　毎號　其部
通俗衛生　毎號　大阪府衛生會
帝國鐵道協會報　毎號　其會
工業評論　毎號　其社
鐵氣學會雜誌　毎號　其會
電道軌道經營資料　毎號　鐵道同志會
趣味ノ園藝　毎號　關西園藝會
土木建築之日本　毎號　其社
工業ト社會　毎號　東京工業會
工業　毎號　大阪工業會
滿州建築協會雜誌　毎號　其協會
庭園と風景　毎號　日本庭園協會

圖書室月報　毎號　東京市政調査會
大阪工業倶樂部　毎號　其部
エンヂニヤリング　毎號　其社
工業要錄　毎號　其發行所
名古屋工業會々報　毎號　其會
大阪　毎號　大阪都市協會
都市問題　毎號　東京市政調査會
新建築　毎號　其社
京都の實業　毎號　京都商工會議所
都市創作　毎號　其會
木材業報　毎號　大阪木材協會
建築學研究　毎號　其會
大阪土木建築業組合報　毎號　其組合
木材新聞　毎號　關西木材商報社
工業新聞　毎號　其社
日本建材新聞　毎號　其社
日本建築士　毎號　其會
東洋建材時報　毎號　其社
朝鮮鐵道協會會誌　毎號　其協會
住宅　毎號　其研究社
超科學建築業協會々報　毎號　大阪網島工業會
建築畫報　毎號　其協會
土木建築工事畫報　毎號　其社
工業之大日本　毎號　其社
動力之節約　毎號　仁場能率增進研究會

役員

會長　理事　評議員　牛岡　安
副會長　理事　評議員　宗兵　藏
副會長　理事　評議員　日高　胖
監事　評議員　池田　實
評議員　横濱　勉
常務　評議員　德政　金吾
常務　評議員　波江悌夫
常務　評議員　古宇田實
常務　評議員　岡部顯則
同　常務　評議員　吉井長七
同　常務　評議員　坪井誠一
編輯　常務　評議員　池田谷久吉
常務　評議員　本間乙彦
常務　評議員　松本儀八
常務　評議員　酒井勇三郎
常務　評議員　伊藤幸太郎
評議員　小川陽吉
評議員　大野直平
評議員　大澤幸平
評議員　渡部圭吾
評議員　和田貞治郎
評議員　高田利一郎
評議員　竹内綠
評議員　竹田延朗
評議員　中村義雄
評議員　中島智喜
評議員　村上徹一
評議員　久保田筆雄
評議員　熊澤榮太郎
評議員　山脇友三郎
評議員　八木幸次郎
評議員　前内文二郎
評議員　增山新平
評議員　牧野利秋
評議員　小西一良
評議員　阪井米吉
評議員　芝田知重
評議員　下浦光衛
評議員　姫野武
評議員　樋口辰太郎
評議員　森本藤吉

本誌定價表

冊數	定價	郵稅
一冊	五拾錢	貳錢
十二冊	六圓	貳拾四錢

昭和四年二月廿八日印刷
昭和四年三月一日發行（毎月壹回一日發行）

大阪市港區音羽町二丁目十四番地
發行兼編輯人　鷹取陽

大阪市東區內淡路町一丁目七番地
印刷所　大阪活版所

大阪市西區土佐堀通一ノ一
大同ビルヂング
發行所　社團法人日本建築協會
電話土四二六五番
振替口座大阪三九九七五

大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店　柳々堂書店
電話土佐堀二四〇番
振替口座二〇八四番

御購讀の向は本會直接又は特約店へ振替又は爲替にて前金御拂込被下度候

編輯後記

◇

名稱は一部會員諸氏が兎角の御心配を下さるやうな、レコトランミカツフエーではあるが、内容は充實しておるつもりです。

おれの方がモツト深い造詣をもつてゐる等と後から仰せられず、どし〳〵と御投稿を給り度く……今年からは誌上で翌月號の豫告をして御投稿を御依頼しておるのですから……

◇

制限された經費で、定價低減を斷行して、しかも體裁内容の改善をやろうとする、これは少くも人間業には六ヶ敷しい仕事に屬します。

お蔭樣で原稿を全部印刷所へ渡し切る時分の編輯子は立派な神經衰弱的徴候を感じます。

◇

しかし、いくら編輯子が神經衰弱になつても、お氣にいらぬ點はドシ〳〵お聞かせ下さい。同時にお氣につた點もお忘れなく。

◇

原稿を全部渡し切つて扨て顧みると、まだ〳〵取り殘したもの、多いのが感ぜられます。でも與へられた紙面は一杯なんで、どうすることも出來なかつたんだとお赦し下さい。

◇

別項發表のサンマーハウス設計圖案の審査は京大の武田、藤井兩博士とこの方面に御造詣深い葛野氏の三氏と定まりました、會員諸君はどし〳〵御募應募下さい。

(VA子)

新刊紹介

◇訂正增補日本建築史要(天沼俊一著) 舊版同樣附圖を併せて二冊我國古來の建築發達の沿革を說いて近世の德川末期に及んでゐる各時代の代表的な建築物の樣式からその特色については細大洩らさなく要領をえた說明が加へられてあるこれによつて一通り日本建築の知識に通ずることが出來る附圖の如きも實に完全なまとまつたもので今度の增訂版により一層よい本となつたわけである—奈良市登大路町飛鳥園(五圓八十錢)

◇アルス建築大講座(第一六卷) 續講は全部本卷によつて完結し、更に石本喜久治氏の『最近建築樣式論』の第一回講演が載せられてある(小石川區表町アルス)

◇改正市街地建築法規(建築文化研究會編) 一・〇〇 大阪、金星社

◇鐵筋混凝土構造計算表と圖表(第四)(井上新二) 五・三〇 神戸市、建築研究會

◇建築寫眞類聚(裝飾塔、裝飾門) 一・一〇 牛込、洪洋社

◇日本古建築史二(平安之卷)(服部勝吉) 五・五〇 京都、田中平安堂

◇事務所の平面計畫(木村幸一郎) 一・六〇 牛込、洪洋社

◇圖計算及圖表(小倉金之助) 一・八〇 神田、山海堂

◇復興局橋梁設計圖集(三) 二・七〇 神田、シビル社

◇東洋建築庭園畫集・聚樂(十二) 非賣 本鄉、座右寶刊行會

◇圖書館建築(シー・ハツドレイ著 今澤慈海譯) 五萬弗以下の小圖書館建築の設計參考書(新版一四六頁四圓八〇錢東京麻布宮村町七七 津久井書店)

◇借地借家法規解說(吉田久著) 附錄として借地借家關係の法規集あり(二〇〇頁前後一圓五〇錢東京神田中猿樂町巖松堂)

◇鐵筋コンクリート建築構造(篠原太郎著) 篠原太郎氏は、人も知る都島工業學校に於て教鞭を執られつゝある傍ら、頃日纏まつた造詣を親しく本書に發表せられしことは、建築界の爲に誠に喜ばしきことである。内容は群書と全く趣を異にし鐵筋コンクリート構造のあらゆる問題を網羅し、一々懇切なる計算實例を擧げて、架構論耐震的計算法に迄及ぼしたるこゝは蓋し近來の快著と云ふに憚らぬものである。加之定價全廉紙數豐富なることを考へれば、學生諸君の教科書兼參考書として、又計算家諸氏の伴侶として本書の右に出づるものなきが如くに思はれる。

◇オツト・ワグナー(岸田日出刀著) 内容十九世紀末のウイン建築家ワグナーの藝術を紹介す(五圓東京神田立神保町、岩波書店)

建築と社會　第十二輯第三號

廣告目次

頁

A

アンドリュウス商會……一九
葵商會……二四
有山組……四二
安藤組大阪支店……四二
淺野物産株式會社大阪支店建築材料部……五七
淺野スレート株式會社……一四
淺野スレート株式會社……八四
淺海商店……六六
阿部鐵工所……八二
秋山製作所……八三

D

デウエット商會……六九
大元商會……一二
大理石工業株式會社……七

E

エッチ・イー・ルート……二五
榮進社……四五

F

福原工場大阪販賣店……四六

H

橋本建築事務所……三四
橋本庭園工務所……二九
波江野工生所……五一
藤木工務店……四一
白陽工務店……三八
汎建製作所……表紙三
灰久本店（新建材部）……二三

I

池田建築事務所……三四
池田組……三八
伊丹商店……五二

K

クローフキング製造所……六二
江東サッシ株式會社……七一
木下謹三商店……八四
久保田組……四〇
熊取谷熊次郎商店……四一
河村青嶌眞調製所……一六
高陽商會……一八
關西ステンドグラス製作所……二〇
國枝工務所……三六
金剛商會……四七
片岡、石本建築事務所……三五
桐田商會……六七
建築金物商會……表紙四
鴻池組……四二
駒井喜商店鐵工部……四二
工材社（阪口芳三郎）……三二
龜谷開作商店……四〇

M

みよし組電氣工業所……七三
松村組……四一
松本商店……五五
松原木工所……二八
三熊製疊所……七八
三井物産株式會社……二
森本建築社……四三
眞水三橋建築事務所……三六

N

內外エレベーター株式會社……五三
內外土木建築材料合資會社……一六
日昭商會……一一
日本伸銅株式會社……八
日本工劑株式會社……七九
日本木材工藝株式會社……八八
日本スレート販賣株式會社大阪支店……八一
日本ペイント製造株式會社……一七
日本エレベーター製造株式會社……二一
日本石油株式會社……三三
日本水道衛生工事株式會社……六八
日本建築紙工株式會社大阪出張所……五一
日本鹽泉合資會社……三八
日本鋼製建具株式會社……八五
日本地下水協會……八六
日本建材社……七五

O

オキナ商店……六一
大阪耐火リノリーム工業合資株式會社……五四
大阪可能商會……五八
大阪窯業セメント株式會社……二七
大阪鐵筋混凝土工務所……七七
大阪橋本組……三九
大阪電氣商會大阪暖房商會……三九
大林組……三九
大倉商事株式會社……五
大倉土木株式會社大阪出張所……三八
大谷金庫店……二六
大塚鐵工所金庫部……九
大野製作所……一
大平工業所……五〇
小笠原建築事務所……三四
岡本工務店……三九
岡部建築事務所……三五
近江セールズ株式會社……六
奥村重兵衛商店……七四

R

ラバロイド商會……一五
玲光社（木內眞太郎）……六〇

S

SO商會……四八
須賀商會……四九
島津製作所貿易部……九〇
島貿易株式會社建材部……三
佐村木勝吉商店……五二
佐久間建築工業所……四四
佐伯組……四三
三機工業株式會社……表紙二
笹岡家具裝飾店……六二
柴田建鐵工材所……八〇
城口研究所大阪支店……七〇
飾磨化學工業株式會社……八七
宗建築事務所……三五
設樂建築事務所……三六
清水組大阪支店……四三

T

東京鋼鐵扉製作所……六三
東洋コンクリート合資會社……六四
東洋工業株式會社コルク部……二二
東洋鑛粉所……二〇
東亞鐵工所……五六
田中タイリング商會……一三
田村商會……四
竹中工務店……四〇

V

ベニス工房……五八

W

上野製作所……一〇

Y

山本窯業商店……八三
山本東作商店……七七
山中商會……六五
山田大理石製作所……四一
矢橋大理石商店……四六
安井建築事務所……三六
大和工業株式會社……八九
米本商店……六〇
横河工務所……三五

Z

錢高組……四三

國産



アスファルト

陸屋根防水用 ブローン
電氣絶縁用 アスフルト

地下室防水用
道路鋪裝用 アスファルト

御參上
カタログ進呈

日本石油株式會社

大阪市西区江戸堀通三丁目〇
東京本社 下関 小樽

建築事務所案内

（次第不同）

池田建築事務所

所長

建築士 池田實

建築學士

所＝大阪市西區西道頓堀住友ビル

電話櫻川1144・3724

宅＝大阪市住吉區上住吉町174

大阪市北區曾根崎中二丁目

第一曾根崎ビルディング第四十一號

建築設計監督 小笠原建築事務所

電話北二一五五、二一五六番

建築士 小笠原鉞（マスし）

住所 大阪市此花區西島町北濱住宅二一〇號

電話土佐堀三二〇四番

大阪市西區土佐堀通一丁目

大同生命ビルディング第八階

橋本建築事務所

建築士 工學士 橋本勉

電話土佐堀九三八番

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市西區靱南通二丁目
ユタカビルデイング三階K室

岡部建築事務所

建築士 岡部顯則（アキノリ）

電話土佐堀五三二三番

大阪市東區高麗橋三丁目二八
千代田生命保險建物三階
電話本局二九六四番

横河工務所

工學博士 横河民輔
工學士 松井貴太郎
田中綱

東京市丸ノ内郵船ビルヂング六階
電話丸ノ内23二九八一番
大阪市北區堂島大毎ビルヂング五階
電話北四〇六四番

片岡石本建築事務所

工學博士 片岡安
工學士 石本喜久治

大阪市東區北濱四丁目五〇
電話本局三一三一番

宗建築事務所

建築士 工學士 宗兵藏
建築士 須川廉太郎
工學士 大倉三郎

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市西區本田町通壹丁目
住友ビルヂング參階
電話西三四三三番

東京市京橋區南紺屋町
實業ビルヂング五階
電話京橋五六六九番

國枝工務所

工學士 國枝博

東京市本鄉區本鄉三丁目八番地
建築士木
設計監督

眞水工務所

電話小石川三九六三番

建築士 眞水英夫
工學士 野田六次

大阪市北區眞砂町四十一番地

眞水三橋建築事務所

電話北二〇四一番

早大工學士 松下由藏
太田正之

大阪市東區高麗橋筋二丁目
高麗橋野村ビルヂング六階

安井建築事務所

電話本局二〇七二番

建築士
工學士 安井武雄

神戸市下山手通六丁目七六
電話元町二六七一番

設樂建築事務所

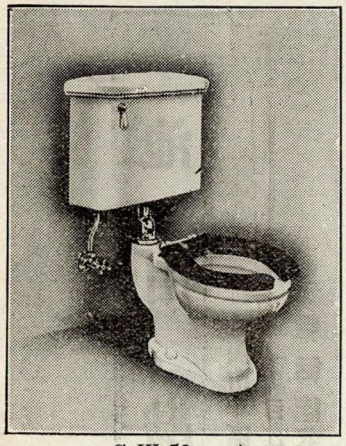
建築士 設樂貞雄
工學士 設樂貞三
支配人 木村梅次郎

國產優良品

パイロット衛生器具

弊所が本邦に於ける斯業の先驅者として大小數百ヶ所に施工したる多年の經驗と研究の結果漸次改良を加へたもので構造の堅牢、工費の低廉、成績の良好、地積を要する勘なきこと等あらゆる特色を具備せるものであります。

洗面器、手洗器、流し類、和洋大小便器、浴槽等各種、



CW 50 — A

（御申越次第カタログ進呈）

西原式 汚水淨化裝置

專賣特許 第四二五九二號 新案特許 第四三三二一號 第六六一三五四號 第六六一四二三號 第六〇七二號

我國にて始めて發賣せる組合せ衛生器具にて『持ち送り』『木捻』の類に至るまで全部取揃へ一組になつて居りますが金具類はすべて

合資會社ヤンソン製作所

また陶器類は

東洋陶器株式會社

の特製品で兩々相まつて外國製に劣らぬ優良品を皆樣に御奬め致します、續々御愛用のほど願ひ上げます。

本店 東京

大阪市北區中之島五丁目三十番地

西原衛生工業大阪支所

電話土佐堀 三七一八番 七八一五番

京都市下京區萬壽寺通不明門東入

京都出張店

電話下一三四五番

營業所 名古屋

建築請負業者案内

（次第不同）

池田勘藏

大阪市北區曾根崎新地
三丁目拾三番
電話局北一一五七番

鑿井工事請負業

日本鑿泉合資會社

大阪出張所　大阪市北區曾根崎町
太平ビルヂング
電話北三七七八番

本社　東京市丸ノ内中通三號
電話丸ノ内（二三）長一八六三番

名古屋代理店　名古屋市東區東新町
萬歲生命ビルヂング四三號
電話東一四七一番

和洋住宅專門

白陽工務店

藤田辰三

大阪市北區曾根崎上三丁目三〇番地
電話北一五六二
一五六三

大阪市東區釣鐘町二丁目廿九番地

大倉土木株式會社

大阪出張所

電話東長　自三二一　至三二五
一三一二・六二五〇

建築請負業者案内

（次第不同）

大阪市東區農人橋二丁目十二番地

合名會社 **大阪橋本組**

代表社員 橋本政吉

電話 東一五八〇番 長一五八一番 東一七五三番

東京市麹町區八重州町一ノ一 八重州ビルヂング四階

東京支店

電話丸ノ内(23)四七八〇番 (四七八一番)

小倉市大阪町十丁目百廿二番地

九州支店

電話長四三〇番

大阪市東區京橋三丁目七十五番地

株式會社 **大林組**

支店 東京、横濱、名古屋、小倉

營業所 京都、神戸、

工作所 大阪、東京、

大阪市西區江戸堀南通一丁目

合資會社 **大阪電氣商會**

大阪暖房商會

社長 菅谷元治

電話土佐堀(一一)五四四四 (一一)四四六八三七

支店、東京、名古屋

大阪市東區横堀四丁目四十三番地

石川屋

電話本町八三四(本店) 櫻川一六七(工場)

岡本工務店

岡本武藏

岡本新次郎

山中茂一

建築請負業者案内

（次第不同）

ペンキ塗請負業

龜谷開作

大阪市北區鶴之町三十六番地
電話北六五四五番

足代（假設）
材料損料
鳶方（手傳）
工事負請業

中新

中川辰藏

大阪市北區曾根崎上一丁目
電話北一五三番
東京出張所
東京市神田區猿樂町
貳丁目參番地
電話神田（25）三〇五番

合名會社

竹中工務店

本店　大阪區堂島、堂ビル　北長八一〇
支店　東京市丸ノ內郵船ビル　丸ノ內（23）長一二五〇
神戸市熊內町六丁目　蔦合　八〇六
名古屋市西區曾原町二丁目　長一八四二
京都市坊城通三條下ル　中二三八六
橫濱市花咲町十一丁目　一八八九
（長窓町關參（三））

製作所　大阪市港區南境川町　西長八〇四
東京市深川區西平井町　大手二〇四六

久保田組

久保田種吉

大阪市東區神崎町五〇
電話東長三一八七番
三八五三番

建築請負業者案内

（次第不同）

諸石材販賣彫刻請負業
幷ニ
一手販賣（黃龍石（人造石用）石粉各種
高島產鋪色（人造石用）石粉各種
黃龍石材各種）

通名石佐事

熊取谷熊次郎

本店　大阪市東區材木町七九
電話長東一六二六番

出張所　東京市下谷區上根岸四九
電話下谷一三二九番

株式會社

松村組

大阪市東區大手通一丁目二十六番地
電話東（長三一七番
三五三三番
三一七二番）

東京本社

東京市丸ノ内仲十四號館十二號
電話丸の内（代表）二五一番
二五二番
二五三番
二五四番

大理石
鐵平石
萬成磨　工事及設計請負

大阪市此花區吉野町二丁目一六

合資會社

山田大理石製作所

電話土佐堀四三四二番

長尾新太郎
池上喜三信

御用ノ節ハ電語ニテ御一報次第御伺仕可候

藤木工務店

藤木正一

大阪市西區小休町七十五番地
電話（曻）櫻川一五五八番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **鴻池組**

本店 大阪市西淀川區傳法町北三丁目宅
電話土佐堀（長二六二・四二一七）二六三・四二一八）番

支店 東京市京橋區三十間堀三丁目三
電話銀座（長一九九〇番）一九九一番

製材工作場 大阪市港區池島町二丁目五五
電話西七六八・長一五二三番

合名會社 **有山組**

大阪市東淀川區十三西之町
電話 自宅用 北二〇五〇
營業用 北三〇五一

鐵骨橋梁鐵塔
建築金物請負

合資會社 **駒井喜商店鐵工部**

大阪市港區泉尾町七二番地
電話 櫻川（六五八）二八八六番

安藤組大阪支店

大阪市北區堂島濱通
一丁目八五番地
電話長北四八四番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社

佐伯組

本店　大阪市港區市岡町夕凪橋畔
電話特長西一〇九〇番

出張所

福岡市外馬出上町　電話長二二四二番
大分市南新地　電話長三七〇番
熊本市相撲町　電話長三九四番
小倉市中島町　電話長六一〇番
宮崎市宮田町　電話長四〇六番
東京市京橋區木挽町九丁目三三地

大阪市南區高津三番丁三番地
電話長戎二八一〇番

森本建築社

東京支店
東京市芝區白金三光町二五番地
電話高輪八一六七番

合資會社

清水組大阪支店

大阪市西區土佐堀通二丁目二番地
電話長土佐堀（六六六番／六六七番）

（本店）東京
（支店）横濱、名古屋、京都、博多、京城、大連

大阪市西區土佐堀通二丁目二四

合資會社

錢高組

電話土佐堀（長三四一一七／三四一八）

東京市京橋區木挽町四丁目四

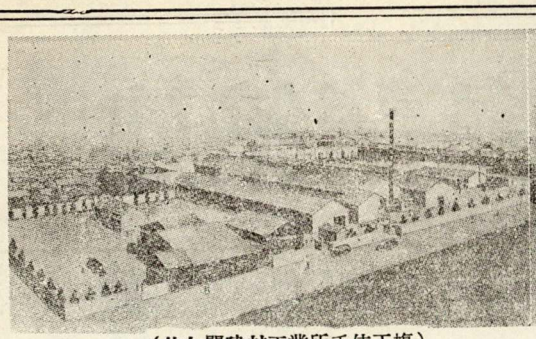
東京支店
電話銀座（四二九二番／長四二九三番／長二三四七番）

名古屋市中區新榮町三丁目二九

名古屋出張所
電話東三五一八番

横濱市高島町六丁目一二

横濱出張所
電話本局三〇七六番



（佐久間建材工業所千住工場）



（佐久間建材工業所高田工場）

佐久間式マルエス印便利瓦

製造法式　特許第七四四七七號
製造法式　特許第七五六二七號

陸屋根地下室防水材料

佐久間式マルエス印

コンパウンド
パーマネントルーフイング
疊下用紙
建築用紙
フエルト
C印フエルト
ルーフイング



御用命

三菱地所部殿
東京府殿
東京市殿
大蔵省殿
文部省殿
鐵道省殿
陸軍省殿
警視廳殿

久原鑛業株式會社殿
藤田鑛業株式會社殿
帝國ホテル殿
藤倉電線株式會社殿
富士製紙株式會社殿
慶應大學殿
南滿州鐵道株式會社殿

清水組殿
大林組殿
大倉組殿
安藤組殿
高橋組殿
戸田組殿
竹中工務所殿
藤本組殿

（其他土木建築界各方面）

國産として優秀なる

佐久間建材工業所

所主　佐久間榮吉

東京府千住町三ノ三七〇番地
營業所　電淺草五〇六番
千住工場　電千住四〇二番
東京府高田町八〇四番地
高田工場　電淺草二五六番

東京工業試験所報告

品名	抗張力 縦	抗張力 横	水壓力 氣壓	屈曲試驗 丸棒直徑	屈曲試驗 廻轉度	屈曲試驗 龜裂	試驗時期
佐久間式マルエス印半號ルーフイング	縱 70·5	橫 42.9	1.4	0·5	180°	生ゼス	大正十四年二月二十六日
菜舶來一流(½)ブライルーフイング	縱 53.7	橫 21.8	1.2	1.3	180°	生ゼリ	同上
佐久間式マルエス印半號ルーフイング	同 74.4	同 55.9	1.7	0.5	180°	生ゼス	大正十五年二月十日
菜舶來一流(½)ブライルーフイング	同 80.3	同 39.3	1.2	同 1.0	180°	生ゼリ	同上

（見本カタローグは御申込み次第贈呈）

榮進社ノ

戸火防上捲　シュッサルーチス
類戸鐵種各　機降昇動手



營業所　東京市京橋區南紺屋町十二番地
實業ビルデング三階
電話京橋(56)二、二二九番

出張所　橫濱市山下町一八四　岩井ビル
電話本局(2)二、七一四番
神戸市平野下祇園町一二二番地
電話元町　二、七〇九番

合資會社榮進社

出張所　大阪市北區梅ヶ枝町梅ヶ枝ビル二階
電話北(三一二五)五三五九
(五八六八)二八四六

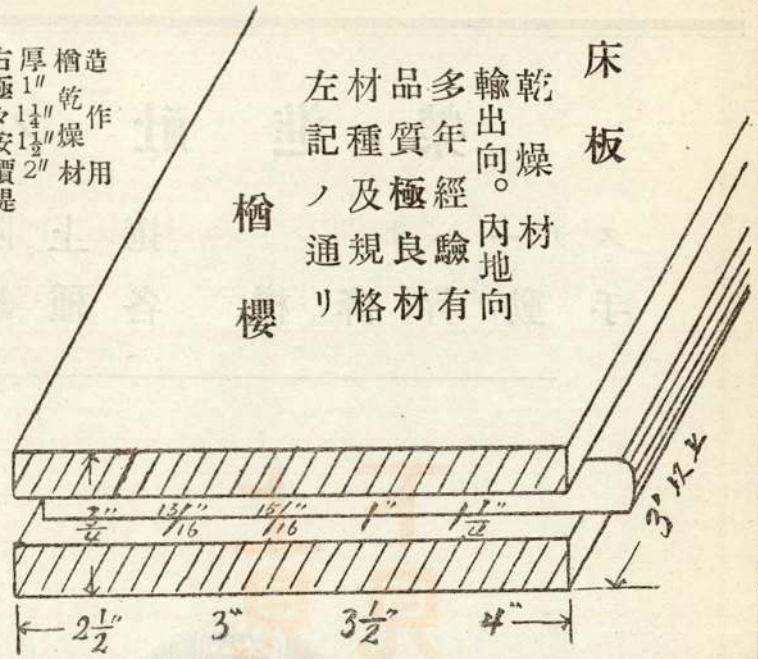
第一工場　東京府日暮里町日暮里三八番地
電話下谷(83)長(一、〇二七番)
(一、四〇二番)
(一、四八三番)

第二工場　東京府日暮里町大字谷中本二五六番地

床板

乾燥材
輸出向。內地向
多年經驗有
品質極良材
材種及規格
左記ノ通リ

檜
櫻



造作用
檜乾燥材
厚1" 1 1/4" 1 1/2" 2"
右極々安價提供是非當店へ
御引合願上候

福原工場大阪販賣店

港區泉尾梅ノ町四丁目
電話櫻川一六七番

小樽市入舟町二丁目三十四番地

福原床板製造工場

電話二七一三、一二三
振口小樽二五六七

大理石工事請負

合資會社

矢橋大理石商店

本店　岐阜縣不破郡赤阪町　電話五

出張所

東京市麹町區八重洲町二丁目丸ノ內十號館五號

大阪市東區北濱四丁目二十二番地　電話本局㊎五三一九

京城府光化門通一九〇



金剛商會

本店　東京市芝區虎ノ門　電話芝三九三・三九四・三九五
大阪支店　大阪市北區中ノ島四丁目　電話土佐堀二〇二五・二九四
名古屋支店　名古屋市中區南園町二丁目　電話本局一三五一

改良 特許 便所



大阪市東區高麗橋五丁目
株式會社 須賀商會内

SO商會

電話本局 三四五 九九九 八八一 一

建築衛生設備設計施工

營業種目

▼水道▲公私水道、ポンプ、屋外給水裝置。
▼防火▲防火栓裝置 スプリンクラーシステム、消防用器具、サイヤーミンスコンネクシヨン、ミニマツクス消火器。
▼衛生▲洋和風浴室、洗面場、臺所、便所、下水道、汚水淨化裝置、塵埃處理裝置。
▼煖房▲蒸汽暖房裝置、溫水暖房裝置、熱氣晩房裝置。
▼換氣▲自然換氣、機械換氣、冷風換氣、空氣洗滌裝置。
▼冷藏▲リフリゼレーター。
▼眞空式掃除裝置▲セントラル、バキユーム、クリーニングシステム。
▼右設計工事請負及同機械器具材料製造並ニ輸入販賣

米國スタンダード衛生器具製造會社
米國スローンバルフ製造會社日本總代理店
米國シカゴポンプ製造會社

米國スペンサークリーナー會社
米國ベージボイラー製造會社日本總代理店
獨國ミニマツクス消火器會社

〔創業明治三十四年〕

宮内省御用達

株式會社 須賀商會

大阪東區高麗橋五丁目
電話本局（一一八九三番／一一八九四番／一一八九五番）

支店
名古屋
京都

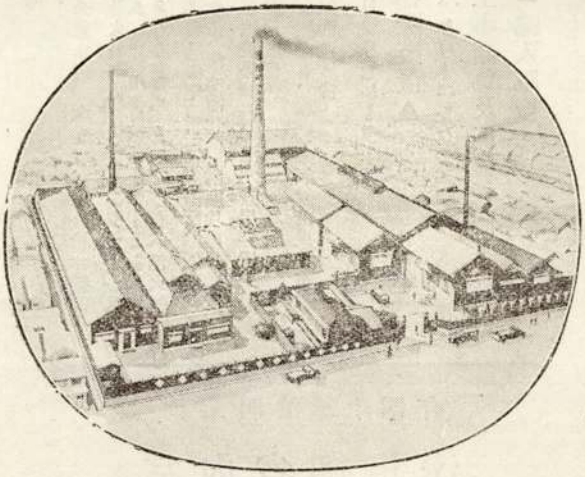
支店
住吉
神戸
博多

辨柄

登録商標

誇るべき弊社製品の特長

成分含有量の的確　分子微細にして一定不變
色澤鮮麗にして純新　大量製産にして安價提供



用途

塗料用　ペイント用　染色用　陶磁器用　漆器用　建築用　皮革用　防水布用
製紙用　リノリューム用　燐寸用　ゴム製造配合用　電線被覆用　印刷インキ用　印刷製版用　スレート用

製品種目

富士印	金鳳印	白鳳印	朱雀印	金鶏印	丹頂印	四十鳥印	隼印	鴎印	鵰印

（見本進呈）

大阪市西成區長橋通四丁目
發賣元　合資會社　大平工業所
電話櫻川二六三八番
振替大阪六三九二五番
發信略號（オヒラ）又ハ（オ）

大阪市東區道修町二丁目
代理店　藤澤友吉商店
支店　東京市日本橋區本町
支店　京城府西小門町四二

優良國產屋根材の權威

日之出便利瓦

TRADE REGISTERED MARK
HINODEROOFING
JAPAN HINODE ROOFING MFG. CO. LTD.

パーマシトルーフ井ング
ヒノデルーフ井ング
アスタロース
アスフエルト
インシュレート

特許二〇〇三四號

特許三一〇二四號

防水工事請負
ウルフエルト
ヒノデフエルト
アスベッシャン
ビルデイングペーパー

本駐京 東
日本建築紙工會社 大阪出張所
大阪市西區立賣堀南通四丁目九番地 電話新町四六六五番
工千 事住

見本進呈

特許 無煙 專賣

動瓦式 風呂竈 鐵球入

長州風呂 各種應用自在 箱風呂

最近御採用先

一住友工作部建築課殿
一三菱造船所建築課殿
一竹中工務店殿工事先
一京大工教授山田氏邸殿
一京大工教授岡本氏邸殿
一工學博士井口氏邸殿
一醫學博士松田氏邸殿
一武田長兵衛氏邸殿
一藤田小五郎氏邸殿
一山本藤作氏邸殿
一高島味淋醸造所殿
一大黒正宗醸造所殿
一株式會社壽屋殿
一席下山崎醸造所殿



用途

長州及箱風呂製鉛用煮竈
飲食屋竈
染晒沸釜竈
鹽田沸釜
酒造其他煮沸釜竈
酒其他殺菌竈
工場其他雜用沸竈
錢湯用風呂釜製
茶用竈

發明者燃料研究所長
工學博士 內藤游

燃燒有利ニ關スル工事設計
煤防除

波江野工生所

大阪市北區中ノ島町六丁目六
船津橋停留場東一丁
電話土佐堀七〇三九番

特賣店
株式會社 須賀商會
大阪市東區高麗橋五丁目
電話本局 一一八九三番 一一八九四番 一一八九五番

新案

平安瓦發賣元

瓦

佐村木勝吉

品目
各國屋根瓦
各種色瓦
北國瓦
日本洋瓦

營業
土管各種
壺、便器類
葺上及販賣
淺野煙突

大阪市東區材木町一番地十五
（入ヘ北詰東橋寺寶久）
電話東三六一〇番

櫻 床板
同上羽目板
同上本寄木

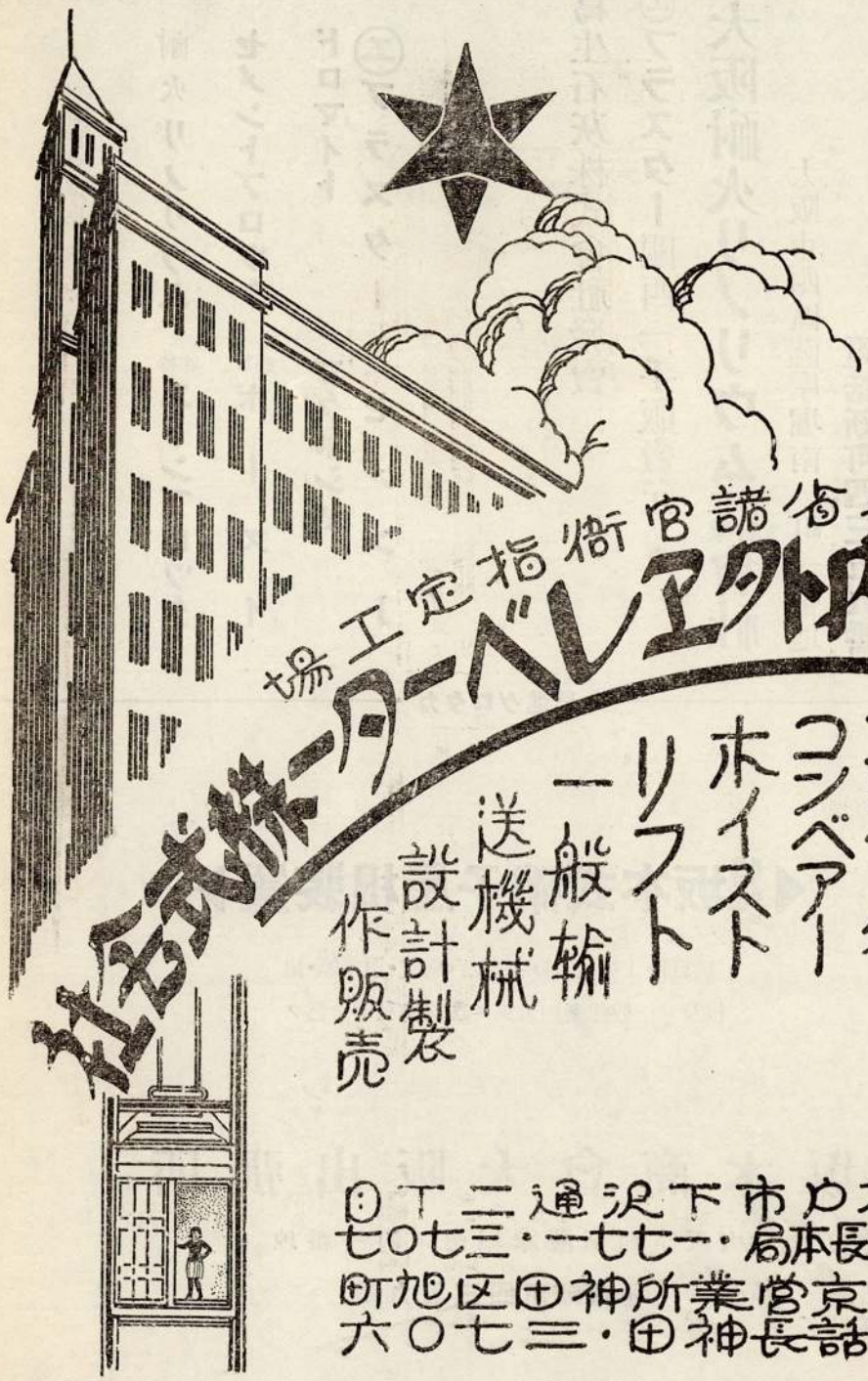
檜實剝繼手付

特許第六六〇八九號
伊丹式パーケットリー（簡易寄木）
特許第六五八九一號
伊丹式フローリングブロック
（コンクリート床板上直接張込床材）
三菱合資會社營業課製
南洋產セラヤ材天井板
青森特產檜材根太土臺其他

大阪 伊丹商店

大阪營業所
大阪市西區靱中通一丁目二〇番地（市電信濃橋停留場北へ一丁東側）
電話長土佐堀二四一七番

名古屋營業所
名古屋市西區南外堀町四丁目一番地
電話長本局四五九六番



各省諸官衙指定工場

株式会社 内外エレベーター

エレベーター
コンベアー
ホイスト
リフト
一般輸送機械
設計製作販売

神戸市下沢通二丁目
電話長田局・一七一・三七〇七
東京営業所神田区旭町
電話神田・三七〇七・六〇

◂工施ニ並賣販▸

耐火リノリウム
セメントプロツク
ドロマイト
㊥プラスター

特許ストンプロツク
特許ポーラスライ
マグネシヤセメント

葛生石灰株式會社發賣
㊥プラスター關西一手販賣元
大阪耐火リノリウム工業合資會社
大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番

カタログ進呈

◂特許坂本式硝子屋根裝置▸

諸官衙・工場・倉庫・撮影所・病院・溫室等・屋
根及ビ一般建築物天窓ニ廣ク御利用ヲ乞フ

坂本商會大阪出張所
大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番



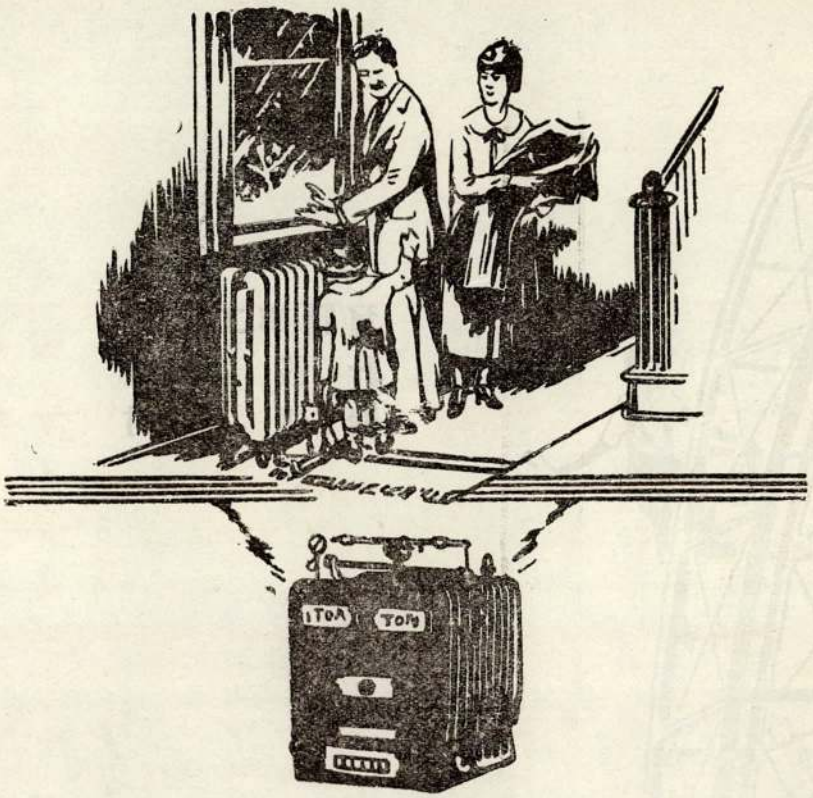
塗裝工事請負
並ニ設計
材料販賣

松本商店

主店 松本壽美

大阪市北區宗是町十番地中島ビルヂング内

電話土佐堀二九一・二一二五・三五〇九番



營業案內

煖房部
煖房、換氣
温濕氣調整
水道、衛生
設計、施工

製作部
各種放熱器
工作用高級機械
汽罐、鑄鐵品
コンベーヤー、リフト、ケーブルカー

株式會社
東亞鐵工所
大阪市此花區西九條濱通一〇
電話土佐堀(一一三七番
(三九六七番

株式會社
東亞鐵工所東京出張所
東京市麴町區丸ノ内ビル八七五
電話丸ノ内(23)一七九六番

ABC

淺野理化學工業所製

アサノソリヂツトタイル
アサノソリヂット安全壁
アサノソリヂットスタイル
アサノリノリユーム鋪床料

ユニオンアスファルト
小倉アスファルト
内外各種ルーフ井ングー
大連ドロマイト
大明式スカイライト
米國ミシシッピ會社製ガラス一切
網入波形グラス
米國GF會社各種ラス
セロテックス
内外各種ペンキ
其他橋梁材料並ニ請負

（型錄進呈）

一手販賣元

淺野物産株式會社大阪支店

建築材料部

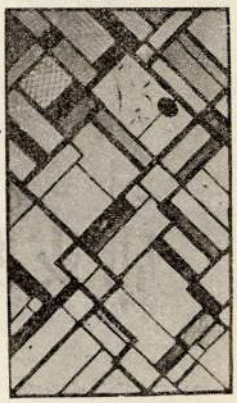
營業課目

一、暖房給水乾燥冷藏換氣裝置並浴場炊事場設備設計監督請負
一、各種パッキング類販賣
一、保溫劑及同塗布工事請負
一、諸機械器具特ニ放熱器販賣
一、消毒器及其他醫療器械販賣

大阪可能商會

大阪市西區阿波座上通一丁目二三
電話新町(53)二三九六番

ステインドグラス
グラスモザイク



VENUS STUDIO

大阪市東區谷町二丁目五　電東四二〇

出張所　東京　　代理店　京城

ベニス工房

最も進歩せる使い易いプラスター

スタッコ、マンヂュリヤ

主なる特長

一、布海苔を要せず、其儘水にて練り塗工す
一、硬度適當なれば音響を反射せず
一、輕くして剝落、龜裂の憂なし
一、純白美麗、顏料にて着色任意、褪色せず
一、施行後水洗ひしても表面を損傷せず
一、價格低廉、御試用を乞ふ

耐火床張リグノイド
工場床張リグコッタ
美術床張マグコルク床
防火防水壁ロックスタッコ
水硬性防火防水壁リソイド
水硬性防音內壁エラスコ
マグネシアセメント

型錄進呈

一手販賣店元 三井物産株式會社

製造元 南滿鑛業株式會社

大阪市港區北境川町二丁目三十五番地

大阪出張所

電話長西三四八九番

玲瓏社

ステインドグラス
模細工
プリヅム
各種色硝子

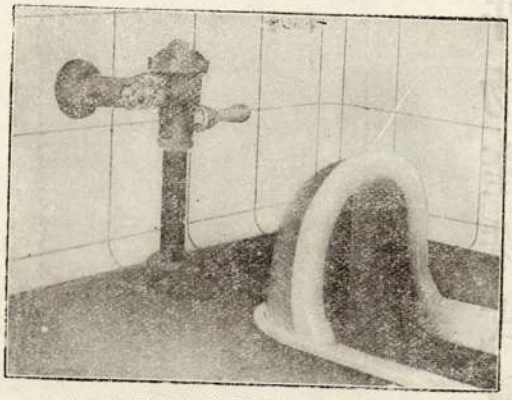
大阪市天王寺區南河堀町
電話 天王寺 七九四

東京澁谷青山南町七ノ二
電話 青山 一八八〇

内崎濱次郎
木三廣太郎
木三太郎
眞彌

水洗便所洗滌辨

ヨネ.フラッシュ.バルブ



定指御課繕營學大國帝京東
可認御所役市都京・阪大・京東

製造發賣元 米本商店

大阪市二丁目三幸町區西市阪大
電話櫻川三八八〇番

重なる納入先

東京帝國大學　京町堀ビルデング
正金銀行東京支店　太平ビルデング
日本大學　大阪市電氣局
大阪ビルデング　大軌電鐵會社
船場ビルデング　新京阪電鐵會社

大阪造幣局　大寶小學校
灘萬食料品店　八幡屋劇場
三越呉服店別館　兵庫縣立女學校
大阪府知事官舍　名古屋共濟ビル
大阪商船紅丸　京都明治ビル
芦原小學校　滿鐵病院

電燈と電力
照明器具
水道と暖房
機械と汽罐
設計製作
据付諸工事

TRADE MARK

資本金 社會

大阪東区玉造壹千日一三地

オキナ商店

代表社員 小川繁太郎

電話本局 一三八九
五九二一番
振替大阪 二〇六一一番

特約 インターナショナル石油發動機
おのくち式A1型渦巻ポンプ

深井戸用各種ポンプ ベリル
グライングダイマグネット エチール

布水防用室　陸屋根地下

専賣特許

富士印 クロースルーフ井ング



本品は純麻織物を主要材料とし無酸乾燥性天然アスファルトを應用し強度伸度滲透壓に於て同種品中最高の記錄を有する合理的にして最も進歩せる

クロースルーフ井ング製造所

工場　大阪住吉

大阪市東區平野町四丁目五八　電話本局五四〇七番

家具と室内裝飾

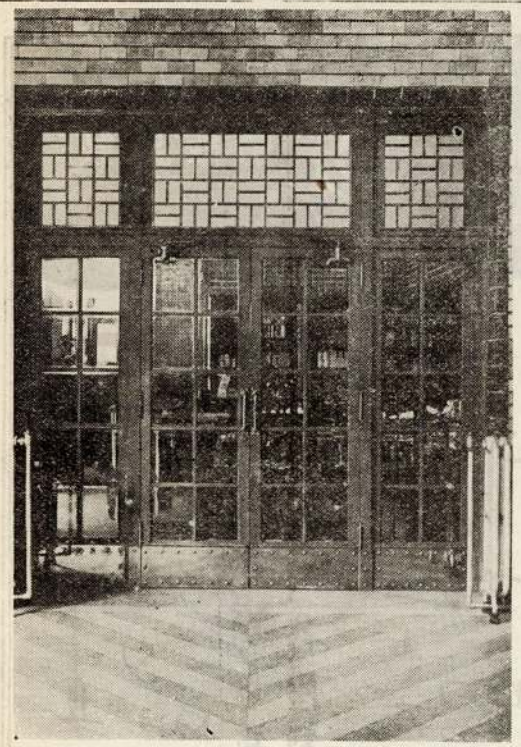
笹岡家具裝飾店

弊店は　眞面目がモットー　皆樣方の使用人

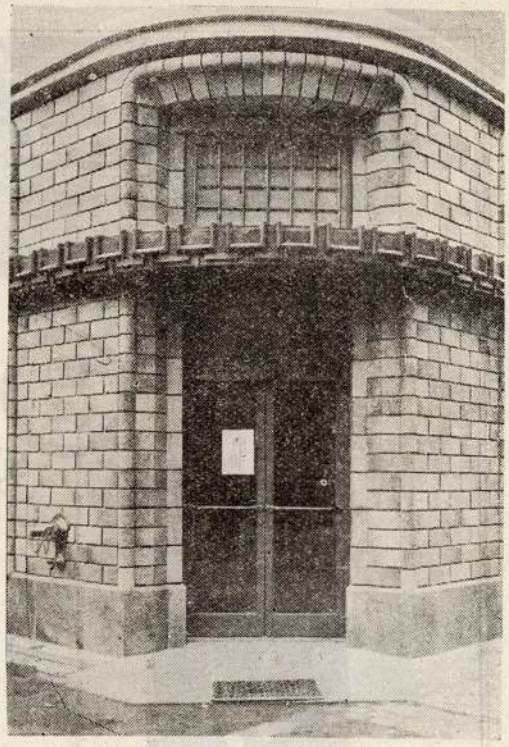
營業所　大阪市西淀川區海老町
工場　一四八五番地

電話土佐堀二九六九番

振替口座大阪七九七三三番



大阪高麗橋野村ビルデイング　玄關内スクリーン　資生堂森永ショーウインド製作工事



大阪高麗橋ビルデイング　南丸隅資生堂出入口　施工所製弊

安井建築事務所御設計
株式會社大林組本店請負

◉建築ノ進歩ト防火ノ設備◉

請負

特許壽崎式スチール、シヤツター
特許壽崎式スチールドウワー
特許壽崎式上ケ下ケスチールサツシユ
鋼鐵製書架類
鋼鐵製ショーウインドー
鋼鐵製スクリーン並ニ造作
鋼鐵製コンクリートドウワー
一般建築製飾金物製作

設計

東京鋼鐵扉製作所

本社　東京府下南千住町南千住433.434番地

全關西營業所

大阪市東區上本町一丁目六番地
電話局東1309.1310番

營業代表者　米山淺治
工場代表者　崎壽源太郎

◉東京横濱大阪ヲ主トシテ全國都市百卅數個所ニ御使用先ヲ有ス◉

製品販賣　工事請負

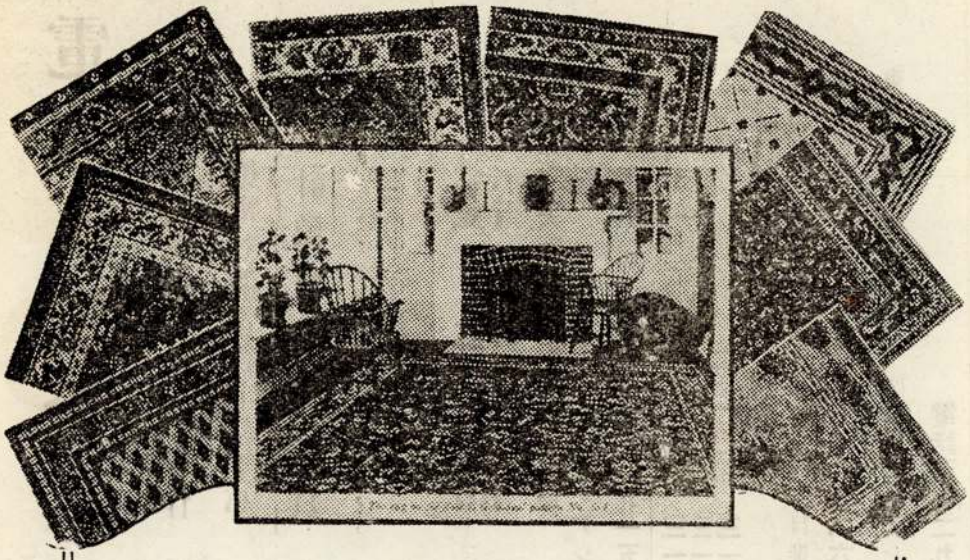
東洋コンクリート合資會社

安價　鐵筋コンクリート土管
　　ブロック
　　電纜埋設用トラフ
　　其他各種製品應御注文

迅速　鐵筋コンクリート煙突
　　一般土木建築工事
　　特殊ブロック建築
　　ブロック塀

カタログ進呈

大阪市西淀川區海老江町
（阪神電車・淀川停留所脇）
電話土佐堀二八三四番



大小色々

模様色合各種

山中支那緞通

寸法並ニ模様
特別御註文ニ應ズ

大阪市東區高麗橋一丁目

山中商會

電力ト電燈

美術裝飾電燈器具製作
電燈電熱避雷針電話工事
設計監督工事請負

淺海商店

營業所　大阪市北區絹笠町九番地
　　大江ビルヂング三階
　　電話直通　北一五七六番
　　交換北一二一五番　三一九六番
　　二六二〇番　三一九五番
　　三一九七番

工事部　大阪市北區曾根崎上三丁目卅六番地
　　北六六四二番

東京支店　東京市芝區田村町七番地
　　電話芝(43)二九七〇番

特許

内藤式無煙風呂

浴場設備には

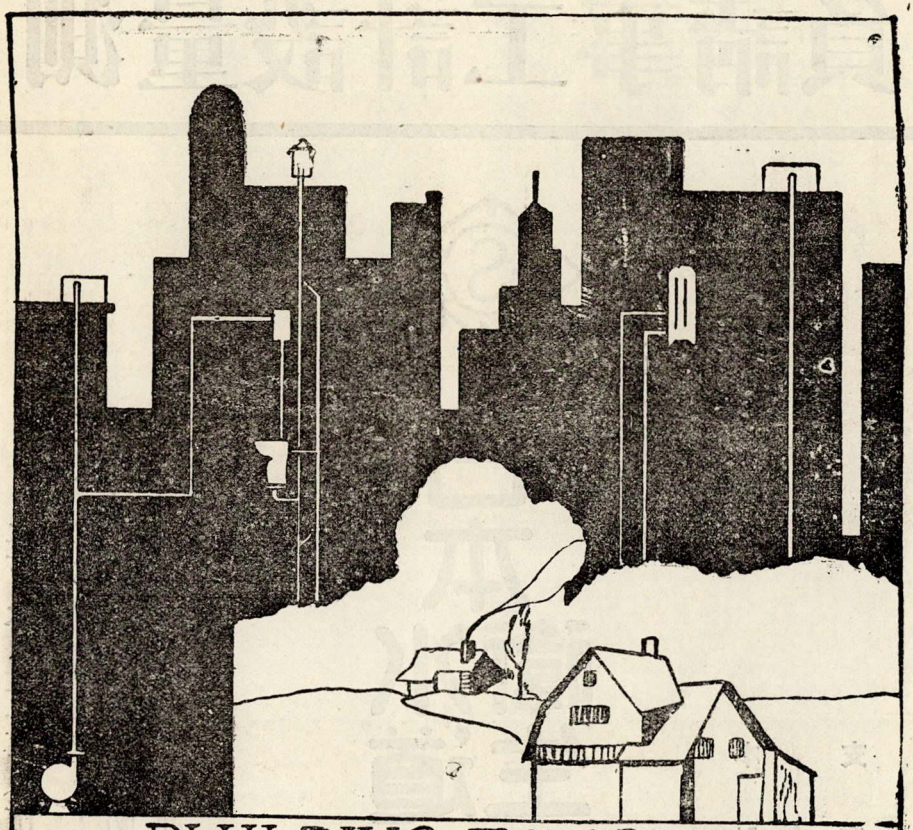
現代の文化的意義を充分に具備せる内藤式無煙風呂釜を御採用願ひます

特長

下向きに燃えて絶對無煙焚方簡易にして速く沸く燃料普通風呂釜の三分の一

（カタログ進呈）

大阪市天王寺區大道三丁目
株式會社　内藤製作所
電話天王寺一〇一五番



都市水道
衛生給水
煖房換氣
防火裝置
特許汚水處理
病院設備

桐田商會

大阪市北區木幡町八二
電話北二七五一番

東京市芝區田村町十五
電話青山五三七五番

負請事工計設量測

日本水道工事株式會社

大正九年創立

資本金貳百萬圓

營業課目

上下水道工事（市、町、村住宅地、官衙、兵營、工場）
水力電氣工事
建築衛生工事（防火、給水、給湯、排水、汚水淨化）
煖房、換氣工事（通風、冷房諸機械設備）
諸官廳ニ於ケル右工事手續代理行爲

本社　大阪市東區高麗橋詰町六〇
電話東長（二一四二二二番）
電報略號　受信 ニチスイエイ　發信 ニス又ハニ
振替口座　東京五一五七五番　大阪五三七一五番

支店　東京市京橋交叉點第一相互館
電話京橋（四〇〇一番）（四〇〇二番）

出張所　京都・神戸

内外建築大家御指定品

便利な瓦 サーテンティード ルーフィング



日本總代理店
合資會社 デュエット商會

東京市麹町區内幸町一丁目大阪ビル
電話銀座一〇八一番
大阪市東區今橋一丁目帝國ビル
電話本局三七四四番

便所之改善

専賣特許第三二七九八號

大正便所

特長

臭氣、蛆、蠅の發生絶對皆無
跳返、盜難の憂現在汲取式の理想的便所

専賣特許第三六七一五號

株式會社 城口研究所大阪支店

城口式汚水自然淨化裝置

水洗便所必須清潔、完全、簡易の下水に放流裝置

一般給水衛生工事

『パームチット濾水器』關西代理店

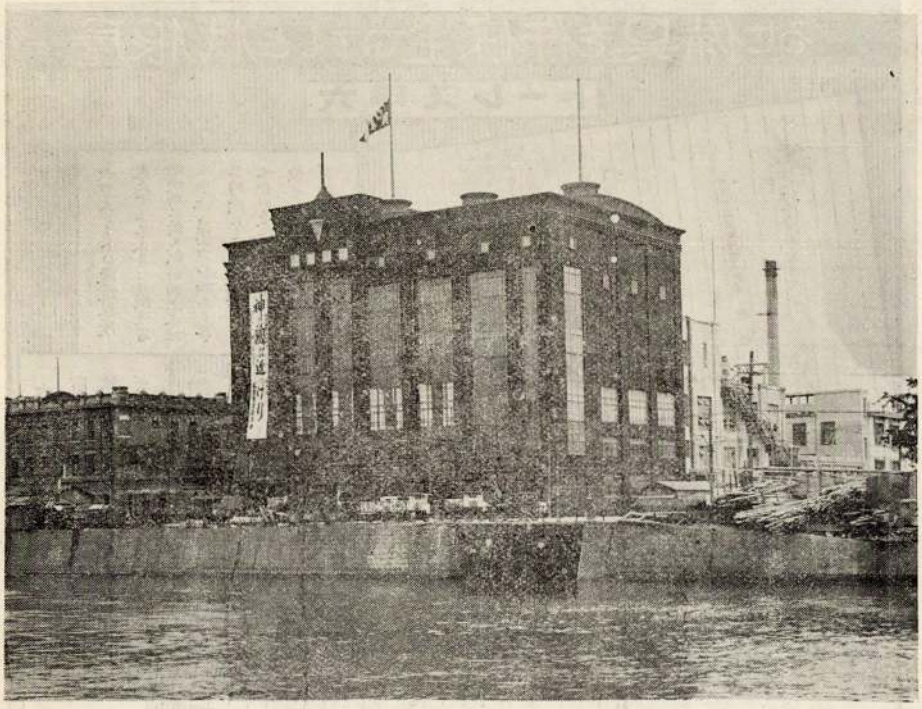
大阪市北區曾根崎中壹丁目五十七番地

電話北 特長 二三一九一五八六番

本店 東京市神田區神田代千田町十八番地 電話神田 特長 二五二三番 二五二二番

出張所 名古屋市西區本町三丁目五番地 電話東 二三〇七番
同 京都市大和大路前佛 電話祇園 四七二四番
同 神戸市三宮町一丁目百十七番地 電話三宮 一六九八番
同 横濱市常盤町五丁目百八十一番地
同 廣島市竹屋町三百十五番地 電話 二八〇八番

江東サツシ御採用の大阪朝日會館



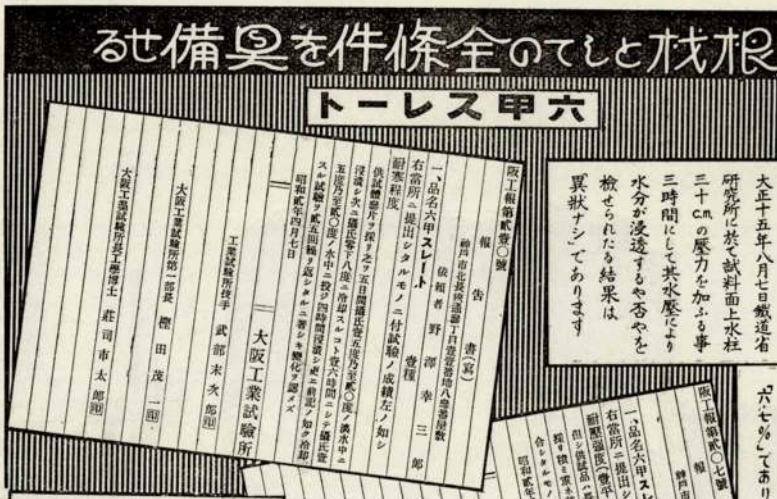
江東サッシ

東京・龜戸

電話墨田3138番

屋根材としての全條件を具備せる

六甲スレート

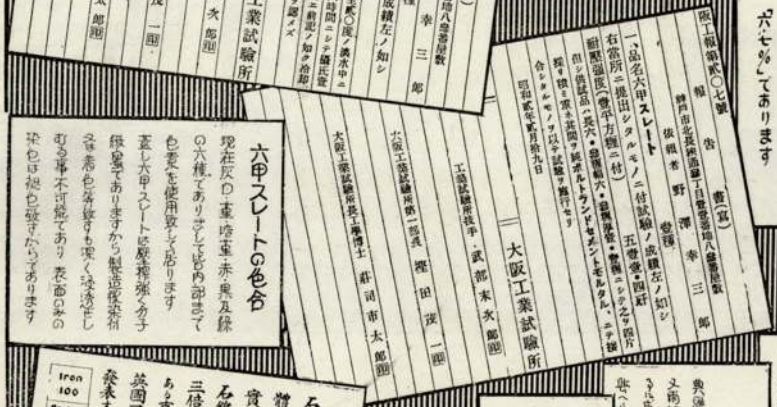


六甲スレートの浸透程度

大正十五年八月七日鐵道省研究所に於て試料面上水柱三十cmの壓力を加ふる事三時間にして其水壓により水分が浸透するや否やを檢せられたる結果は「異狀ナシ」であります

六甲スレートの吸水率

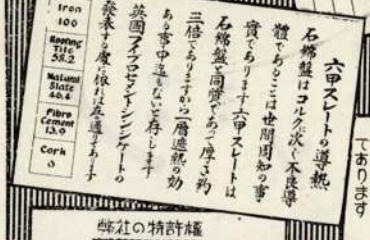
大正十五年八月七日鐵道省の試驗成績報告書によれば「六・七%」であります



六甲スレートの色合

現在灰白・黒・暗赤・黒及緑の六種でありまして其内部迄色変を使用致して居ります

茲に六甲スレートの廃物粉末を分析致しましたから製造に際し各種の色彩を呈するや否やを知る上に御参考迄に掲げます



六甲スレートの導熱

石綿盤はコルク次ぐ不良導體であることは世間周知の事實であります六甲スレートは石綿盤と同厚である時は三倍でありますから二層造組の効あり雪中並ないで存します

英國アスベストシンジケートの発表する處に依れば左の通りであります

維持費不要

耐壓力の強大と凍寒試驗をパスする六甲スレートは自然維持費を要せず永久の御利益勝少でありませぬ。

六甲スレート

碧玉より体裁は

美麗にして堅牢の四字であります

又物のよき點は氷柱りを溶かさりなき点成功也と形狀等に對して二つの特許と

道具屋

軒先ゲッパ用各種附は勿論變斗棟鬼板、巴、縋り等各種取揃居り各「其甲」とも製作致して居ります。

六甲スレートの伸縮

膨張収縮は〇・〇〇二四別ち一萬分の三強の伸縮あるのみであります



製造 日本石綿盤製造株式會社

発売 野澤幸三郎商店

神戸 元長狭三TD 電6 2830 2831

東京 丸ノ内 丸内3670

大阪 販売所 大阪ビル内 北5994

福岡 純利端丁三六 1945

振替 大阪 413 東京 203 四条畷

昭和ビル内

一般電氣工事設計
監督請負

高級裝飾照明器具設計
製作並輸出入販賣

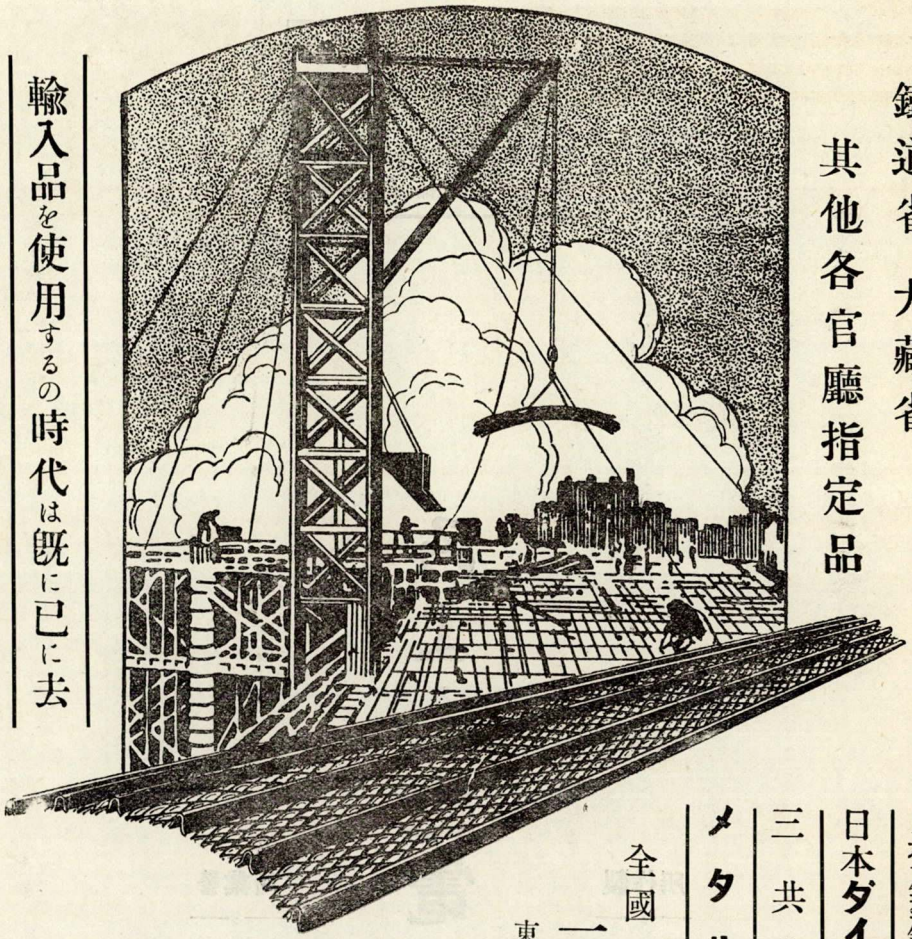
みよし組電氣工業所

營業所
大阪市東區味原町九九
電話南一〇三七・五貳二九
神戸・東京・福岡

製作所
大阪市東區味原町九九

日本ダイヤモンドリブラス

鐵道省、大藏省
其他各官廳指定品



輸入品を使用するの時代は既に已に去れり
切に國産品の御愛用を希上ます

見本及型錄御申越次第進呈

日本ダイヤモンドリブラス
三共・キーラス
メタルラス各種

全國一手販賣店
三共貿易株式會社
東京市日本橋區江戸橋一丁目四番地
電話日本橋 二四八六番 二四八七番 三九九一番

關西總代理店
奥村重兵衛商店
大阪市北區中之島六丁目
電話土佐堀四六一番

製造元
合名會社 **日進製作所**
大阪市此花區四貫島旭町一丁目
電話土佐堀 二八四一番 三一三三番



TRADE NKKS MARK M.F.G.CO

ダイヤモンド印

■便利瓦■

■アスファルトフエルト■

◎パーマネントルーフイング
◎アスファルトヘツシヤン
◎アスファルトクロツス
◎アスファルトフアブリツク
◎コツトンルーフイング
◎ビルデイングペーパー
◎ナフタリンペーパー

◆内外各種アスファルト◆

◎日建式耐酸防水アスファルト工事請負
◎天然石綿スレート葺及セメント瓦葺工事

都市土木株式會社
アサヒ印便利瓦關西販賣店
大阪市西區南堀江通三丁目二十七番地

日本建材社

倉庫

電話櫻川二五九九番
振替口座大阪五三〇〇五番
大阪市西區南堀江通二ノ二二
電話櫻川三一二一番

各建築需要家に於て
大好評を博しつゝある



實用新案 第一一六二八五號

眞鍮代用
ユニオン眞鍮巻甲丸レール

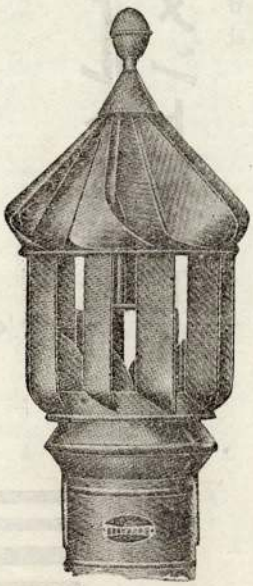
特長

一、外見上何等正味眞鍮甲丸レールと變りません
一、他の巻レールと比べて眞鍮巻板を厚板地金を以て被覆してありますから耐久力は永久です
一、値段は他品と比べて半額以下ですみますから非常に經濟的です

是非一度御試用を乞ふ!!

!! 除風器界の權威 !!

!學理と實際に基き製作したる最新式除風吸揚器!



田中式ベンチレーター

營業科目

◉和洋式建築金物製作
◉ブロンズ眞鍮製建具裝飾金具
◉窓金手摺鐵柵鐵扉類
◉釘針金平浪板諸材料
◉鋼鐵自働防火シャッター

保健!衛生! 田中式除風吸揚器
實用新案 (新案特許第一一四四八六號)
(第一一四四八六號)

負請=入輸直=製作

ユニオン印
建築金物製作發賣元
合名會社 **西孫南店** 建築金物部
大阪市北區南森町五四番地
南森町交叉點二筋南ノ辻西入天神小橋筋
電話北二八五〇番

大阪市南區順慶町二丁目
同直輸出入部
電話船(一九六・一九七番 三〇二九番)

建築用鐵材

丸鐵、鐵板
角鐵、アングル鋼
平鐵、ジヨイスト鋼
チヤンネル鋼

大阪市西區立賣堀北通二丁目

山本東作商店

電話（新町七四番
同　七五番
同　七六番

受電略號オサカ、ナニワヅ

鐵筋用丸鐵

在荷豊富見積書御一報次第提出可仕候

特許ORC式テーパー型鐵筋
コンクリート造

煙突工事

合名會社 大阪鐵筋混凝土工務所

大阪市港區小林町一六三
電話櫻川長一〇八六・二六二二
神戸出張所・名古屋出張所

（カタログ進呈）

三熊製疊所

創業明治四十四年　神戸市東尻池町五丁目　電話兵庫一四六九番

▲當所の疊製品は現に我國屈指の建築技師及技術家を始め別莊住宅各官廳及重要會社ノ設計指定疊として多大の御用命を蒙りつゝあり

特長
製品優秀　技術超絶
納期正確　在庫豊富
價格至廉　確實叮嚀
疊内部防水防塵衛生裝置

新疊
院寺　校用
堂學　殿社　席等
莊會　別茶　宅館　省洋　官住

負請事工般一疊

賣販地布綠及表疊
全國

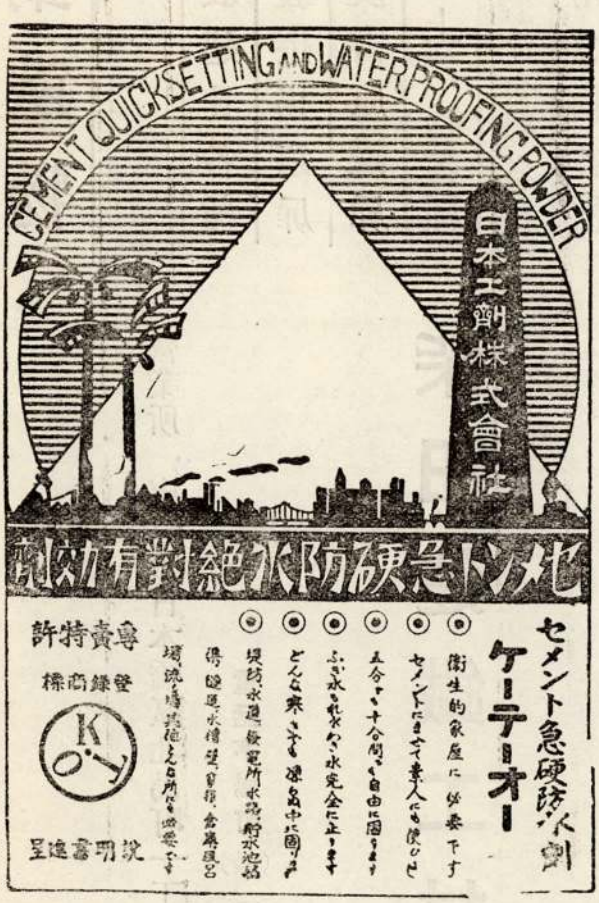
販路—關西關東ヲ始メ全國各地一圓現場納入

▼御設計又は御見積の上に於て疊一切の事に付御不審の點は御相談下され候はゞ委細御說明申上候

價格表御一報次第送呈仕候

出張所々在地　大阪　京都

セメントを早くかためて
ながもちさせる
ケーテーオー



東京市芝區愛宕下町一ノ四　電話芝一五一二番

建築銅鐵物

鋼鐵製建具各種
鋼鐵製捲揚鐵扉
金庫及書庫鐵扉
雜作仕上鐵物各種
靑銅製裝飾金物各種
建具用金物各種
設計、施工、請負

加工材料一般

柴田建鐵工材所

營業所　東京市日本橋區北島町一丁目一番地
電話茅場町(66)一〇八八番

工場　東京市外寺島一九九七番地
一九九八番地
曳船驛前

最も理想的屋根代表的スレート新材



浅野スレート
日本石綿盤
朝日スレート
金剛スレート

品質堅牢
体裁優美

日本スレート販賣株式會社大阪支店

大阪市西區江戸堀南通一丁目廿一番地
電話土佐堀㊀3468番・3469番
本社 東京市京橋區三十間堀三丁目
電話銀座㊀684・841(專用) 1860・1861・1862番(接續)
支店 {横濱市常盤町5丁目81番地電話本長者町(3)5207番
門司市東ト町四丁目 電話㊀548番
出張所 名古屋・仙臺・京城

◉防火宣傳◉

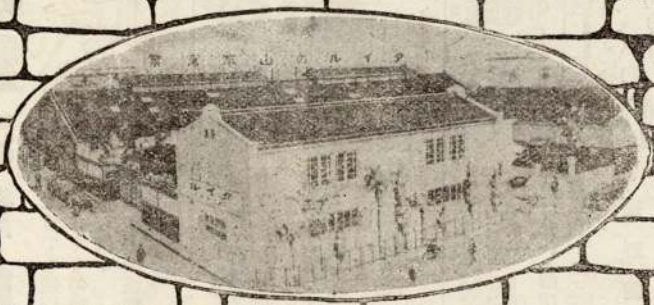
阿部式スティールサッシュ製作
阿部式スティールドーアー製作
自働捲上防火シヤッター製作

鐵骨建築及附屬金物一式
鐵塔橋梁其他構造物一式
エレベーターリフテイング一式
鐵扉、鐵柵類一式

A 合資會社 **阿部鐵工所**

大阪市西淀川區浦江上二丁目五九
電話土佐堀（長一八一四番 三〇〇一一番 八〇〇八四番）
振替口座大阪四八〇五一番
受信略電（オウサカアヘテツ）

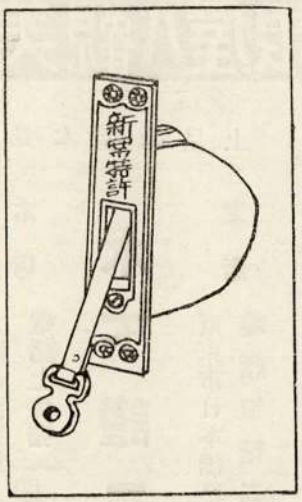
テラコッタとタイル



大阪市北区芝田町　山本窯業商店　電話園北二八六番

タイルの山本窯業

特許秋山式
揚下窓自動窓車
窓口は分量を用ひず自動的に捲込み各所にて自由に停止することを得



特許秋山式
揚下窓安全器
窓口は分量を用ひず
目方を論せず使用し得

自動窓車
各建築金物店にあり　呈進錄目

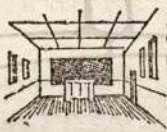
秋山製作所

大阪市北區臼屋町九番地



淺野波形板

母屋が木貫でも鐵骨でも
野地板がなくも勾配が緩
くも取付られる
天下無敵の屋根材



淺野壁板

強靱の石綿セメント製ゆ
ふ下見・内壁・天井・間仕
切壁等に用ひて
比類なき最適品



淺野煙突

燒けない・錆びない・
腐らない・火の用心
に
淺野煙突

社會式株淺野スレート

市東京	市大阪	市司門	市屋古名	市幌札
三十間堀三丁目	三地所綺羅町五番	綺羅水白市司門	三丁目南鍛冶屋町	北一條東四ノ一
電話 1860 1861	電話北 5081	電話 1228	電話中 1097	電話長 598
銀座 1262	北 5082	1931		

建築ノ耐久ト美觀ハ屋根材料ノ撰定

KS式陸屋根地下室防水工事
太陽印アスファルトルーフキング
マルソイドルーフキング
テキサスルーフキング
各種アスファルトフエルト
耐酸性アスファルト工事
セメント防水劑マノール

見本型錄呈上

本店 大阪市西區江戸堀南通五丁目
電話土佐堀（二）二一六六番
～七一五四番

木下謹三商店

支店 東京市日本橋區濱町三丁目三番地
電話浪花二二五二番

石綿スレート（石綿盤）
天然スレート（石盤葺）
獨逸式セメント瓦
エキスパンデットメタルラス
淺野波形スレート
其他各種建築材料
販賣並ニ工事請負

鋼製建具

シヤッター
サッシュ
ドアー

元大阪鐵扉製作所

日本鋼製建具株式會社

大阪支店

大阪市西淀川區傳法町南二丁目

電話土佐堀五九二〇番

本　社	東京市丸ノ内丸ノ内ビルヂング八階	**電話丸ノ内3627**
東京工場	川崎市大師河原	**電話川崎973**
大阪工場	大阪市西淀川區傳法町南二丁目	**電話土5920**

地下水の利用

◉地下水は永久不變にして而して經濟的なり!!

從來の不完全なる鑿井に依る地下水又は淺層の地表水にあらず絶對外界の影響を蒙らざる(眞の地下水)の利用にして弊會は最進の強馬力掘鑿機械と巧妙なる獨特の技術を以て地質の軟硬を不論、數百呎又は地點により千數百呎の深層堅磐をも進掘し安定せる良澤水層のみより收水するものにして

最近工事先御芳名	鑿井地點	水量(一晝夜)	用途	鑿井口徑	鑿井深度
大阪鐵道株式會社	大阪府下藤井寺	二〇,〇〇〇石	上水道用	十二吋	八〇〇呎
大阪電氣軌道株式會社	大軌萬瀦池遊園地	二三,〇〇〇石	上水道用	十吋	七〇〇呎
日本染料製造株式會社	大阪市泰日出町	八,〇〇〇石	工業用水	八吋	五〇〇呎
豐國セメント株式會社	名古屋東築港	二三,〇〇〇石	汽罐給水	十吋	七五〇呎
東洋紡績株式會社	名古屋市下廣井町	一八,〇〇〇石	飲料及工場用	八吋	五〇〇呎
新京阪鐵道株式會社	兵庫縣伊丹町	七,〇〇〇石	上水道用	八吋	六〇〇呎
武雄町役場	佐賀縣武雄町	三,〇〇〇石	上水道用	六吋	九三五呎
大同土地興業株式會社	大阪府下櫻ヶ丘	五,〇〇〇石	上水道用	八吋	七〇〇呎
錦華紡績株式會社	佐賀市神野町	一〇,〇〇〇石	上水道用	十吋	八一七呎
堺市役所	堺市淺香山	三〇,〇〇〇石	改增水工事	十二吋	一,一九〇呎
佐賀市役所	佐賀市	目下工事中	上水道用	十二吋	六三〇呎
高岡市役所	高岡市外	目下工事中	上水道用	十二吋	三個所
大和川染工所株式會社	堺市七道	目下工事中	工業用水	十二吋	八五〇呎
豐田紡織庄内川染工所	名古屋市外庄内	目下工事中	工業用水	十二吋	五〇〇呎

地下水の利用御計畫の際は御申越次第御踏査詳細設計の上實地に就き最進最仕組の御相談に應じ又御希望にも可成御見積書を差出候

證明書

日本地下水協會

當社左記各鑿井ハ日本地下水協會ニ請負作業ニ着手シ豫期ノ超過ナル成績優良ニシテ作業上ニ於ケル諸般ノ技術ハ優秀ナル事ヲ證明ス

所名	直徑	深度	毎分揚水量	揚水方法
築港鑿井所	十吋	六百尺	八十石	タービンポンプ
松濱鑿井所	十吋	九百尺	一百甲石	タービンポンプ
大濱鑿井所	八吋	六百尺	六十石	タービンポンプ
市岡鑿井所	十吋	八百尺	一〇六十石	タービンポンプ
大濱鑿井所	十吋	七百尺	一〇二十石	タービンポンプ

右内大山鑿井所地層ハ古生層ニシテ黒岩(硬度九度)ナルヲ以テ經驗ノ困難尚ヲ六百尺ノ鑿井ヲ契約期限内ニ完成セルモノナリ

昭和二年七月

大同電力株式會社

過去二十有餘年間の經歷を有し各地に多數大鑿井を施工したるも一井として失敗したる事なきは弊會の誇とする所にして到る處賞讃を博し居れり弊會は技術本位にして堅實を旨とし純直營の責任ある施工をなし今日迄宣傳廣告はせざりしも近來各事業の發達に伴ひ水利問題は識者の等しく攻究する處となり地下水の利用漸く其範圍を擴め上水道諸工業灌漑大建築用等有ゆる方面に使用され今日にては各都市の上水道水源として採用せらるゝに至れり茲に地下水の利用を御勸めすると同時に今後格別の御引立を願ふ次第なり

獨逸最進ローピング式

大鑿井工事請負

上水道用水源
大建築用水源
施工業用水源
灌漑用水源

日本地下水協會

本社 堺市大濱北町公園地
電堺局二二二九

名古屋出張所 名古屋市中區矢場町東陽ビル
電中局七七七

品製社會式株業工岩化磨飾

アサダ
白色ポートランドセメント

大阪市内販賣店

灰善商店
大阪市東區內本町橋詰町
電話東一七五四番

灰一商店
大阪市南區瓦屋町三番町
電話南八五一番

灰久本店
大阪市東區備後町一丁目
電話本町二五三番

濱口商店
大阪西區北堀江通六丁目
電話新町（二七〇四番
～一七九一番

各府縣市營繕課御推奨品
（賜攝政宮殿下台覽）

建築界之驚威

安くて
強くて
美しい

登錄商標 **ミクニ板**（特許杉柾目 檜柾目 天井板）

關東特約販賣店
東京市京橋區本材木町三丁目
篠田政之助商店

青森秋田岩手宮城四縣特約店
青森市濱町五丁目
小館木材株式會社支店

大阪府特約店
大阪市西區立賣堀南通二丁目
澤田秀吉商店

京都府特約店
京都市河原通夷川角
藤原彌三郎商店

其他全國樞要ノ地ニ特約店販賣店アリ

登錄商標

ミクニ板製造元
廣島縣福山市西町
日本木材工藝株式會社
長電三九七番

煖房・冷房

温濕度調整裝置

大和工業株式會社

代表取締役　山崎寛二郎

代表取締役　萩原貞

宮崎式ペーチカ

營業科目

各種煖房裝置　換氣裝置
衛生工事　汚水淨化裝置
給水給湯裝置　蒸氣諸裝置

温濕度調整裝置　冷房裝置
製氷及び冷藏裝置　除塵裝置
氣送管裝置　眞空掃除裝置
ニユウマチツクチユウヴ　バキユウムクリーナー

以上の設計、監督、工事請負竝に材料販賣

本社　大阪北區曾根崎上四丁目三三番地　電話北一〇七八・六二九一番　略受語電（ワイダカサオ）
支店　東京市京橋區南傳馬町三丁目五（第一相互館二〇八）　電話京橋三二三七番　略受語電（ワイダイケウト）

"ACME" ULTRAVIT-GLAS

"アクメ" ウルトラヴイット

(理想的紫外線透過窓硝子)

過する理想的窓硝子
紫外光線を多量に透



ふる太陽光線中の
に可驚活力を與
凡ゆる生物の生活

紫外線透過率試験%（獨逸伯林國立物理工業試驗所）

波長	340	320	310	300	297	295	290	280	uu
ウルトラヴイット硝子	85	83	77	63	53	53	42	22	%
普通硝子	43	1	0	—	—	—	—	—	—

歐米諸國に於ては既に多數の病院結核療養所、養老院、保育院、動物園、農園、畜産場等に使用し更に進んで積極的に發育助長健康增進等の一般衛生的設備として家庭、學校を初め會社銀行等に盛んに利用され夫ぞれ驚くべき好成績を擧げて居ます折角御使用あらんことを

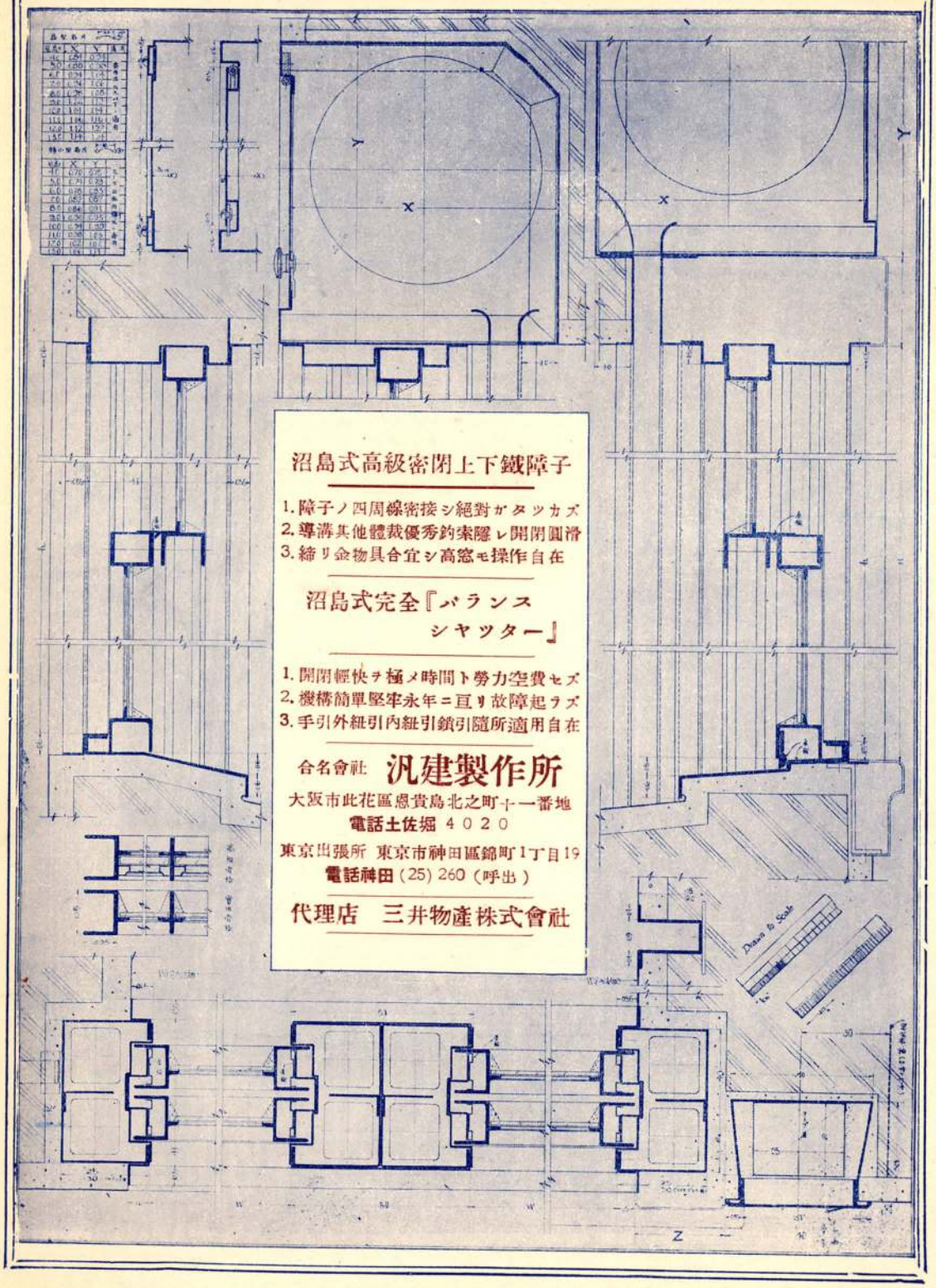
(御照會次第明細型錄送呈可致候)

株式會社

島津製作所貿易部

京都市河原町二條南

東京、福岡、大阪、大連、伯林、



沼島式高級密閉上下鐵障子

1. 障子ノ四周線密接シ絶對ガタツカズ
2. 導溝其他體裁優秀釣索隱レ開閉圓滑
3. 締リ金物具合宜シ高窓モ操作自在

沼島式完全『バランス シヤツター』

1. 開閉輕快テ極メ時間ト勞力空費セズ
2. 機構簡單堅牢永年ニ亘リ故障起ラズ
3. 手引外紐引內紐引鎖引隨所適用自在

合名會社 **汎建製作所**

大阪市此花區恩貴島北之町十一番地

電話土佐堀 4020

東京出張所 東京市神田區錦町1丁目19

電話神田 (25) 260 (呼出)

代理店 三井物產株式會社

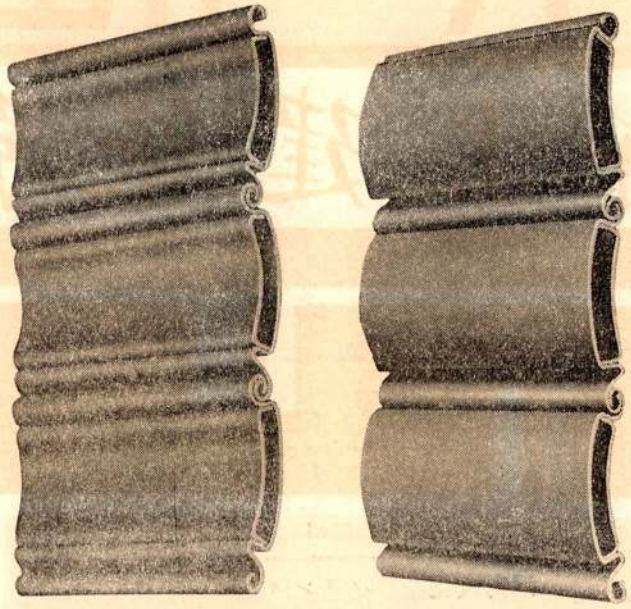
SUDZKI'S PAT. **HOLLOW SHUTTER** PAT. AP'L'D TO THE U.S.A.

米國特許出願

日特
英許

鈴木式ホロー・シヤター

（最新式シヤッター）



ホロー式の特徴

1 ホロー式は權威ある火熱注水試驗の結果驚の傳導の遲いのか著しい特徴であつた。
2 ホロー式は高尚優美、堅牢無比、强盜、暴漢をして意氣銷沈せしむ。
3 ホロー式を DREADNOUGHT SHUTTER と英國人は評した。
4 ホロー式は卷徑が少さく素直に繰れて下る。
5 講鐵は特許鈴木式二重底レールを附屬せしむ。
6 錆止ペンキは浸漬式を用ゆ。
7 機械は精巧、廻蓋は、美麗周圍と調和す。

ホロー式取付實例

◉取付場所及時日
◉名古屋市御器所町
南消防署
◉昭和貳年參月廿五日
1 ホローシヤタア三號型鎖引
2 巾 二十二尺 高十二尺出來上り寸法
3 シヤタア重量二百貫、シヤフト壹百貫 合計三百貫
4 錆止ペンキ浸漬式を用ゆ
5 上下時間 輕く手繰て廿秒
◉取付けの結果◉
丈夫で、輕くて、工合のよいので皆な驚歎してゐる

大正十五年英國政府へ特許出願中の處昭和二年二月十七日第二六五八七三號を以て特許々可せらる

東京 巢鴨町宮下一五四五—一五五五

建築金物商會

支店 京都市東山通月見町二